



ネットワークカメラ AIシリーズ

取扱説明書

バージョンV9.1 日

付 : 2023-09-05

目次

第1章はじめに	5
1.1 著作権について	5
1.2 安全に関する指示	5
1.3 EU適合性宣言	6
1.4 改訂履歴	6
第2章 製品概要製品概要	7
2.1 製品概要	7
2.2 主な特徴	7
2.3 システム要件	9
第3章 設定の流れ	10
第4章 ネットワーク接続ネットワーク接続	12
4.1 LAN 経由でのカメラの設定	12
4.1.1 カメラを直接パソコンに接続する方法	12
4.1.2 スイッチまたはルータ経由で接続	12
4.2 ダイナミックIP接続	12
第5章 ネットワークカメラへのアクセス	14
5.1 IPアドレスの割り当て	14
5.1.1 スマートツールを使用したIPアドレスの割り当て	14
5.1.2 ブラウザによるIPアドレスの割り当て	18
5.2 ウェブブラウザからのアクセス	20
5.3 Milesightバックエンドソフトウェアからのアクセス	21
5.3.1 Milesight NVR(ネットワークビデオレコーダ)からのアクセス	21
5.3.2 Milesight CMS (センター管理システム) からのアクセス	21
5.3.3 Milesight VMS Enterprise (ビデオ管理システム) からのアクセス	22
第6章 ライブビューライブビュー	24
6.1 ライブ映像	24
6.2 顔検出モード	28
6.3 PTZモード	31
6.3.1 ライブビューページでの動作	31
6.3.2 3Dポジショニング	32
6.3.3 プリセット/パトロール/パターンの設定/呼び出し	33
第7章 再生	40

第8章 設定	45
8.1 Media	45
8.1.1 Video	45
8.1.2 Image	48
8.2 Network	67
8.2.1 Basic	67
8.2.2 Advanced	82
8.3 Storage	93
8.3.1 Storage Management	93
8.3.2 Record Settings	95
8.3.3 Snapshot Settings	96
8.3.4 Explorer	98
8.4 Event	99
8.4.1 Basic Event	99
8.4.2 VCA Event	107
8.4.3 Object Counting	131
8.4.4 Face Detection	156
8.4.5 Hard Hat Detection	164
8.4.6 Heat Map	168
8.5 PTZ	177
8.5.1 Basic	177
8.5.2 Auto Home	181
8.5.3 PTZ Limits	182
8.5.4 Initial Position	183
8.5.5 Privacy Mask	183
8.5.6 Schedule Tasks	184
8.5.7 Auto Tracking	185
8.5.8 Config Clear	187
8.5.9 RS485	187
8.5.10 Wiper	188
8.5.11 Status	189
8.6 IoT (オプション)	189
8.7.1 Settings	189
8.7 System	203

8.8.1	System Setting	203
8.8.2	Security	206
8.8.3	Logs	212
8.8.4	Maintenance.....	213
第9章	サービスサービス	217

第1章はじめに

1.1 著作権について

本マニュアルは、Milesight IoT Co, Ltd. (以下、Milesight) の書面による事前の許可なく、翻訳、変形、翻案などの派生物を作成するために、いかなる形式または手段によっても複製することを禁じます。

Milesight は、本マニュアルおよび仕様を予告なく変更する権利を有します。

すべてのMilesight製品の最新の仕様およびユーザーマニュアルは、弊社公式ウェブサイト <http://www.milesight.com> を参照してください。

1.2 安全に関する指示

本取扱説明書は、本製品を正しくお使いいただき、危険や財産上の損失を避けるためのものです。注意事項は "警告" と "注意" に分かれています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この設置は有資格のサービスマンが行い、地域の電気安全規制を厳守してください。
- 火災や感電の危険を避けるため、設置前には製品を雨や湿気から遠ざけてください。
- ヒートシンク、パワーレギュレータ、プロセッサなど、高温になる部品には触れないでください。
- DC/AC 12VまたはPoEを使用してください。
- プラグが電源ソケットにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 製品を壁や天井に設置する場合は、デバイスをしっかりと固定してください。
- 製品が正しく動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。カメラの分解は絶対に行わないでください。

注意事項 注意事項を守らないと、けがや故障の原因となります。

- カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- 極端に高温または低温の場所、埃の多い場所、湿気の多い場所での保管や設置、高電磁波の照射は避けてください。
- メーカーが推奨するコンポーネントや部品のみを使用してください。
- カメラを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱の蓄積を防ぐため、カメラ周辺の空気の循環を妨げないでください。

- レーザー光線はイメージセンサーを損傷することがあります。イメージセンサの表面は、レーザー光線を使用する場所にさらさないでください。
- レンズカバーのほこりはブロワーで取り除いてください。
- 柔らかい乾いた布でカメラの表面を拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤液で湿らせた柔らかい布で拭き取り、乾拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性溶剤は、表面の仕上げを損なう恐れがあるため使用しないでください。
- 将来の輸送のために輸送容器を確保するため、パッケージを保存してください。

1.3 EU適合性宣言

2012/19/EU（WEEE指令）：このマークが付いた製品は、欧州連合（EU）では未分別の一般廃棄物として処分することはできません。適切なリサイクルのために、同等の新しい機器を購入する際にこの製品を最寄りの供給業者に返却するか、指定の回収場所で廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info を参照してください。

1.4 改訂履歴

表 1.

バージョン	改訂内容	リリース日
V9.0	最初のリリース	2022年6月
V9.1	1. VPN機能の追加 2. スピードドームカメラにワイパー機能を追加 3. ハードハット検知機能の追加 4. 車両カウント機能の追加	2023年4月

第2章 製品概要製品概要

2.1 製品概要

Milesightは費用対効果が高く、信頼性の高いネットワークカメラの一貫した範囲を提供しお客様の要求を完全に満たします。組み込みLinuxオペレーティングシステムをベースとするMilesightネットワークカメラは、ローカルでもリモートでも簡単にアクセス・管理でき、高い信頼性を誇ります。高性能DSPビデオ処理モジュールを内蔵し、低消費電力と高い安定性を誇ります。最先端のH.265/H.264/MJPEGビデオ圧縮アルゴリズムと業界をリードするHDデュアルストリーム技術に対応し、限られたネットワークリソースで最高レベルのビデオ画質を実現します。また、柔軟で包括的なアラームリンクメカニズム、昼夜自動切替、プライバシーマスキングなどに対応し、機能面も充実しています。

Milesightネットワークカメラは、LAN内で単独で使用することも、ネットワークに接続して強力な安全監視システムを構築することも可能です。金融、教育、工業生産、民間防衛、セキュリティのための医療などの分野で広く使用されています。

2.2 主な特徴

システム

- WEBサーバ内蔵、IE/ Firefox/ Chrome/ Safariブラウザ対応。
- 信頼性の高いLinux OSベース
- プラグインフリーモード対応
- カメラのセキュリティ質問の有効化と設定に対応
- ONVIFプロファイルG & Q & S & Tに対応 ()
- 柔軟な管理のための3つの特権レベルのユーザー
- マイクロSD/SDHC/SDXCカード・ローカル・ストレージ対応、エッジストレージの拡張

ONVIF (Open Network Video Interface Forum) プロファイルとは、**ネットワーク監視機器の相互運用性を保証するための機能セットの定義**です。

画像

- 0.001Lux超低照度
- スマートIR IIテクノロジー
- 4Kビデオ視聴体験
- Pアイリスコントロール
- 3 in 1 スーパーWDR Pro
- HLC対応
- BLC対応
- 自動スイッチ付きICRフィルタ
真のデイ/ナイト

0.001Lux超低照度は、人間の目ではほぼ何も見えないレベルの暗さです。月明かりすらほとんど届かないような環境に相当します。

スマートIR II (Smart IR II) テクノロジーとは、監視カメラに搭載される赤外線照明の高度制御技術で、夜間や低照度環境でも被写体の白飛びや黒潰れを防ぎ、鮮明な映像を提供するための機能です。

Pアイリス (Precise Iris) コントロールとは、監視カメラやビデオカメラに搭載される精密な絞り制御機能で、レンズの絞り(アイリス)を電氣的に制御して、最適な露出を維持する技術です。

HLC (High Light Compensation)とは- 強い光源(ヘッドライト、懐中電灯など)を検出して、その部分を暗く補正する機能

BLC (Back Light Compensation)とは 逆光で暗くなった被写体(人物や物体)を明るく補正する機能

- 回廊モード

Corridor Mode (廊下モード) とは、監視カメラの映像を縦長に最適化する機能で、特に廊下や通路などの細長い空間を効率よく監視するために使われます。

ビデオ

- H.265/H.264/MJPEG ビデオ圧縮機能
- 10レベル調整可能なH.265+により、70%~80%の帯域幅を節約
- プライマリストリーム/セカンダリストリーム/第三ストリーム対応
- スマートストリーム対応
- リアルタイムビデオ電子増幅

「プライマリストリーム/セカンダリストリーム/第三ストリーム」は、同じ映像を異なる条件で複数同時に配信する技術で用途やネットワーク環境に応じて画質・帯域・解像度を最適化するために使われます。

スマートストリーム (Smart Stream) とは、監視カメラにおける映像ストリームの帯域と画質を動的に最適化する技術で特にネットワーク負荷やストレージ容量を抑えつつ、必要な映像品質を維持するために使われます。

オーディオ

- G.711/AAC オーディオ圧縮機能
- オーディオI/O対応

ネットワーク

- カメラを簡単に管理するUPnPプロトコル
- Milesight DDNS対応
- FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード記録、SIP電話
- VPN対応

ROI (Region of Interest / 関心領域) とは、監視カメラや映像解析において特に注目・解析・高画質化したい領域を指定する技術です。映像全体ではなく、重要な部分だけにリソースを集中させることで、画質・帯域・解析効率を最適化できます。

高度な機能

- モーション検出、プライバシーマスキング、ネットワーク障害検出およびROI
- AIビデオコンテンツ分析対応
- 人物カウント機能対応
- 車両カウント機能対応
- 顔検出機能対応
- ハードハット検出対応 (「ヘルメット」や「保護帽」)
- ヒートマップ機能対応

IK10規格とは、外部からの衝撃に対する耐久性を示す国際規格 (IEC 62262) で、特に監視カメラやセンサーなどの筐体がどれだけの物理的衝撃に耐えられるかを表します。IKは「Impact Protection」の略で、IK10は其中最も高い耐衝撃レベルです。

ハードウェア

- 電源用PoE対応
- アラームI/O対応
- 内蔵マイク
- IK10規格バンダルプルーフメタルカバー、IP67規格ウェザープルーフハウジング

IP67規格とは、電子機器の防塵・防水性能を示す国際規格 (IEC 60529) の一つで、特に屋外設置機器や過酷な環境で使われるセンサー・カメラ・スマートデバイスなどにおいて重要な指標です。

PTZ (Pan, Tilt, Zoom)

- 最大42倍 (スピードドーム)、23倍光学ズーム (PTZ Bullet Plus)、23倍 (PTZ ドーム)
- 360°連続パン、-5°~90° (オートフリップ) チルト (スピードドーム用)
- 連続360°パン、-45°~30°チルト (PTZ Bullet用)
- 360°連続パン、-5°~90° (自動フリップ) チルト (PTZ ドーム用)

- 300プリセットポイント、8パトロール、4パターン
- 自動トラッキング、3Dポジショニング、PTZモーション、PTZリミット、スケジュールタスク、オートホーム機能
- PTZ Bullet用ホワイトLED

2.3 システム要件

動作システムウィンドウズ XP/Vista/7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU1.66GHz以上

RAM : 1G以上

グラフィックメモリ : 128MB以上

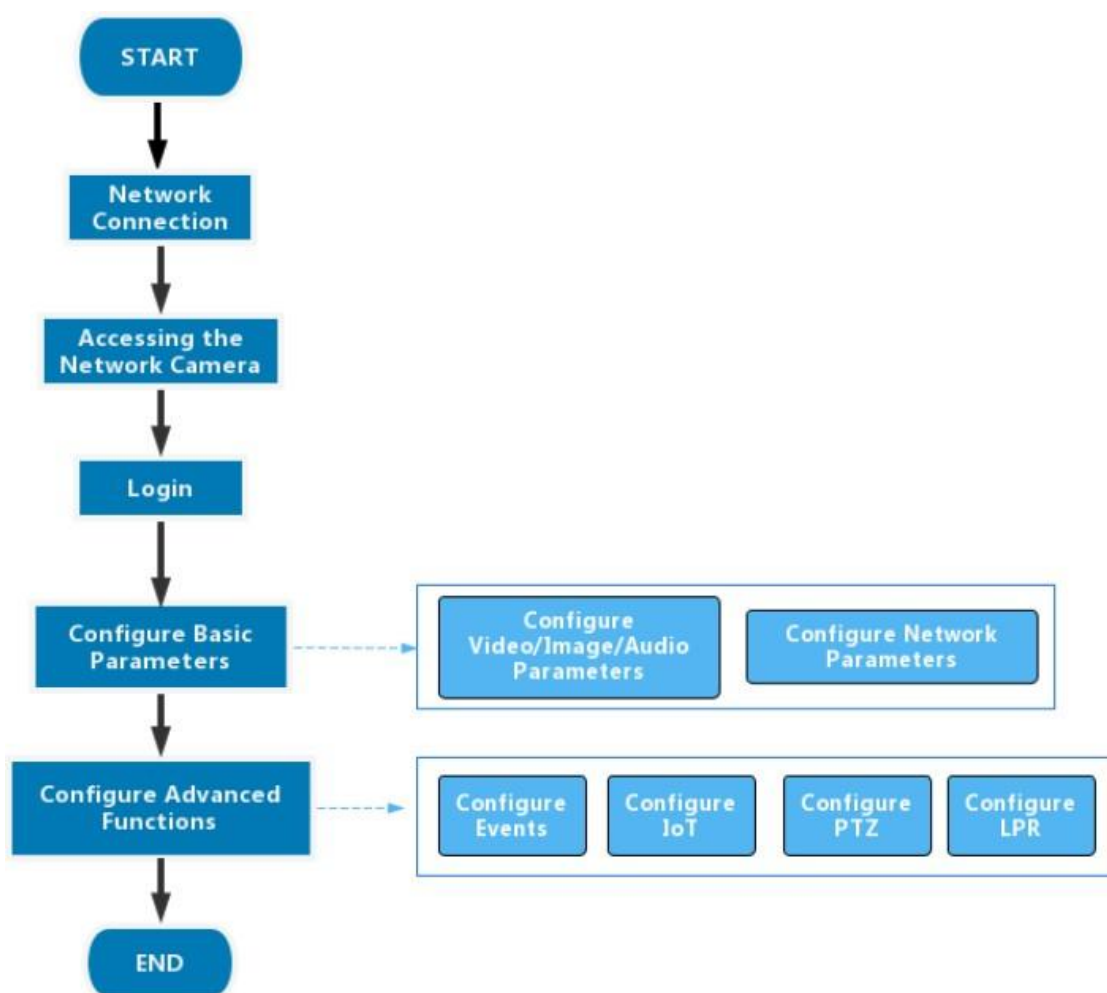
インターネットプロトコルTCP/IP (IPv4/IPv6)

ウェブブラウザInternet Explorer 8.0 以上、Mozilla Firefox、Google Chrome、Safari。

第3章 設定の流れ

カメラの設定フローを下図に示します。

 注：構成は、異なるモデルの実際の状況に基づいている必要があります。



設定の詳細を次の表に示します。

表 2.フローの説明

設定	説明	参照
Network Connection	ネットワークカメラを接続します。 カメラの設定は、LAN接続またはダイナミックIP接続で行います。	4.1 LAN経由でのカメラの設定 (12ページ)
Accessing the Network Camera	IPアドレス、ウェブブラウザ、Milesightバックエンドソフトウェアからアクセスできます。	5.1 IPアドレスの割り当て (14ページ)
Configure Basic Parameters	カメラにログインした後、必要に応じてビデオ／画像／音声／ネットワークパラメータを調整できます。	8.1 メディア (45 ページ) 8.2 ネットワーク (67ページ)
Configure Advanced Functions	VCA や人数カウントなどの高度な機能を設定します。	8.4 イベント (98 ページ)

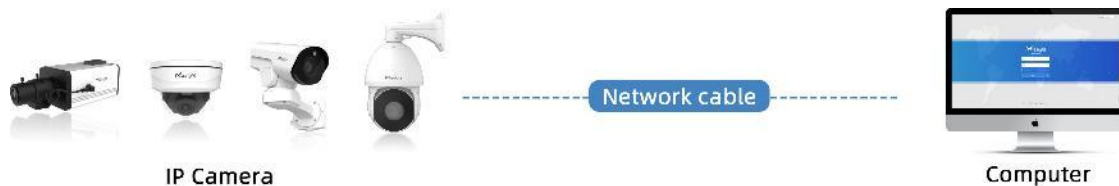
第4章 ネットワーク接続ネットワーク接続

4.1 LAN 経由でのカメラの設定

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが、最も一般的な接続方法です。カメラにはLANに対応したIPアドレスを割り当てる必要があります。

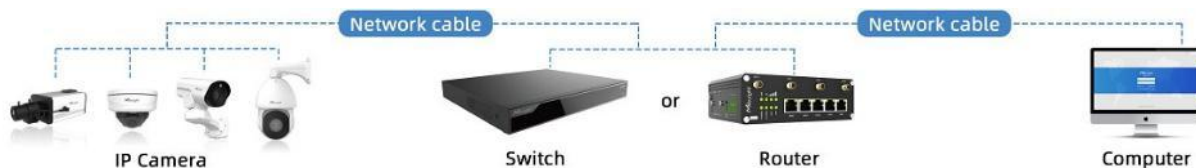
4.1.1 カメラを直接パソコンに接続する方法

この方法では、カメラに接続されたコンピュータのみがカメラを表示できます。パソコンに対応するIPアドレスをカメラに割り当てる必要があります。詳細は下図のとおりです。



4.1.2 スイッチまたはルータ経由で接続

下図を参照して、スイッチまたはルータ経由でLAN経由でネットワークカメラを設定します。



4.2 ダイナミックIP接続

Step1: ネットワークカメラをルータに接続します；

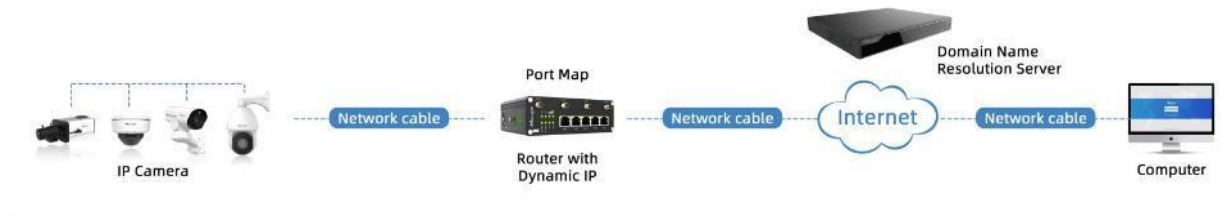
ステップ2：カメラにLAN IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを割り当てます；

ステップ3：ルーターでポート転送を設定します。例：80、8000、554ポート。ポート転送の手順はルーターによって異なります。ポート転送については、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください；

ステップ4: ドメイン名プロバイダーからドメイン名を適用します；

ステップ5：ルーターの設定インターフェースでDDNS設定を行います；

ステップ6：ドメイン名経由でカメラにアクセスします。



DDNS(Dynamic DNS)設定とは、動的IPアドレスを持つネットワーク機器に、固定のドメイン名でアクセスできるようにする仕組みです。特に家庭や中小規模のネットワークで、監視カメラやNAS、IoTゲートウェイなどに外部からアクセスしたい場合に使われます。

第5章 ネットワークカメラへのアクセス

5.1 IPアドレスの割り当て

ネットワークカメラにアクセスするには、IPアドレスを割り当てる必要があります。
MilesightネットワークカメラのデフォルトIPアドレスは192.168.5.190です。

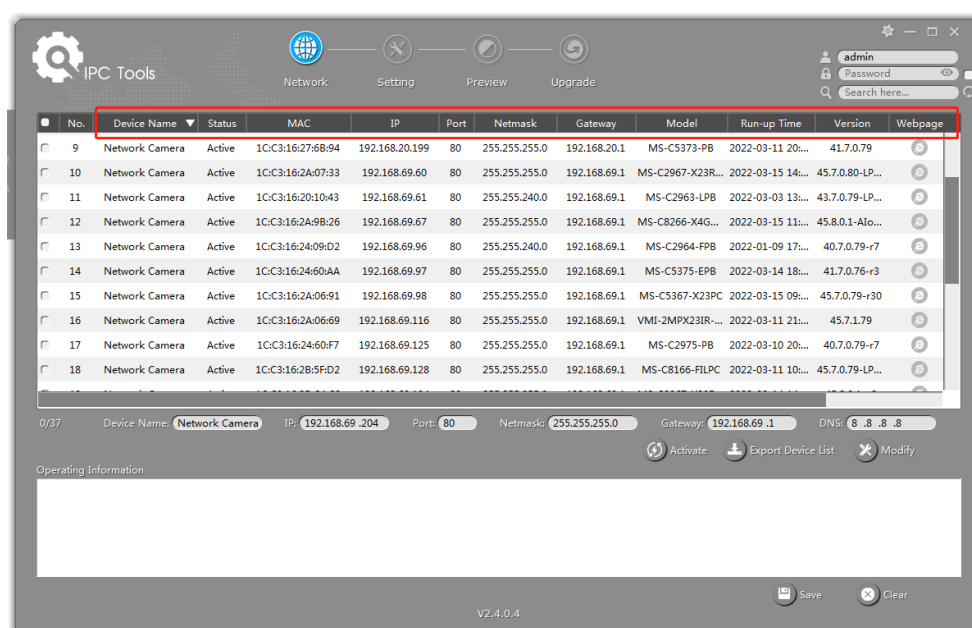
カメラのIPアドレスはスマートツールまたはブラウザで変更できます。カメラはコンピュータと同じLANに接続してください。

5.1.1 スマートツールを使用したIPアドレスの割り当て

Smart ToolsはLAN内の複数のオンラインMilesightネットワークカメラを自動的に検出し、IPアドレスを設定し、ファームウェアのアップグレードを管理するソフトウェアツールです。複数のカメラにIPアドレスを割り当てる場合に使用することをお勧めします。

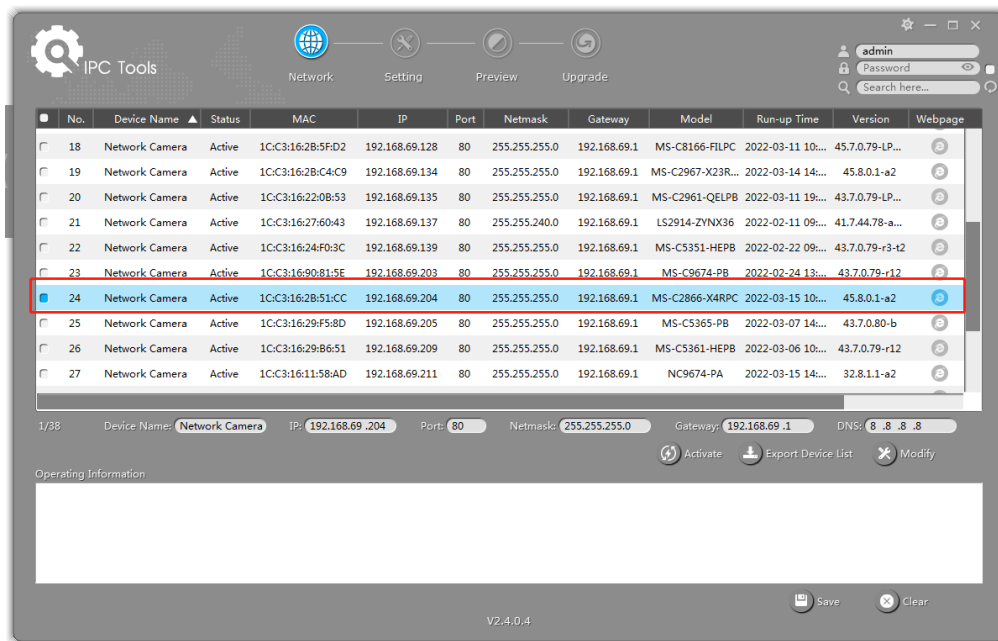
ステップ1: スマートツールをインストールします（ソフトウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます）；

ステップ2: スマートツールを起動し、IPCツールページをクリックし、IPアドレス、MACアドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスク、ゲートウェイなどのデバイス情報を入力します。詳細は下図の通りです；

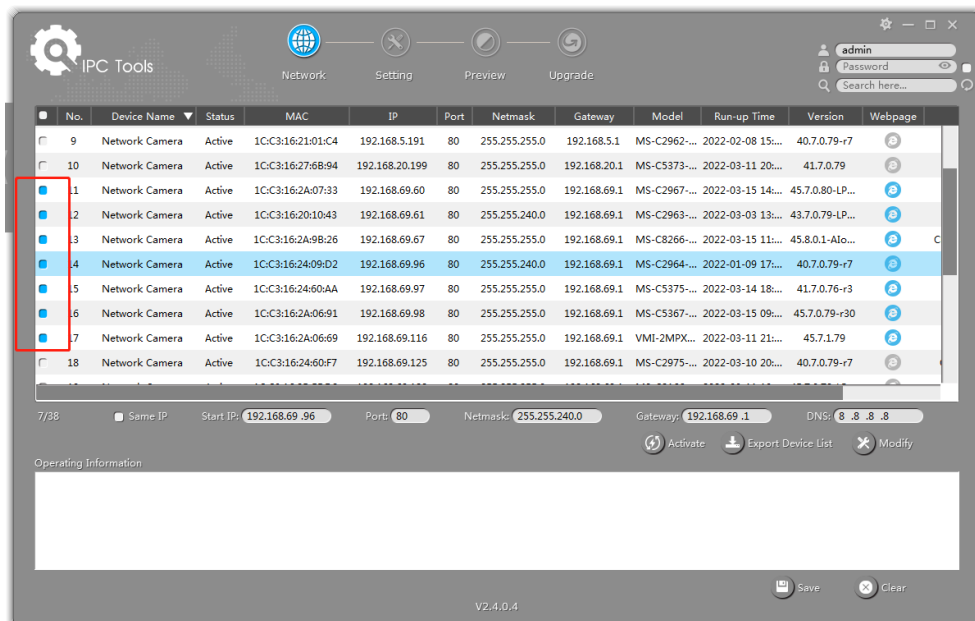


ステップ3：MACアドレスに従ってカメラまたは複数のカメラを選択します；

単一カメラを選択します：



複数のカメラを選択します：

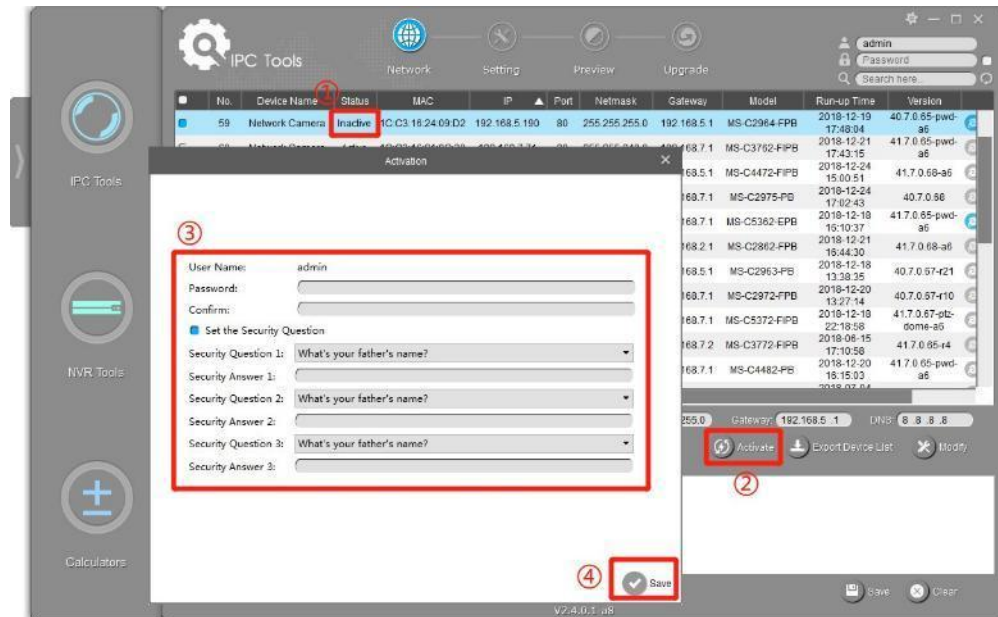


ステップ4 :

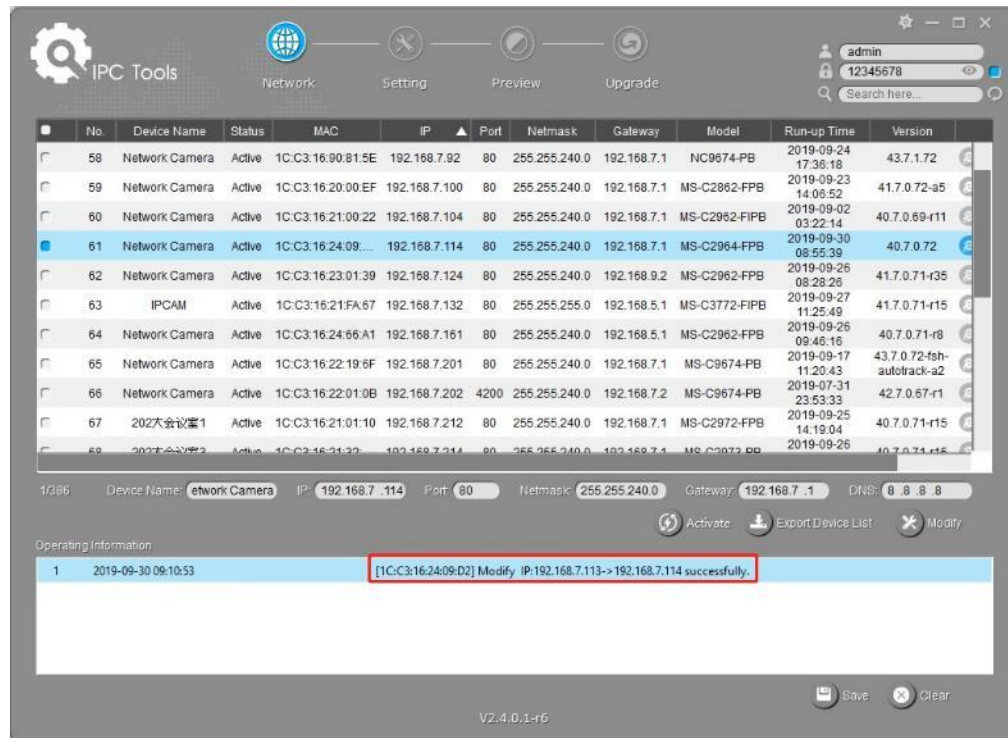
選択したカメラがステータスバーに「Inactive（非アクティブ）」と表示されている場合は、「Activate（アクティブ化）」をクリックして、初めて使用する際のパスワードを設定します。また、パスワードを忘れた場合に備えて、カメラの起動時にセキュリティの質問を設定することもできます（3つのセキュリティの質問に正しく答えると、パスワードをリセットできます）。Save（保存）」をクリックすると、アクティベーションが成功したことが表示されます。

注意

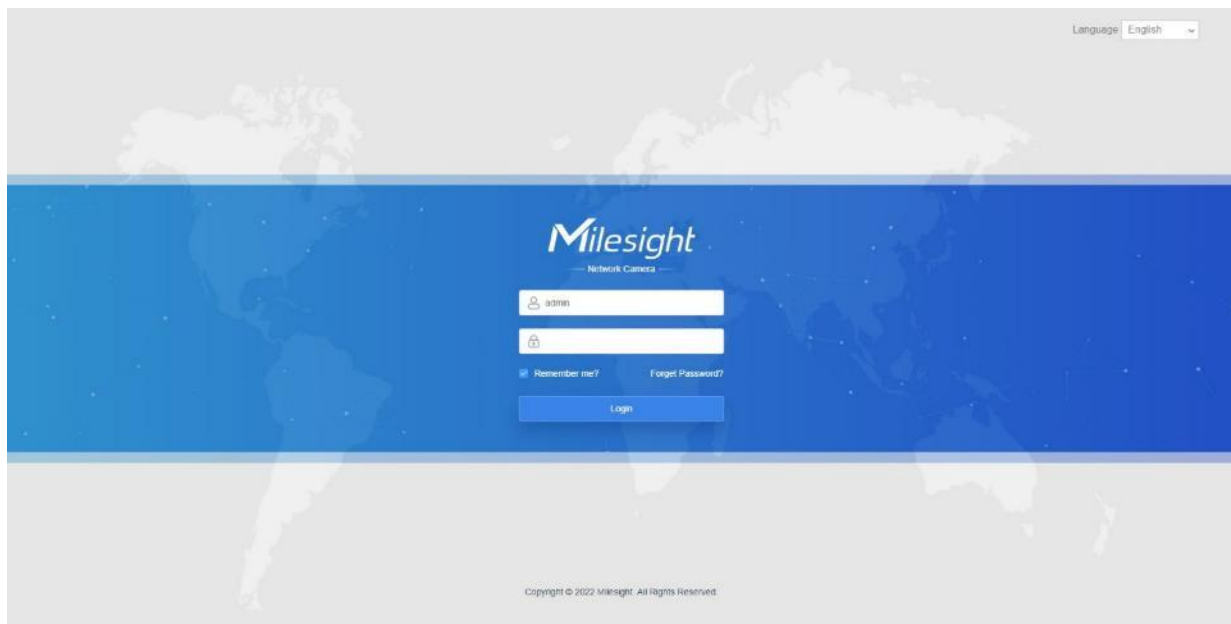
- パスワードは8～32文字で、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- カメラをアクティベートするには、Smart ToolsのバージョンをV2.4.0.1以上にアップグレードする必要があります。



ステップ5 : アクティベート後、IPアドレスまたは他のネットワーク値を変更し、「Modify」ボタンをクリックします。



ステップ6: 選択したカメラまたは興味のあるカメラのブラウザをダブルクリックすると、ウェブブラウザ経由で直接カメラにアクセスできます。Internet Explorerウィンドウが表示されます。



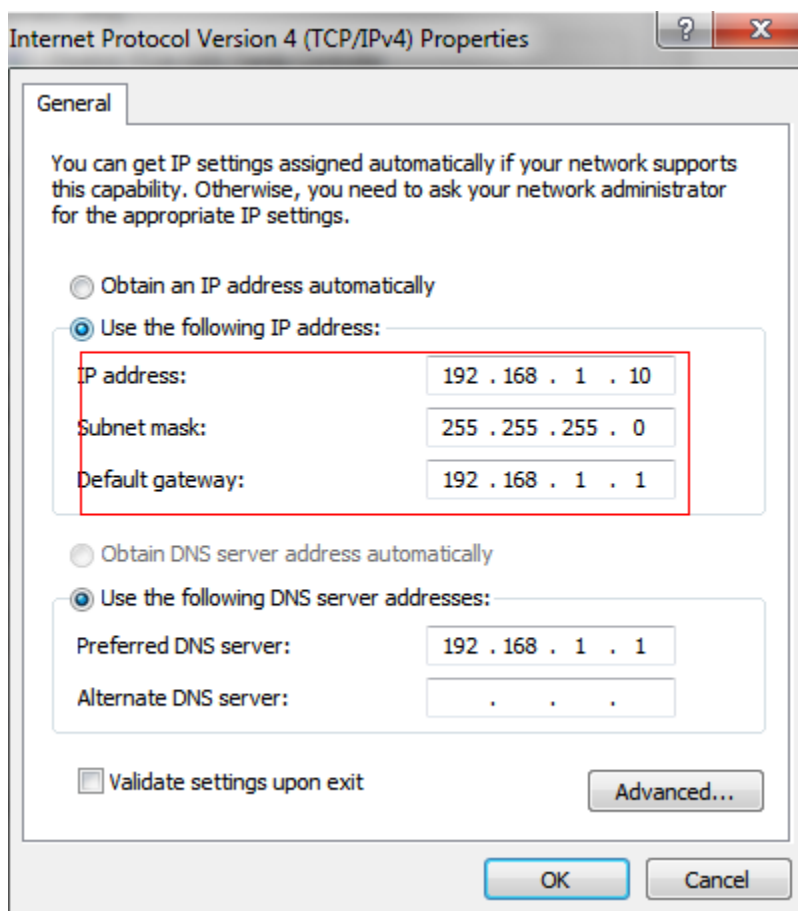
スマートツールの詳しい使用方法については、**スマートツールユーザーズマニュアル**を参照してください。

5.1.2 ブラウザによるIPアドレスの割り当て

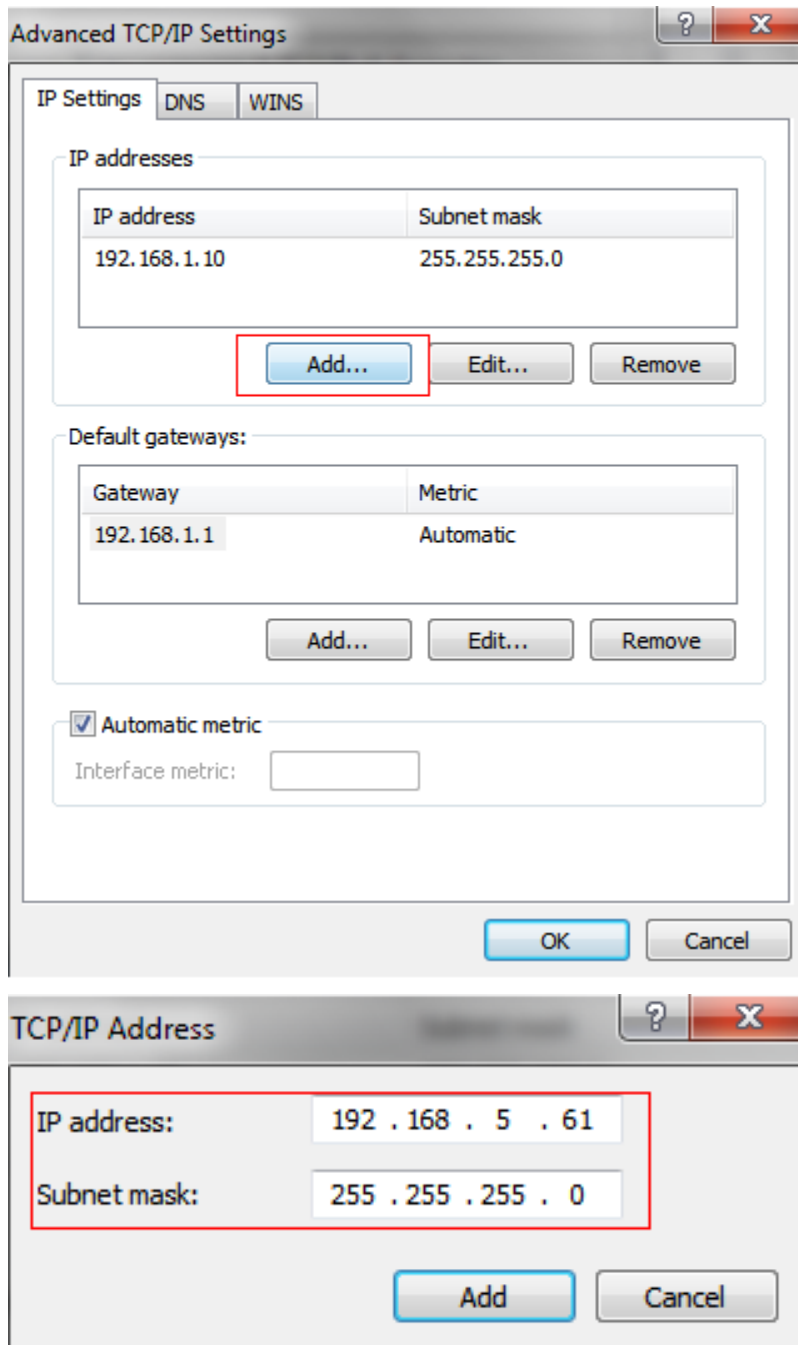
コンピュータのネットワークセグメントとカメラのネットワークセグメントが異なる場合は、以下の手順に従ってIPアドレスを変更してください：

ステップ1：コンピュータのIPアドレスを192.168.5.0セグメントに変更します：

a. スタート→コントロールパネル→ネットワークとインターネット接続→ネットワーク接続→ローカルエリア接続をダブルクリックします；



b. 「詳細設定」をクリックし、「IP設定」>「IPアドレス」>「追加」をクリックします。ポップアップウィンドウにMilesightネットワークカメラと同じセグメントにあるIPアドレスを入力します（例：192.168.5.61；）



ステップ2: ブラウザを起動します。アドレスバーにカメラのデフォルトIPアドレス <http://192.168.5.190> ;

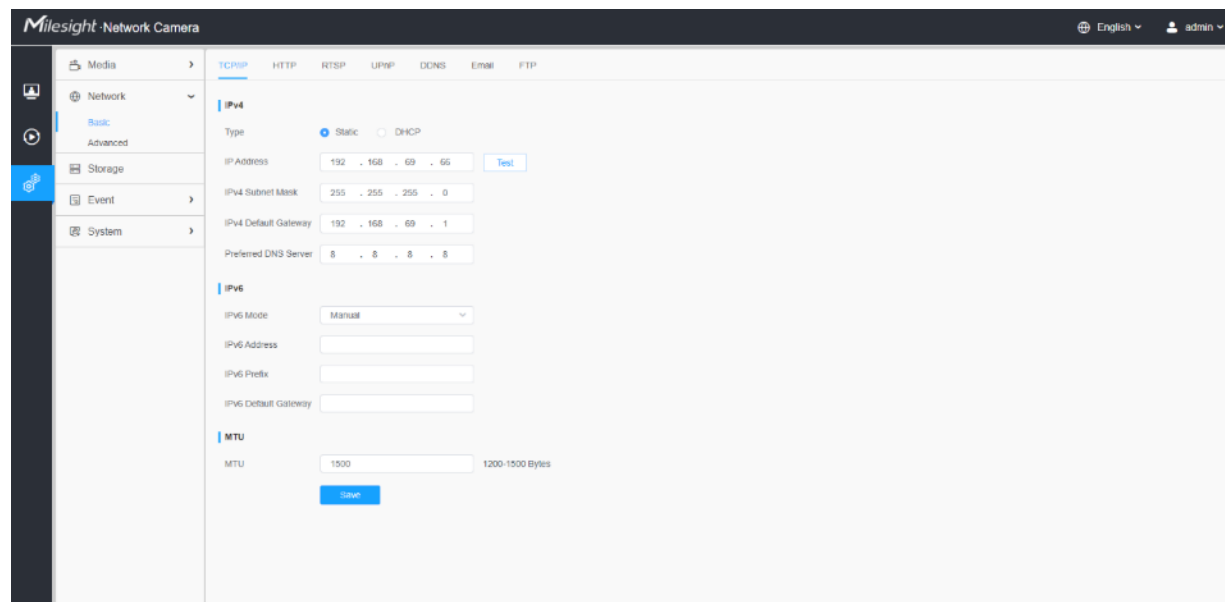
ステップ3: 初めて使用する場合、最初にパスワードを設定する必要があります。また、起動後にデバイスの3つのセキュリティ質問を設定することもできます。その後、ユーザー名 (admin) とカスタムパスワードでカメラにログインできます。

 注意

- パスワードは8文字以上32文字以内で、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- ログイン画面で"パスワードを忘れた場合"をクリックし、3つのセキュリティ質問に答えることでパスワードをリセットできます。

ステップ4:

ログイン後、"設定"→"ネットワーク"→"基本"→"TCP/IP"を選択してください。
ネットワーク設定ページが表示されます（下図）；



ステップ5： IPアドレスやその他のネットワーク値を変更します。その後、「Save」ボタンをクリックします；

ステップ6: デフォルトIPアドレスの変更は完了です。

5.2 ウェブブラウザからのアクセス

カメラはほとんどの標準的なオペレーティングシステムとブラウザで使用できます。カメラはプラグインフリーモードに対応するようにアップグレードされました。プラグインフリーモードでは、プラグインなしでブラウザ上でビデオをプレビューできます。現在、プラグインフリーモードは、Windowsシステム、MACシステム、iOSシステム、AndroidシステムのFirefox & Google Chrome & Safari & Edgeブラウザに対応しています。カメラのプラグインフリーモードでは、H.265とH.264の両方のビデオコーデックに対応しており、デフォルトでセカンダリストリームを再生します。

注意

- V4x.7.0.74以下のファームウェアの場合、ネットワークカメラをV4x.7.0.74以上にアップグレードしてください（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。

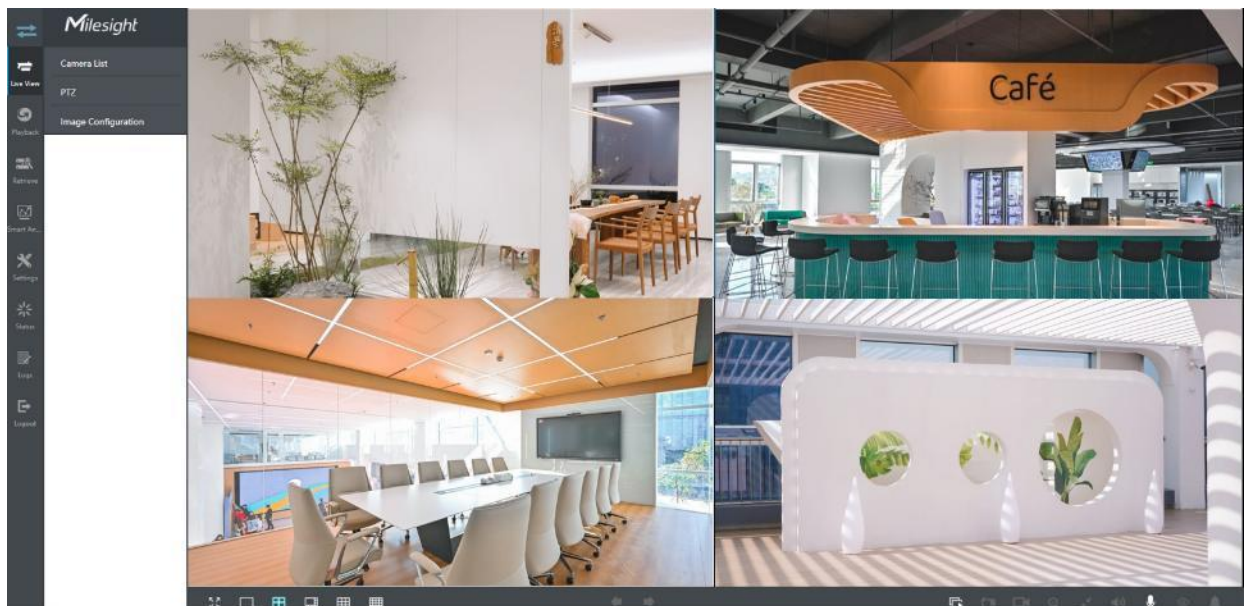
- V4x.7.0.74以上であれば、ブラウザの設定なしでプラグインフリーモードをお楽しみいただけます（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。
- Mileightカメラのプラグインフリーモードの設定については、
[https:// milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643388](https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643388) をご参照ください。

5.3 Mileightバックエンドソフトウェアからのアクセス

5.3.1 Mileight NVR(ネットワークビデオレコーダ)からのアクセス

Mileight NVRシリーズはMileightネットワークカメラと連動することができます。Mileight NVRシリーズは組み込みLinux動作システムをベースに、HDビデオデータを管理・保存します。マルチディスク管理システム、フロントエンドHDデバイス管理システム、HDビデオ分析システム、ビデオ用大容量システムを所有しています。また、インテリジェントな管理、安全な保存、HDデコーディングなどの機能を実現するために、マルチチャンネル・ビデオ・デコーディングを備えた大容量データ・ネットワーク伝送・送信の技術を採用しています。

Mileight NVRシリーズの詳しい使用方法については、**Mileight NVRユーザーマニュアル**をご参照ください。

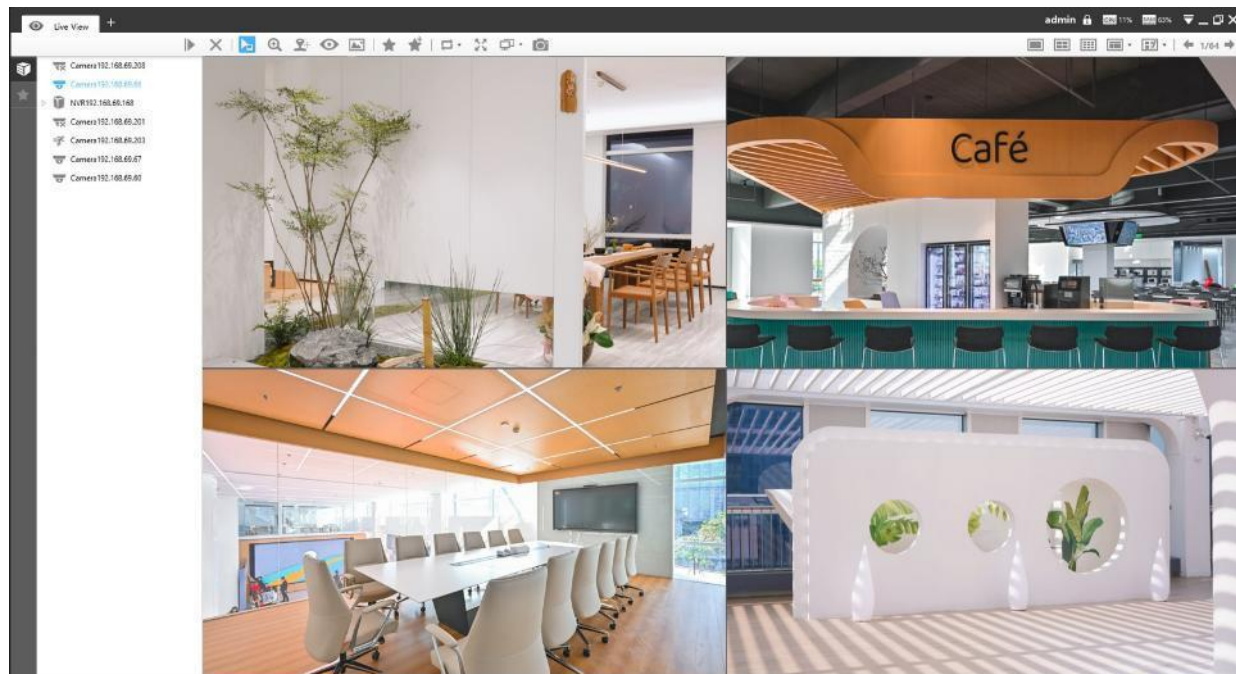


5.3.2 Mileight CMS（センター管理システム）からのアクセス

Mileight Central Management System (CMS)はMileightネットワークカメラとMileight NVRの中央管理システムです。最大256台のデバイスをコントロールし、より便利にリモートプレビューや再生ができるインテリジェントな監視ソリューションです。Mileight CMSソフトウェアは効率的な管理パフォーマンスにより、集中管理システムでの優れた管理体験をユーザーに提供します。

フレンドリーなUIデザインのインテリジェントなビデオ管理システムCMSは、あらゆるレベルのユーザーがABCのように簡単にソリューションをセットアップし、展開することを可能にします。さらに、Eマップ機能は、デバイスの空間分布を表示するためのスマートな方法をユーザーに提供します。ソフトウェアは、弊社ウェブサイト <https://www.milesight.com/>。

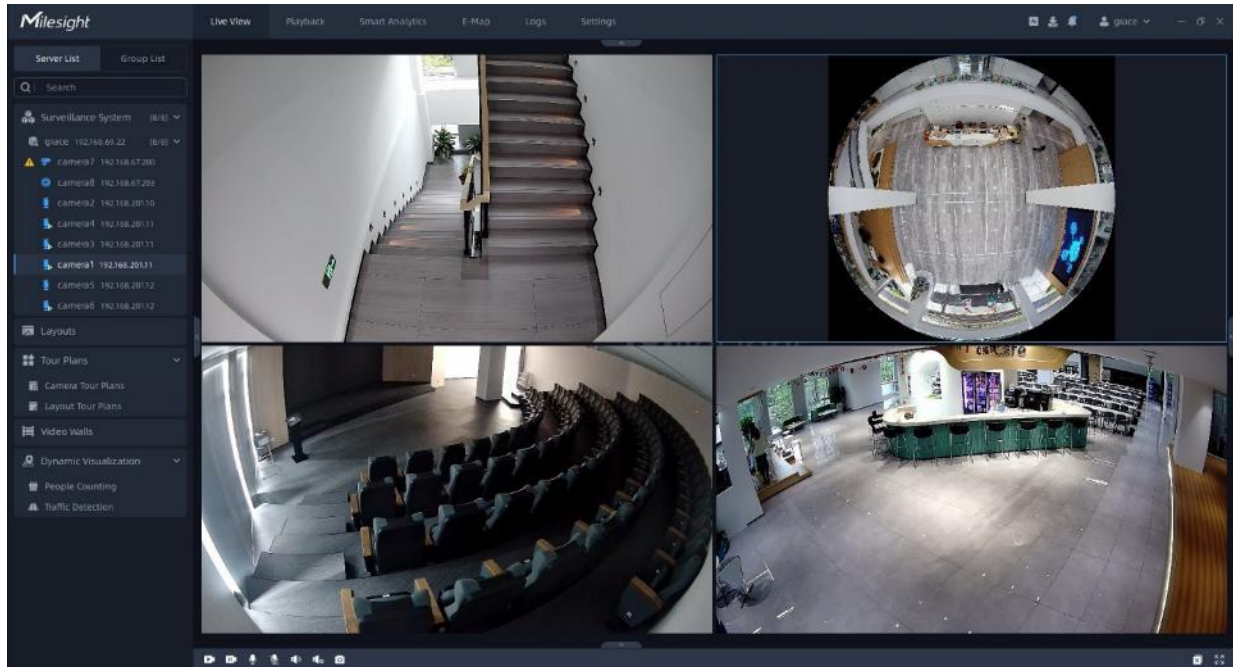
Milesight CMSをインストールし、プログラムを起動してカメラをチャンネルリストに追加してください。ソフトウェアの詳しい使用方法については、**Milesight CMSユーザーマニュアル**をご参照ください。



5.3.3 Milesight VMS Enterprise（ビデオ管理システム）からのアクセス

Milesight VMS Enterpriseは企業向けのプロフェッショナルでインテリジェントなビデオ管理ソフトウェアです。Milesightのカメラと一緒に使用することで、ビデオ監視をよりシンプルでフレッシュなものにすることができます。先進的なC/Sアーキテクチャにより、ライブビュー、録画、Eマップ、イベントアラーム、スマート分析などの豊富なコア機能を備え、お客様のご要望とご期待にお応えします。ソフトウェアは弊社ウェブサイト <https://www.milesight.com/>。

Milesight VMS Enterpriseをインストールし、プログラムを起動してカメラをチャンネルリストに追加してください。ソフトウェアの詳しい使用方法については **Milesight VMS Enterpriseユーザーマニュアル**をご参照ください。



第6章 ライブビューライブビュー

6.1 ライブ映像

ネットワークカメラのウェブGUIにログインすると、次のようにライブ映像を表示することができます。

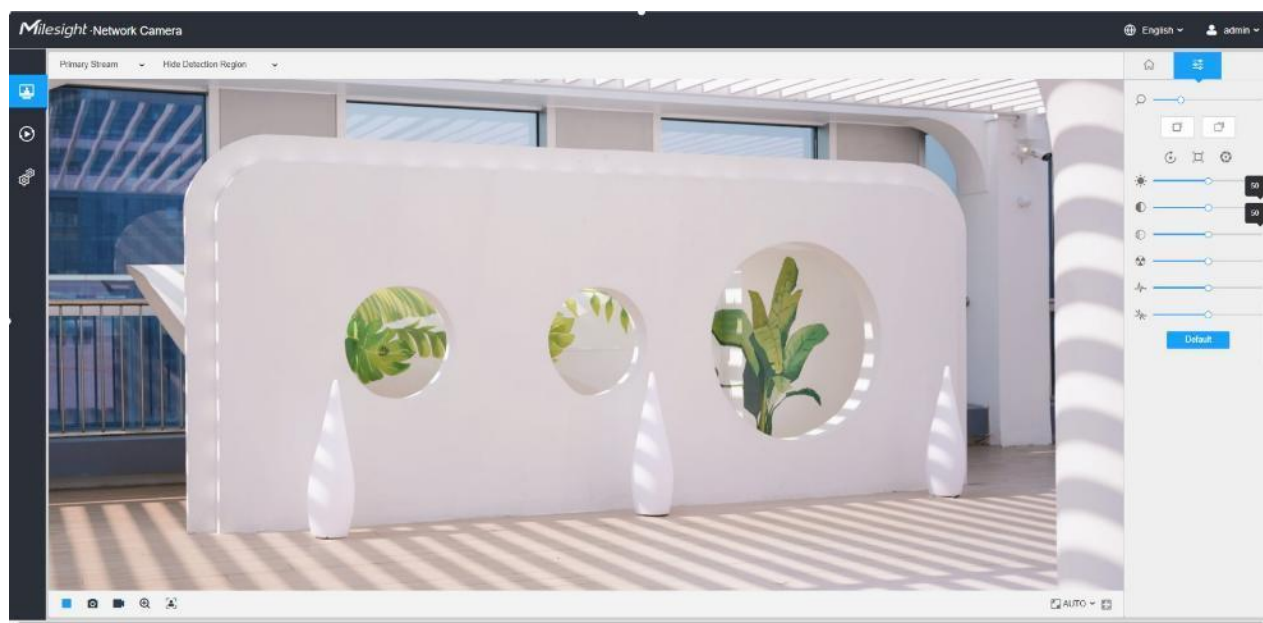
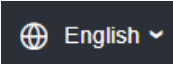
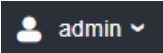
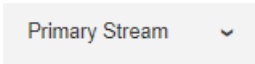
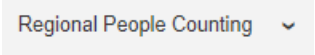
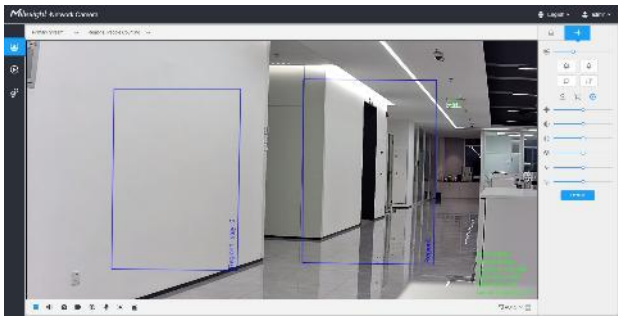
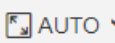
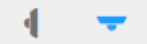
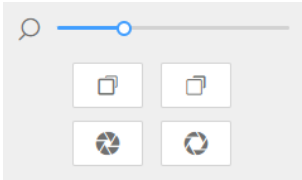
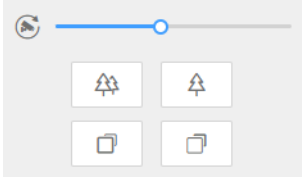
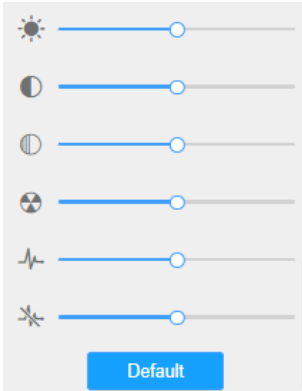


表 3. ボタンの説明

番号	パラメータ	説明
1	 ライブビデオ	クリックするとライブビューページにアクセスします。
2	 再生	クリックすると再生ページにアクセスします。
3	 設定	クリックすると設定ページにアクセスします。
4	 English	システム言語を選択します。

番号	パラメータ	説明
5		ユーザー名を表示し、クリックしてログアウトします。
6		現在のビデオウィンドウに表示するストリーム (Primary/Secondary/Tertiary) を選択します。
7		オプション (Hide Detection Region/Region Entrance/ Region Exiting/Advanced Motion/Line Crossing/Loitering/ People Counting/Object Left/Object Remove/Regional People Counting/Vehicle Counting/Hard Hat Detection) を選択し、現在のビデオウィンドウに検出領域を非表示/表示します。   注意 • People Counting/Regional People Counting は MS-Cxxxx-xPA および MS-Cxxxx-xPC ではオプションです。 • Hard Hat Detectionは、MS-Cxx66-xxC/MS-Cxx61-xxC/MS-Cxx71-xxCではオプションです。 • Vehicle Countingは、MS-Cxx63-xxC/MS-Cxx64-xFPC およびProシリーズ/PTZシリーズではオプションです。
8	 録画	録画中はアイコンが表示されます。
9	 アラーム	VCAイベントのアラームがトリガーされると、アイコンが表示されます。
10	 アラーム	人数カウントのアラームが発生した場合、アイコンが表示されます。
11	 アラーム	動体検知アラームが作動した場合、アイコンが表示されます。

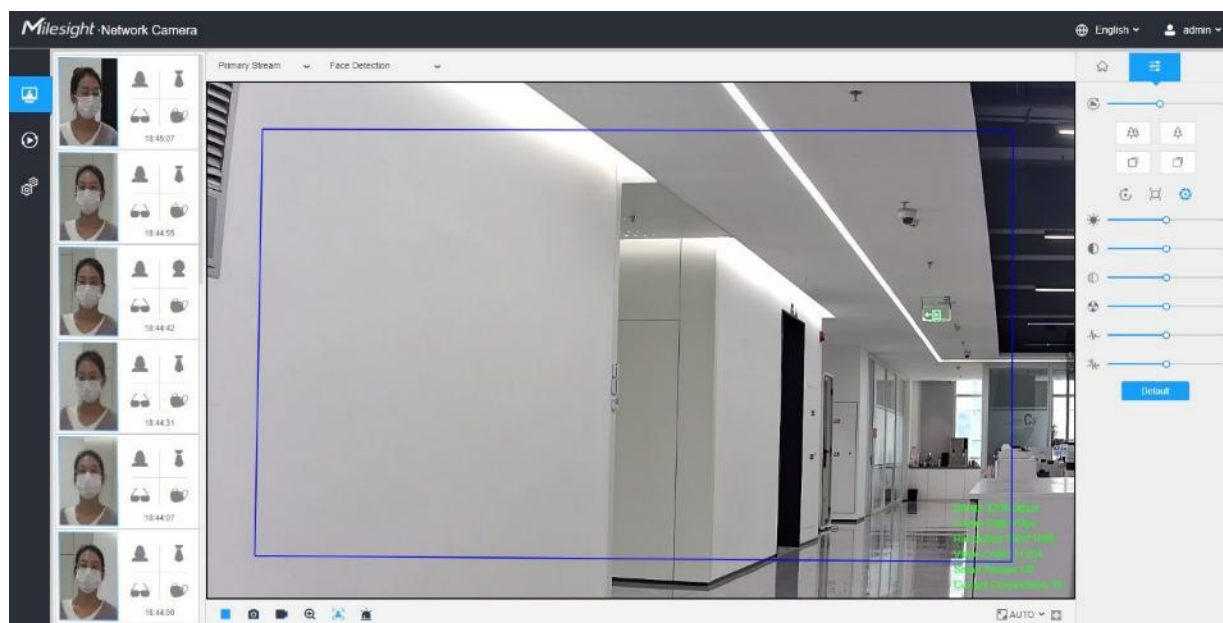
番号	パラメータ	説明
12	 アラーム	ハードハット検出のアラームがトリガーされると、アイコンが表示されます。
13	 アラーム	上記以外のアラームが発生した場合、アイコンが表示されます。
14	 停止/再生	ライブビューを 停止 ／ 再生 します。
15	 スナップショット	現在の画像をキャプチャし、設定したパスに保存します。デフォルトのパスはc:vms+-1xx image-manual。
16	 録画開始/停止	ビデオを 録画開始 し、設定したパスに保存します。デフォルトのパスは、 C:VMS+-1 。もう一度クリックすると 録画が停止 します。
17	 デジタルズーム	有効にすると、マウスホイールでビデオ画像の特定領域をズームすることができます。
18	 手動出力	カメラアラーム出力を手動でトリガーします。
19	 ウィンドウサイズ	ウィンドウサイズで画像を表示します。
20	 フルスクリーン	画像をフルスクリーンで表示します。
21	 顔検出	顔検出モードを有効にします。  注： カメラが MS-Cxxxx-xPC の場合のみ表示されます。
	 壁/天井	をクリックして設置にアクセスします。AIアルゴリズムはインストールに応じて変更されます（壁面アルゴリズム/天井アルゴリズム）。

番号	パラメータ	説明
		ズーム：レンズのズーム長さを調整します。  注：カメラに電動レンズが装備されている場合のみ動作します。
		フォーカスレンズのフォーカスを調整します。  注：カメラに電動レンズが搭載されている場合のみ動作します。
		アイリスレンズのアイリスを調整します。  注：カメラに電動レンズが搭載されている場合のみ動作します。
		フォーカススピード：フォーカスのスピードを調整します。  注：カメラが自動焦点レンズを装備している時だけ働きます。
		ズームクリックするとズームイン、ズームアウトします。  注：カメラがオートフォーカスレンズを搭載している場合のみ動作します。
		フォーカスクリックしてレンズの近くまたは遠くに焦点を合わせます。  注：カメラがオートフォーカスレンズを搭載している場合のみ動作します。 レンズ初期化、補助フォーカス、オートアイリス。  注意 - カメラがオートフォーカスレンズを搭載している場合、オートアイリスはデフォルトでオンになっています。 - オートアイリスは、カメラがPアイリスを搭載している場合に対応します。
		明るさ シーンの明るさを調整します。
		コントラスト 色と光のコントラストを調整します。
		彩度 ：画像の彩度を調整します：画像の彩度を調整します。彩度を高くすると色がより "純粋" に見え、低くするとより "ウォッシュアウト" に見えます。
		シャープネス 画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセルの境界がシャープになり、画像が「よりクリア」に見えます。
		2D DNR/3D DNR ：ノイズリダクションレベルを調整します。
		デフォルト ：明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。

6.2 顔検出モード

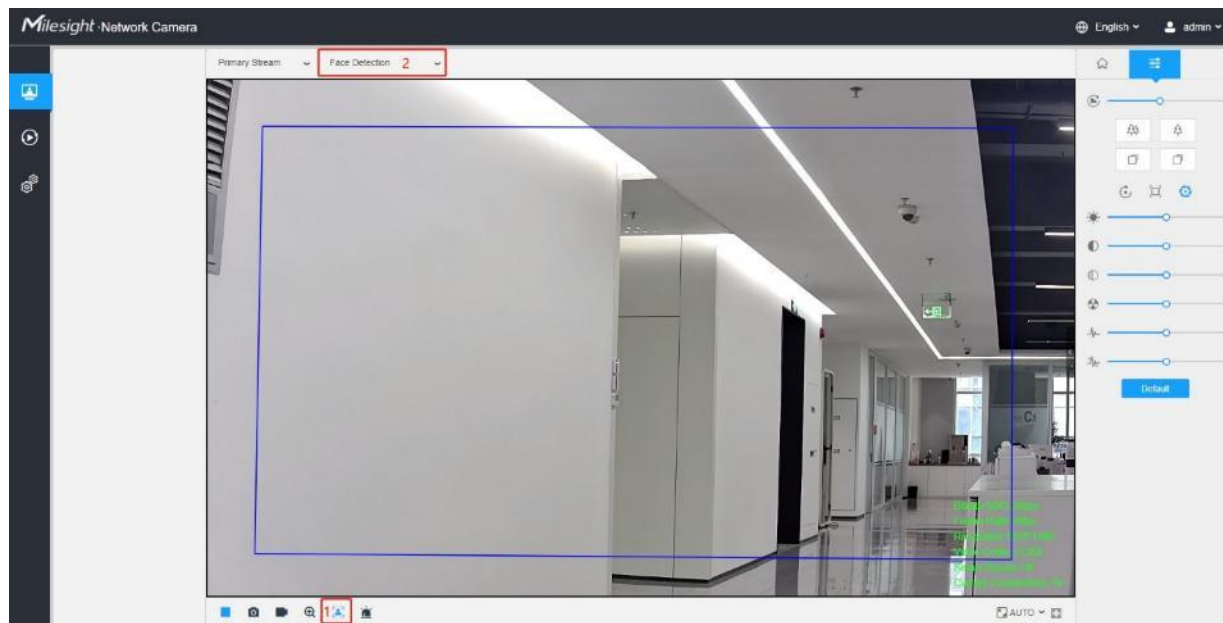
Milesightの顔検出機能は、監視シーンにいる人の顔を検出し、スナップショットをキャプチャすることで、監視効率を大幅に向上させ、パブリックセキュリティ、入退室管理、ビジネス管理などの大規模な人口関連産業に利益をもたらします。

 **注：**カメラのモデルがMS-Cxxxx-xPC/PEであることを確認してください。

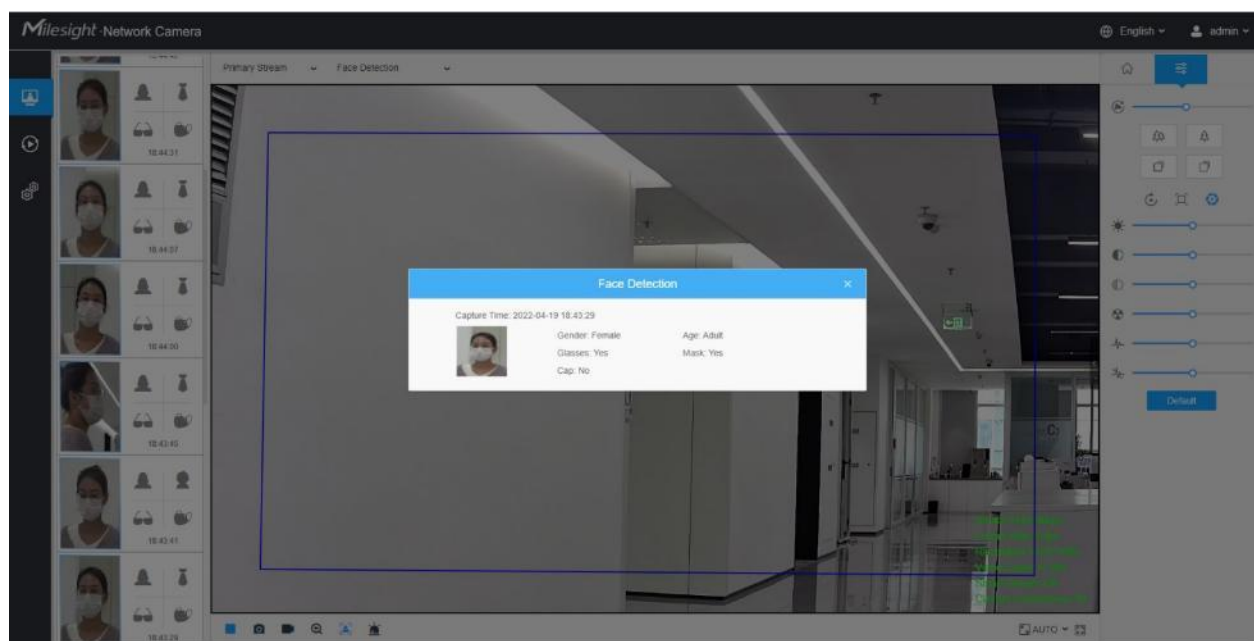


ステップ1：  をクリックして、顔検出モードを有効にします。カメラは設定した地域と条件に従って、ライブビューで顔を検出します。

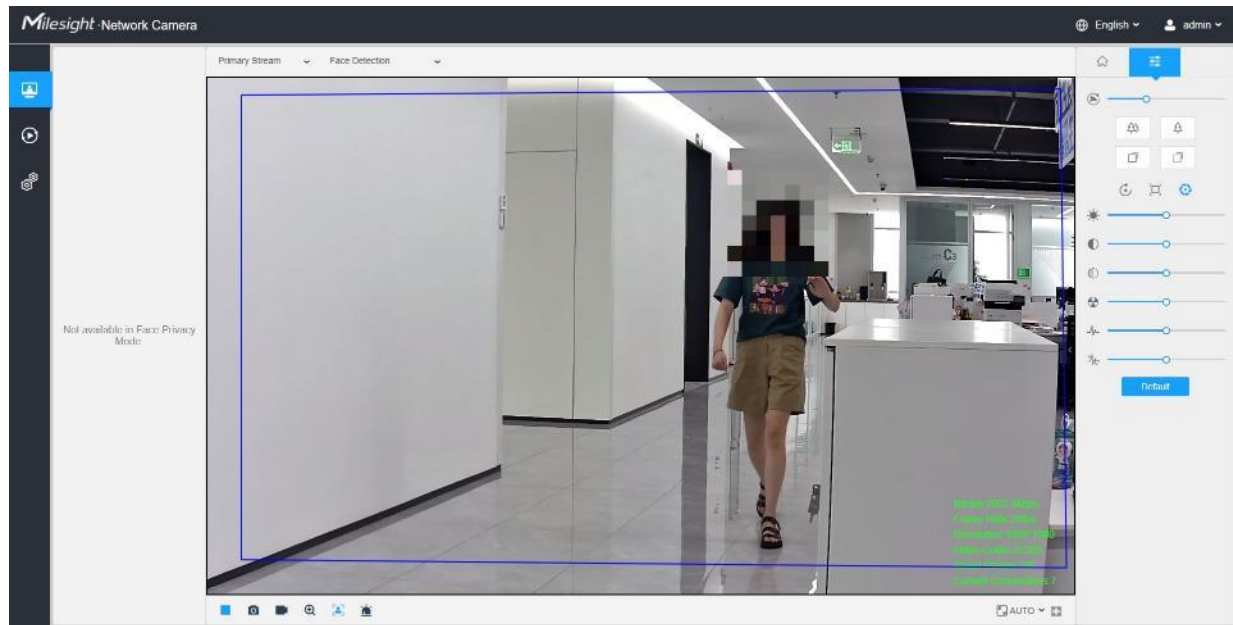
 **注意：**顔検出モードを有効にする前に、顔検出機能が有効に設定されていることを確認してください。顔検出の設定方法の詳細については、[8.4.4顔検出 \(156ページ\)](#) を参照してください。



Step2:属性認識を有効にすると、検出された顔の属性がライブビューインターフェースの左側に表示されます。



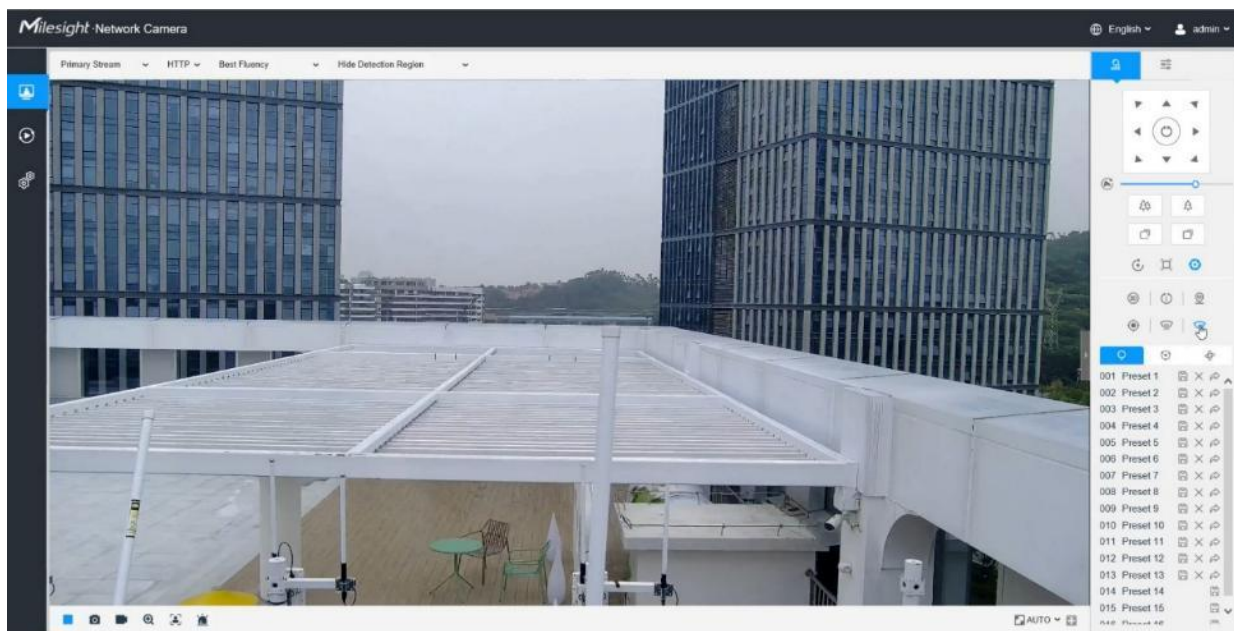
ステップ3: 顔プライバシー設定が有効な場合、顔検出領域で検出された顔は自動的にモザイク処理されます。モザイクの大きさは検出された顔の大きさに関係し、ユーザーは必要に応じて検出された顔の大きさをカスタマイズすることができます。顔プライバシー機能は、特殊なシナリオにおけるユーザーのニーズに応え、肖像権を大幅に保護します。



 **注：**顔キャプチャ/顔検出メッセージポスト/属性認識は、顔プライバシーモードでは使用できません。

6.3 PTZモード

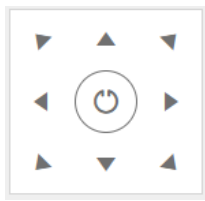
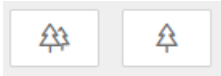
PTZネットワークカメラのWeb GUIに正常にログインすると、以下のようにライブ映像を表示できます。



6.3.1 ライブビューページでの動作

 その他のボタンの説明については、[表1 \(24ページ\)](#) を参照してください。

表 4. ボタンの説明

番号	パラメータ	説明
	 PTZコントロール	ナビゲーションキーは方向制御に使用します。回転キーは自動回転に使用します。
	 PTZ 速度	パン/チルト動作の速度を1から10まで調整します。
	 ズーム	クリックするとズームイン、ズームアウトします。

番号	パラメータ	説明
	 フォーカス	クリックすると、レンズの近くまたは遠くにピントを合わせます。
		レンズ初期化、補助フォーカス、オートアイリス。 注： オートアイリスはデフォルトでオンになっています。
		30秒照明 クリックすると、30秒照明用白色LEDを開閉します。 注： PTZ Bulletのみ。
		3Dポジショニング： クリックして、3Dポジショニングを有効/無効にします。
		ワンタッチパトロール クリックしてパトロールを実行します。
		オートホーム オートホームを有効にします。
		手動追跡 クリックすると移動体を追跡します。
		除湿 ファン作動モードを有効にします。
		手動ワイパー： 手動ワイパーを有効にします。ワイパーは前後に2回スワイプして停止します。 注： スマートレインセンサーワイパー付きAIスピードドームカメラのみ。
		各地域のビュー・チャンネルに300のプリセット位置を設定できます。
		各地域のビューチャンネルに8つのパトロールパスを設定できます。
		パターンを表示します。

6.3.2 3Dポジショニング

3DポジショニングはマウスクリックとドラッグでPTZをコントロールできます。

ステップ

- ライブビューインターフェースのツールバーの  をクリックします。
- 3Dポジショニング機能の動作
 - ライブビューの位置を左クリックすると、対応する位置がライブビューの中央に移動します。

- マウスの左ボタンを押したまま、ライブビューの右下または右上にマウスをドラッグします。対応する位置がライブビューの中央に移動し、ズームインします。
- マウスの左ボタンを押したまま、ライブビュー上でマウスを左下または左上にドラッグします。対応する位置がライブビューの中央に移動し、ズームアウトします。
- 長方形が大きいほど、ズームイン/ズームアウトが小さくなります。

6.3.3 プリセット/パトロール/パターンの設定/呼び出し

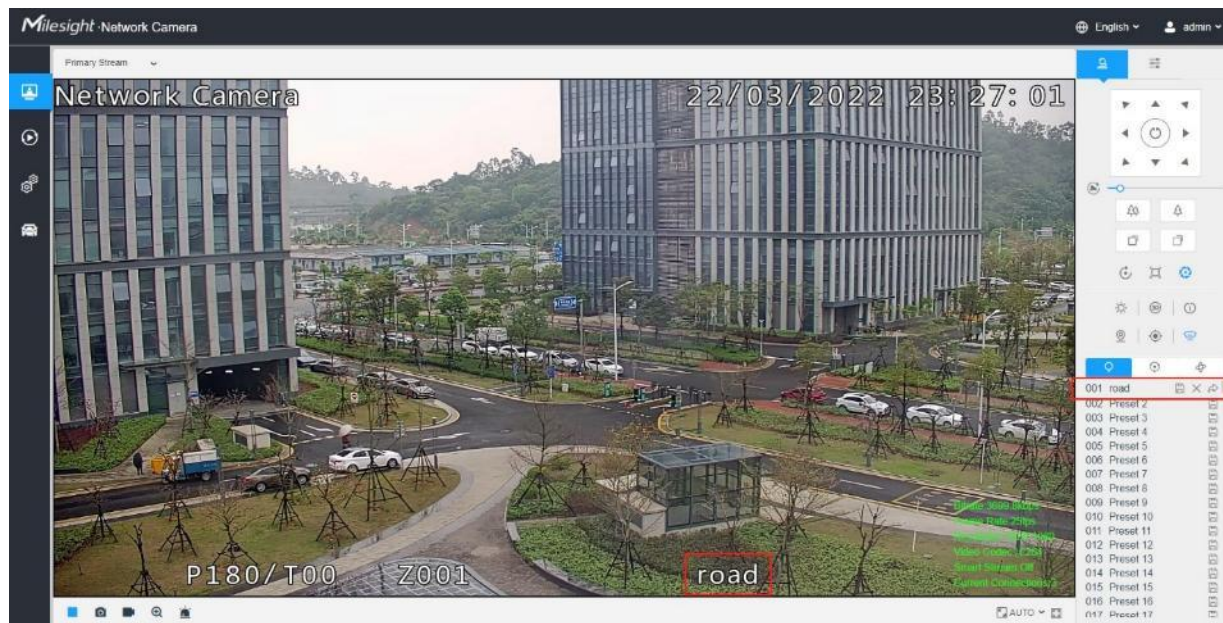
プリセットとは、あらかじめ設定された画像位置のことです。プリセットリストから呼び出しボタンをクリックすると、目的の画像位置に素早く移動できます。

プリセットの設定

ステップ1:

PTZコントロールパネルで、プリセットリストからプリセット番号を選択し、画面に表示されるプリセット名をカスタマイズすることもできます。下図のようにプリセット名をカスタマイズしてパトロールを設定すると、画面に表示されるパトロール名もカスタマイズされます；





Path 1 + × ↑ ↓

	Preset	Speed	Time
01	1	30	15
02	2	30	15
03	3	30	15

Save Cancel



ステップ2： PTZコントロールボタンを使用して、レンズを興味のある位置に移動します；

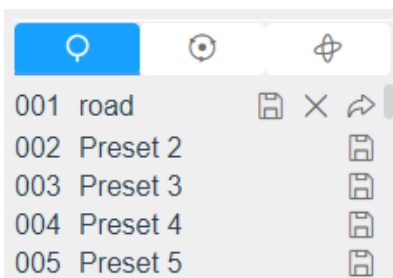
ステップ3：  をクリックして、現在のプリセットの設定を保存します；

ステップ4：  をクリックして、選択したプリセットを削除します。

注： 最大300プリセットまで設定可能（18プリセットは変更不可）。プリセットは300個まで設定できます（各地域のビューチャンネル）。

プリセットの呼び出し

プリセットリストから定義されたプリセットを選択し、 をクリックしてプリセットを呼び出します。



 **注：**以下のプリセットは、特別なコマンドで事前に定義されています。呼び出すことはできますが、設定することはできません。例えば、プリセット番号037は「Self Check」です。プリセット番号037を呼び出すと、PTZカメラはすぐにセルフチェック機能を開始します。

表5.特殊プリセット

特殊プリセット	機能	特殊プリセット	機能
33	オートフリップ（スピードドームのみ）	42	パス6
34	ゼロへ移動	43	パス7
35	セルフチェック	44	パス8
36	パトロール	45	パターン1
37	パス1	46	パターン2
38	パス2	47	パターン3
39	パス3	48	パターン4
40	パス4	49	スキャン 停止
41	パス5	50	オートスキャン



パトロールの設定／呼び出し

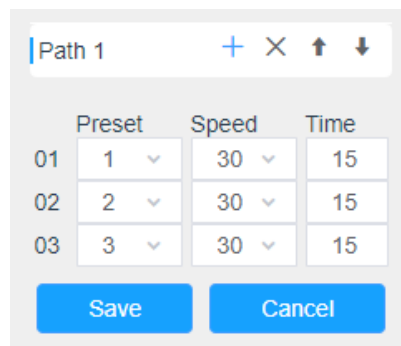
パトロールとは、プリセットされた一連の機能を記憶したものです。パトロール設定リストで設定し、呼び出すことができます。最大8つのパトロールをカスタマイズでき、48のプリセットで設定できます。パトロールを設定する前に、パトロールに追加したいプリセットが定義されていることを確認してください。

パトロールの設定

ステップ1 : PTZコントロールパネルで  をクリックして、パトロール設定インターフェースに入ります；

ステップ2 : パトロール番号を選択し、設定アイコンが  、それをクリックします；

ステップ3  をクリックして、図に示すように、このパトロールにプリセットを追加します；

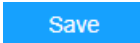


	Preset	Speed	Time
01	1	30	15
02	2	30	15
03	3	30	15

ステップ4 : プリセット番号、パトロール速度、およびパトロール時間を設定します；

表6.パトロール設定の説明

名称	説明
Patrol Speed	プリセットからプリセットへの移動速度。
Patrol Time	1つのパトロールポイントに滞在する時間。PTZカメラは設定されたパトロール時間後に別のパトロールポイントに移動します。

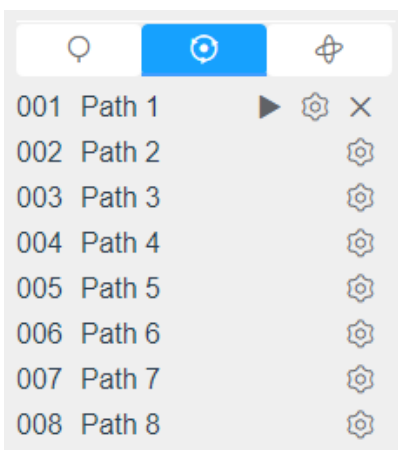
ステップ5 :  をクリックして、パトロール設定を保存します。

注意

- パトロール速度はパトロールモードでのみ機能します。
- パトロール時間はPTZ Bulletでは15~120秒、Speed Domeでは0~120秒です。

パトロールを呼び出します：

PTZコントロールパネルで、パトロールリストから定義されたパトロールを選択し、下図のように  をクリックしてパトロールを呼び出します。



注：パトロールリストの後ろにある3つのボタンは、「再生」、「設定」、「削除」を意味します

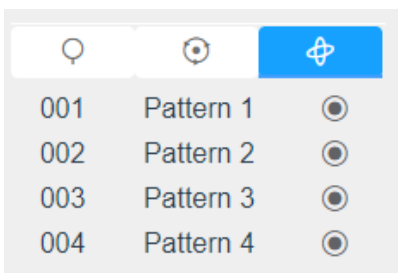
パターンの設定/呼び出し

パターンは、パン、チルト、ズームおよびプリセット機能の一連の記憶されたものです。パターン設定インターフェースで呼び出すことができます。最大4つのパターンを設定できます。

パターンの設定

ステップ1：PTZコントロールパネルで  をクリックして、パターン設定インターフェースに入ります；

ステップ2：下図のように、パターンリストからパターン番号を選択します；



ステップ3：  をクリックして、パン、チルト、ズームの動作を録画します；

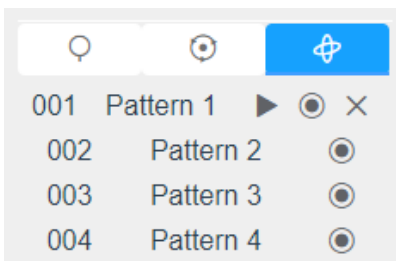
ステップ4：PTZコントローラーのボタンを使って、レンズを興味のある位置に移動します；

ステップ5：  をクリックして、すべてのパターン設定を保存します。

注：OSDの数字のパーセンテージはパターンの残りスペースです。100%からスタートし、0%を切ります。

パターンを呼び出します：

PTZコントロールパネルで、パターンリストから定義されたパターンを選択し、 をクリックしてパターンを呼び出します。



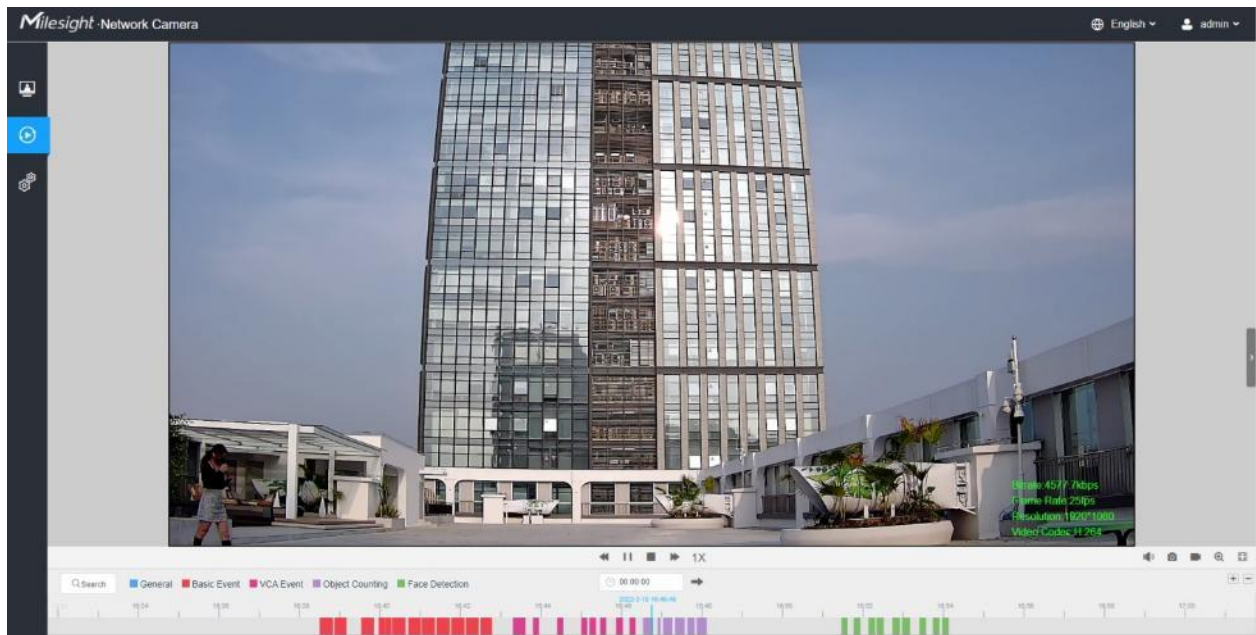
注意

パターンリストの後ろの3つのボタンは意味します：再生、録画、削除。

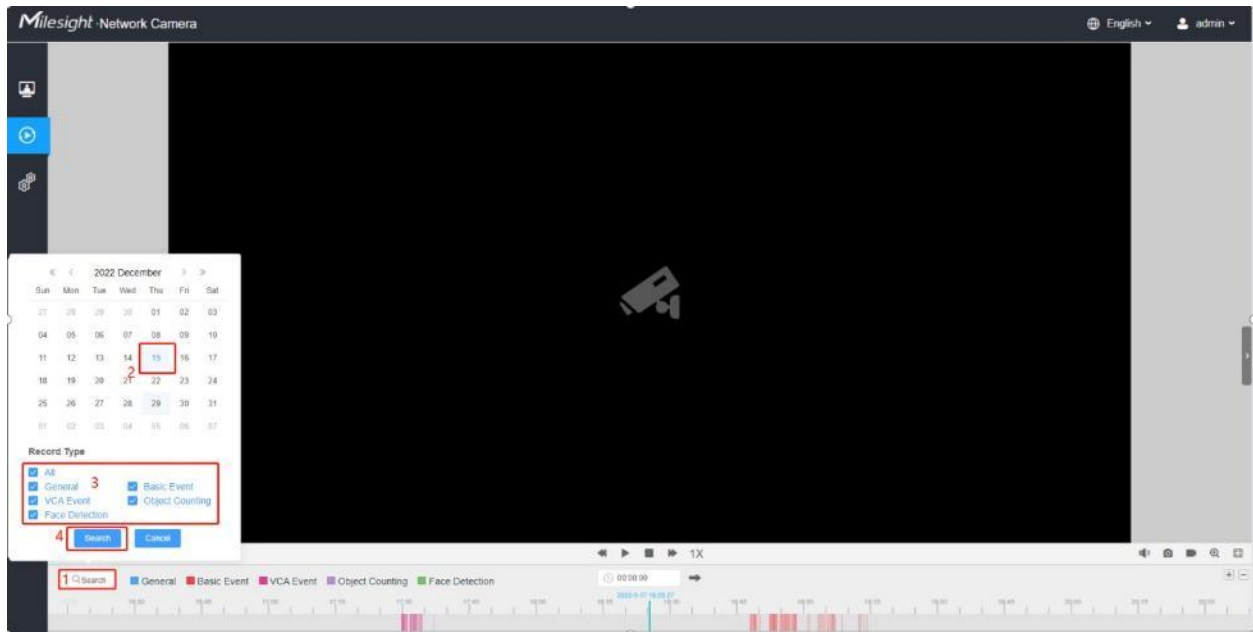
パターン設定時、パンとチルトは有効ですが、リミットストップとオートフリップは無効になります。また、3D ポジショニング動作には対応していません。

第7章 再生

🔍 をクリックして、再生インターフェイスに入ります。このパートでは、SDカードまたはNASに保存された録画ビデオファイルを検索し、再生することができます。再生インターフェイスは以下の通りです：



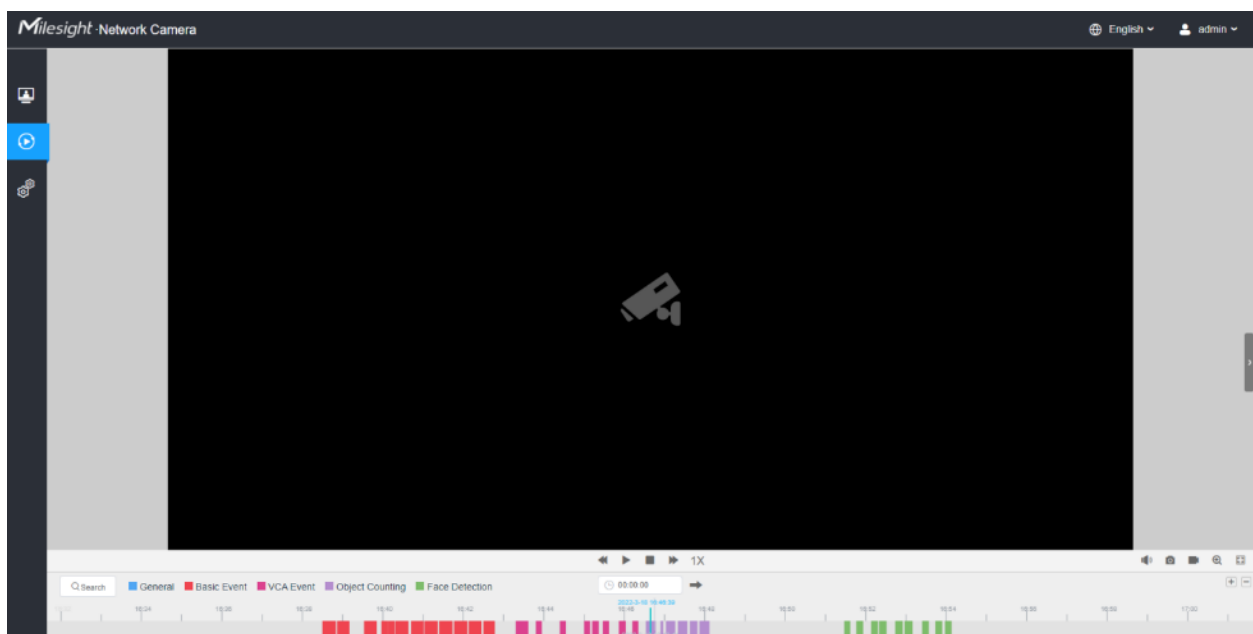
ステップ1: 「Search」 ボタンをクリックし、ウィンドウがポップアップしたら、データと録画タイプを選択します。



ステップ2: タイムラインはその日のビデオファイルを表示し、選択された記録タイプに応じて異なる色を表示します。必要に応じて、マウスでプログレスバーをドラッグして正確な再生ポイントを見つけます。



注: 時間を入力し ➡ をクリックして、ファイル内の再生ポイントを 🕒 00:00:00 に見つけることもできます。また、⊕ ⊖ をクリックすると、プログレスバーをズームアウト/ズームインできます。



ステップ3: ▶ をクリックして、この日に見つかったビデオファイルを再生します。再生インターフェースのボタンにあるツールバーを使用して、再生プロGRESSを制御することができます。

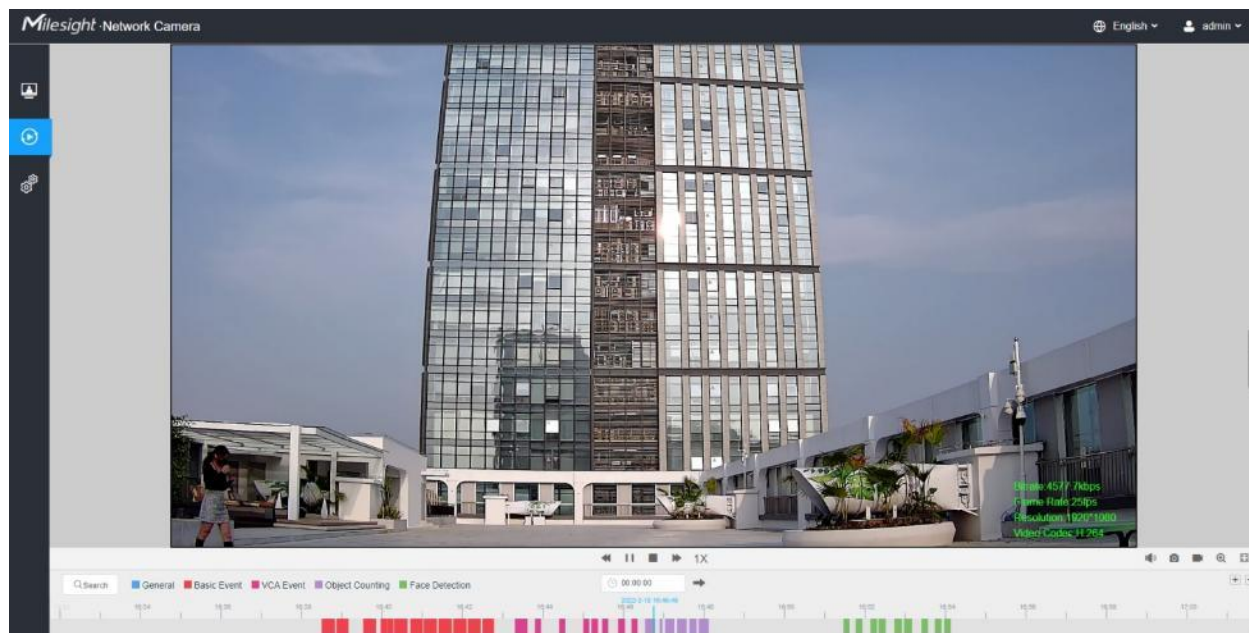


表7.ボタンの説明

番号	パラメータ	説明
Q Search		録画されたビデオを検索する日付を選択します。
		記録タイプ(All/General/ Basic Event/VCA Event/Object Counting/Face Detection) によって記録されたビデオを検索します。タイムラインは、選択した記録タイプに応じて、以下のように異なる色で表示されます： ☐ General ☐ Basic Event ☐ VCA Event ☐ Object Counting ☐ Face Detection 注意： 顔検出はカメラがMS-Cxxxx-xPCの場合のみ表示されます。 LPR カメラの場合、記録タイプにはAll/General/Basic Event/LPRがあります。タイムラインは選択した記録タイプに応じて、以下のように異なる色で表示されます： ☐ General ☐ Basic Event ☐ LPR

番号	パラメータ	パラメータ
1	 スピードダウン/スピードアップ/スピード	ビデオの再生速度を調整します。 スピード・ダウン：再生速度の0.5倍と0.25倍を含みます。 スピードアップ：2倍速と4倍速があります。 スピード：デフォルトの再生スピードは1倍です。
2	 再生/一時停止	ビデオを再生/一時停止します。
3	 停止	ビデオを停止します。
4	 時間検索	検索したい時間を選択します。
5	 ジャンプ	移動します。

表 8. ボタンの説明

番号	パラメータ	説明
1	 ミュート	音声を有効にします。
2	 スナップショット	クリックするとスナップショットが撮影されます。
3	 録音開始/停止	録画の開始/停止をクリックします。
4	 デジタルズーム	クリックしてズームをオン/オフします。
5	 フルスクリーン	フルスクリーン。

番号	パラメータ	説明
6	 時間拡大/縮小	時間拡大／縮小

第8章 設定

8.1 Media

8.1.1 Video

ストリームパラメーターはこのモジュールで設定でき、さまざまなネットワーク環境や需要に対応します。

Primary Stream Settings

The screenshot displays the 'Mileight Network Camera' web interface. On the left is a dark sidebar with icons for Media, Network, Storage, Event, and System. The 'Media' section is expanded, showing 'Video', 'Image', and 'Audio'. The main content area is titled 'Primary Stream' and contains two tabs: 'General' and 'Event'. The 'General' tab is active, showing various video stream parameters for both Primary and Secondary streams. A 'Save' button is located at the bottom of the settings.

Record Stream Type	General	Event
Enable	☒	☐
Video Codec	H.264	H.264
Frame Size	1920*1080	1920*1080
Maximum Frame Rate	25	25
		fps
Bit Rate	4096	4096
		kbps
Smart Stream	Off	Off
Bit Rate Control	CBR	CBR
Profile	Main	Main
I-frame Interval	50	50
		frame(1-120)

Save

Secondary Stream Settings

The screenshot displays the 'Secondary Stream' configuration page of the Mileight Network Camera. The interface includes a left sidebar with navigation options: Media (Video, Image, Audio), Network, Storage, Event, PTZ, and System. The top right shows language settings (English) and a user profile (admin). The main content area is divided into three tabs: Primary Stream, Secondary Stream (active), and Tertiary Stream. The Secondary Stream settings are as follows:

Setting	Value
Enable	☒
Video Codec	H.265
Frame Size	704*576
Maximum Frame Rate	30 fps
Bit Rate	512 kbps
Smart Stream	Off
Bit Rate Control	CBR
Profile	Base
I-frame Interval	60 frame (1-120)

A 'Save' button is located at the bottom of the settings panel.

Tertiary Stream Settings

The screenshot displays the 'Tertiary Stream' configuration page of the Mileight Network Camera. The interface is identical to the previous one, but the 'Tertiary Stream' tab is active. The Tertiary Stream settings are as follows:

Setting	Value
Enable	☒
Video Codec	H.264
Frame Size	640*480
Maximum Frame Rate	25 fps
Bit Rate	1024 kbps
Smart Stream	Off
Bit Rate Control	CBR
Profile	Main
I-frame Interval	50 frame (1-120)

A 'Save' button is located at the bottom of the settings panel.

表 9. ボタンの説明

パラメーター	機能
Record Stream Type	General & EventはPrimary Stream. Generalでのみ使用できます。イベントには、モーション、例外、LPR などのアラームをトリガーするイベントが含まれます。 この項目では、録画ストリームタイプごとに異なるビットレートとフレームレートを設定できます。Eventを選択すると、イベント発生時にビデオストリームタイプの設定に従ってビデオが録画されるため、録画容量を大幅に削減できます。
Enable Event Stream	この項目はイベントを選択した場合のみオプションです。
Video Codec	H.265/H.264/MJPEGを選択できます。
Frame Size	8M(3840×2160), 6M(3072×2048), 5M(2592×1944), 5M(2560×1920), 5M(2560×1440), 4M(2592×1520), 3M(2304×1296), 3M(2048×1536)、1080p(1920×1080)、2M(1600×1200)、1.3M(1280×960)、720p(1280×720)、d1(704×576)。 Secondary Streamでは、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176。  Tertiary Streamには、1920×1080、1280×720、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176が含まれます。 注：Frame Sizeのオプションはモデルによって異なります。
Maximum Frame Rate	最大フレームレートはモードによって異なります。
Bit Rate	この項目はH.265/ H.264を選択した場合のみオプションです。 ビットレートを32～16384Kbpsに設定します。値が高いほど高画質になり、高い帯域幅が必要になります。
Smart Stream	スマートストリームモードのオン/オフを選択します。スマートストリームモードは、高画質を保証しながら、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージの要件を大幅に削減します。 Level：レベル1～10は必要に応じて選択できます。
Bit Rate Control	CBR ：コンスタント・ビットレート。CBR出力のレートは一定です。
Bit Rate Control	VBR ：可変ビットレート。VBRファイルは時間セグメントごとに出力データ量を変化させます。
Image Quality	Low/Medium/High があり、VBRを選択した場合のみオプションです。

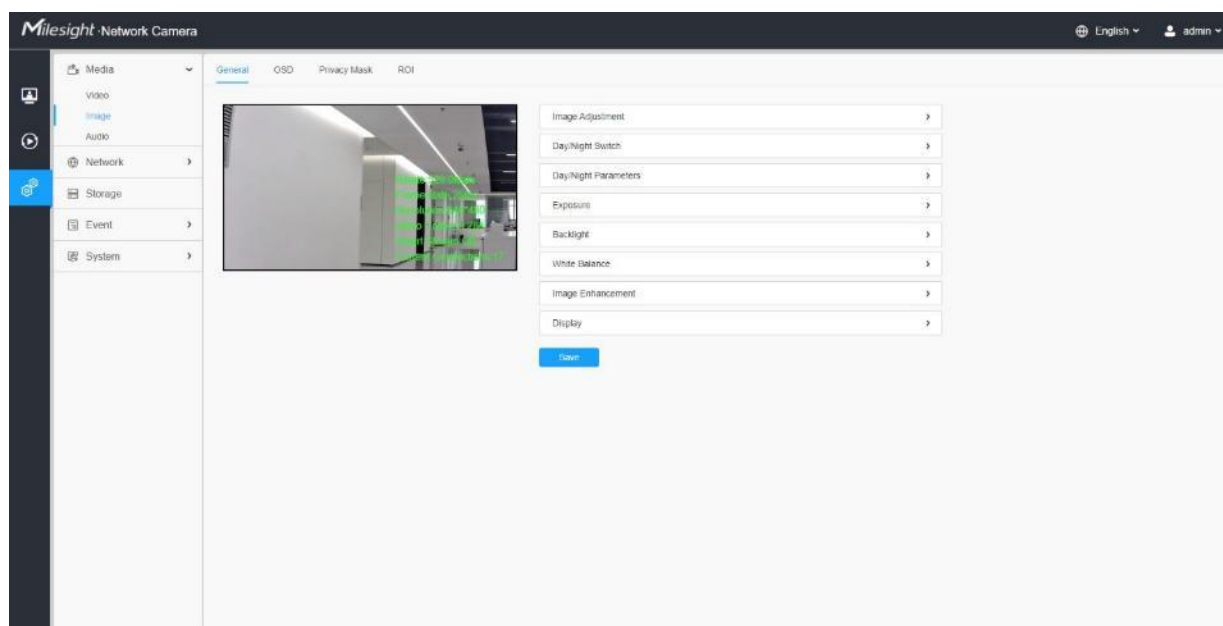
パラメータ	機能
Profile	H.264用のオプションで、必要に応じてMain/High/Baseを選択できます。
I-frame Interval	I-フレーム間隔を1~120に設定します。この項目はH.265/H.264を選択した場合のみ選択可能です。フレーム数の倍数で設定してください。

8.1.2 Image

このモジュールでは、画像調整、デイナイト設定、画像強調を含む画像の一般的な設定を行うことができます。OSD(オンスクリーンディスプレイ)コンテンツ、プライバシーマスク、ビデオタイムは、画像情報を豊富に表示できます。

8.1.2.1 General

このモジュールでは、[画像調整]、[デイ/ナイトスイッチ]、[デイ/ナイトパラメータ]、[露出]、[バックライト]、[ホワイトバランス]、[画像補正]、[表示]などの画像の一般的な設定を行うことができます。



[Image Adjustment]

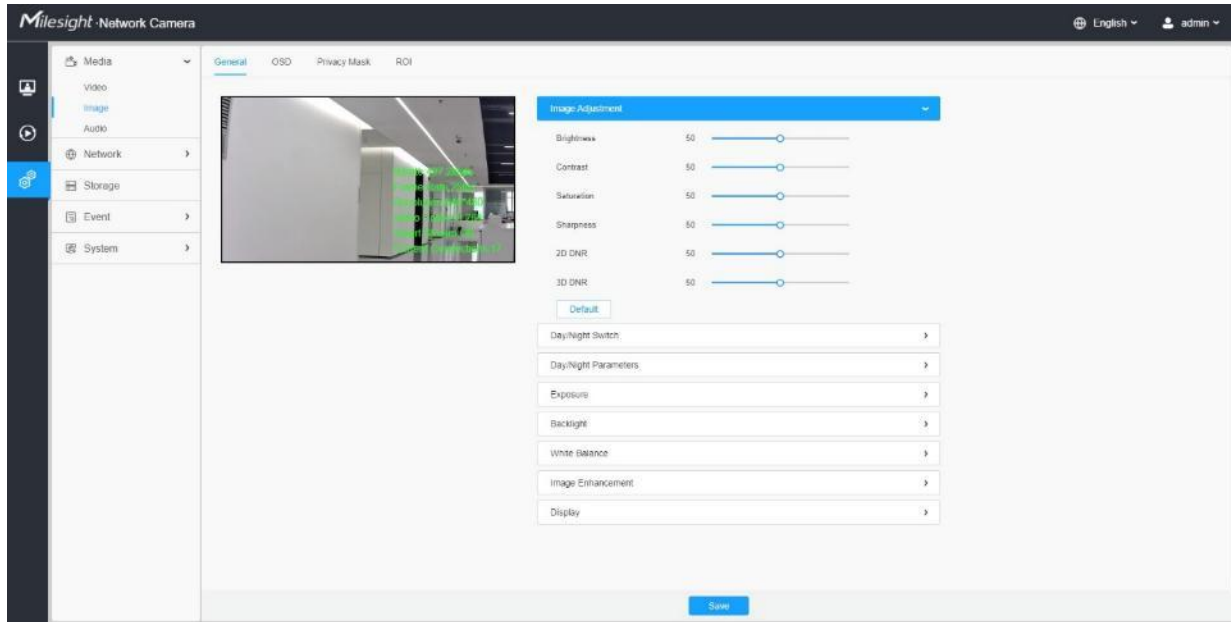


表 10.ボタンの説明

パラメータ	機能
Brightness	シーンの明るさを調整します。
Contrast	色と光のコントラストを調整します。
Saturation	画像の彩度を調整します。彩度を高くすると色がより「純粋」に見え、低くするとより「ウォッシュアウト」に見えます。
Sharpness	画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセルの境界がシャープになり、画像が「よりクリア」に見えます。
2D DNR	ノイズ除去レベルを調整します。
3D DNR	明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。
Default	シーンの明るさを調整します。

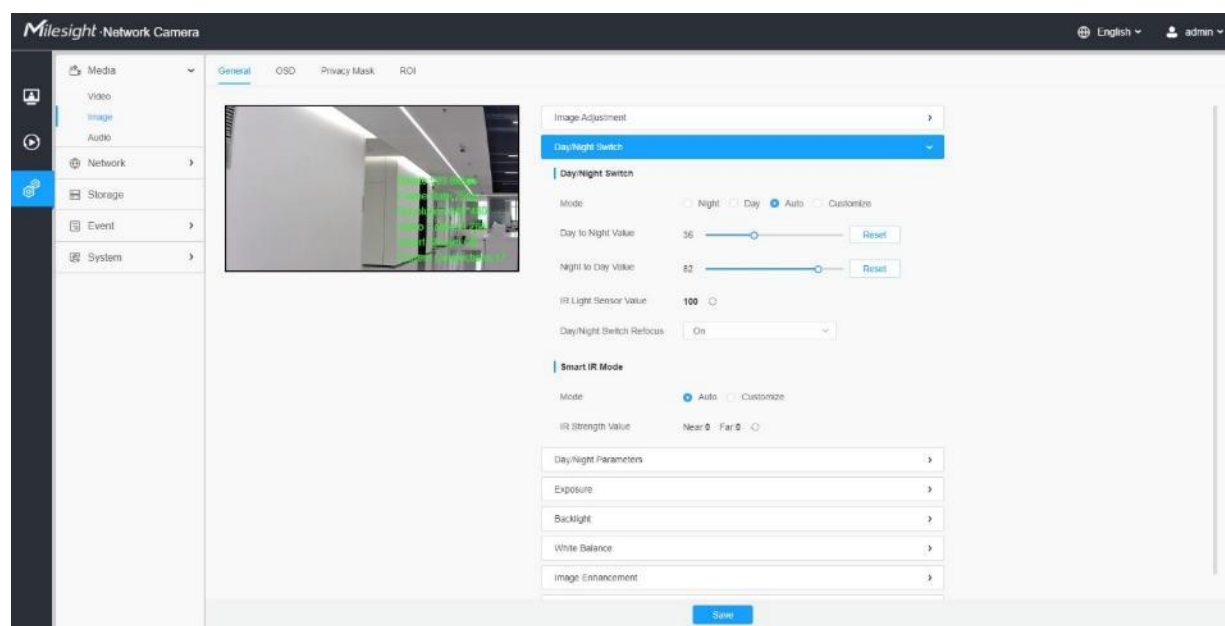


表 11.ボタンの説明

パラメータ	機能
Day/Night Switch	Night Mode : ナイトモード設定に基づいてライブビューに表示されます。 Day Mode : デイモードの設定に基づきライブビューで表示します。 Auto Mode : 環境に応じてライブビューに表示され、デイモードからナイトモード、ナイトモードからデイモードへの切り替え感度を設定します。 Customize : ナイトモードを開始/終了する時間を設定します。  注 : 各モードには、露光レベル、最大露光時間、IR-CUT間隔などのパラメータがあります。
Day/Night Switch	Day/Night Switch Refocus : このオプションを有効にすると、デイモードとナイトモードの切り替え時に、カメラはリフォーカスを行います。

パラメータ	機能
Day/Night Switch	Day to Night Value : デイモードからナイトモードへの切り替え感度を設定できます。IRライトセンサー電流値がこの値より低い場合、デイモードをナイトモードに切り替えます。  をクリックすると、値が36にリセットされます。 Night to Day Value : ナイトモードからデイモードへの切り替え感度です。IRライトセンサー電流値がこの値より高い場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。  をクリックすると、値を82にリセットできます。 IR Light Sensor Value : IRライトセンサーの現在値。  注: 3つのボタンは、自動モードを選択した場合のみオプションです。
Day/Night Switch	Start Time of Night : ナイトモードの開始時間を設定できます。 End Time of Night : デイモードの開始時間を設定します。  注 : 夜間開始/終了時刻は、カスタマイズモードを選択した場合のみオプションです。
Smart IR Mode	IRの強さをAuto ModeまたはCustomizeに設定し、最良の効果を得るための対応。 ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LEDの技術がアップグレードされ、対象物の距離に関係なく、より鮮明で高品質な画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整できます。さらに、IR反射防止パネルにより、赤外光の透過率が大幅に向上しています。 Near View IR Level : ロービームLEDの光量を0～100の間で調整します。 Far View IR Level : ハイビームLEDの光量を0～100の間で調整します。  注意 • Near/Far View IR Levelは、Smart IRのCustomize Modeを選択した場合のみオプションです。 • 光量を 50 にリセットするには、  をクリックします。 IR Strength Value : ロービームLEDとハイビームLEDの現在の値。

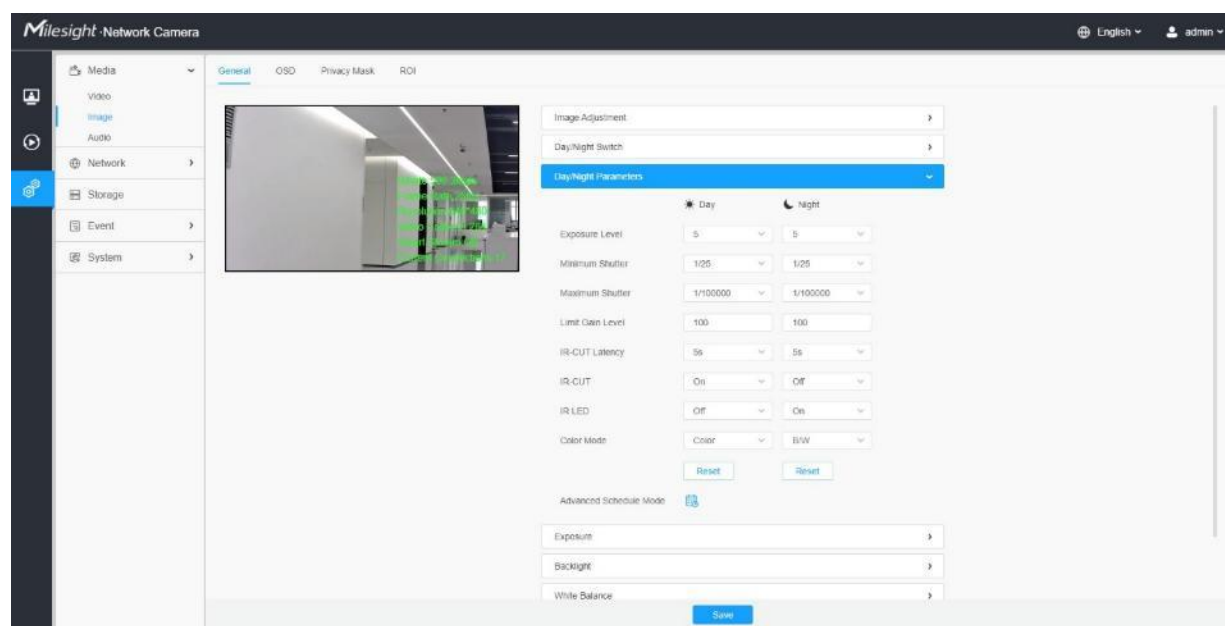


表 12.ボタンの説明

パラメータ	機能
Exposure Level	レベル 0~10 はあなたの必要性を満たすために利用できます。
Minimum Shutter	最小シャッターは最大露光時間と同じです。最小シャッターは1~1/100000sに設定します。
Maximum Shutter	最大シャッターは最小露光時間と同じです。最大シャッターは1~1/100000sに設定してください。
IR-CUT Latency	モードを別のモードに切り替える間隔時間。
Limit Gain Level	Limit Gain Levelを1~100に設定します。
IR-CUT	IR-CUT のオン/オフを設定します。
IR LED	IR-LED のオン/オフを切り替えます。
Color Mode	白黒またはカラーモードを選択します。

パラメーター	機能
Advanced Schedule Mode	ここでは、異なる時間帯の特別な要求をカスタマイズすることができ、設定に従ってデイモードとナイトモードが自動的に切り替わります。

[Exposure]

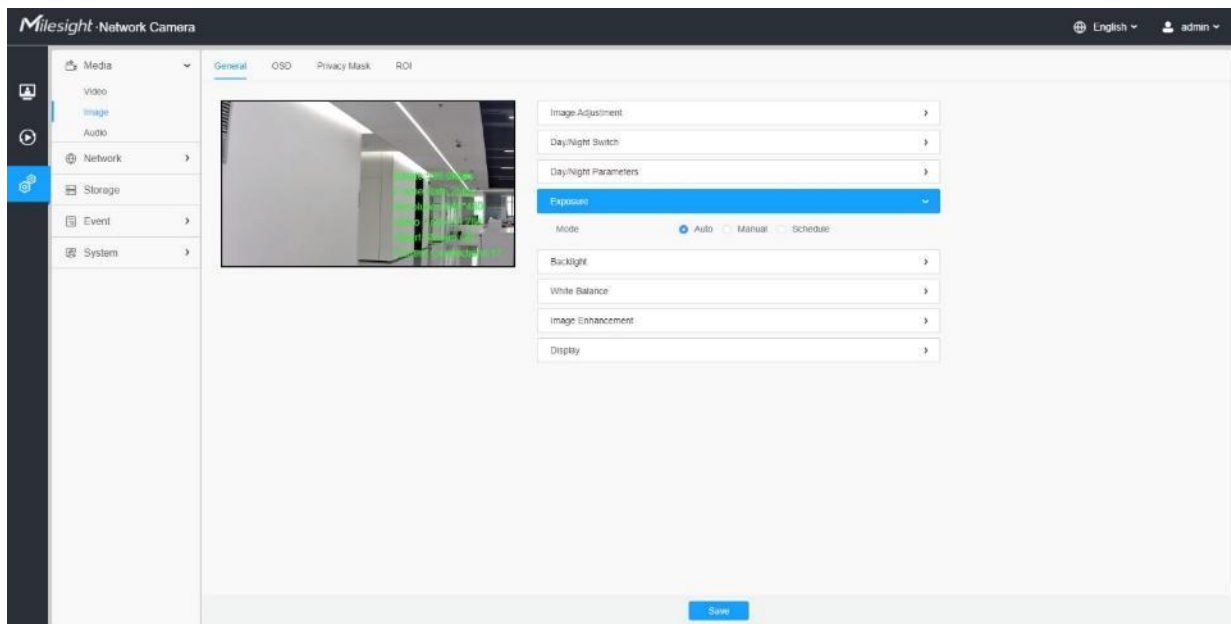
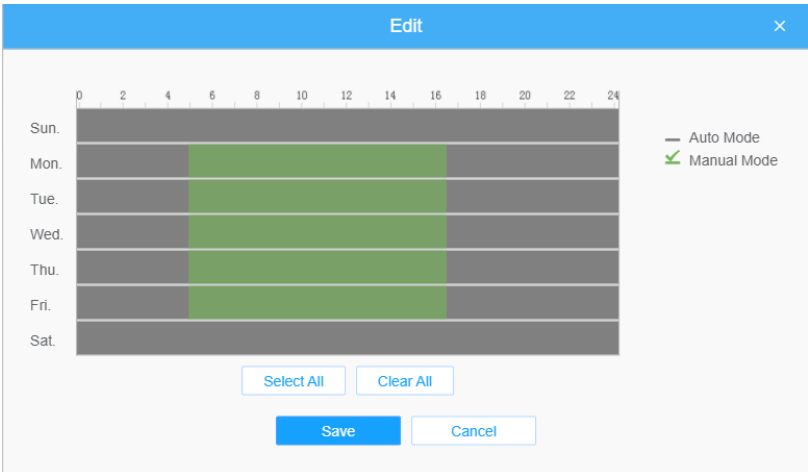


表 13.ボタンの説明

パラメーター	機能
Exposure Mode	オートモード、マニュアルモード、スケジュールモードがあります。 Auto Mode : カメラは光環境に応じて自動的に明るさを調整します。 Manual Mode : カメラは設定した値に応じて明るさを調整します。露光時間を1~1/100000sの間で設定でき、値が高いほど画像は明るくなります。 Schedule Mode : オートモードとマニュアルモードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。 

[Backlight]

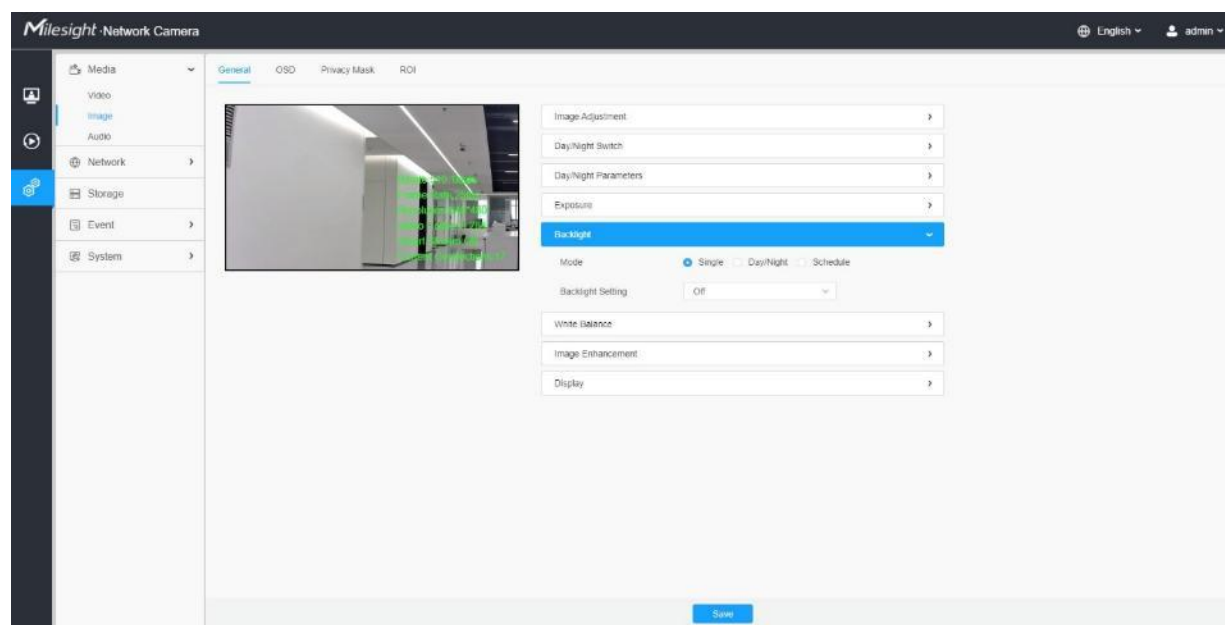
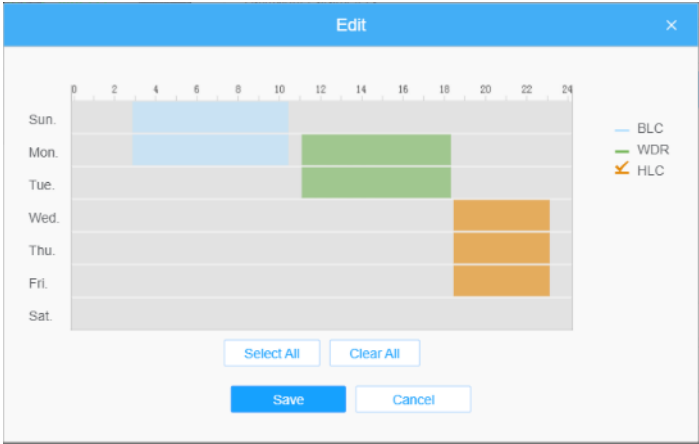


表 14.ボタンの説明

パラメーター	機能
Backlight Mode	Single Mode : BLC/WDR/HLCのシングルモードを設定します。  注 : ハイフレームレートが有効な場合、WDRと一般HLCは対応しません。 Day/Night Mode : デイエンハンスメントモード/ナイトエンハンスメントモードのBLC/WDR/HLCに個別に対応します。 Schedule Mode : BLC/WDR/HLCのスケジュールモードを設定します。スケジュールをカスタマイズして、BLC/WDR/HLCモードを有効/無効にできます。 

 注意

• Milesight

WDRオン&オフビデオの詳細については、YouTube [.: https://www.youtube.com/watch?v=McoOL0Pyk0w](https://www.youtube.com/watch?v=McoOL0Pyk0w) をクリックしてください。

• Milesight Ultra Low light Video Demo HLCについての詳細はYouTubeをご覧ください：

<https://www.youtube.com/watch?v=ly8uKWbii40>

• Milesight Super WDR Proについての詳細はYouTubeをご覧ください：

<https://www.youtube.com/watch?v=edsPZXBjRnI>

• Milesight Super WDR Performanceについての詳細はYouTube:

<https://www.youtube.com/watch?v=BKEZ6BW-YZE> をご覧ください。

[White Balance]

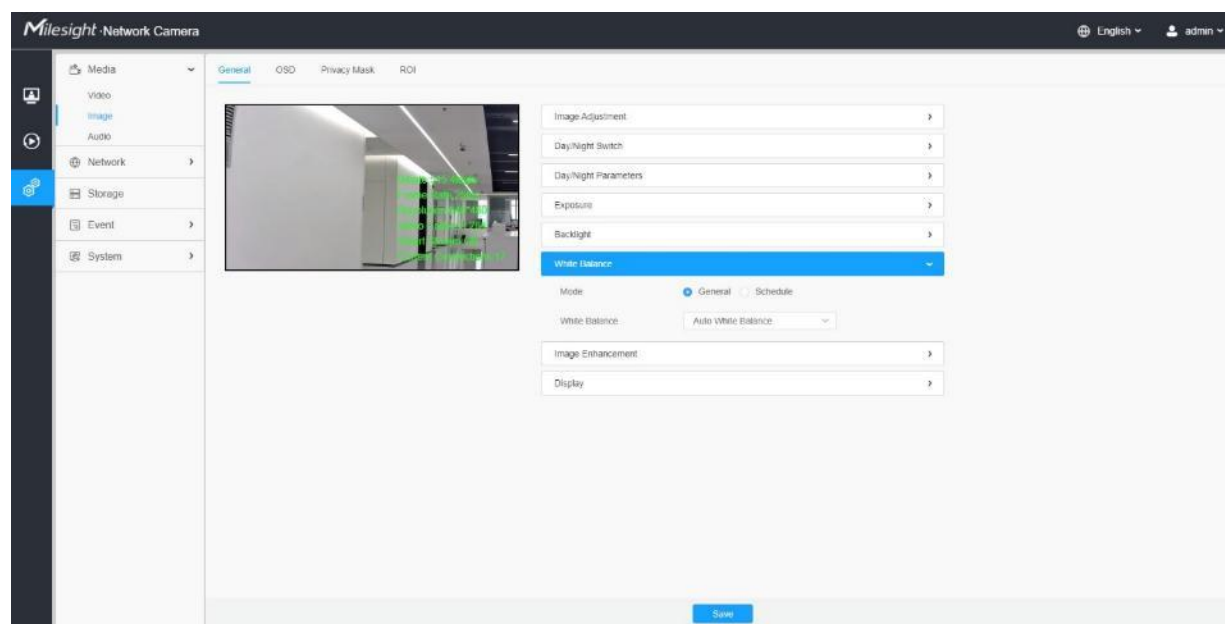


表 15.ボタンの説明

パラメータ	機能
White Balance	白いオブジェクトを復元するには、環境の光によって引き起こされる色の歪みを削除しました。 Mode : 一般モードとスケジュールモードがあります。
	General Mode : 必要に応じてホワイトバランスモードを選択します。 • Auto White Balance : このオプションは自動的にホワイトバランス機能を有効にします。 • Manual White Balance : レッドゲインレベルとブルーゲインレベルを手動で設定します。 • Incandescent Lamp : 白熱灯と同じような光の場合、このオプションを選択します。 • Warm Light Lamp : 白熱灯と同じような明るさの場合、このオプションを選択します。 • Natural Light : 自然光以外の光がない場合に選択します。 • Fluorescent Lamp : 蛍光灯と同じような明るさの場合に選択します。

パラメーター	機能
	Schedule Mode:このオプションを選択すると、上記のモードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。 

[Image Enhancement]

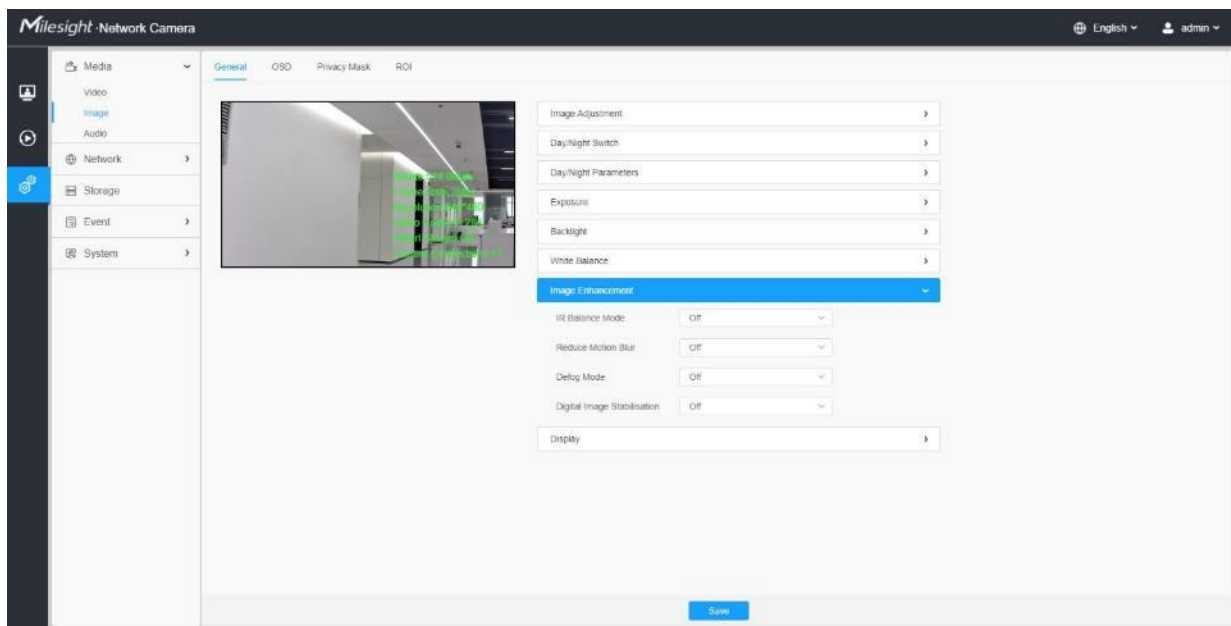


表 16. ボタンの説明

パラメータ	機能
IR Balance Mode	IR LEDをオン/オフするオプションがあります。 IRバランスモードは露出オーバーや暗闇の問題を回避し、IR LEDは実際の照度に応じて変化します。
Reduce Motion Blur	オブジェクトのモーションブラーを効果的に低減するには、この機能  を有効にします。デブラーレベルは1から100まで調整できます。 注：Milesight Deblurの詳細については、YouTubeをクリックしてください： https://www.youtube.com/watch?v=-vynrami51s
Defog Mode	 霧の中でより良い画像効果を得ることができます。 注意 - デフォグモードはMS-Cxxx-xPAには対応していません。 - Milesight Defogの詳細については、YouTubeをクリックしてください い： https://www.youtube.com/watch?v=a9od7Trao4U
Digital Image Stabilisation	画像のブレや揺れを軽減します。

[Display]

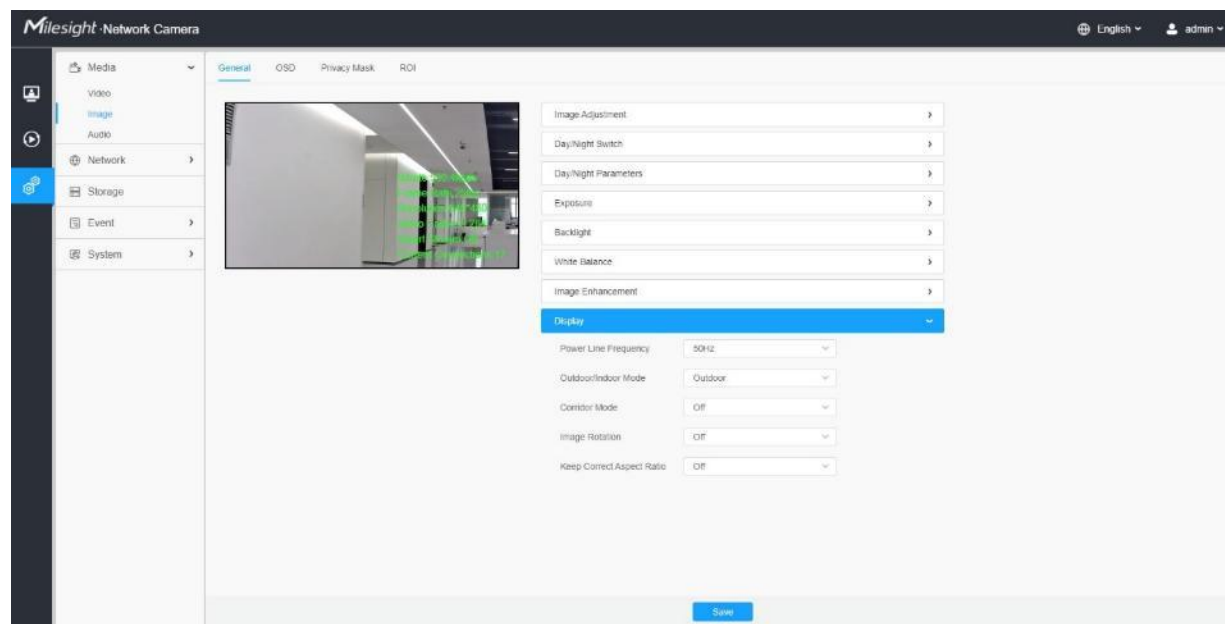


表 17.ボタンの説明

パラメータ	機能
Power Line Frequency	60Hzと50Hzが利用可能です。
Outdoor/Indoor Mode	屋内モードと屋外モードが選択できます。
Corridor Mode	3つのオプションがあり、ニーズに合わせて選択できます。 Off : 映像を通常の方法に保ちます。 Clockwise 90° : 映像を時計回りに90°回転させます。 Anticlockwise 90° : 映像を時計回りに 90°回転します : 映像を反時計回りに90°回転させます。
Image Rotation	4つのオプションがあり、必要に応じて選択できます。 Off : 映像を通常の方法に保ちます。 Rotating 180° 映像を逆さまにします。 Flip Horizontal : 映像を水平方向に反転します。 Flip vertical ; 映像を垂直に反転します。
Keep Correct Aspect Ratio	このオプションを有効にすると、解像度の比率を変更しても画像が歪まないようにします。 
Zoom Limit	ズーム制限を設定します。 注 : 光学ズームが20倍以上のPTZネットワークカメラに限りです。
White LED Level	白色LEDレベルを1~100に設定します。 注 : PTZ Bullet専用です。
Smoked Dome Cover	この機能はProドーム専用です。プロドームにスモークドームカバーが装備されている場合、この機能を有効にすると通常の画像が表示されます。 注 : Pro Dome専用です。



8.1.2.2 OSD

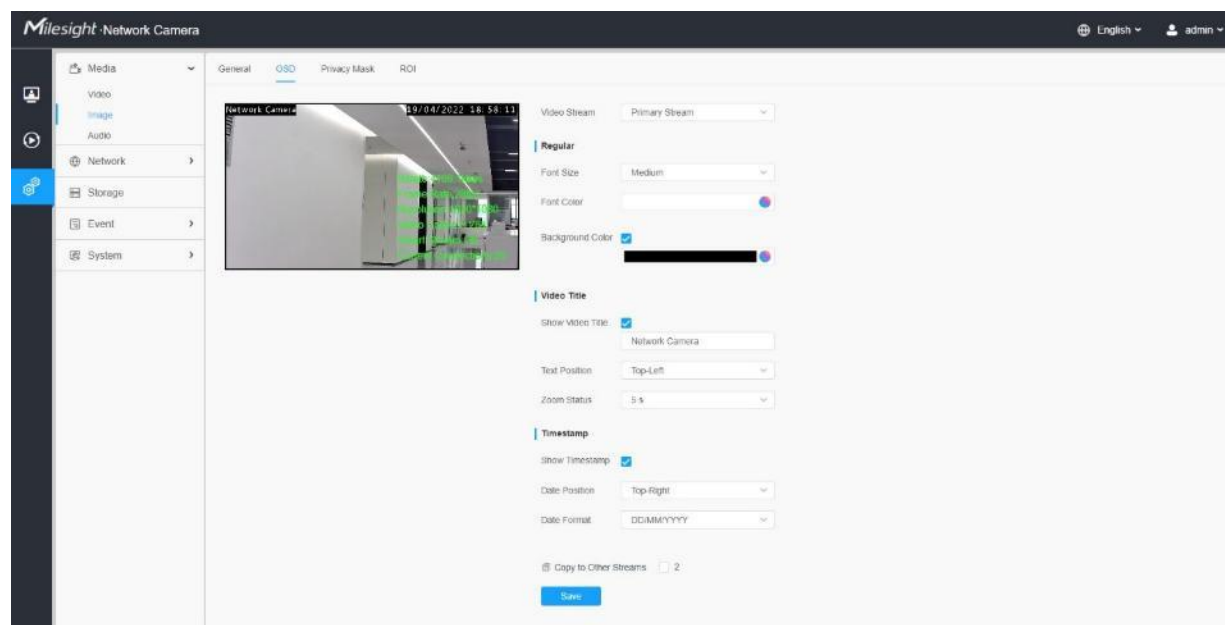
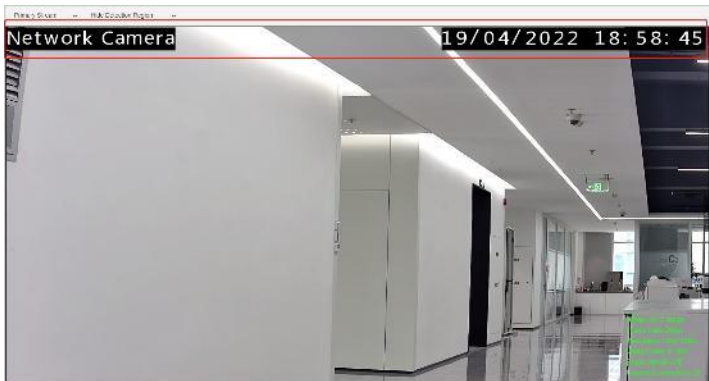


表 18.ボタンの説明

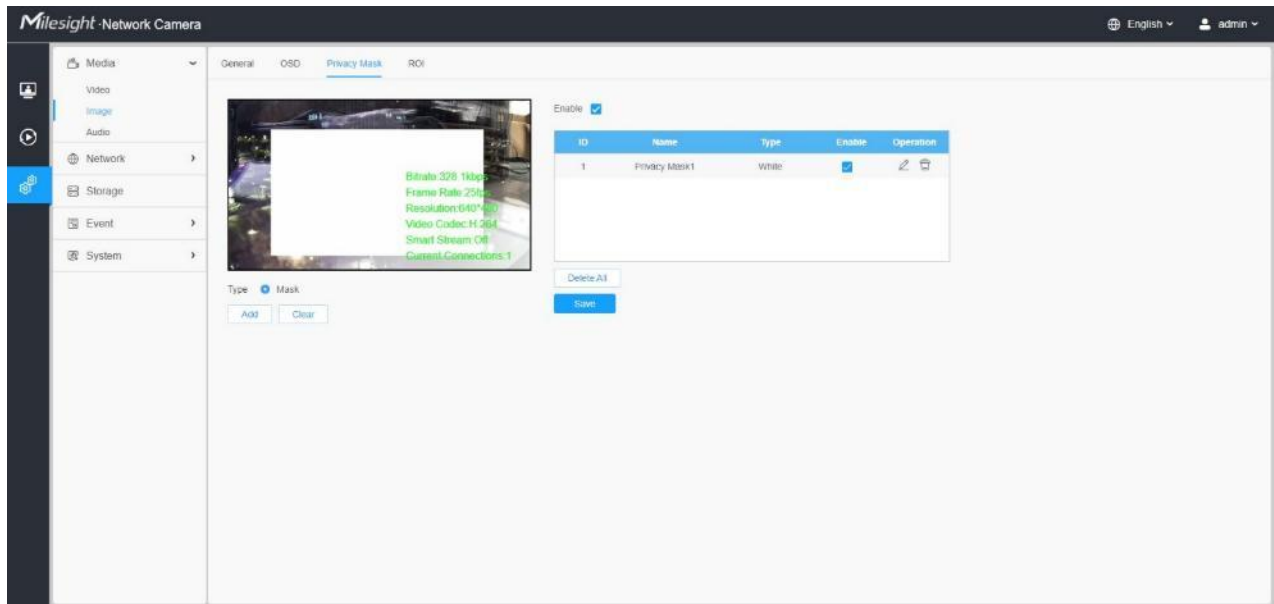
パラメーター	機能
Video Stream	プライマリストリームとセカンダリストリームのOSDを設定します。
Font Size	タイトルと日付は、最小/小/中/大/最大/自動が選択できます。
Font Color	タイトルと日付の色を設定できます。
Background Color	画面に表示する情報の背景色を設定できます。 画像のフォントと背景に異なる色を設定すると、画像OSDは以下のように表示されます： 
Show Video Title	ビデオタイトルを表示するには、チェックボックスをオンにします。
Video Title	OSDの内容をカスタマイズします。

パラメータ	機能
Text Position	画像上のOSD表示位置
Show Timestamp	画像に日付を表示するにはチェックボックスをオンにします。
Date Position	画像上の日付表示位置
Date Format	日付の書式を指定します。
Copy to Other Streams	設定を他のストリームにコピーします。

8.1.2.3 Privacy Mask

プライバシーマスクは、ライブビデオ上の特定の領域をカバーし、監視エリアの特定の場所が表示および記録されないようにすることができます。

[Privacy Mask]

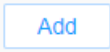


ライブ映像の特定の領域をカバーするために使用する色を選択できます。

注意

- MS-Cxxxx-xPC モデルでは、最大 24 のマスク領域と 4 つのモザイク領域に対応します。
- MS-Cxxxx-xPA モデルでは、最大 24 のマスク領域に対応します。
- MS-Cxxxx-xPD モデルでは、最大 4 つのマスク領域に対応します。

表 19.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	プライバシーマスク機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Type	プライバシー領域に使用する色を選択します：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫の8色があります。
	必要に応じて、ライブビデオ上にプライバシー領域を描画します。
	ライブビデオ上に描いた領域を消去します。
Delete All	描画した範囲をすべて消去します。

[Mosaic type of Privacy Mask]

ライブ映像上の特定の領域をカバーするために使用するカラータイプとモザイクタイプを選択できます。モザイクタイプは、画像の連続性を維持し、視覚効果を向上させることができます。24 のマスク領域と 4 つのモザイク領域を含む、最大 28 のマスク領域に対応します。

 カメラのモデルが MS-Cxxxx-xPC であることを確認してください。

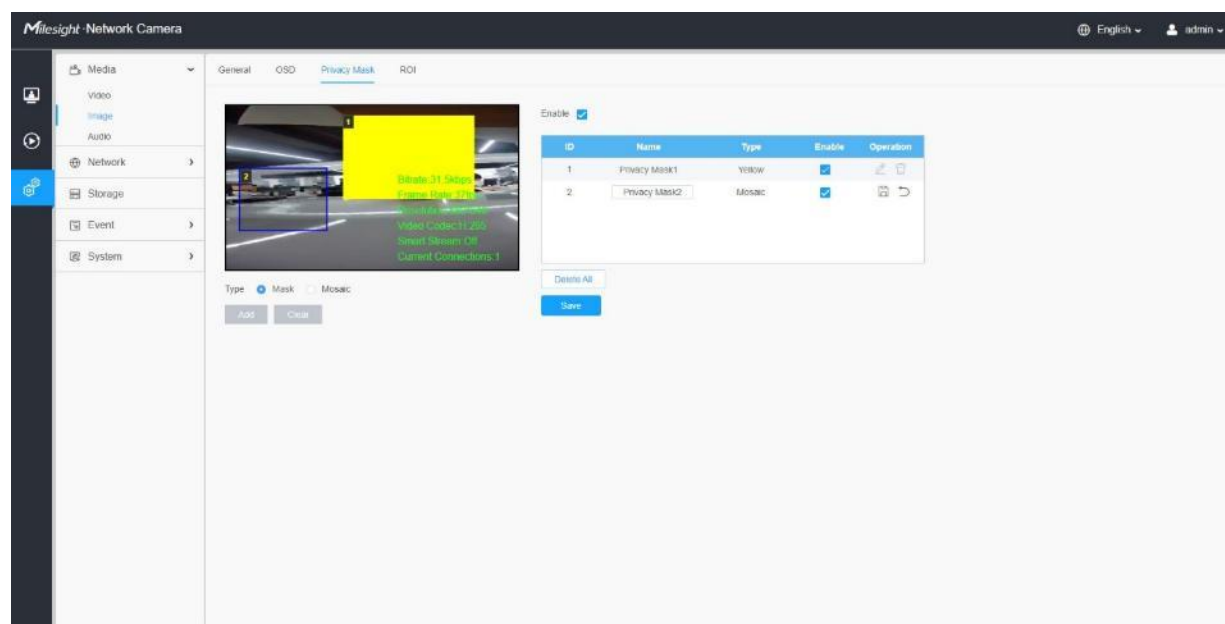
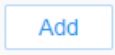
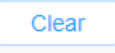


表 20. ボタンの説明

パラメータ	機能	
Enable	プライバシーマスク機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。	
Type	プライバシー領域に使用するタイプを選択します：マスク] と [モザイク] の2種類があります。	
	必要に応じて、ライブ映像上にプライバシー領域を描画します。	
	ライブ映像上に描いた領域を消去します。	
Operation		選択した ROI 領域を有効/無効にします。
		マスクエリアの色を変更します：ホワイト、ブラック、ブルー、イエロー、グリーン、ブラウン、レッド、パープル
		プライバシーマスク領域の削除

8.1.2.4 ROI

関心領域（しばしばROIと略されます）は、特定の目的のために識別されたデータセット内のサンプルの選択されたサブセットです。ユーザーはシーンの主要な領域を最大8つまで選択し、別々のストリームで送信することができます。

Milesight ROIテクノロジーを使用することで、ビットレートを50%以上節約できるため、必要な帯域幅が少なくなり、ストレージの使用量も削減できます。従って、高解像度のために小さなビットレートを設定することができます。

注：ROI

の設定方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643441>を参照してください。

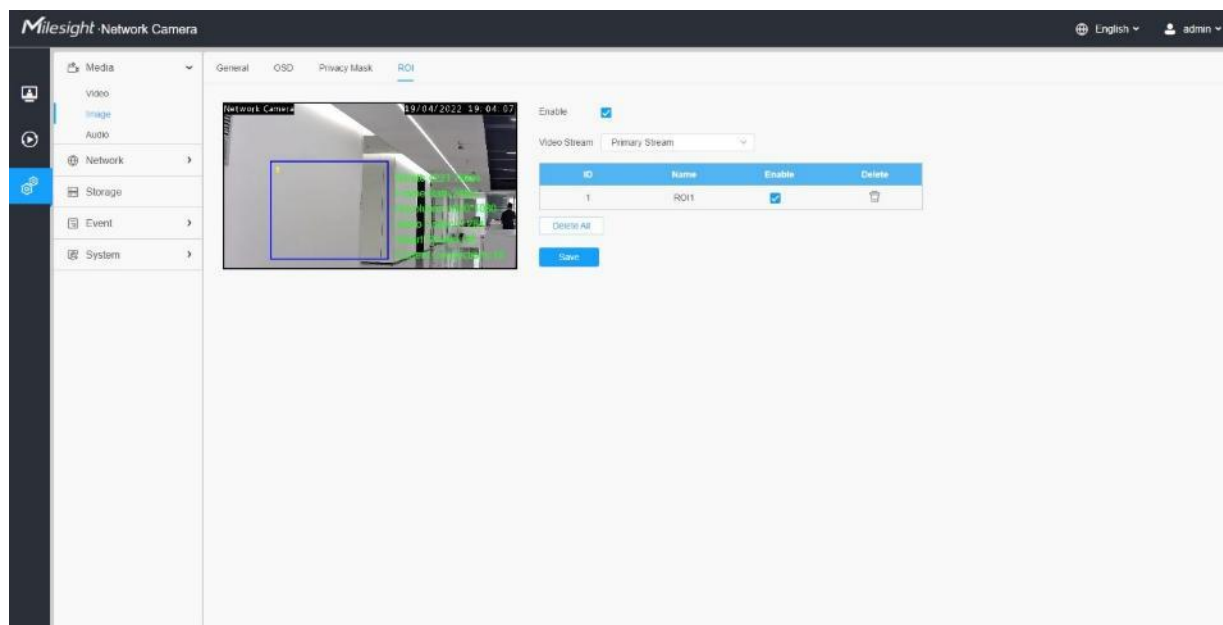


表 21. ボタンの説明

パラメータ	機能	
Enable	チェックボックスをチェックして ROI 機能を有効にします。	
Video Stream	ビデオストリームを選択します。	
ROI	☐ / ☒	選択した ROI 領域を有効/無効にします。
		選択した ROI 領域を削除します。
Delete All	前に描いた領域をすべて消去します。	

注意

- ビットレートを低く設定することができます。例えば、ビットレートを512Kbpsに設定し、解像度を1080Pに設定すると、ROIの画質は他の領域よりもクリアで流暢になります。

8.1.3 Audio

8.1.3.1 Audio

このオーディオ機能により、カメラからの音声を聞いたり、カメラ側に音声を送信することができます。この機能で双方向通信も可能です。音声入力設定したアラームレベルを超えると、アラームを作動させることができ、アラーム発生時に設定した音声を再生することができます。

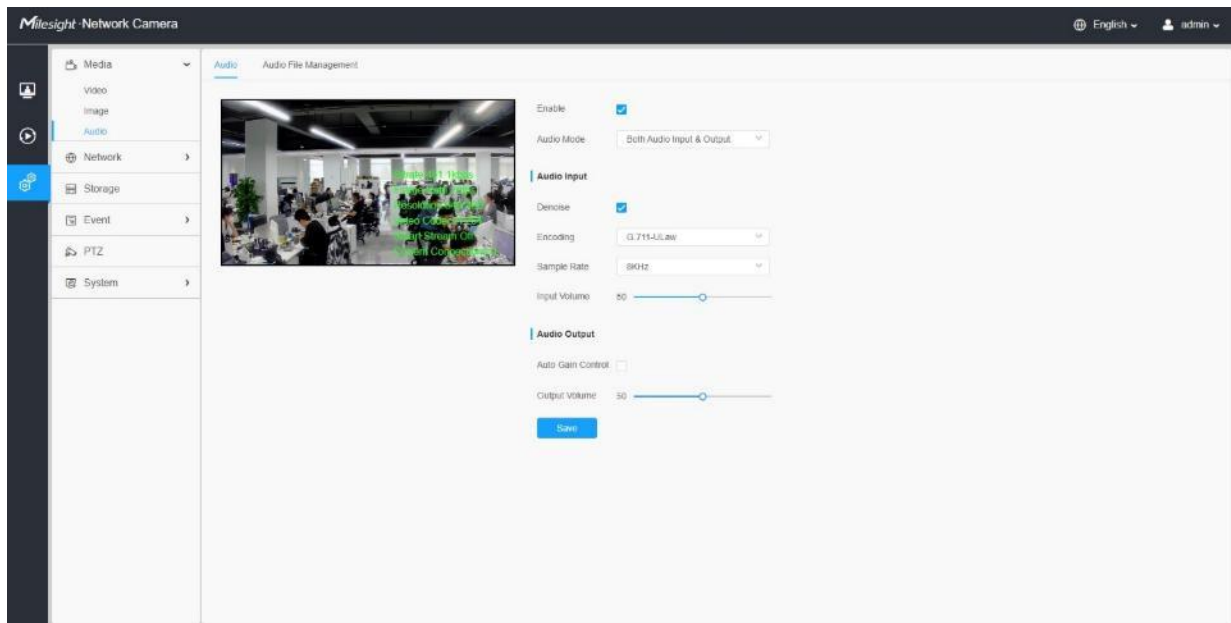


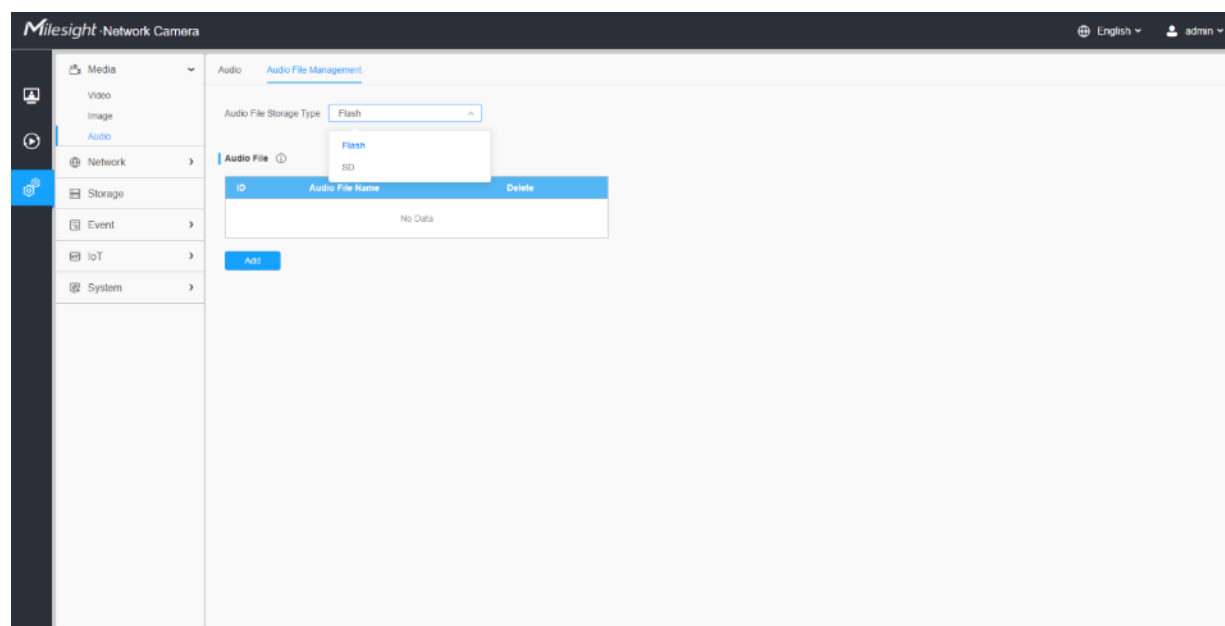
表 22. ボタンの説明

パラメーター	機能
Enable	オーディオ機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Audio Mode	Audio Input/Audio Output/Both Audio Input & Output はオプションです。

パラメータ	機能
Audio Input	Denoise : オン/オフを設定します。オンに設定すると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます。 Encoding : G.711-ULaw、G.711-ALaw、AAC LC、G.722、G.726が使用可能です。 Audio Bit Rate : AAC LCのみで、256kbpsまで対応。 Sample Rate : 8KHz、16KHz、32KHz、44.1KHz、48KHzに対応。 Input Gain : 入力オーディオゲインレベル、0-100。
Audio Output	Auto Gain Control : この機能はH.265シリーズのみで、オーディオの品質を向上させます。 Output Volume : 出力音量の調整

8.1.3.2 Auto File Management

オーディオのウェブページで、最大5つのオーディオファイルをフラッシュまたはSDカードに手動でアップロードでき、アップロード時にオーディオファイルの名前を編集することもできます。



注意

- オーディオモードとオーディオ出力は特定のモジュール専用です。
- コーデックタイプPCM/PCMU/PCMA、64kbpsまたは128kbps、500k以下の'.wav'オーディオファイルのみ対応。

 **注：**コーデックタイプPCM/PCMU/PCMA、ビットレート64kbpsまたは128kbps、500k以下の'.wav'オーディオファイルのみ対応！

8.2 Network

8.2.1 Basic

8.2.1.1 TCP/IP

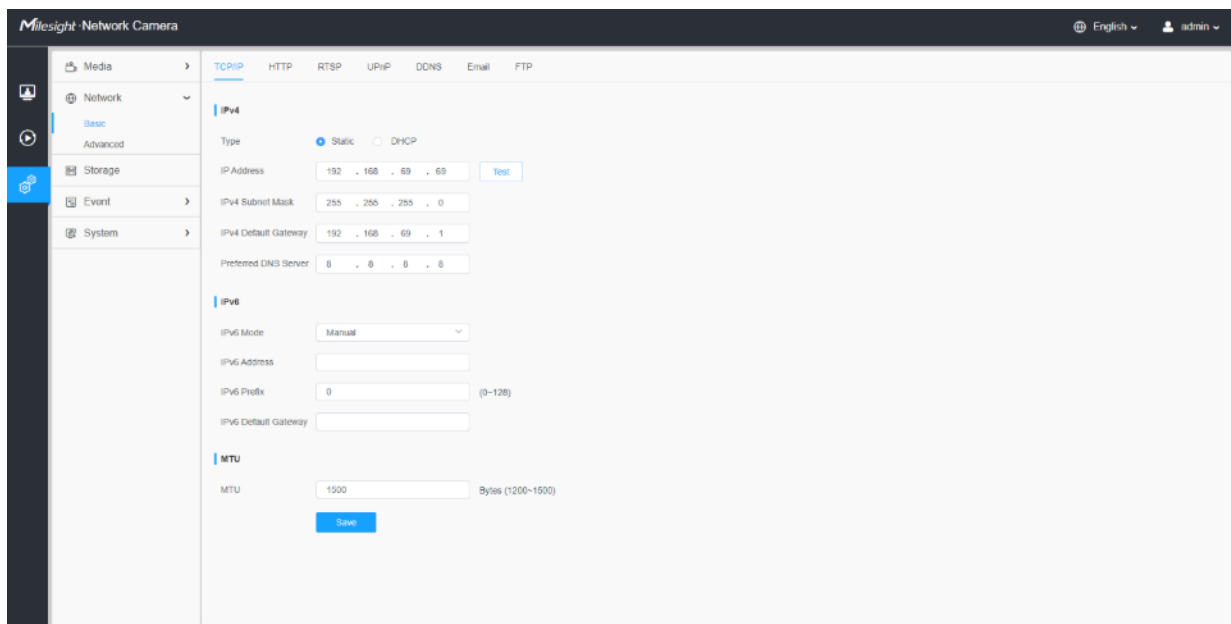


表 23.ボタンの説明

パラメータ	機能
IPv4	Type : IPv4アドレスを自動的に取得するか、固定IPアドレスを使用するかを設定。 IPv4 Address : ネットワーク上のカメラを識別するためのアドレスです。  TestボタンはIPが競合していないかテストするために使用します。 IPv4 Subnet Mask : ネットワークカメラがあるサブネットを識別するために使用します。 IPv4 Default Gateway : デフォルトルータのアドレス。 Preferred DNS Server : DNSサーバはドメイン名をIPアドレスに変換します。

パラメータ	機能
IPv6	IPv6 Mode : IPv6の異なるモードを選択 : マニュアル/ルート広告/ DHCPv6 IPv6 Address : IPv6アドレス : ネットワーク上のネットワークカメラを識別するためのIPv6アドレス。 IPv6 Prefix : IPv6アドレスのプレフィックス長を設定します。 IPv6 Default Gateway : デフォルトルータのIPv6アドレス
MTU	最大伝送単位。デフォルト値は1500です。必要に応じて、値を 1200 ～ 1500 の範囲でカスタマイズできます。
Save	設定を保存します。

8.2.1.2 HTTP

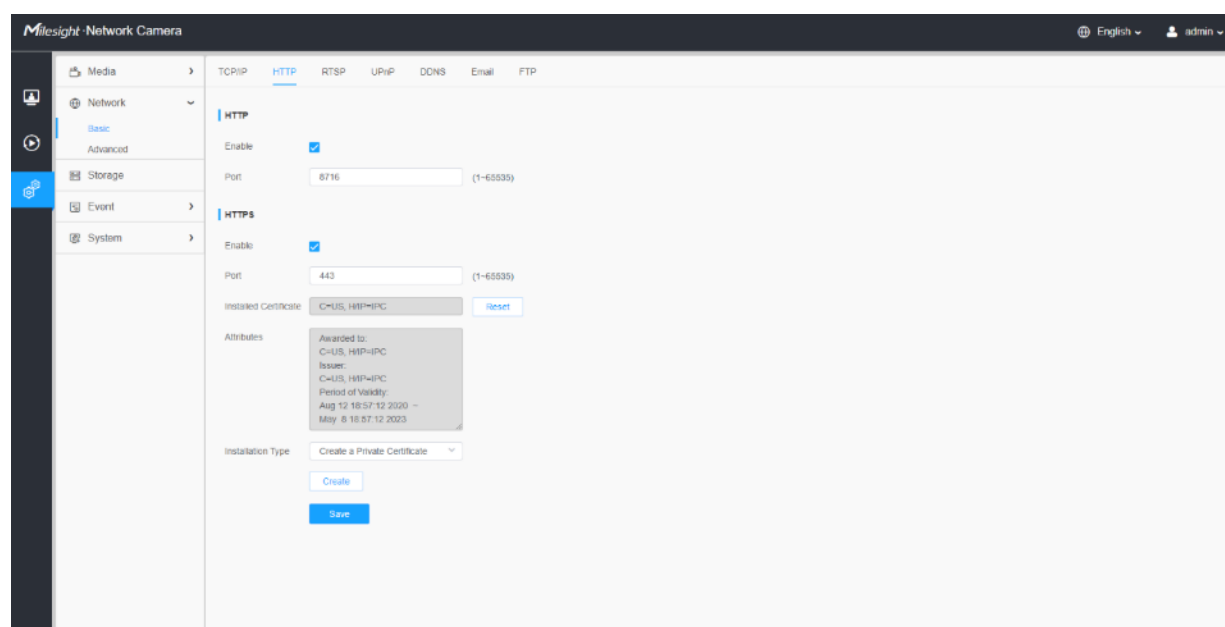


表 24. ボタンの説明

パラメータ	機能
HTTP	Enable : HTTPの使用を開始または停止します。 Port : デフォルトは80で、ONVIFポートと同じです。

パラメータ	機能
HTTP	Enable : HTTP の使用を開始または停止します。 Port : デフォルトは443です。  注 : HTTPSアクセスを有効にする方法の詳細については、 https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000797384。
Installed Certificate	SSL証明書をアップロードして設定します。
Attributes	
Installation Type	
	設定を保存します。

表25 HTTP URL HTTP URLは以下のとおりです：

ストリーム	URL
Main Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpeg.cgi
Secondary Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegcif.cgi
Tertiary Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegthird.cgi

 **注** : H.264 カメラのメインストリーム以外のストリームのコーデックタイプを MJPEG に変更する必要があります。

8.2.1.3 RTSP

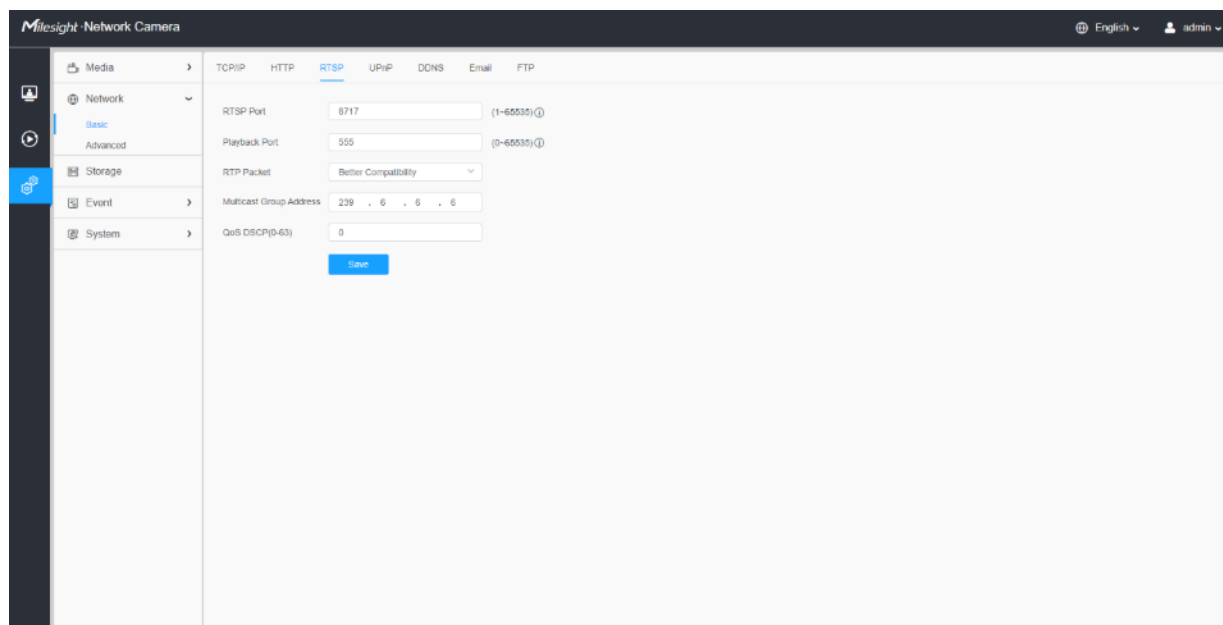


表 26. ボタンの説明

パラメータ	機能
RTSP Port	RTSPのポートで、デフォルトは554です。
Playback Port	再生ポート 再生ポート。  注：ポート0は再生機能を閉じることを意味します。
RTP Packet	Better CompatibilityとBetter Performanceの2つのオプションがあります。
Multicast Group Address	マルチキャスト機能に対応しています。
QoS DSCP	DSCPの有効値の範囲は0-63です。
	設定を保存します。

表27 RTSP URL RTSP URL は以下の通りです：

ストリーム	URL
Primary Stream	rtsp://IP:RTSP Port/main
Secondary Stream	rtsp://IP:RTSP Port/sub
Tertiary Stream	rtsp://IP:RTSP Port/third

注

- DSCPとは、Differentiated Service Code Point（差別化サービスコードポイント）のことで、DSCP値はデータの優先度を示すためにIPヘッダーで使用されます。
- 設定を有効にするには再起動が必要です。

8.2.1.4 UPnP

ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）は、ネットワーク機器、ソフトウェア、その他のハードウェアデバイス間の互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnPプロトコルを使用すると、デバイスをシームレスに接続でき、家庭や企業環境でのネットワークの実装が簡単になります。この機能を有効にすると、各ポートのポートマッピングを設定する必要がなくなり、カメラはルーターを経由してワイドエリアネットワークに接続されます。

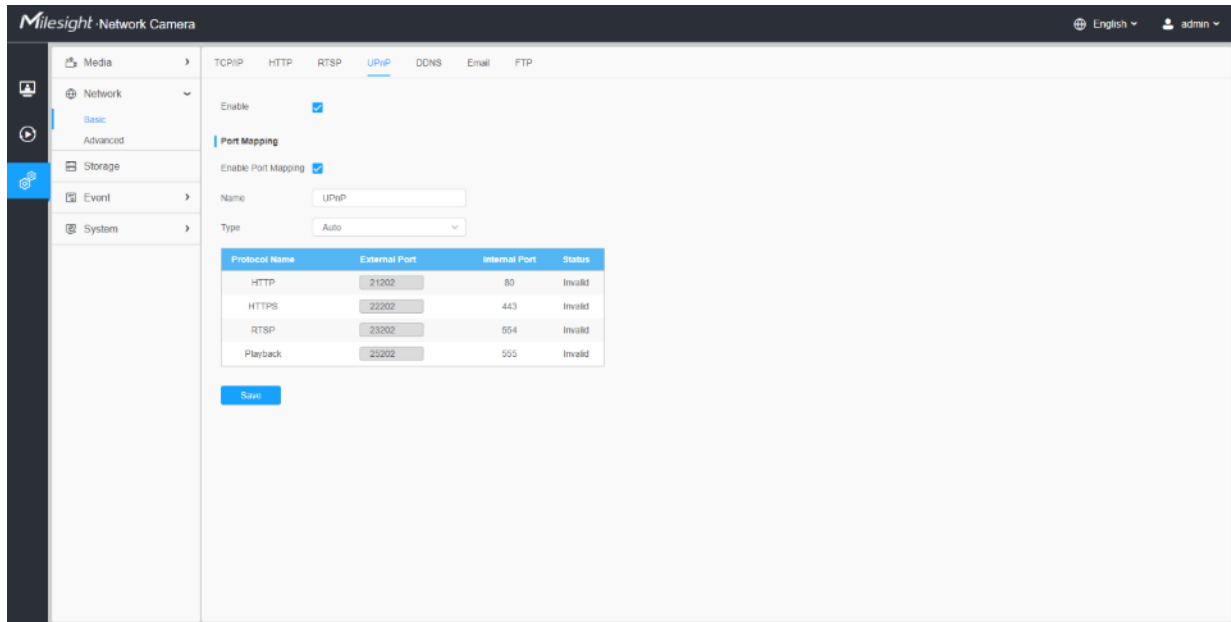


表 28. ボタンの説明

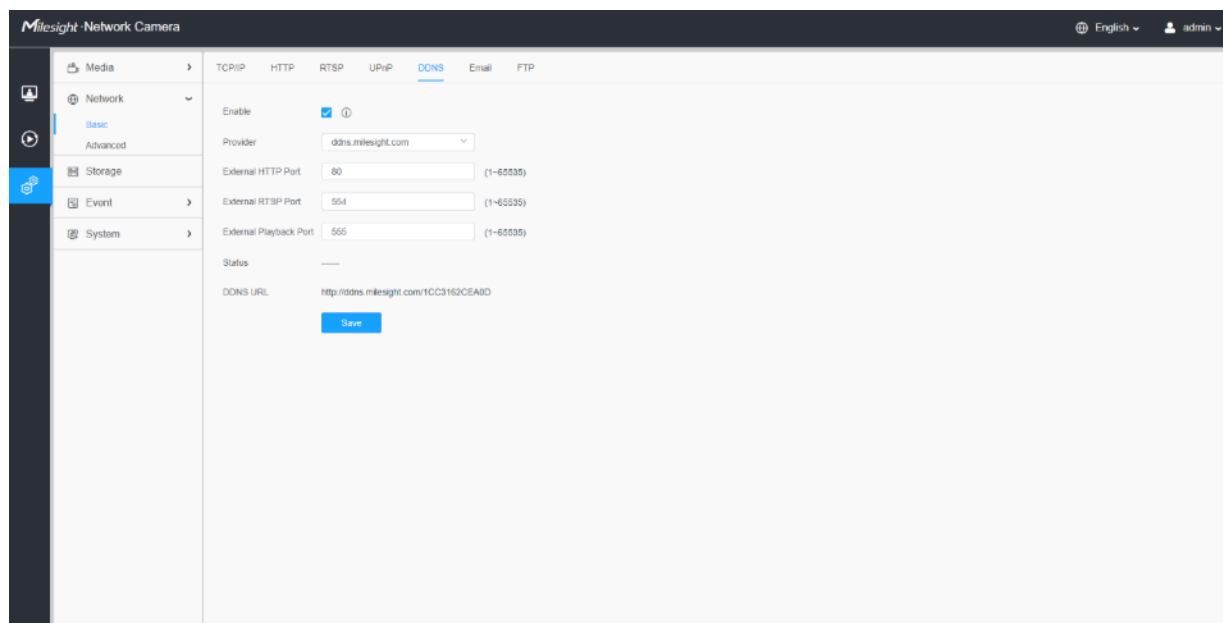
パラメータ	機能
Enable	UPnP機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Enable Port Mapping	チェックボックスをオンにすると、ポートマッピングが有効になります。
Name	オンラインで検出されたデバイスの名前を編集できます。

パラメータ	機能
Type	Auto : 設定なしで、自動的に対応するHTTPとRTSPポートを取得します。 Manual : 適切なHTTPポートとRTSPポートを手動で設定する必要があります。 Manual を選択すると、自分でポート番号の値をカスタマイズできます。
Save	設定を保存します。

8.2.1.5 DDNS

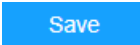
DDNSを使用すると、IPアドレスの代わりにドメイン名でカメラにアクセスできます。IPアドレスの変更とドメイン情報の更新を動的に管理します。プロバイダからアカウントを登録する必要があります。

 **注** : DDNSの設定方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643406>を参照してください。



DDNSのプロバイダとして"ddns.Milesight.com"を選択できます。これを有効にすると、[URL「http://ddns.milesight.com/MAC address」](http://ddns.milesight.com/MAC address) 経由でデバイスにアクセスできます。

表 29. ボタンの説明

パラメーター	機能
Enable DDNS	 DDNSサービスを有効にするには、チェックボックスをオンにします。 注: DDNSで直接使用できるUPnPポートを有効にして設定することをお勧めします。
Provider	DDNSプロバイダから対応を取得します: ddns.milesight.com、freedns.afraid.org、dyndns.org、www.no-ip.com、www.zoneedit.com。 DDNSのプロバイダをカスタマイズすることもできます。
Hash	"freedns.afraid.org "でのみ、検証に使用される文字列です。
User name	DDNSプロバイダのアカウント名。"freedns.afraid.org "では使用できません。
Password	アカウントのパスワード。"freedns.afraid.org "では使用できません。
Host name	アカウントで有効になっているDDNS名。
Status	DDNSの実行状態を表示します。
	設定を保存します。

 注意

- Milesight DDNSを使用する前に、HTTPポートとRTSPポートのポート転送を行ってください。
- RTSPの内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

8.2.1.6 Email

アラームビデオファイルはSMTPサーバを通して仕様のメールアカウントに送信することができます。使用する前にメール設定を正しく行う必要があります。

The screenshot shows the 'Email' configuration page in the Mileight Network Camera web interface. The interface includes a sidebar with navigation icons and a main configuration area. The 'Email' tab is selected, showing various settings for email notifications. The 'Enable' checkbox is checked. The 'User Name' is 'xmdmsa', 'Sender Email Address' is 'xmdmsa@163.com', 'Email Server' is 'smtp.163.com', and 'Email Port' is '465'. There are two recipient email address fields, with the first containing 'beck@mileight.com'. The 'Encryption' section has 'SSL' selected. Below these are 'Snapshot Settings' with dropdowns for file naming. 'Save' and 'Test' buttons are at the bottom.

表 30. ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	メール機能を有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。
User Name	送信者の名前です。通常はアカウント名と同じです。
Sender Email Address	動画ファイルを添付して送信するためのメールアドレスです。
Password	送信者のパスワードです。
Email Server	メールサーバーのIPアドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）。
Email Port	SMTPのデフォルトのTCP/IPポートは25(保護されていません)です。SSL/TLSポートについては、使用するメールによって異なります。
Recipient Email Address1	動画ファイルを受信するメールアドレスです。
Recipient Email Address2	動画ファイルを受信するメールアドレスです。
Encryption	SMTP サーバーで SSL または TLS が必要な場合は、チェックボックスをオンにして有効にします。

パラメータ	機能
Snapshot Settings	Alarm Snapshot File Name : デフォルト(YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD- MM-YYYY/ 接頭辞の追加/ ベースファイル名での上書き/ カスタマイズが可能です。 Timing Snapshot File Name : デフォルト(YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD- MM-YYYY/ 接頭辞の追加/ ベースファイル名での上書き/ カスタマイズが可能です。
Save	設定を保存します。
Test	設定が成功したかどうかをテストします。

 注 : ファイル名をカスタマイズするには、次のファイル名のヒントを参照してください。

File Name Tip
 &Device - Device Name
 &Y - Year
 &M - Month
 &D - Day
 &h - hour
 &m - minute
 &s - second
 &ms - millisecond
 && - &

8.2.1.7 FTP

アラームビデオファイルを特定の FTP サーバーに送信できます。使用する前に、FTP 設定を正しく構成する必要があります。

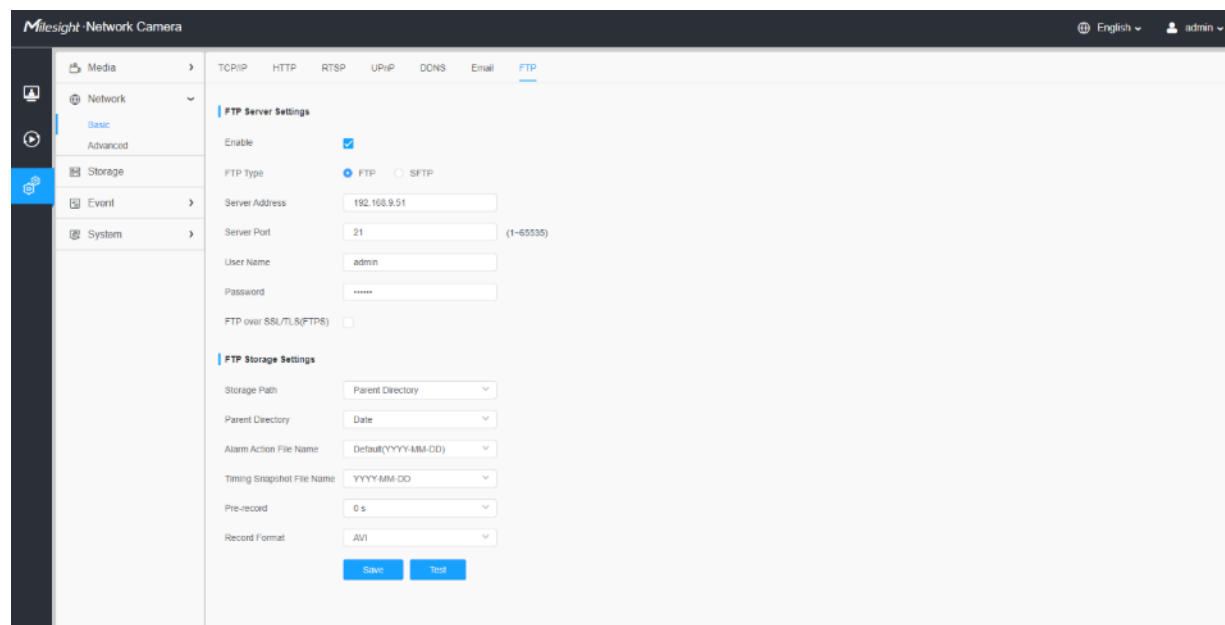


表 31. ボタンの説明

パラメータ		機能
FTP Server Settings	Enable	チェックボックスにチェックを入れると、FTP機能が有効になります。
	FTP Type	FTPとSFTPはオプションです。
	Server Address	FTP/SFTPサーバーのアドレスです。
	Server Port	FTPサーバーのポート。通常は21です。 SFTPサーバーのポート。通常は22です。
	User Name	FTP/SFTPサーバーへのログインに使用するユーザー名。
	Password	ユーザーパスワード。
FTP Storage Settings	Storage Path	ビデオや画像が FTP サーバーにアップロードされるストレージパス。 ルートディレクトリ、親ディレクトリ、子ディレクトリ、カスタマイズの4種類があります。
	Parent Directory	親ディレクトリのフォルダ名として、IPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。

パラメータ		機能
	Child Directory	子ディレクトリのフォルダ名として、IPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
FTP Storage Settings	Multilevel Folder Name	ストレージパスが2階層以上の場合、マルチレベルFTPストレージパスを手動で入力します。
	Alarm Action File Name	デフォルト（YYYY-MM-DD）を選択するか、アラームアクションファイル名をカスタマイズします。
	Video File Name	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合、YYYY-MM-DD/ MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ 接頭辞の追加を選択できます。
	Image File Name	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合、YYYY-MM-DD/ MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ 接頭辞の追加を選択できます。
	Timing Snapshot File Name	デフォルト(YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ 接頭辞を追加/ ベースファイル名で上書き が使用可能です。
	Pre Second	アラーム前の記録時間を予約します。
	Record Format	AVIとMP4はオプションです。
Save		設定の保存、0s ~ 10s は任意です。
Test		設定が成功したかどうかテストして下さい。

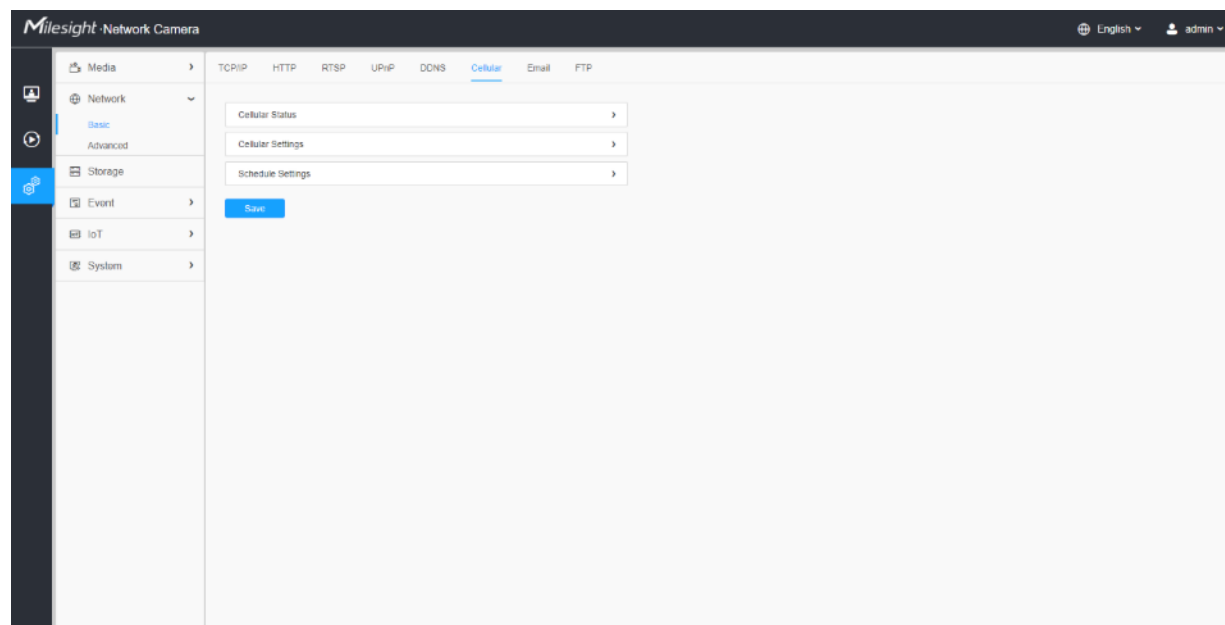
注意

- 親ディレクトリはルートディレクトリの下にあり、子ディレクトリは親ディレクトリの下にあります。
- ファイル名をカスタマイズするには、次のファイル名のヒントを参照してください。

8.2.1.8 セルラー（オプション）

5G AIoT Pro Bullet Plusネットワークカメラは、UHD画質、低遅延、高速伝送をネットワーク配線が不便なシナリオに提供します。

下図のように、5Gカメラ使用時にセルラーステータスを確認し、セルラー設定を行うことができます。



注意

- 初めて5Gカメラを使用する場合、基本設定のためにカメラのウェブページにアクセスするために、ネットワークポート経由でカメラを接続する必要があります。
- 5Gネットワークを使用する前に、カメラの下部にあるSIMカードスロットにSIMカードを挿入してください。SIMカードスロットはNano SIMに対応しています。
- SIMカードが挿入され、セルラーが有効になっている限り、SIMカードのデータが消費されます。ライブビデオストリーミングがある場合、それはより多くのデータを消費します。
- 5G AI Cameraは5G、4G、3Gネットワークに対応しています。

[Cellular Settings]

ステップ1:インターネットサービスプロバイダ(ISP)から提供された情報を[Cellular Settings]インターフェイスに入力し、[Save]をクリックしてネットワークに正常にアクセスします。

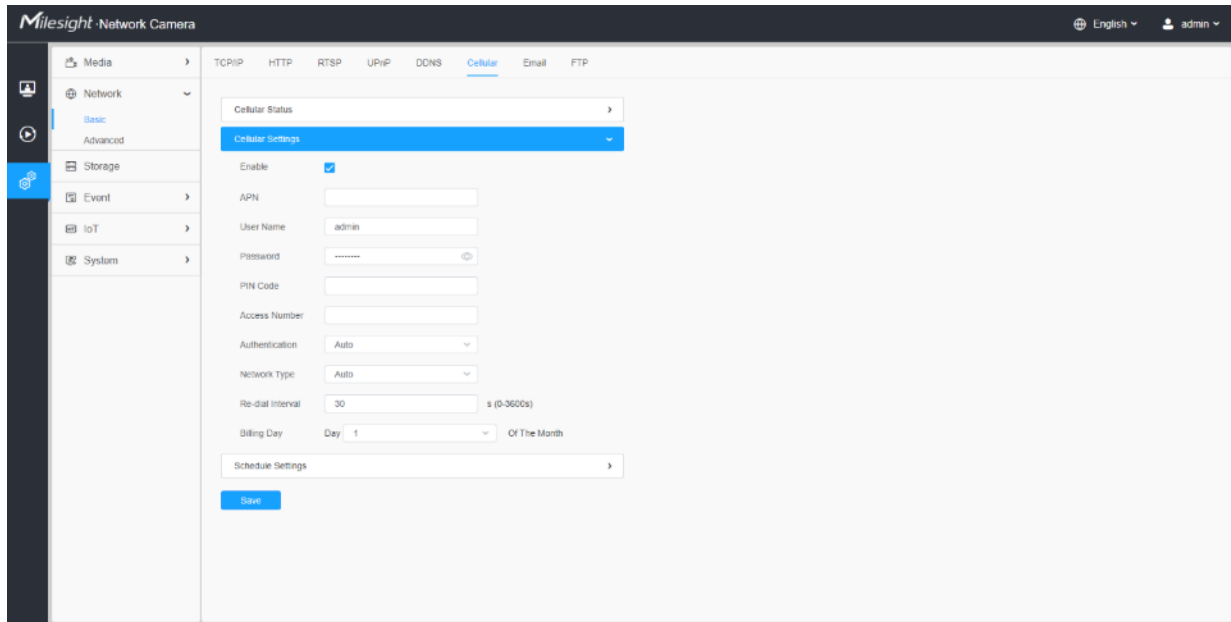


表 32.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	5G ネットワークを有効にするには、このオプションをオンにします。
APN	ローカルISPが提供するセルラーダイヤルアップ接続のアクセスポイント名を入力します。
User name	ローカル ISP が提供するセルラーダイヤルアップ接続のユーザー名を入力します。
Password	ローカル ISP が提供するセルラーダイヤルアップ接続のパスワードを入力します。
PIN Code	SIMロックを解除するための4～8文字のPINコードを入力します。
Access Number	ダイヤルアップセンター番号を入力します。ローカル ISP が提供する携帯電話ダイヤルアップ接続の場合。
Authentication Type	認証タイプを選択します。 Auto 、 PAP 、 CHAP 、 MS-CHAP 、 MS-CHAPv2 の 5 つのオプションがあり、異なるインターネットサービスプロバイダに対応できます。デフォルトのオプションは Auto で、インターネットサービスプロバイダに自動的に一致させることができます。
Network Type	セルラーネットワークのネットワークタイプを選択します。 Auto 、 5G 、 4G 、 3G 、 2G の 5 つのオプションがあります。 Auto : 最も信号の強いネットワークに自動的に接続します。
Re-dial Interval	再ダイヤル間隔の時間を入力します。 5G ネットワークがオフラインの場合、設定した間隔に従って再ダイヤルします。再ダイヤル間隔は0～3600秒の間で設定してください。
Billing Day	毎月のデータ消去日を選択します。ユーザーは1日から31日まで選択でき、システムは毎月設定した日にデータを消去します。

 **注：**一部のインターネットサービスプロバイダでは、ユーザーはSIMカードを直接挿入するだけで、追加設定なしで5Gネットワークにアクセスできます。

[Cellular Status]

ステップ2:ネットワークへの接続に成功したら、[Cellular Status] インターフェースでセルラーステータス情報を確認できます。

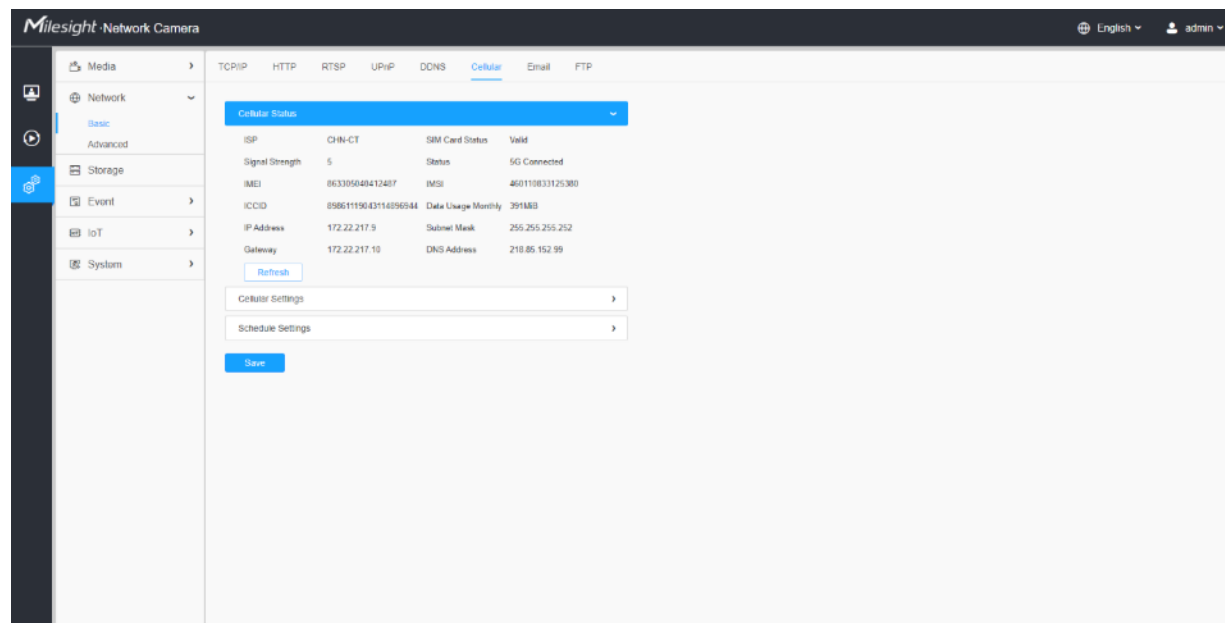


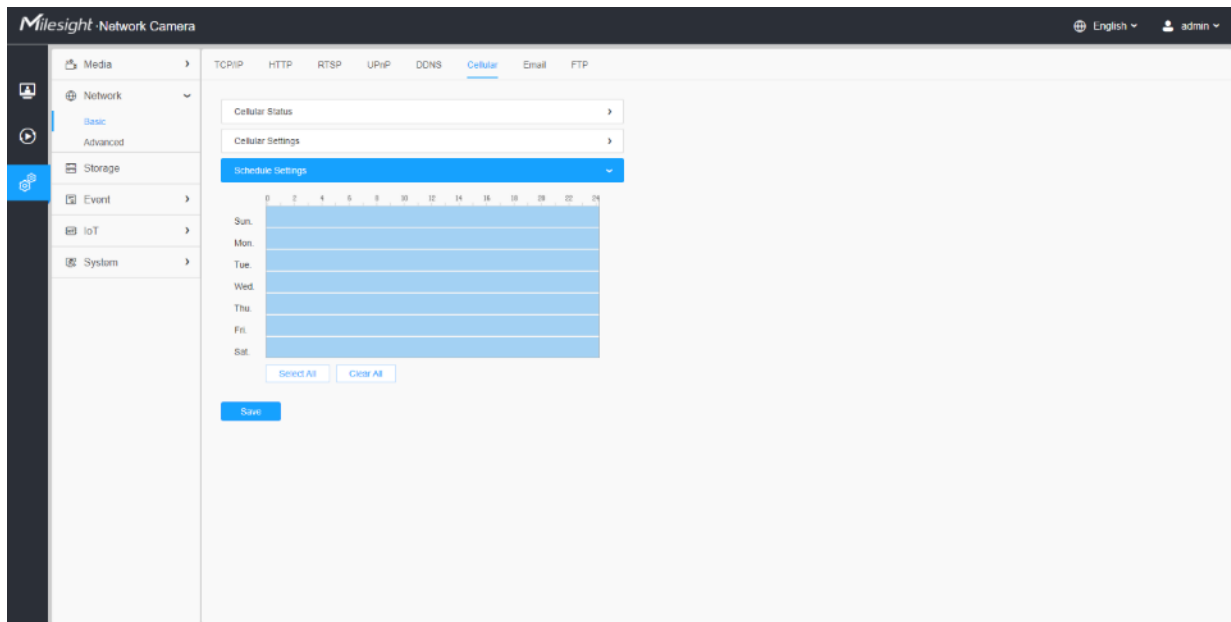
表 33.ボタンの説明

パラメータ	機能
ISP	SIM カードが登録されているネットワークプロバイダを表示します。  注： SIMカードが挿入されていないか、認識されていない場合は「-」と表示されます。
SIM Card Status	SIM カードの接続状態を表示します。 No SIM Card : SIM カードが挿入されていません。 Invalid : SIMカードは挿入されていますが、ネットワークへの接続に失敗しています。 Valid : SIMカードが挿入され、ネットワークに正常に接続されています。
Signal Strength	現在のネットワークの信号強度を表示します。
Status	接続」「切断」など、ネットワークの接続状態を表示します。
IMEI	モジュールのIMEIを表示します。

パラメータ	機能
IMSI	SIM カードの IMSI を表示します。
ICCID	SIMカードのICCIDを表示します。
Data Usage Monthly	現在の月間使用データ量を表示します。
IP Address	現在のネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSアドレスを表示します。SIM カードが挿入されていないか、認識されていない場合は、0.0.0.0と表示されます。
Subnet Mask	
Gateway	現在のネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSアドレスを表示します。SIMカードが挿入されていないか、認識されていない場合は、0.0.0.0と表示されます。
DNS Address	
Refresh	上記の状態を手動で更新する場合は、このボタンをクリックします。

[Schedule Settings]

ステップ3: スケジュールを設定すると、設定したスケジュールに従って5Gネットワークが有効になります。

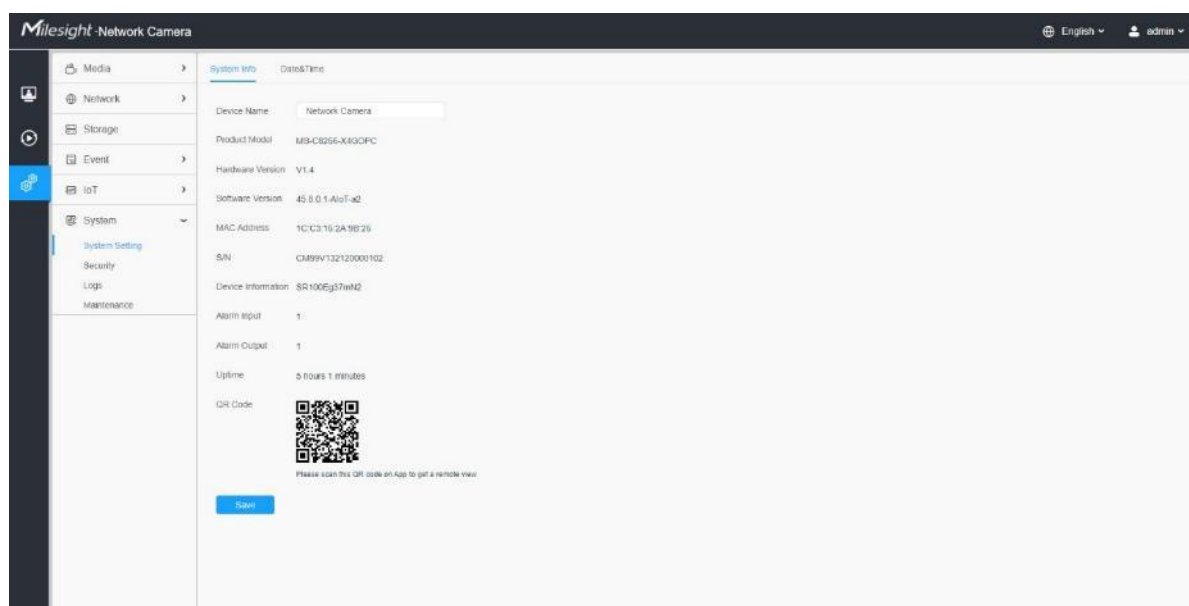


ステップ4: 携帯電話の設定を行った後、イベント、録画など、必要に応じてカメラの他の基本設定を行う必要があります。

ステップ5: カメラの基本設定が完了すると、ネットワークケーブルを接続せずに、5Gネットワークを使用してカメラにアクセスできます。

注意

- P2P経由で5GカメラをMilesight CMSに接続し、設定することができます。
- 5Gネットワークを使用して、P2P経由で5GカメラをMilesight VMS Enterprise、Milesight CMS、M-sight Pro APPに接続できます。
- 5Gカメラの場合、P2P機能はデフォルトで以下のように有効になっています。

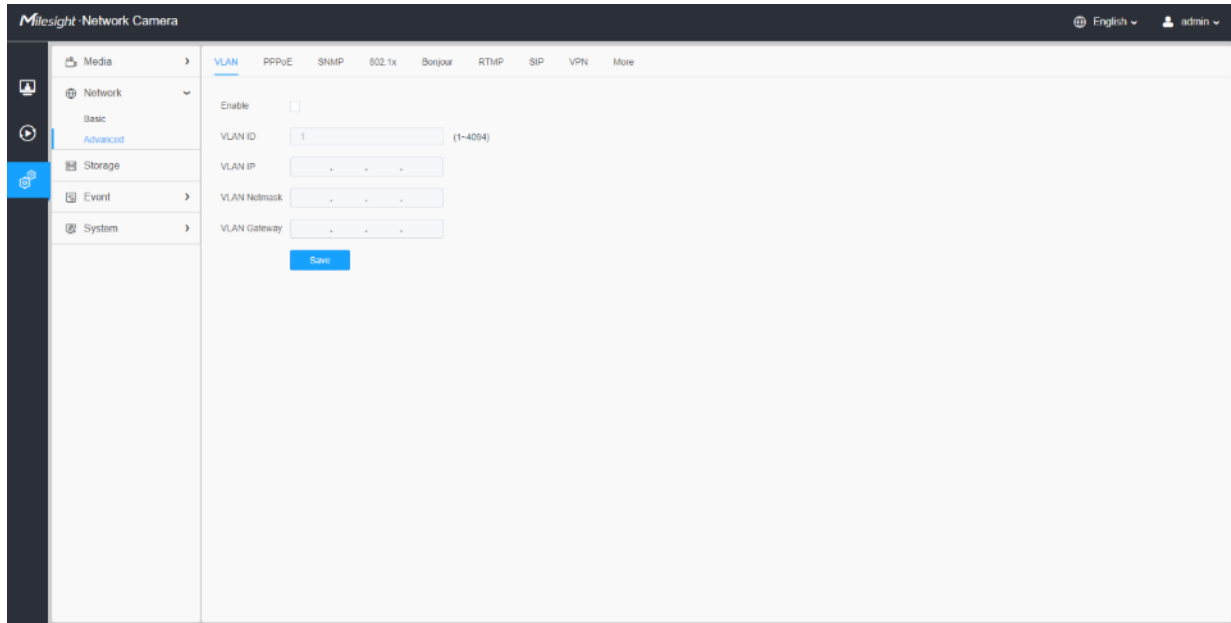


- 5Gネットワークを使用する必要がない場合は、ネットワークケーブルでカメラに接続して使用できます。

8.2.2 Advanced

8.2.2.1 VLAN

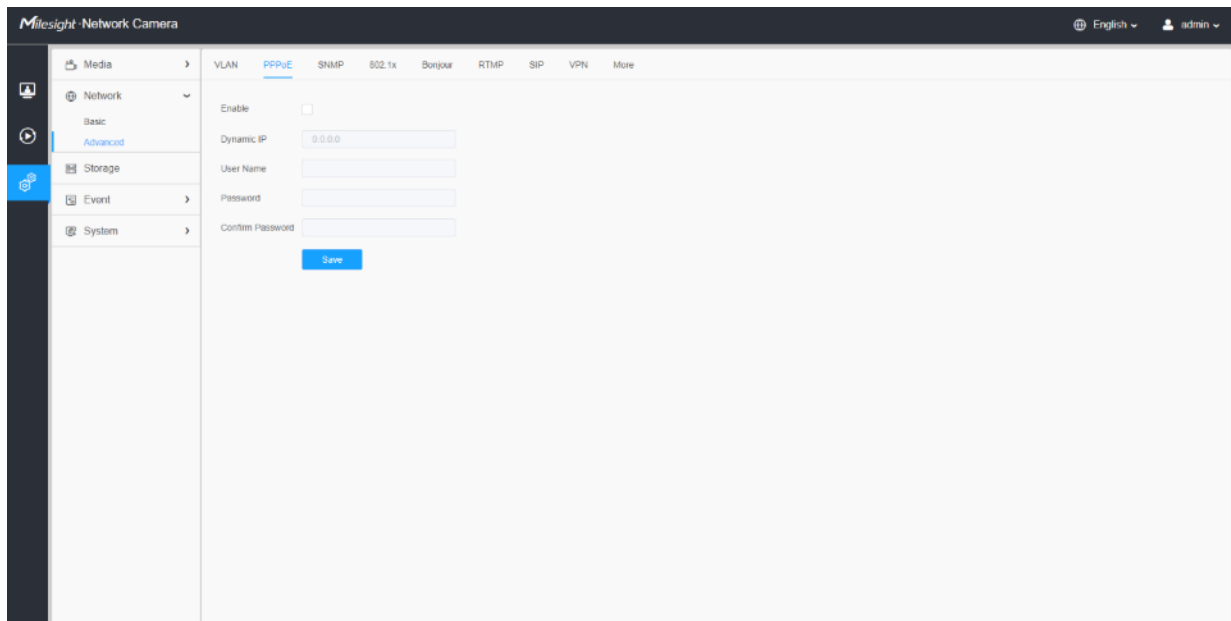
仮想LAN (VLAN) とは、コンピュータネットワークのデータリンク層 (OSI層2) で分割され、分離されたブロードキャストドメインのことです。LANはローカルエリアネットワークの略です。VLANを使用すると、ネットワーク管理者は、ホストが同じネットワークスイッチ上になくても、ホストをグループ化することができます。VLANのメンバーシップはソフトウェアで設定できるため、ネットワークの設計や導入を大幅に簡素化できます。VLANがなければ、リソースの必要性に応じてホストをグループ化するために、ノードの再配置やデータリンクの配線の変更が必要になります。



注：スイッチでVLANを設定する方法については、スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

8.2.2.2 PPPoE

このカメラはPPPoE自動ダイヤルアップ機能に対応しています。カメラをモデムに接続後、ADSLダイヤルアップでパブリックIPアドレスを取得します。ネットワークカメラのPPPoEパラメータを設定する必要があります。



注意

- 取得したIPアドレスはPPPoE経由で動的に割り当てられるため、カメラを再起動するとIPアドレスは常に変更されます。ダイナミックIPの不便さを解消するには、DDNSプロバイダからドメイン名を取得する必要があります（DynDns.comなど）。
- ユーザ名とパスワードはISPから割り当てられます。

8.2.2.3 SNMP

SNMP機能を設定すると、カメラのステータス、パラメータ、アラーム関連情報を取得し、ネットワークに接続しているカメラをリモートで管理できます。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポート経由でカメラ情報を受信できるように管理してください。トラップアドレスを設定すると、カメラはアラームイベントと例外メッセージを監視センターに送信できます。

表 34.ボタンの説明

パラメータ	機能
SNMP v1/v2	SNMP ソフトウェアのバージョンを選択します。 Enable SNMP v1: セキュリティを提供しません。 Enable SNMP v2 : アクセスにパスワードが必要です。 Write Community : 書き込みコミュニティ名を入力します。 Read Community : 読み取りコミュニティ名を入力します :

パラメータ	機能
SNMP v3	Enable SNMP v3: 暗号化とHTTPSプロトコルを有効にします。 Read Security Name : Read Security Communityの名前を入力します。 Level of Security : (auth、priv)、(auth、no priv)、(no auth、no priv)の3つのレベルがあります。 Write Security Name : Write Security Communityの名前を入力します。 Level of Security : (auth、priv)、(auth、privなし)、(auth、privなし)の3つのレベルがあります。
SNMP Port	SNMP ポート。デフォルトは 161 です。
Save	設定を保存します。

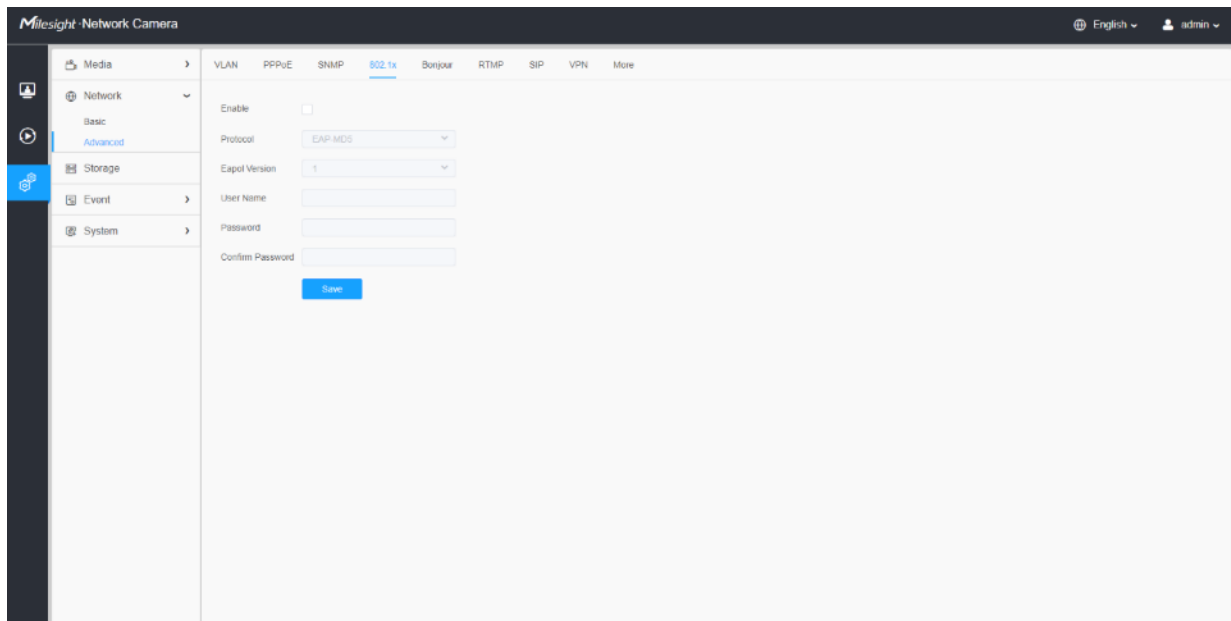
注意

- SNMP ソフトウェアの設定は、ここで設定したものと同一である必要があります；
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。

8.2.2.4 802.1x

ネットワークカメラはIEEE

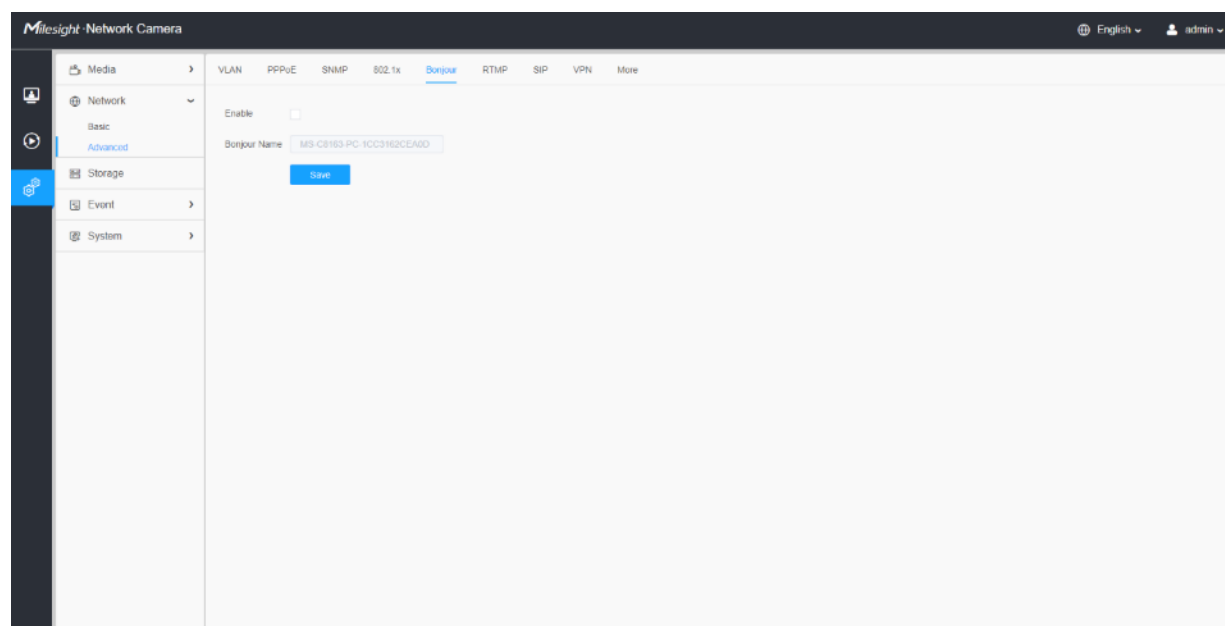
802.1X規格に対応しており、この機能を有効にすると、カメラのデータが保護され、IEEE 802.1Xで保護されたネットワークにカメラを接続する際にユーザ認証が必要になります。



8.2.2.5 Bonjour

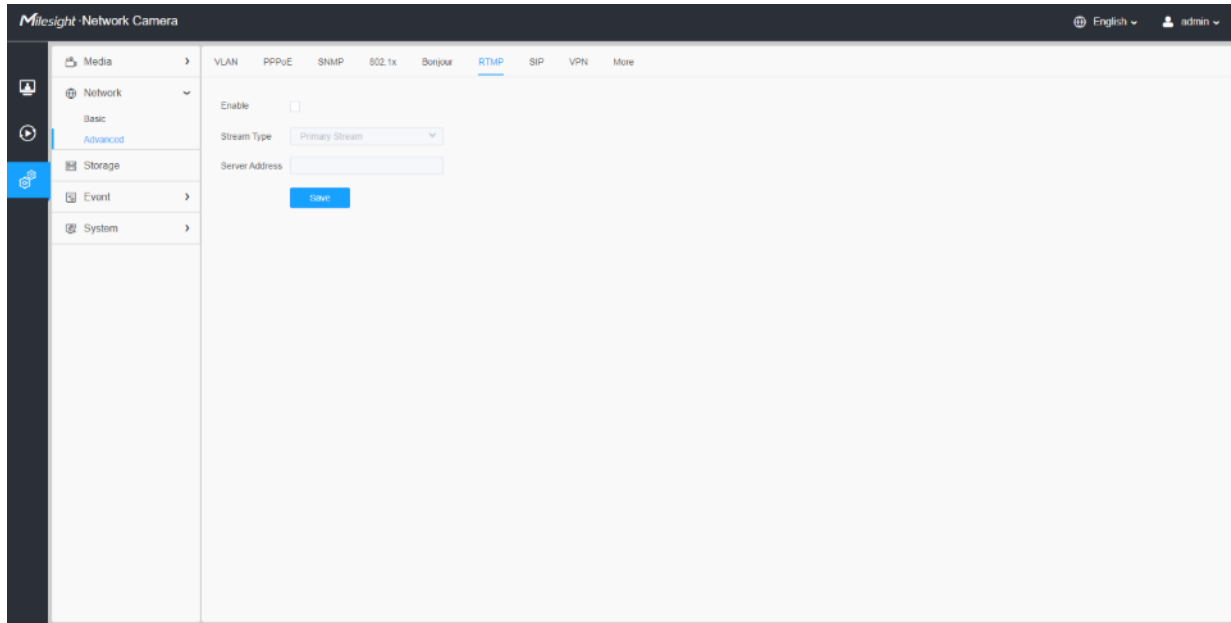
BonjourはAppleのマルチキャストDNSサービスに基づいています。Bonjourデバイスは自動的にサービス情報をブロードキャストし、他のデバイスのサービス情報を聞くことができます。

カメラ情報を知らない場合は、同じLAN上のBonjourサービスを使用してネットワークカメラデバイスを検索し、デバイスにアクセスできます。



8.2.2.6 RTMP

RTMP (RealTime Messaging Protocol) は、当初はFlashプレーヤーとサーバー間でインターネット経由でオーディオ、ビデオ、データをストリーミングするための独自のプロトコルでした。RTMPは、持続的な接続を維持し、低遅延通信を可能にするTCPベースのプロトコルです。RTMPは、ライブ放送の機能を実現することができ、ネットワークがあればどこでもカメラにログインすることができます。



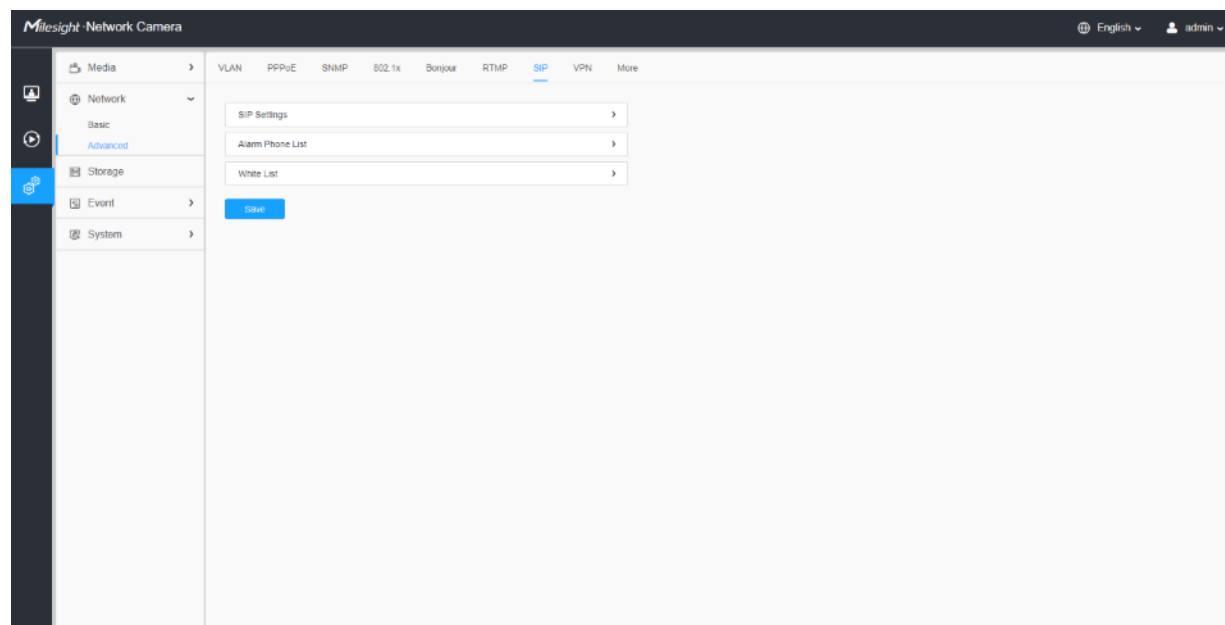
注意

- YouTubeライブ放送の場合、新規作成したアカウントをライブ放送に使用する場合、ライブ機能を使用するためにアカウントを有効にするために24時間待つ必要があります。
- RTMPの場合、G.711はYouTubeで使用できないため、MileSightネットワークカメラからの映像はH.264ビデオコーディングとAACオーディオコーディングでのみYouTubeで再生できます。
- ネットワークカメラRTMPインターフェースのサーバーアドレスは
rtmp://< サーバーURL >/< ストリームキー >のフォーマットで入力する必要があります。
- ライブ放送にRTMPを使用する方法の詳細については、<https://Milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643313> を参照してください。

8.2.2.7 SIP

Session Initiation Protocol(SIP)は、シグナリング通信プロトコルであり、インターネットプロトコル(IP)ネットワーク上で音声通話やビデオ通話などのマルチメディア通信セッションを制御するために広く使用されています。このページではSIP関連のパラメータを設定できます。MileSightをSIPエンドポイントとして設定し、アラームが作動した際に呼び出したり、ビデオIP電話を使用している場合、許可された番号にビデオチェックのための通話を許可したりすることができます。

注：SIPの使用方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643391> をご参照ください。



この機能を使用するには、**SIP**ページの設定が適切である必要があります。**SIP**でビデオを受信するには、**IP**アドレスを直接ダイヤルする方法と、アカウント登録モードの2つの方法があります：

方法1：IP直接モード

SIP電話で直接カメラの**IP**アドレスにダイヤルすると、ビデオを見ることができます。

 **注意：** **SIP**フォンとカメラは同じネットワークセグメントにある必要があります。

方法2：アカウント登録モード

- **SIP**を使用する前に、**SIP**サーバからカメラのアカウントを登録する必要があります；
- 同じ**SIP**サーバから**SIP**デバイスの別のユーザアカウントを登録します；
- **SIP**デバイスからカメラのユーザ**ID**を呼び出すと、**SIP**デバイスにビデオが表示されます。

[SIP Settings]

SIP Settings

Enable

☐ ⓘ

Register Mode

Enable

User ID

500

User Name

sipclient

Password

Server Address

192.168.5.101

Server Port

5060

(1~65535)

Connection Protocol

UDP

Video Stream

Secondary Stream

Enable Audio in SIP Call

☐

Max Call Duration

1800

s (0 means no limitation.)

Status

Unregistered

Alarm Phone List

➤

White List

➤

Save

表35.ボタンの説明

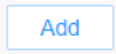
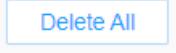
パラメータ	機能
Enable	SIPの使用を開始または停止します。 ⓘ 注：SIPはダイレクトIPコールに対応しています。
Register Mode	有効モードまたは無効モードを選択します。有効モードとは、アカウントを登録してSIPを使用することです。無効モードとは、アカウントを登録せずにSIPを使用し、IPアドレスだけで通話するモードです。
User ID	SIP IDです。
User Name	SIPアカウント名。
Password	SIPアカウントのパスワード。
Server Address	サーバーIPアドレス。

パラメータ	機能
Server Port	サーバーポート
Connection Protocol	UDP/TCP。
Video Stream	ビデオストリームを選択します。
Enable Audio in SIP Call	SIP通話の音声を有効/無効にします。
Max Call Duration	SIP通話時の最大通話時間を設定します。
Status	SIPの登録状態。未登録」または「登録済み」を表示します。

[Alarm Phone List]

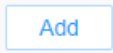
The screenshot displays the 'Alarm Phone List' configuration page. At the top, there is a 'SIP Settings' dropdown menu. Below it is the 'Alarm Phone List' section, which contains a table with the following headers: 'SIP Phone', 'Phone Type', 'Remark Name', 'Duration', and 'Delete'. The table currently shows 'No Data'. Below the table is an 'Add' button. At the bottom of the section is a 'White List' dropdown menu and a 'Save' button.

表 36. ボタンの説明

パラメータ	機能
	カメラにアラーム電話を追加します。 Phone Type : 電話番号（電話番号で呼び出す）およびダイレクトIPコール（ピアツーピアIPコールを受け入れるかチェックします）。 To Phone Number/IP Address : 電話番号またはIPアドレスで呼び出します。 Remark Nam : 表示名。 Duration : SIPを使用するタイムスケジュール。
	選択したアラーム電話を削除します。
	追加されたすべてのアラーム電話を削除します。

[White List]

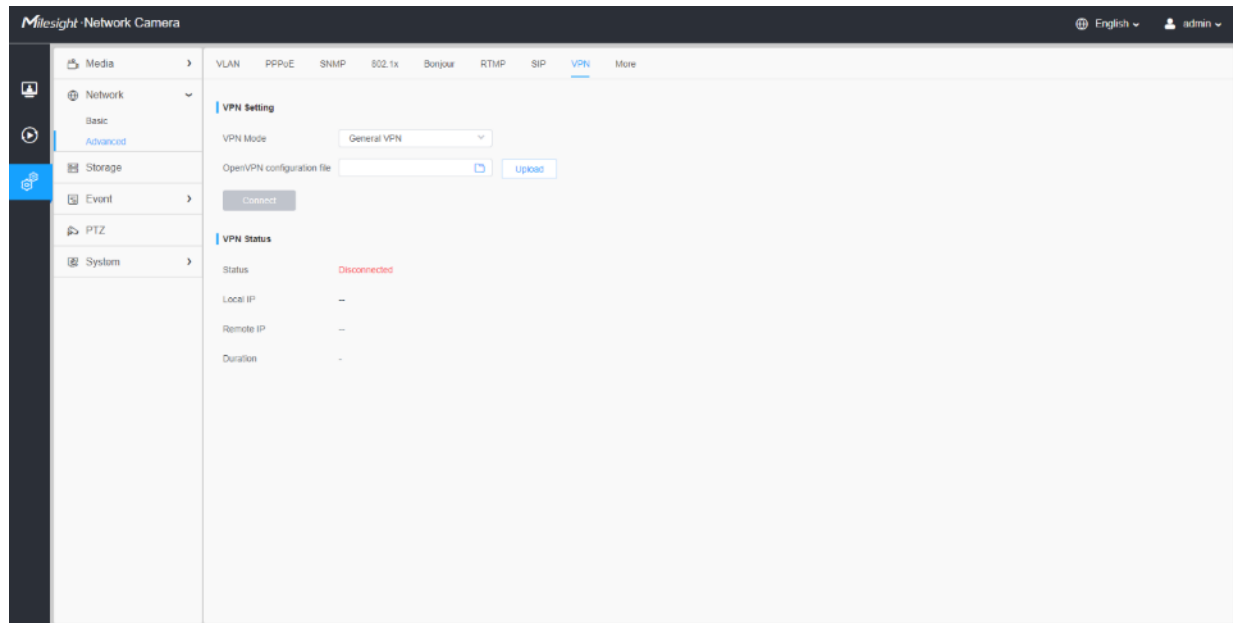
表 37.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable White List Number Filter	有効にすると、指定した電話番号またはIPアドレスのみが訪問できます。
	Phone Type : 電話番号(電話番号で発信) & IP直接発信. Phone Number/IP Address : ホワイトリストに電話番号またはIPアドレスを含めます。

8.2.2.8 VPN

VPNはVirtual Private Networkの略です。公衆インターネット上で安全な暗号化接続を提供するネットワークプロトコルです。監視業界では重要な技術です。パブリックIPアドレス経由でネットワークカメラが接続されているとすると、特定のIPアドレスと転送ポートを誰かが知っていれば、他人が不正にログインしたり、盗聴したりすることが可能です。VPNを経由すると、カメラのストリームとデータは暗号化されたトンネルを経由して転送されます。この暗号化されたVPNトンネルにより、あたかもプライベートネットワークに直接接続されているかのように見え、オンライン活動（閲覧履歴を含む）を隠すことができます。Milesightカメラの場合、VPN機能により仮想IP経由でカメラにログインできるため、カメラの遠隔設定が簡単になります。

MilesightカメラでVPNを使用する方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/support/solutions/articles/69000829102-how-to-use-vpn-on-milesight-network-camera>をご参照ください。



8.2.2.9 More

ここでは、プッシュメッセージ設定や ONVIF 設定などのその他の機能を設定できます。

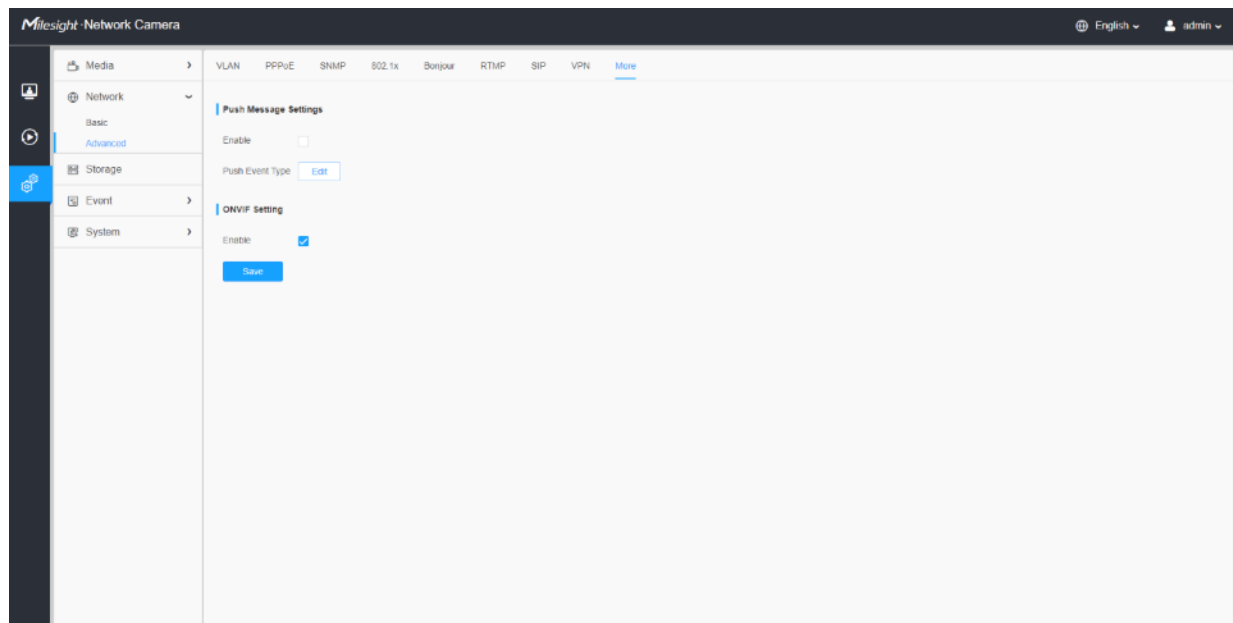


表 38. ボタンの説明

パラメータ	機能
Push Message Settings	Enable : プッシュメッセージ機能の有効／無効 Push Event Type :  をクリックして、M-sight Proアプリにプッシュされるイベント・メッセージのタイプを選択できます： 
ONVIF Setting	カメラのONVIF機能を有効または無効にします。カメラのONVIF機能を有効にすると、ONVIFプロトコルを介してサードパーティ製ソフトウェアで検索、追加、接続できます。通常、ONVIF機能のデフォルトステータスは有効です。

8.3 Storage

8.3.1 Storage Management

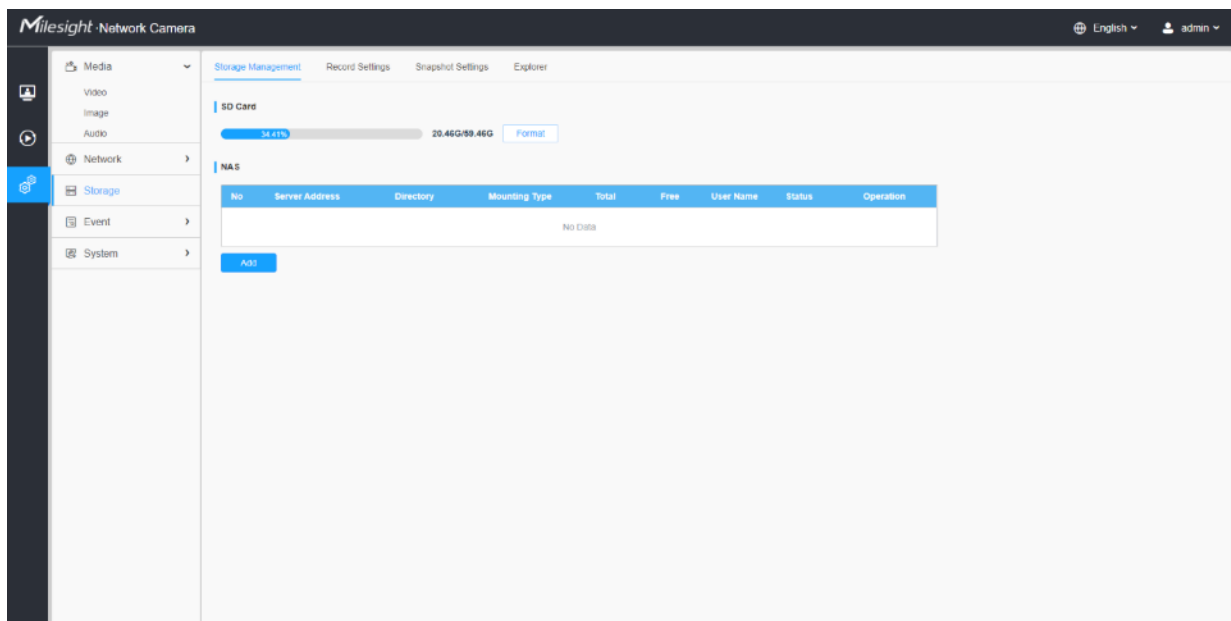
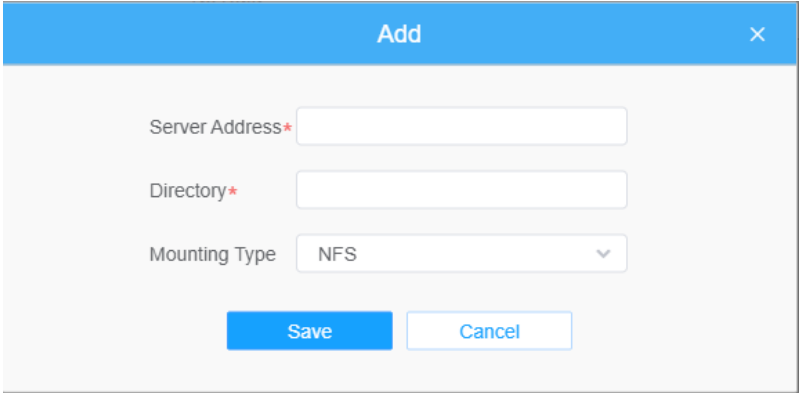


表 39. ボタンの説明

パラメータ	機能
SD Card	Format : SDカードをフォーマットすると、SDカード内のファイルが削除されます。 Mount/UnMount : SDカードをマウント/マウント解除します。 Delete : 削除します : ディスクの空き容量が一定の値に達すると、設定に従って自動的にファイルを一定の割合で削除します。
Nas	ネットワークディスクがネットワーク内で利用可能で、録画ファイルなどを保存するために適切に設定されている必要があります。 NAS (Network-Attached Storage) は、既存のネットワークにストレージデバイスを接続し、データとファイルのサービスを提供します。  Server Address : NASサーバーのIPアドレス。 Directory : NASのディレクトリを入力します。 Mounting Type : NFSとSMB/CIFSが利用可能です。また、SMB/CIFSを選択した場合、セキュリティを保証するためにユーザー名とパスワードを設定できます。 注意 • 最大5台のNASディスクをカメラに接続できます。 • MilesightネットワークカメラでNASを使用する方法の詳細については、https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000797902をご参照ください。

8.3.2 Record Settings

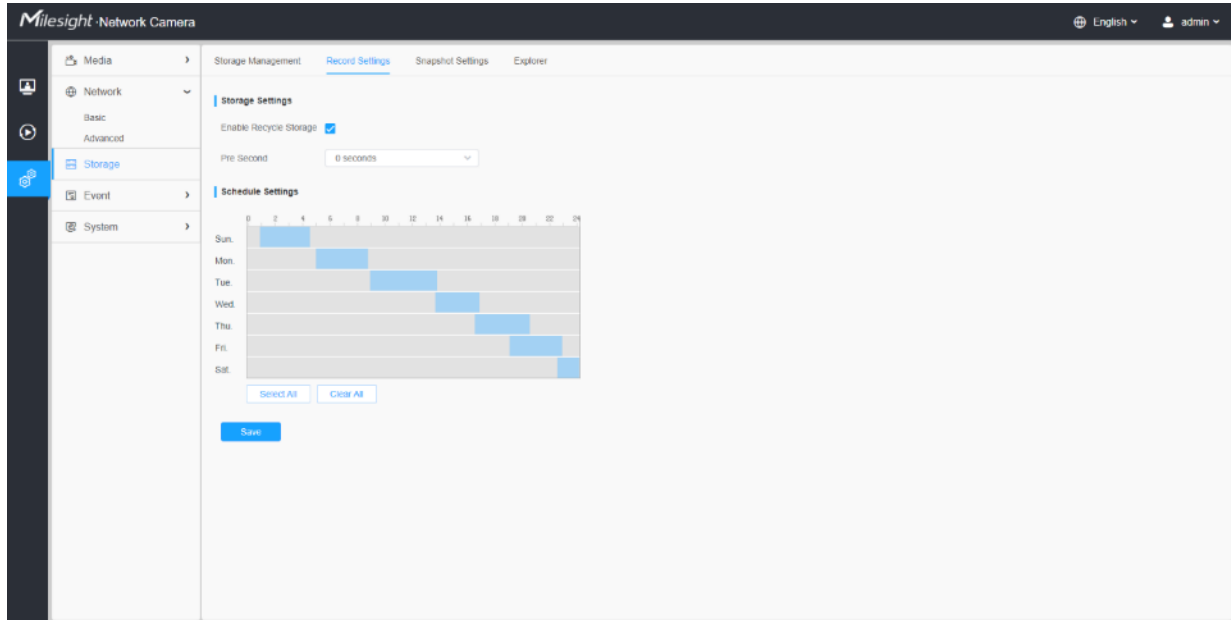
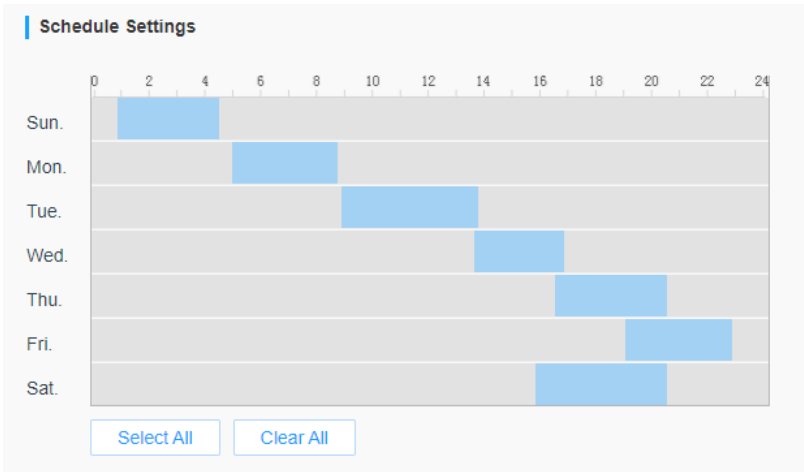
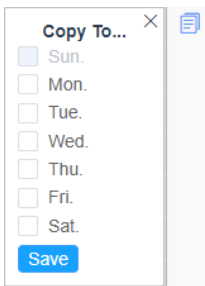
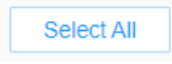
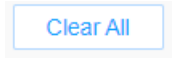
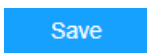


表40 録画設定ボタンの説明

パラメーター	機能
Enable Recycle Storage	このオプションを有効にすると、ディスクの空き容量が一定値に達したときにファイルが削除されます。
Pre Second	アラーム前の記録時間を設定します。
Schedule Settings	必要に応じて録画スケジュールを編集します。タイムバーを直接描くことで、直感的なスケジュール設定が可能です。 

パラメーター	はじめに	
Schedule Settings		スケジュール領域を別の日付にコピーします。
		すべてのスケジュールを選択します。
		全てのスケジュールを消去します。
	設定を保存します。	

 SDカードまたはNASが利用可能です。

8.3.3 Snapshot Settings

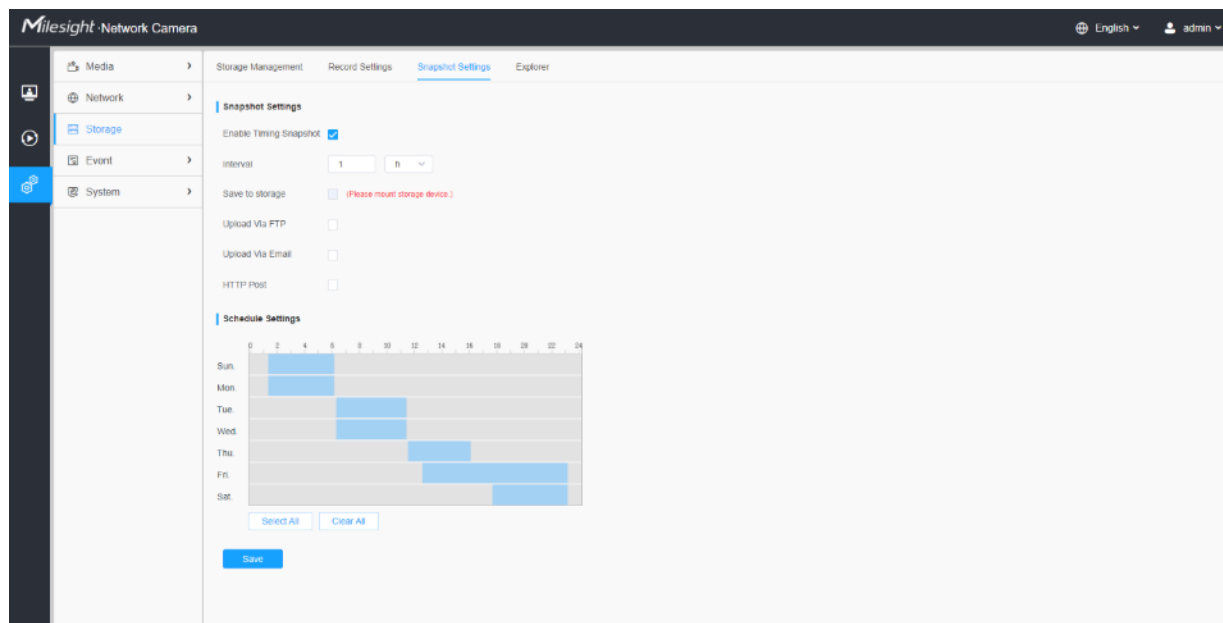
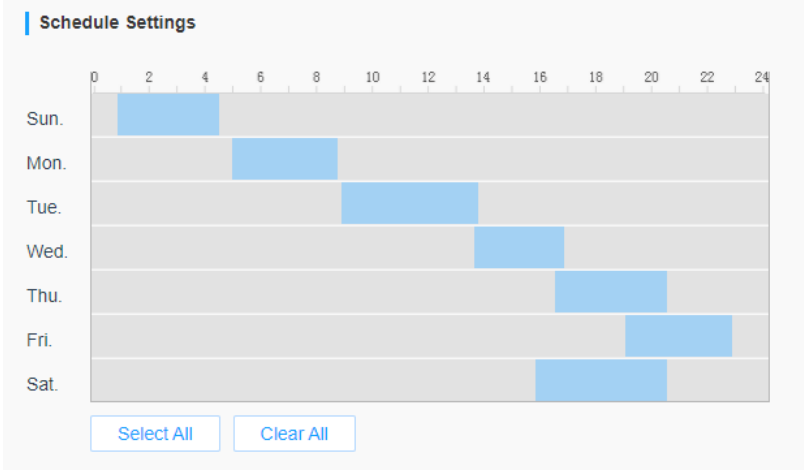
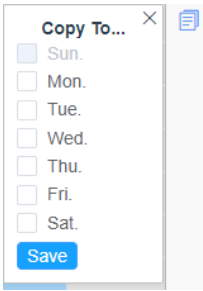
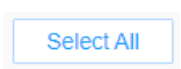


表 41. ボタンの説明

パラメータ	機能	
Snapshot Settings	Enable Timing Snapshot : チェックボックスをチェックして、タイミングスナップショット機能を有効にします。 Interval : スナップショットの間隔を設定し、数値を入力し、単位（ミリ秒、秒、分、時、日）を選択します。 Save Into Storage : スナップショットをSDカードまたはNASに保存し、ファイル名を選択して時間サフィックスを追加するか、ベースファイル名を上書きします。 Save Into NAS : スナップショットをNASに保存し、時間接尾辞を追加するファイル名を選択するか、ベースファイル名を上書きします。 Upload Via FTP : FTP経由でスナップショットをアップロードします。 Upload Via Email : 電子メール経由でスナップショットをアップロードします。 注 : タイムサフィックスを追加するを選択した場合、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名を上書きするを選択した場合、最新の画像1枚のみが保存されます。SDカードまたはNASへのベースファイル名の上書きを選択すると、スナップショットを配置するために「スナップショット」という名前のファイルが作成されます。 HTTP Post : HTTP Post経由でスナップショットをアップロードします。指定したHTTP URLへのスナップショットのアップロードに対応します。	
Schedule Settings	必要に応じてレコードスケジュールを編集します。タイムバーを直接描画することで、直感的なスケジュール設定が可能です。 	
Schedule Settings		スケジュール領域を別の日付にコピー
		スケジュールの全選択

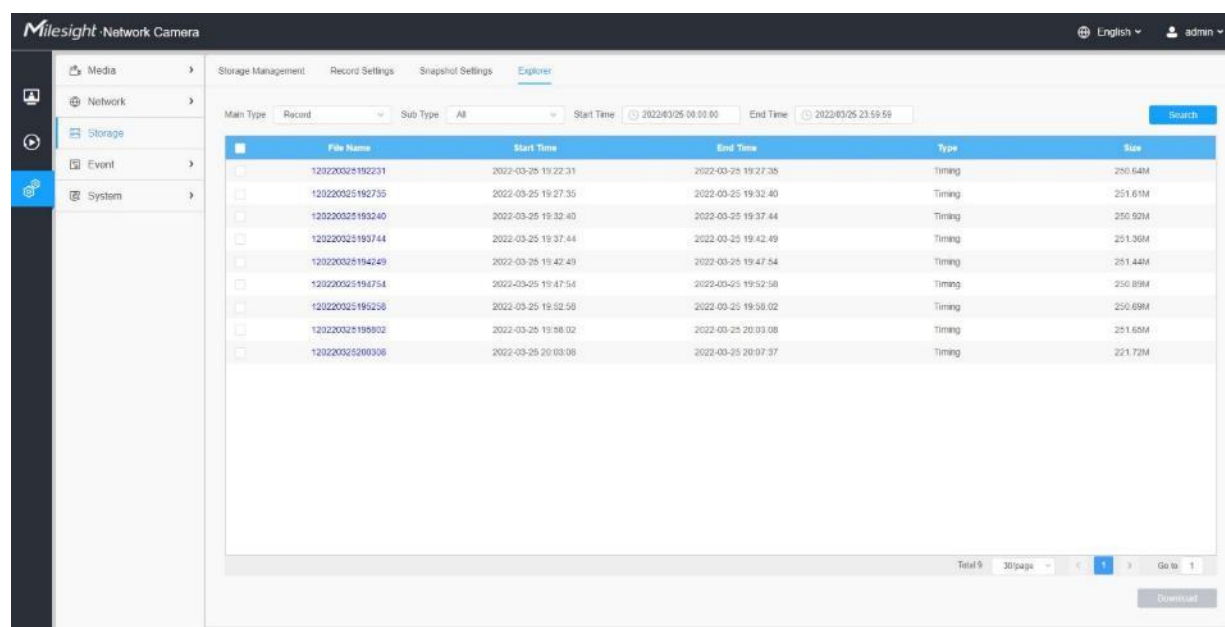
パラメーター	機能	
	Clear All	すべてのスケジュールを消去します。
Save	設定を保存します。	

8.3.4 Explorer

SDカードまたはNASへの保存が設定されている場合、ファイルはこのページに表示されます。毎日ビデオを録画するタイムスケジュールを設定し、ビデオファイルを希望の場所に保存することができます。

 **注：**ファイルはSDカードが挿入されると表示されます。電源オン時にSDカードを抜き差ししないでください。

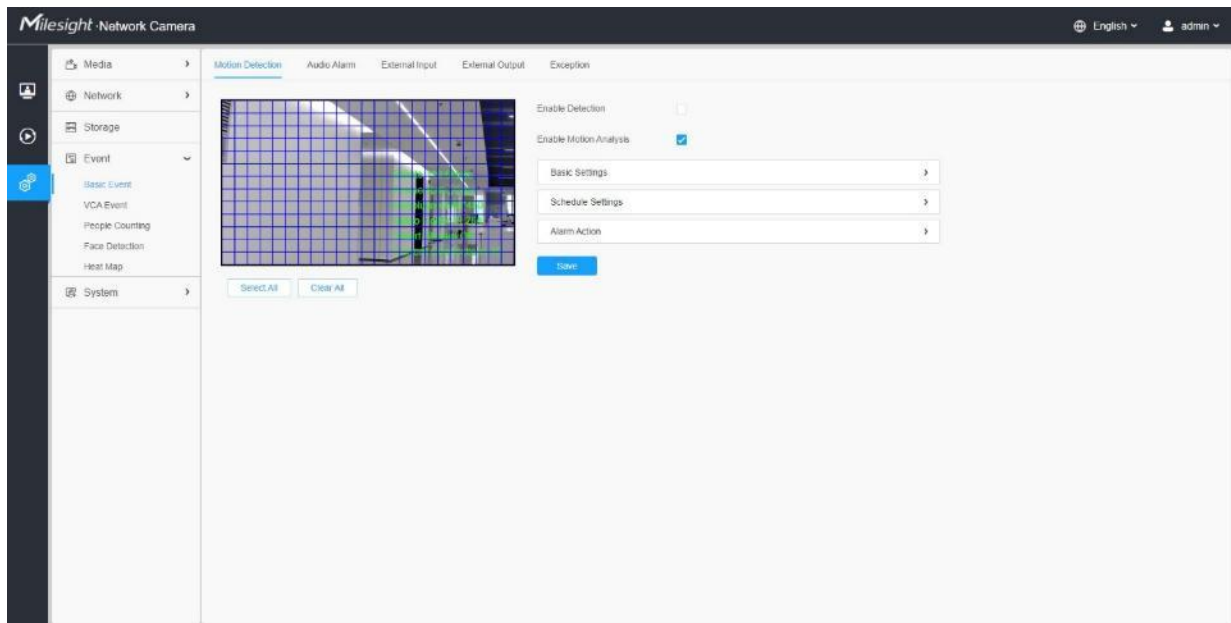
ビデオファイルは日付順に並んでいます。ファイルの種類と開始/終了時間を設定してファイルを検索します。各日のファイルは、対応する日付の下に表示され、ここからファイルなどをコピーして削除することができます。例えば、`ftp://username:password@192.168.5.190`（ユーザ名とパスワードはカメラのアカウントと同じで、IPはデバイスのIPです）。



8.4 Event

8.4.1 Basic Event

8.4.1.1 Motion Detection



 **注：** 動体検知の設定方法の詳細については、
<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643423> を参照してください。

設定手順は次のとおりです：

ステップ1： 動体検知を有効にするチェックボックスをオンにします。

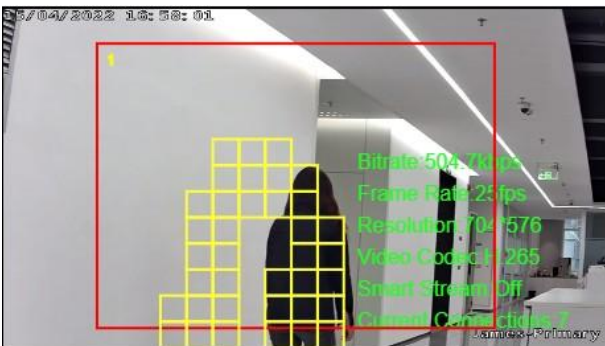
ステップ2： 動体解析を有効にするチェックボックスをオンにします。

ステップ3： 検出モードを選択します；

ステップ4： 動き領域を設定します；

表 42. ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable Detection	動体検知機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。

パラメータ	機能
Enable Motion Analysis	モーション解析を有効にすると、動いている領域が黄色に変わり、ユーザーはどこでモーションが発生したかを正確に知ることができます。  注：ライブビューでHTTPが選択されている場合のみ対応します。 
Select All	ボタンをクリックすると、その領域の動きが検出されます。
Clear All	ボタンをクリックすると、前に描画された領域が削除されます。
Save	設定を保存します。

[Basic Settings]

Enable Detection ☒

Enable Motion Analysis ☐

Basic Settings

Mode

☒ Normal Mode
☐ Advanced Mode

Sensitivity

9

Onvif Motion ActiveCells Settings

Normal

Schedule Settings

>

Alarm Action

>

Save

表43.ボタンの説明

パラメータ	機能
Detection Mode	オプションには、ノーマルモードとアドバンスモードがあります。アドバンスモードを選択すると、最大4つの検出領域と各検出領域の感度を設定できます。
Sensitivity	感度レベル、1~10
Onvif Motion ActiveCells Settings	オプションでNormalとCompatibleを選択できます。サードパーティソフトウェアのモーション領域の設定が当社と異なる場合、このオプションを互換に設定してください。

[Schedule Settings]

ステップ5: モーション検出スケジュールを設定します；

Enable Detection ☒

Enable Motion Analysis ☒

Basic Settings >

Schedule Settings v

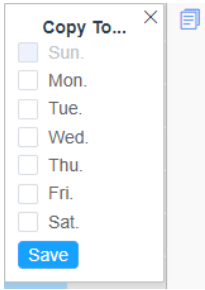
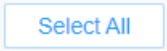
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sun.													
Mon.													
Tue.													
Wed.													
Thu.													
Fri.													
Sat.													

Select All
Clear All

Alarm Action >

Save

表44ボタンの説明

パラメータ	機能
	スケジュールエリアを別の日付にコピーします。
	全てのスケジュールを選択します。
	全てのスケジュールを消去します。

[Alarm Action]

ステップ6: アラーム動作を設定します；

Enable Detection ☒

Enable Motion Analysis ☒

Basic Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action ▾

☐ Record >

☒ Snapshot >

☐ External Output >

☐ Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)

☐ Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)

☐ HTTP Notification >

Save

表 45. ボタンの説明

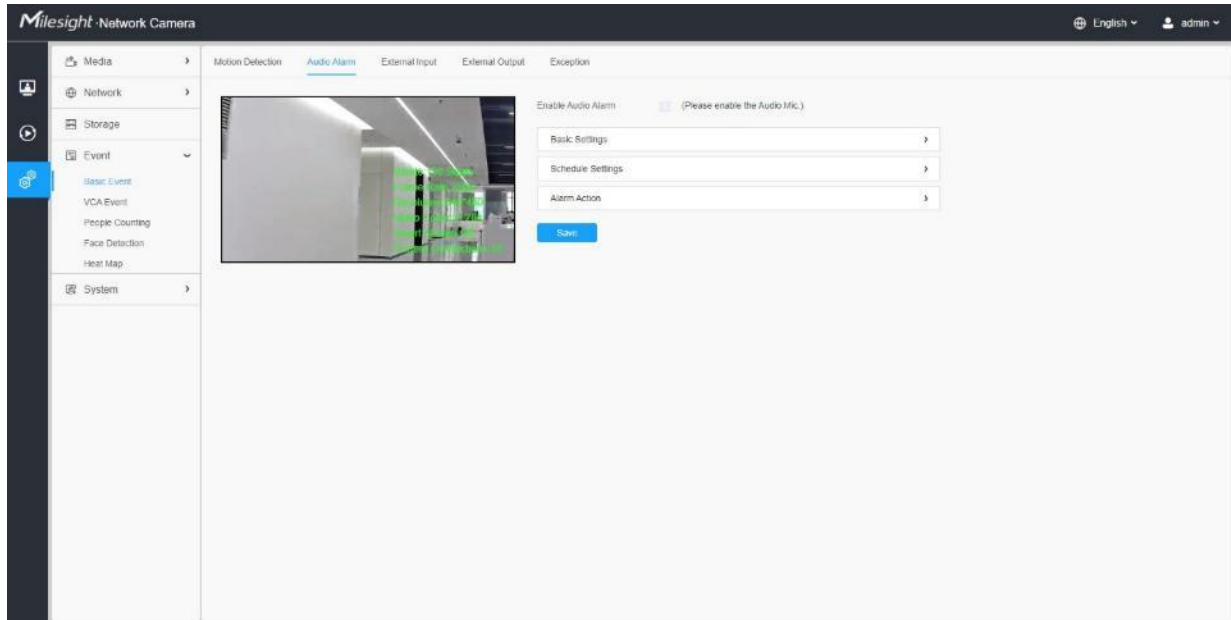
パラメータ	機能
Record	Duration : アラームの継続時間を選択します。5s/10s/15s/20s/25s/30sが利用可能です。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存、またはFTP経由で録画ファイルをアップロードします。
Snapshot	Number : スナップショットの数、1~5 が利用できます。 Interval : スナップショットに1以上を選択しない限り編集できません。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。
External Output	カメラが外部出力を装備している場合、トリガ期間を設定した後、アクションを有効にできます。
Play Audio	 自動/10秒/30秒/1分/5分/10分を選択できます。 注意 : 音声スピーカーを有効にしてください。
Alarm to SIP Phone	SIP機能を有効にした後、SIP電話を呼び出す対応。
HTTP Notification	 指定したHTTP URLにアラームニュースをポップアップする対応。 注意 - 最大3つのHTTP通知を同じイベントに追加できます。 - HTTP通知は、ベーシック認証とダイジェスト認証に対応しています。
White LED	アラームがトリガーされると、白色LEDが点灯し、検出されたオブジェクトを警告します。  注 : PTZ Bulletのみ。
PTZ Motion	モーション・アラームがトリガーされると、PTZモーションはカメラがモーション・トリガーされた位置にレンズを移動し、ズームインすることができます。 注 : PTZシリーズのみ。
Call Preset/ Call Patrol/Call Pattern (外部入力の場合のみ)	モーションアラームがトリガーされると、指定したプリセット/パトロール/パターンを呼び出すことができます。 PTZシリーズのみ



8.4.1.2 Audio Alarm

音声アラーム機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。

 **注：** 音声アラーム機能を使用する前に、音声マイクを有効にしてください。



[Basic Settings]

表 46. ボタンの説明

パラメータ	機能
Alarm Threshold	オーディオアラームは、しきい値が 0 から 100 の間で特定の値に達したときにトリガされます。
Audio Sample Value	オーディオサンプルの現在の値です。

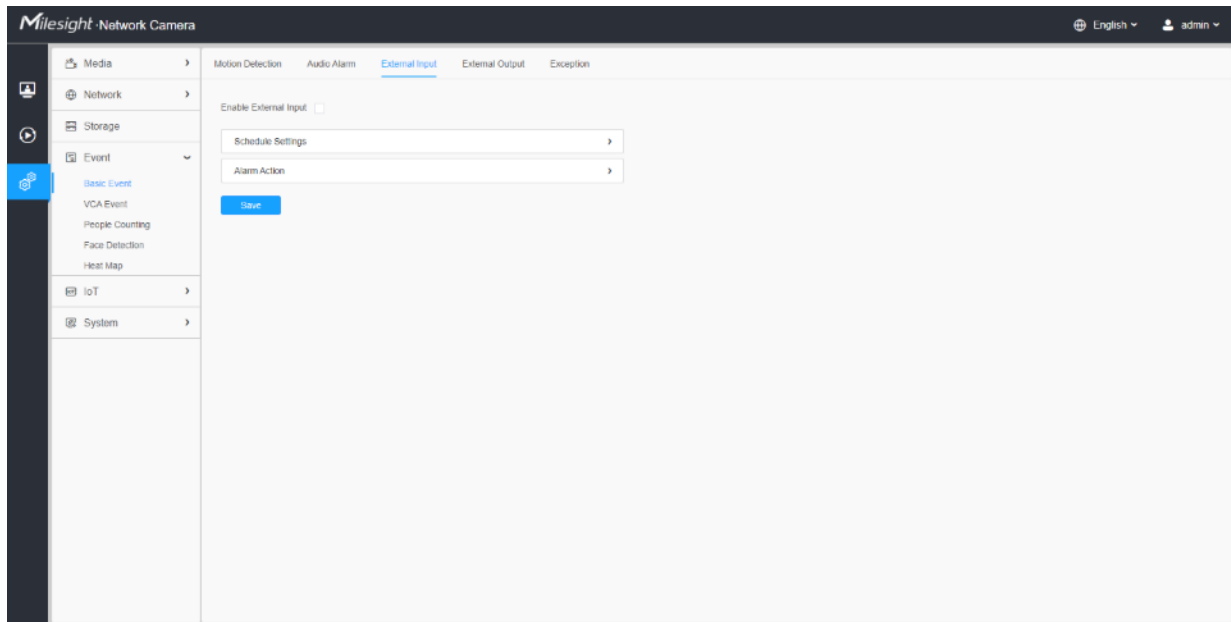
[Schedule Settings]

各項目の意味は[表 3 \(102 ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

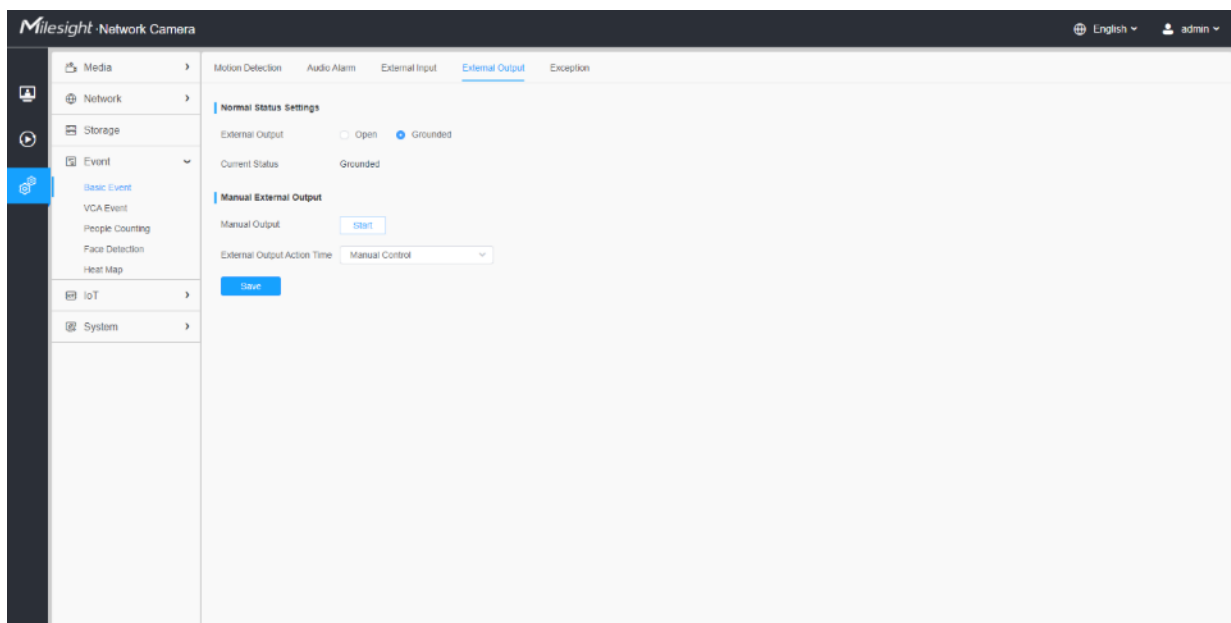
各項目の意味は[表 4 \(103 ページ\)](#) を参照してください。

8.4.1.3 External Input



項目の意味は[表3 \(102ページ\)](#) を参照してください。

8.4.1.4 External Output



[Normal Status Settings]

Current Statusと**Normal Status**が異なる場合、アラームが発生します。

[Manual External Output]

手動外部出力の設定を行います。

表 47ボタンの説明

パラメータ	機能
Manual Output	手動外部出力を開始/停止します。
External Output Action Time	手動制御/カスタマイズ/10秒/1分/5分/10分が選択できます。

8.4.1.5 Exception

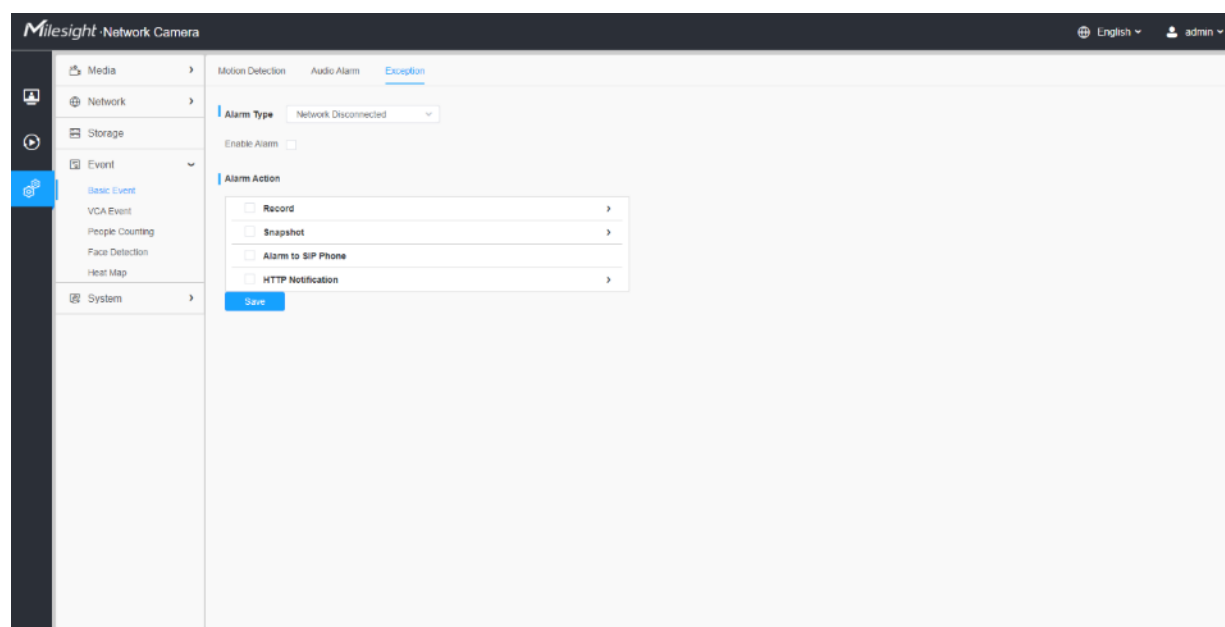


表 48.ボタンの説明

パラメーター	機能
Alarm Type	Network Disconnected, IP Address Conflicted, Record Failed, SD Card Full, SD Card Uninitialized, SD Card Error and No SD Card 選択したアラームタイプを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Alarm Action	各項目の意味については、 表 3 (102ページ) を参照してください。

8.4.2 VCA Event

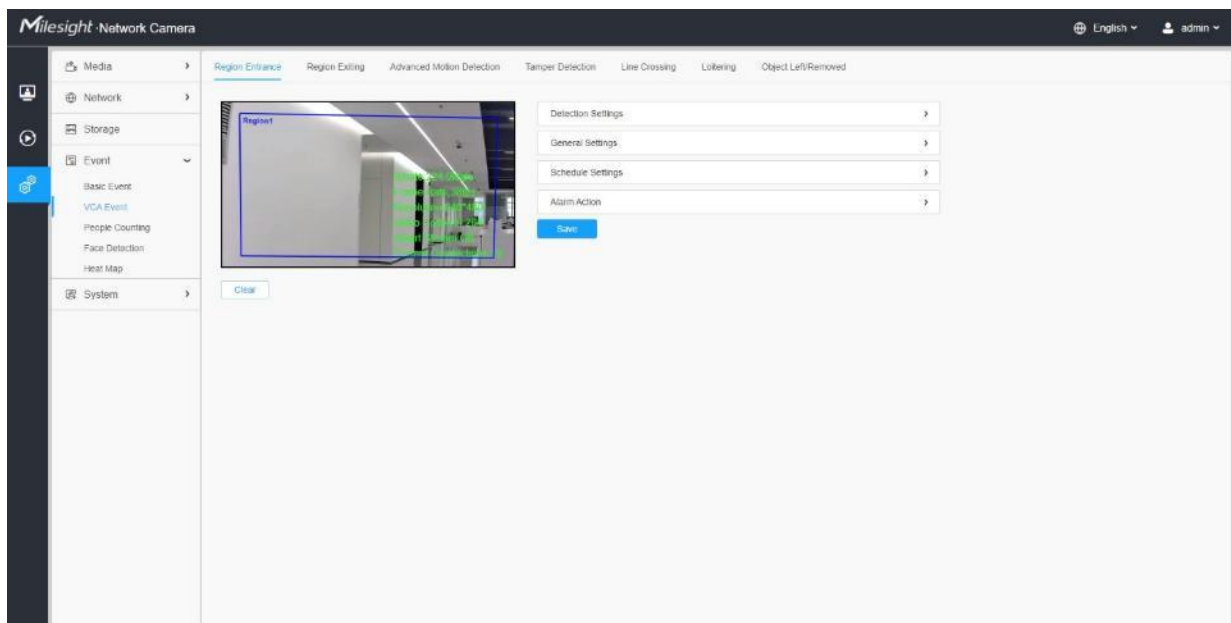
スマートイベントは、Milesightネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ解析を提供するVCA（ビデオコンテンツ解析）技術を使用しています。AIチップを搭載した新世代のビデオ解析は、人間、車両、物体のパターン認識モデルの膨大な属性を認識することができます。車両や人に関連するイベントはセキュリティ監視において非常に重要であるため、フィルタリングに対応し、効率を最適化します。

注意

- セット VCA ソリューションの使用方法の詳細については、
[https:// Milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643371](https://Milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643371)
を参照してください。
- VCA 機能の設定方法の詳細については、
<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/new?translate=false>
をご参照ください。

8.4.2.1 Region Entrance

リージョン入口は、不審者や物体の侵入による潜在的な脅威から特別なエリアを保護するのに役立ちます。領域入口を有効にすると、選択した領域に物体が侵入したときにアラームが作動します。



設定手順は次のとおりです：

[Detection Settings]

 **注意：** 一般設定はすべての検知領域/ラインに適用されます！

ステップ 1: 検出領域を選択し、領域入口検出を有効にします；

ステップ 2: 検出対象を選択します。人または車両属性をチェックし、カメラが人または車両を検出するとアラームが鳴り、関連イベントがトリガされます；

Detection Settings

Region

1

2

3

4

Enable Detection ☐

Detection Object ☒ Human ☒ Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings

Schedule Settings

Alarm Action

Save

[General Settings]

ステップ3：検出感度とオブジェクトのサイズ制限を設定します；

Detection Settings

General Settings

Sensitivity

5

Object Size Limits

Edit

Min. Size

3

*

3

Pixels (1*1~320*240)

Max. Size

320

*

240

Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings

Alarm Action

Save

表 49.ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

Detection Settings

General Settings

Schedule Settings

024681012141618202224

Sun.

Mon.

Tue.

Wed.

Thu.

Fri.

Sat.

Select All

Clear All

Alarm Action

Save

表 50.ボタンの説明

パラメータ	機能
Copy To... Sun. Mon. Tue. Wed. Thu. Fri. Sat. Save	スケジュールエリアを別の日付にコピーします。
Select All	全てのスケジュールを選択します。
Clear All	全てのスケジュールを消去します。

[Alarm Action]

ステップ5: アラーム動作を設定します；

The screenshot shows the 'Alarm Action' configuration page. It has a sidebar with 'Detection Settings', 'General Settings', 'Schedule Settings', and 'Alarm Action' (selected). The main area lists eight actions with checkboxes and expandable options (indicated by a right arrow):

- ☐ **Record**
- ☐ **Snapshot**
- ☐ **External Output**
- ☐ **Play Audio** (Please enable the Audio Speaker.)
- ☐ **Alarm to SIP Phone** (Please open the SIP.)
- ☐ **HTTP Notification**
- ☐ **White LED**
- ☒ **PTZ Auto Tracking** (Please Enable the Auto Tracking)

A blue 'Save' button is located at the bottom left of the configuration area.

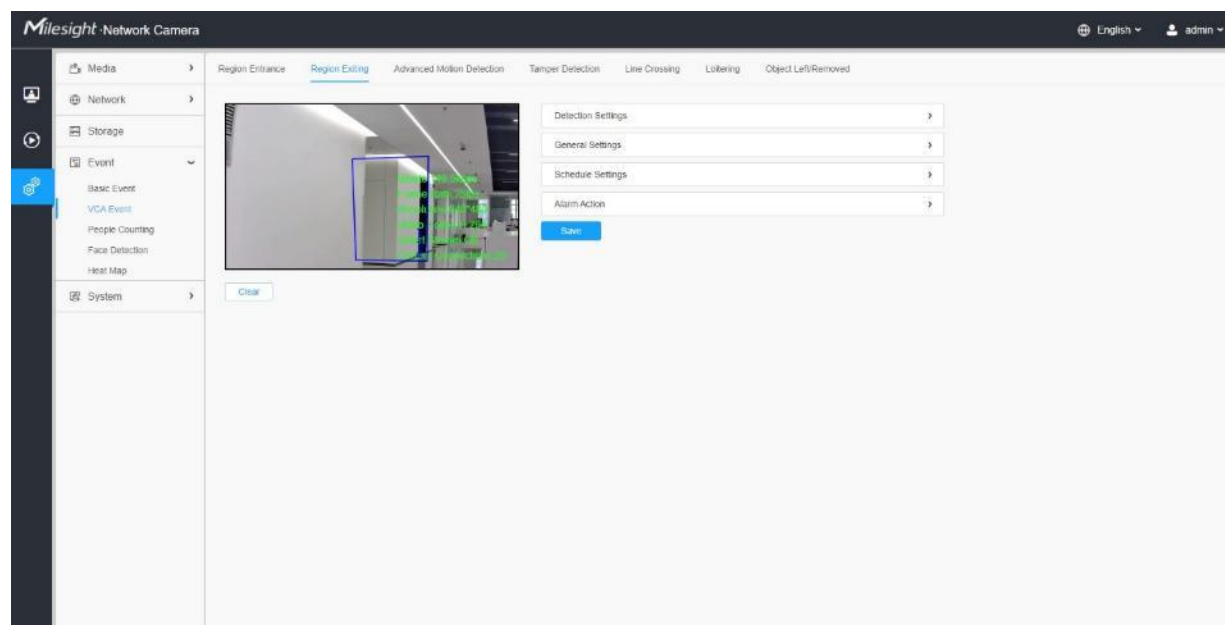
表51ボタンの説明

パラメータ	機能
Record	Duration : アラームの継続時間を選択します。5s/10s/15s/20s/25s/30sが利用可能です。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存、またはFTP経由で録画ファイルをアップロードします。
Snapshot	Number : スナップショットの数、1~5 が利用できます。 Interval : スナップショットに1以上を選択しない限り編集できません。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。
External Output	カメラが外部出力を装備している場合、トリガ期間を設定した後、アクションを有効にできます。
Play Audio	自動/10秒/30秒/1分/5分/10分を選択できます。 注意 : オーディオスピーカを有効にしてください。

パラメータ	機能
Alarm to SIP Phone	SIP機能を有効にした後、SIP電話への呼び出しに対応します。  注：SIPを開いてください。
HTTP Notification	指定された HTTP URL に警報ニュースをポップアップする対応。
White LED	警報が誘発した場合、検出された目的を警告するために白い LED はつきます。  注: PTZの弾丸のためだけ。
PTZ Motion (Only for Advanced Motion Detection)	モーション・アラームがトリガーされると、PTZモーションにより、カメラはレンズをモーション・トリガーされた位置に移動し、ズームインします。  注：PTZシリーズのみ。
PTZ Auto Tracking	カメラは自動的に物体を追跡し、選択した領域に物体が入るとアラームをトリガーします。  注意 • PTZシリーズのみ。 • 最初にPTZインターフェースで自動追尾を有効にしてください。 • PTZ自動追尾はデフォルトでチェックされています。

8.4.2.2 Region Exiting

地域退出とは、監視しているエリアから人や物が出ないようにすることです。人または物体が退出すると、アラームが作動します。



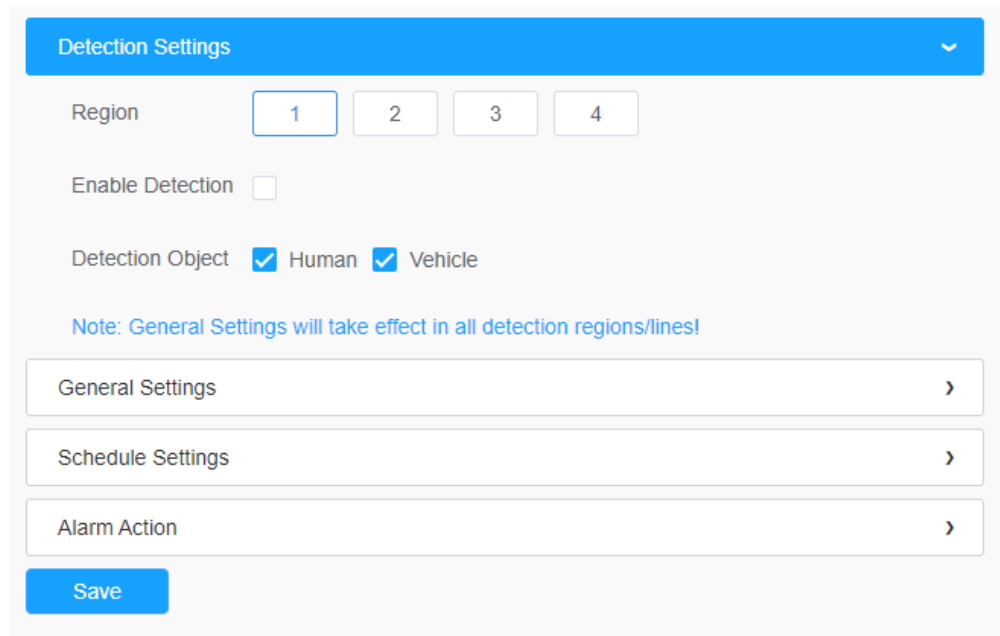
設定手順は次のとおりです：

[Detection Settings]

 注：一般設定はすべての検出領域/ラインに適用されます！

ステップ1: 検出領域を選択し、領域からの退出検出を有効にします；

ステップ2: 検出対象を選択します。人または車両属性をチェックし、カメラが人または車両を検出するとアラームが鳴り、関連イベントがトリガされます；



The screenshot shows the 'Detection Settings' configuration page. At the top is a blue header bar with the title 'Detection Settings' and a dropdown arrow. Below the header, there are four buttons labeled '1', '2', '3', and '4' for selecting a region; button '1' is currently selected. Underneath these buttons is the 'Enable Detection' option with an unchecked checkbox. The 'Detection Object' section shows two checked checkboxes for 'Human' and 'Vehicle'. A blue note states: 'Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!'. Below this note are three expandable sections: 'General Settings', 'Schedule Settings', and 'Alarm Action', each with a right-pointing arrow. At the bottom left of the settings area is a blue 'Save' button.

[General Settings]

ステップ3：検出感度とオブジェクトのサイズ制限を設定します；

The screenshot shows the 'General Settings' section of a configuration interface. At the top, there are tabs for 'Detection Settings', 'General Settings' (which is selected and highlighted in blue), 'Schedule Settings', and 'Alarm Action'. Below the 'General Settings' tab, there is a 'Sensitivity' slider set to 5. Underneath, there is a section titled 'Object Size Limits' with an 'Edit' button. This section contains two radio button options: 'Min. Size' (selected) and 'Max. Size'. The 'Min. Size' option has input fields for '3' and '3' followed by the text 'Pixels (1*1~320*240)'. The 'Max. Size' option has input fields for '320' and '240' followed by the text 'Pixels (1*1~320*240)'. Below these options is a note: 'Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!'. At the bottom of the settings area is a blue 'Save' button.

表 52. ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは 320*240 です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

The screenshot displays the 'Schedule Settings' configuration page. At the top, there are three tabs: 'Detection Settings', 'General Settings', and 'Schedule Settings' (the active tab, highlighted in blue). Below the tabs is a calendar grid for the week of Sunday (Sun.) to Saturday (Sat.). The grid has a horizontal axis representing hours from 0 to 24 in increments of 2. The grid cells are currently empty, indicating no schedule is set. Below the grid are two buttons: 'Select All' and 'Clear All'. At the bottom of the page, there is an 'Alarm Action' tab and a 'Save' button.

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1 地域入口 \(107ページ\)](#) を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ5：アラーム動作を設定します；

Detection Settings >

General Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action ▾

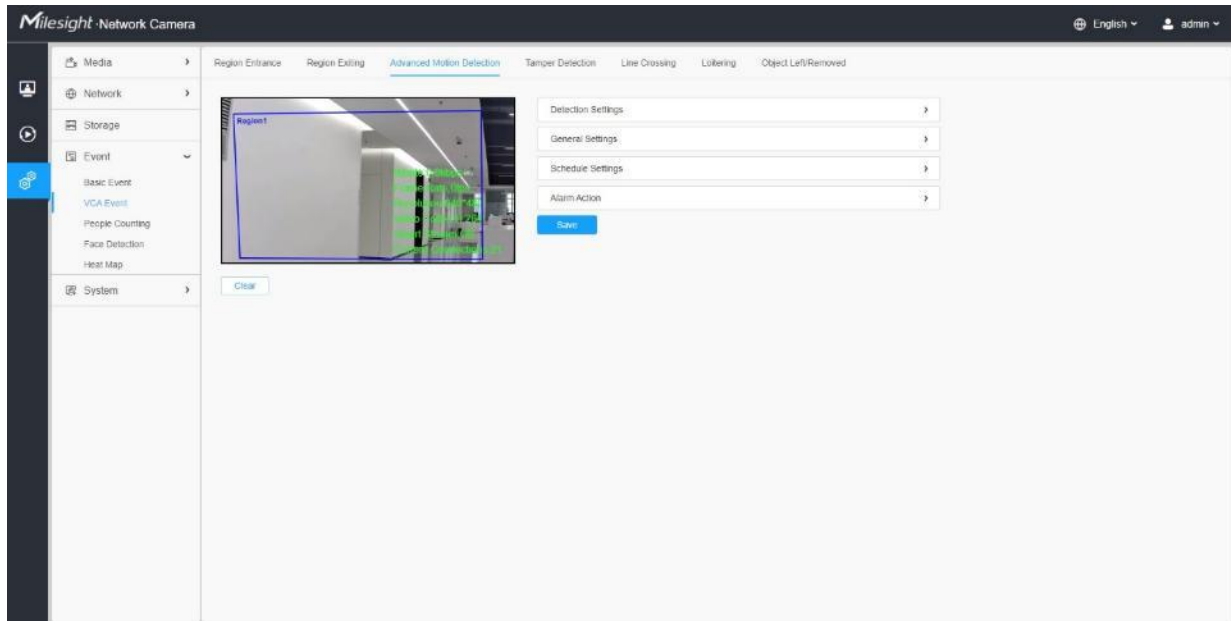
- ☐ Record >
- ☐ Snapshot >
- ☐ External Output >
- ☐ Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)
- ☐ Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)
- ☐ HTTP Notification >
- ☐ White LED >
- ☒ PTZ Auto Tracking (Please Enable the Auto Tracking)

Save

 注：この部分は通常のアラーム設定と同じです。[表 3 \(111 ページ\)](#)を参照してください。

8.4.2.3 Advanced Motion Detection

従来の動体検知とは異なり、高度な動体検知は照明の変化、自然な木の動きなどの「ノイズ」をフィルタリングすることができます。選択したエリアで物体が動くと、アラームが作動します。



設定手順は以下の通りです：

ステップ1： 検出領域を選択し、高度な動体検出を有効にします；

ステップ2： 検知対象を選択します。人または車両の属性をチェックし、カメラが人または車両を検出するとアラームが作動し、関連イベントがトリガされます；

Detection Settings
▼

Region

1

2

3

4

Enable Detection
☐

Detection Object

☒ Human
 ☒ Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings
›

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

[General Settings]

ステップ3：短時間モーションを無視する時間を設定します。時間を設定すると、オブジェクトの移動時間が設定時間内である場合、アラームはトリガされません；

ステップ4：検出感度と物体サイズの制限を設定します；

表 53. ボタンの説明

パラメータ	機能
Ignore Short-Lived Motion	物体の移動時間が設定時間内の場合、アラームは作動しません。オフ/1s/2s/3s/4s/5s が選択可能です。  注：Ignore Short-Lived Motion time（短時間モーション無視）は、設定時間内の瞬時の物体移動による誤報を回避するための機能です。
Sensitivity	レベル1~10が利用可能で、デフォルトレベルは5です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。  注：感度は異なった条件に従ってさまざまな動きを検出するために形成することができます。感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームが作動しません。

パラメータ	機能
Min. Size	画面を描画するか、ピクセル番号を入力して、検出対象物の最小サイズを設定します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ5: 検出スケジュールを設定します；

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

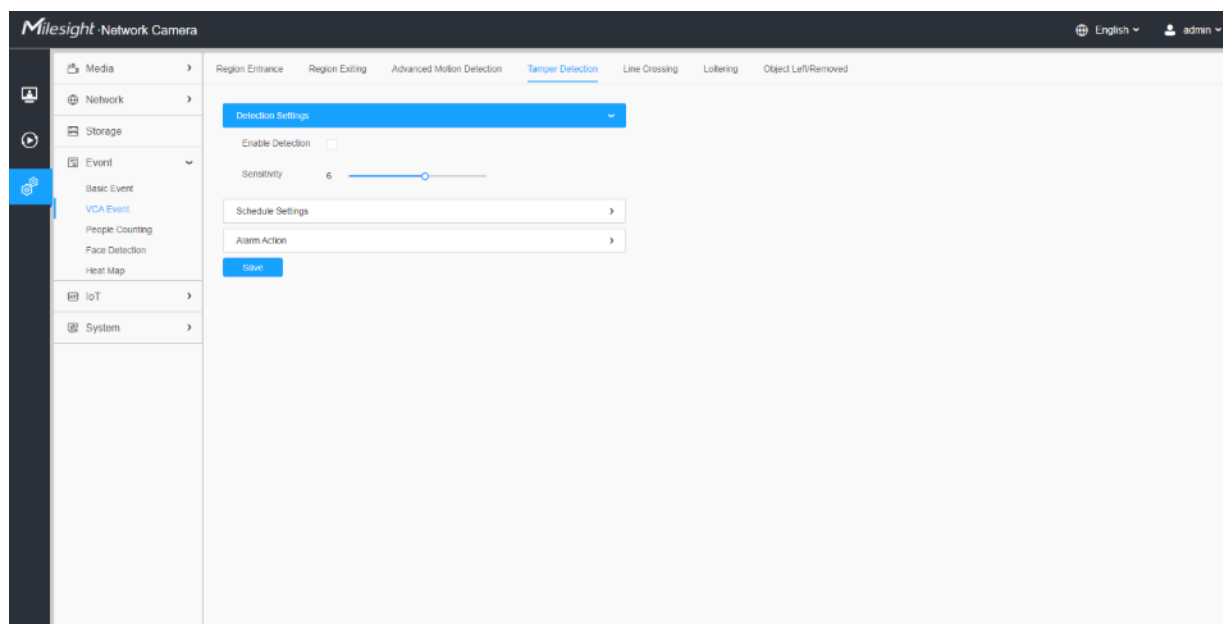
ステップ6 : アラーム動作を設定します；

 **注意**

- この部分は通常のアラーム設定と同じです。 [表 3 \(111 ページ\)](#)を参照してください。
- 外部出力を有効にし、[外部出力アクション時間一定]を選択すると、物体の動作時間が選択した領域で設定した[短命モーション無視]時間より長い場合、外部出力アクションアラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

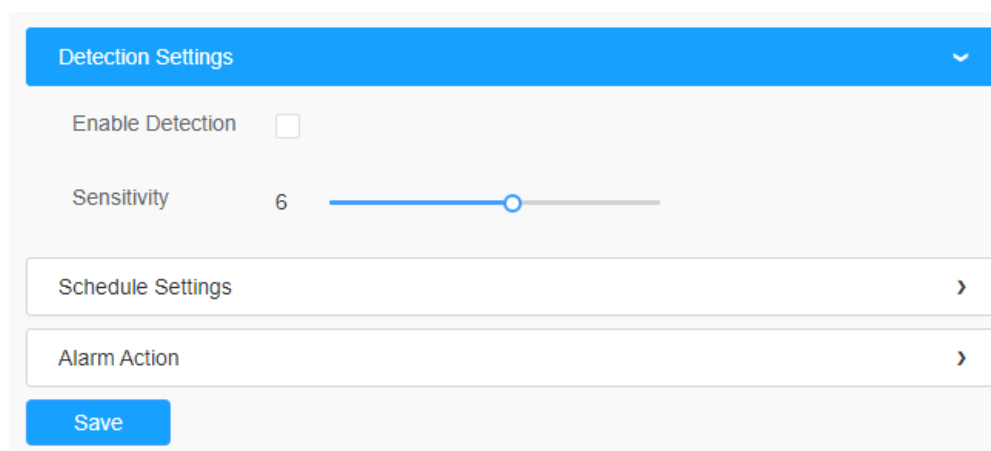
8.4.2.4 Tamper Detection

いたずら検出は、カメラのピントが合っていない、障害物がある、移動しているなど、いたずらされた可能性を検出するために使用されます。この機能は、上記のアクションが発生すると、セキュリティ担当者に即座に警告します。



設定手順は次のとおりです：

ステップ1：いたずら検出を有効にして、検出感度を設定します；



[Schedule Settings]

ステップ2：検知スケジュールを設定します；

 **注：**この部分は通常のスケジュール設定と同じです。[8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

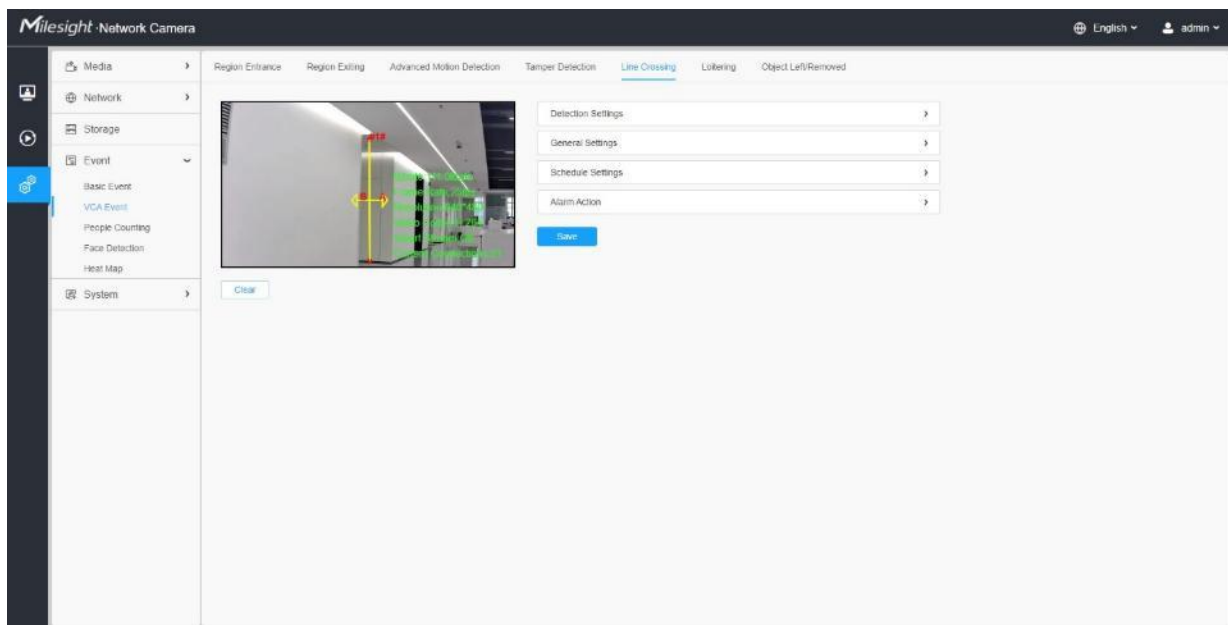
ステップ3：アラーム動作を設定します；

注意

- この部分は通常のアラーム設定と同じです。[表 3 \(111 ページ\)](#)を参照してください。
- 外部出力を有効にし、[Constant External Output Action Time]を選択すると、改ざんの可能性が検出された場合、外部出力動作アラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。
- このアルゴリズムは、いたずら検出機能でデフォーカス検出に対応しています。

8.4.2.5 Line Crossing

ライン交差検出は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想線を横切る物体を検出するたびに、イベントがトリガされます。



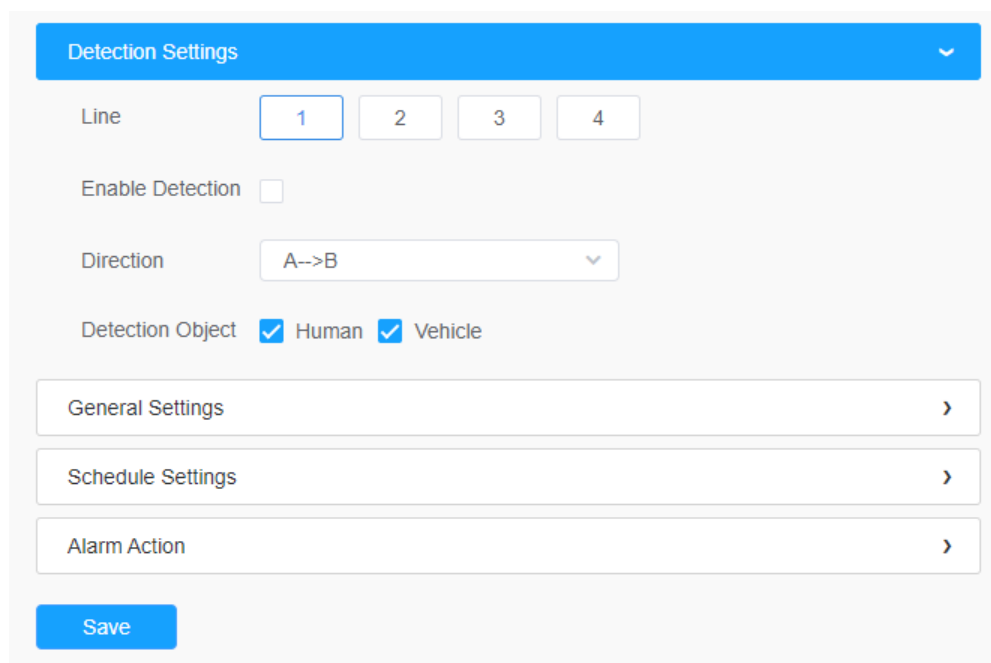
[Detection Settings]

ステップ1：検出ラインを選択し、ライン交差検出を有効にして、その方向を定義します；

注意

- 一度に最大4つのラインを設定できます。アラームのトリガーには3つの方向モードがあります。「A→B」は"A"側から"B"側に物体が横切った場合、アラームが作動します。「B→A」はその逆。「A↔B」は物体がどちらかの側からラインを横切った場合にアラームが作動することを意味します。

ステップ2：検知対象を選択します。人または車両の属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントをトリガします；



The screenshot shows the 'Detection Settings' configuration page. At the top is a blue header bar with the title 'Detection Settings' and a dropdown arrow. Below the header, there are four buttons labeled 'Line 1', 'Line 2', 'Line 3', and 'Line 4'. The 'Line 1' button is currently selected. Underneath these buttons is a checkbox labeled 'Enable Detection', which is currently unchecked. Below that is a dropdown menu labeled 'Direction' with 'A→B' selected. Further down is a section labeled 'Detection Object' with two checkboxes: 'Human' (checked) and 'Vehicle' (checked). At the bottom of the settings area, there are three expandable sections: 'General Settings', 'Schedule Settings', and 'Alarm Action', each with a right-pointing arrow. At the very bottom is a blue 'Save' button.

[General Settings]

ステップ3：検出感度とオブジェクトのサイズ制限を設定します；

The screenshot shows the 'General Settings' section of a configuration interface. At the top, there are tabs for 'Detection Settings', 'General Settings' (which is selected and highlighted in blue), 'Schedule Settings', and 'Alarm Action'. Below the 'General Settings' tab, the 'Sensitivity' is set to 5, represented by a slider. Under the 'Object Size Limits' section, there is an 'Edit' button. Two radio buttons are present: 'Min. Size' (selected) and 'Max. Size'. The 'Min. Size' is set to 3 * 3 Pixels (1*1~320*240). The 'Max. Size' is set to 320 * 240 Pixels (1*1~320*240). A note states: 'Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!'. At the bottom, there is a 'Save' button.

表 54.ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

The screenshot displays the 'Schedule Settings' configuration page. At the top, there are three tabs: 'Detection Settings', 'General Settings', and 'Schedule Settings' (which is active and highlighted in blue). Below the tabs is a 24-hour timeline grid for each day of the week (Sun. to Sat.). The timeline is currently set to 'All' (indicated by blue bars across all hours). Below the timeline are two buttons: 'Select All' and 'Clear All'. At the bottom, there is an 'Alarm Action' dropdown menu and a 'Save' button.

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1 地域入口](#) (107ページ) を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ5：アラーム動作を設定します；

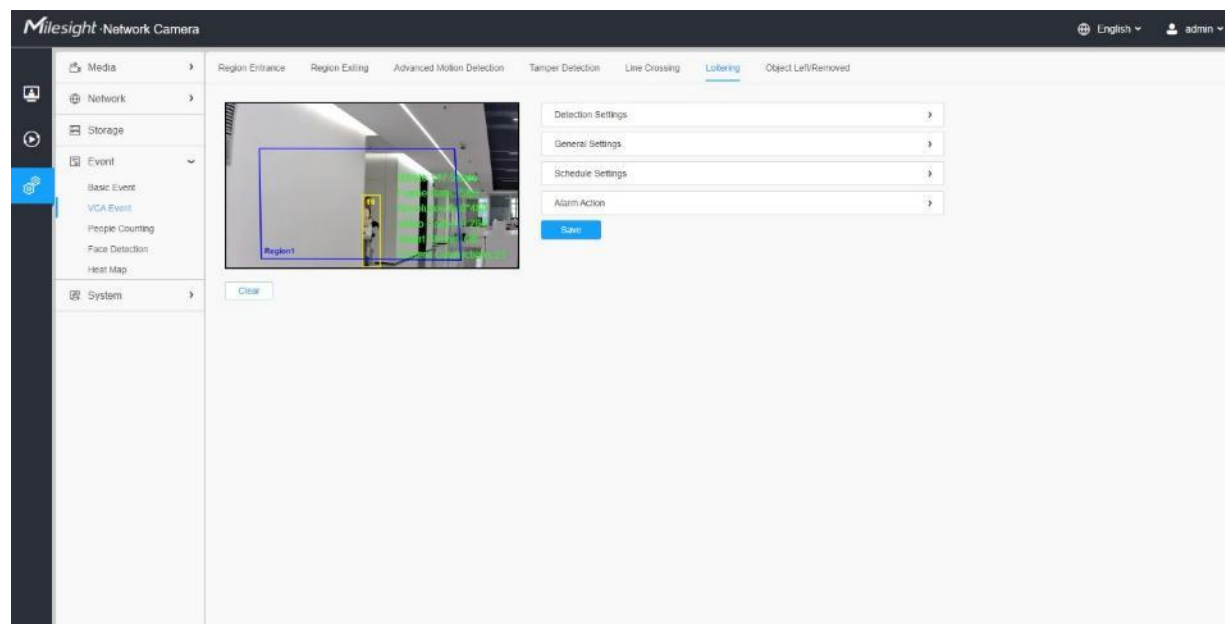
The screenshot shows the 'Alarm Action' configuration interface. On the left, there is a sidebar with four menu items: 'Detection Settings', 'General Settings', 'Schedule Settings', and 'Alarm Action' (which is highlighted in blue). The main content area displays a list of alarm actions, each with a checkbox and a right-pointing arrow. The actions are: 'Record', 'Snapshot', 'External Output', 'Play Audio' (with a red note '(Please enable the Audio Speaker.)'), 'Alarm to SIP Phone' (with a red note '(Please open the SIP.)'), 'HTTP Notification', 'White LED', and 'PTZ Auto Tracking' (which is checked and has a red note '(Please Enable the Auto Tracking)'). At the bottom of the main area is a blue 'Save' button.

注意

- この部分は通常のアラーム設定と同じです。[表 3 \(III ページ\)](#) を参照してください。
- PTZ自動追跡を有効にすると、カメラは自動的に物体を追跡し、定義された仮想線を横切る物体を検出するとアラームを作動させます。
- 外部出力を有効にし、[外部出力動作時間一定]を選択すると、物体が定義された仮想線を横切った場合、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラーム時間は常に一定になります。

8.4.2.6 Loitering

オブジェクトが一定時間定義されたエリアをうろつくと、アラームが作動します。



設定手順は以下の通りです：

[Detection Settings]

 **注：**一般設定はすべての検出領域/ラインに適用されます！

ステップ1: 検出地域を選択し、うろつき検出を有効にします；

ステップ2： Min.時間を設定します。最小ロイタリング時間を3秒から1800秒の間で設定した後、最小ロイタリング時間を超えて選択された領域でロイタリングしているオブジェクトはアラームをトリガーします；

ステップ3： 検知対象を選択します。人または車両の属性をチェックし、カメラが人または車両を検出するとアラームが作動し、関連イベントがトリガされます；

Detection Settings
▼

Region

1

2

3

4

Enable Detection
☐

Min. Loitering Time

7

(3~1800)s

Detection Object

☒ Human
 ☒ Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings
›

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

[General Settings]

ステップ4：対象物のサイズ制限を設定します；

Detection Settings
›

General Settings
▼

Object Size Limits

Edit

☒ Min. Size

3

*

3

Pixels (1*1~320*240)

☐ Max. Size

320

*

240

Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

表 55. ボタンの説明

パラメータ	機能
Min. Size	画面を描画するか、ピクセル番号を入力して、検出されるオブジェクトの最小サイズを設定します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1 地域入口 \(107ページ\)](#) を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ5：アラーム動作を設定します；

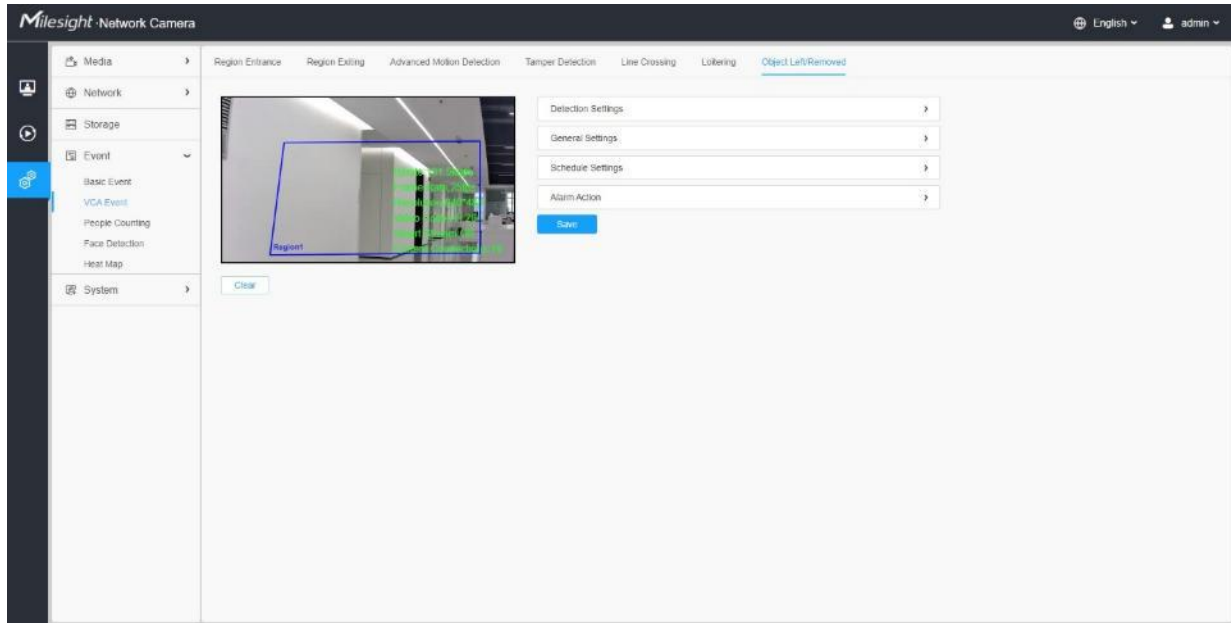
 注意

- この部分は通常のアラーム設定と同じです。 [表 3 \(111 ページ\)](#) を参照してください。
- PTZ自動追跡およびロイタリング検出を有効にすると、カメラは自動的にオブジェクトを追跡し、オブジェクトが定義されたエリアで最小ロイタリング時間以上ウロウロしている場合、アラームをトリガーします。ロイタリング時間
- 外部出力を有効にし、一定の外部出力アクション時間を選択すると、選択した領域で物体がウロウロしている場合、外部出力アクションアラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

ステップ5：アラーム設定を行います。外部出力を有効にし、「外部出力動作時間一定」を選択した場合、選択した領域にオブジェクトが存在する場合、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラーム時間は常に一定になります。

8.4.2.7 オブジェクト左/削除

Object Leftは、オブジェクトが事前に定義された領域に残された場合に検出し、アラームを促します。Object Removedは、予め設定された領域からオブジェクトが取り除かれたことを検出してアラームを促します。



設定手順は以下の通りです：

[Detection Settings]

注：一般設定は、すべての検出領域/ラインに適用されます！

ステップ1: 検出領域を選択し、オブジェクトの左/削除検出を有効にします(または、同時に両方の機能を有効にすることもできます)；

Detection Settings
▼

Region

1

2

3

4

Enable Detection
☐
Enable Object Left
☐
Enable Object Removed

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings
›

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

[General Settings]

ステップ2: 最小時間、検出感度、物体サイズの制限を設定します。

Detection Settings >

General Settings ▾

Min. Time (5~1800)s

Sensitivity 5

Object Size Limits

☒ Min. Size * Pixels (1*1~320*240)

☐ Max. Size * Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings >

Alarm Action >

表 56. ボタンの説明

パラメータ	機能
Min. Time	最小時間を5秒から1800秒の間で設定した後、選択したエリアにオブジェクトが残っている場合、または最小時間を超えて選択したエリアから削除された場合、アラームがトリガーされます。
Sensitivity	感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。  注： 感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定できます。感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームが作動しません。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは 320*240 です。

[Schedule Settings]

ステップ5: 検出スケジュールを設定します ;

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#) を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ6 : アラーム動作を設定します ;

 **注意**

- この部分は通常のアラーム設定と同じです。 [表 3 \(111 ページ\)](#) を参照してください。
- PTZ自動追跡を有効にすると、カメラは自動的に物体を追跡し、定義された領域に物体が残ったり取り除かれたりした場合にアラームをトリガーします。
- 外部出力を有効にし、[Constant External Output Action Time] を選択すると、オブジェクトが選択した領域から離れたり取り除かれたりした場合、外部出力アクションアラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

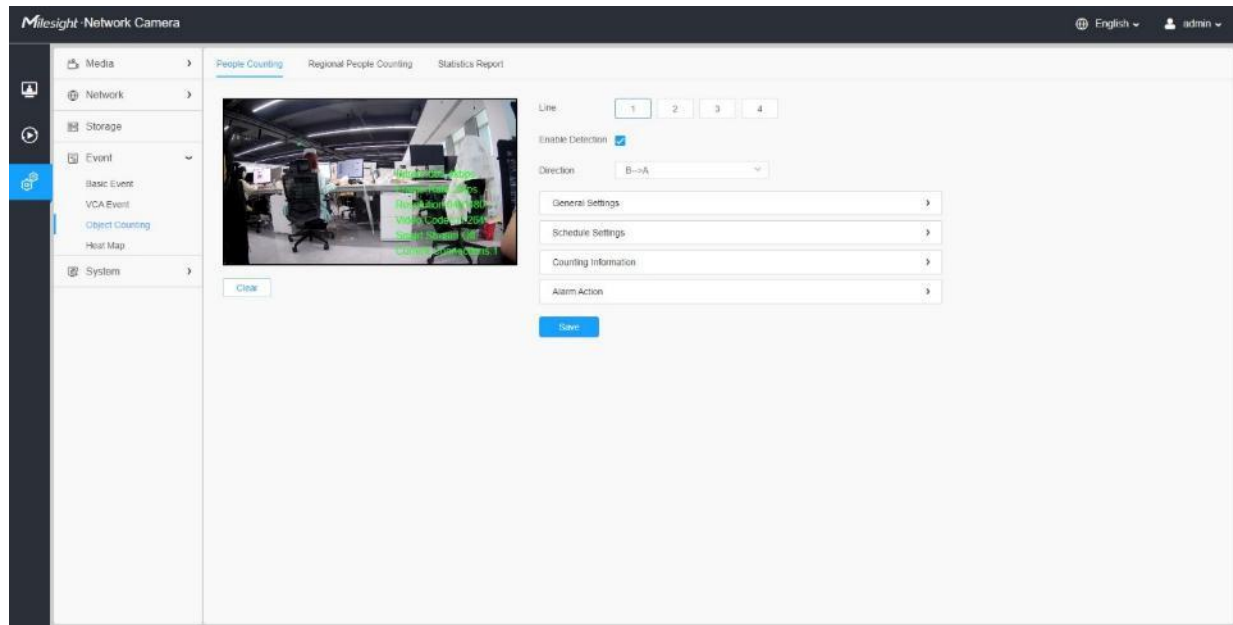
8.4.3 Object Counting

8.4.3.1 People Counting

人数カウントは、設定期間中に何人が出入りしたかをカウントします。

 **注 :** 人数カウントの使用方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000639819> を参照してください。

 **注 :** カメラのモデルがMS-Cxxxx-xPC/PA/PEであることを確認してください。



設定手順は以下の通りです：

ステップ1：人体カウントを有効にします；

ステップ2：検出ラインと方向を設定します。

注意

- 矢印の方向に沿って横切ると "In"、逆方向は "Out "として記録されます。
- 最大4つの検出ラインに対応。

[General Settings]

ステップ3: 感度と対象物の大きさの制限を設定します。

表 57.ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

 注意:

この部分は通常のスケジュール設定と同じです。[8.4.2.1地域入口\(107ページ\)](#)を参照してください。

[Counting Information]

ステップ5: カウント情報を設定します；

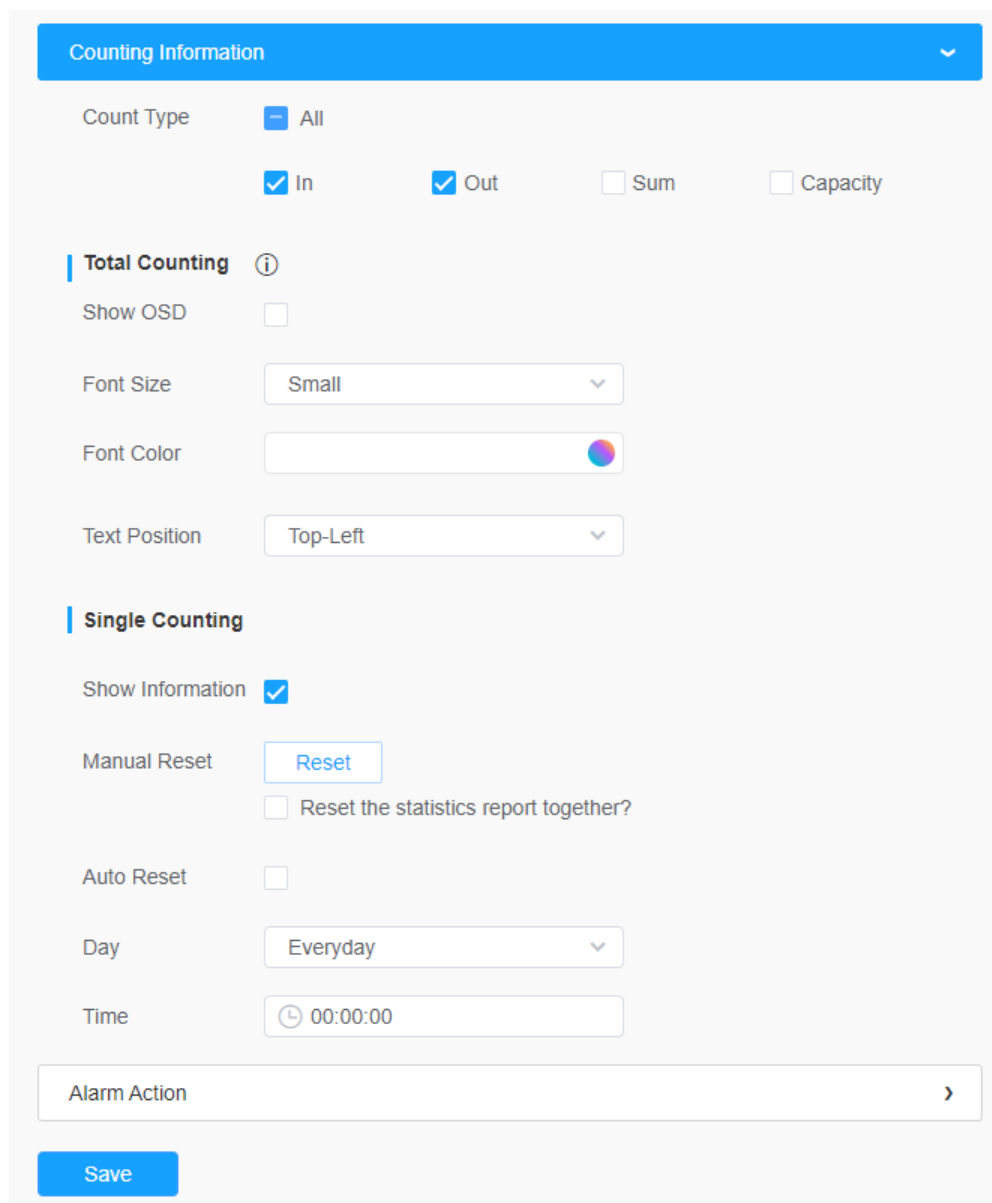


表 58. ボタンの説明

パラメータ	機能
Count Type	ユーザーはライブビデオに表示する情報を選択できます。

パラメータ	はじめに
Total Counting	カウントOSDを設定します。  注： 計数 OSD 設定はすべての検出ラインでリンクされます。 Show OSD: クリックして OSD 表示を有効/無効にします。 Font Size : OSD表示のフォントサイズ。 Font Color : OSD表示の文字色。 Text Position : OSD表示のテキスト位置。
Single Counting	シングルカウントを設定します。  注： 合計計数 OSD 設定はすべての検出ラインでリンクされています。 Show Information : クリックして情報を表示します。 Manual Reset : 各シングルラインのカウントをリセットします。統計レポートと一緒にリセットすることもできます。 Auto Reset : シングルカウント情報を自動的にクリアします。 Day : 自動リセットの日。 Time: オートリセットの時間です。

[Alarm Action]

ステップ6：アラームトリガーとアラーム動作を設定します；

Direction

B-->A

General Settings

Schedule Settings

Counting Information

Alarm Action

Alarm Trigger

Total Counting

Single Counting

Thresholds

☐ In

9999

☐ Out

9999

☐ Capacity

9999

☐ Sum

9999

Alarm Action

☐ Record

☐ Snapshot

☐ External Output

☐ Play Audio

(Please enable the Audio Speaker.)

☐ Alarm to SIP Phone

(Please open the SIP.)

☐ HTTP Notification

Save

表 59ボタンの説明

パラメータ	機能
Alarm Trigger	アラームは、しきい値が 1 から 9999 の間で一定の値に達するとトリガーされます。トータルカウントとシングルカウントが可能です。In/Out/Capacity/Sum のアラームしきい値を設定できます。  注意 - トータルカウントの場合、しきい値は4つの検出ラインの合計数です。 - シングルカウントの場合、しきい値は選択された検出ラインのものです。

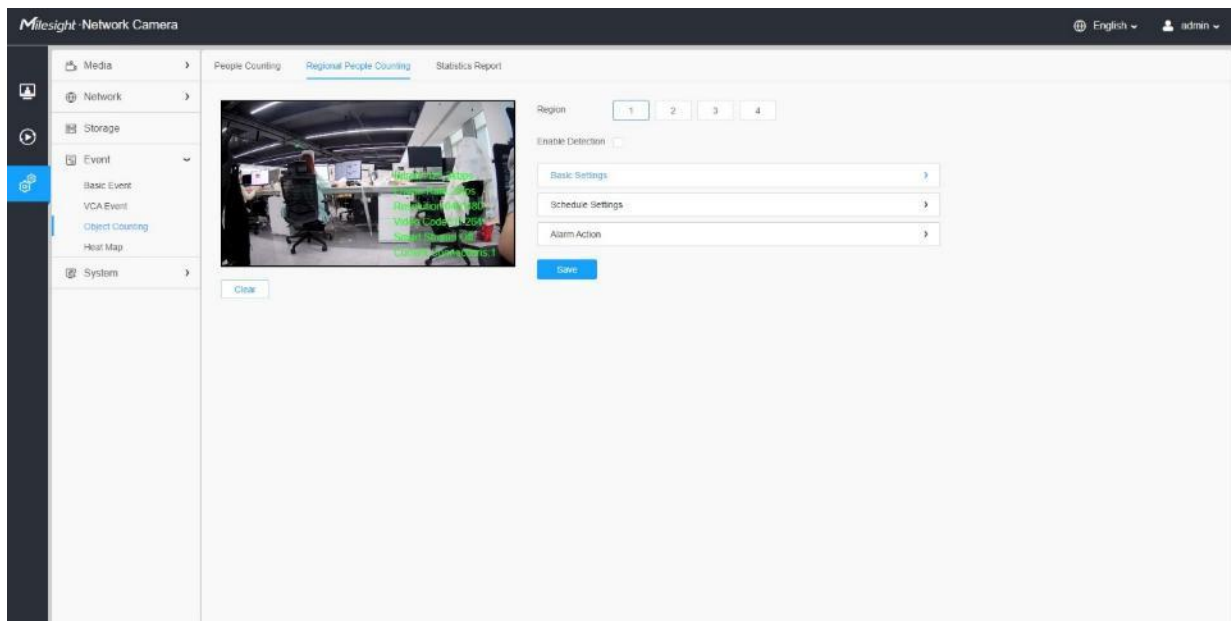
パラメータ	機能
Alarm Action	この部分は通常のアラーム設定と同じです。表 3 (111ページ) を参照してください。  注意 - アラーム動作は 4 本の検出ラインで同時に有効です。 - 外部出力を有効にし、「外部出力動作時間一定」を選択した場合、しきい値が設定した値 に達すると、外部出力動作のアラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定 になります。

8.4.3.2 Regional People Counting

地域人数カウントを有効にすると、ユーザーは検知地域のリアルタイム人数と各人の滞在時間を確認できます。

注意

- カメラのモデルが MS-Cxxxx-xPC/PA/PE であることを確認してください。
- 最大4つの検出領域に対応。
- ユーザはライブビュー・インターフェイスで、検出領域内のリアルタイムの人数と各人の滞在時間を確認できます。



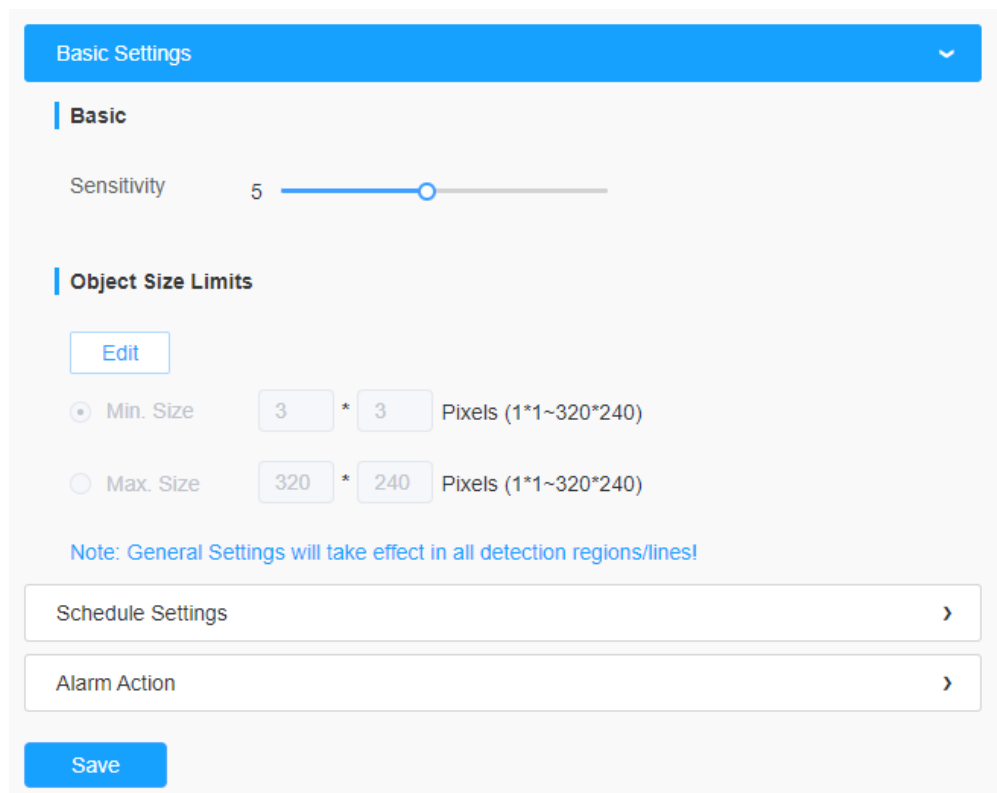
設定手順は以下の通りです：

ステップ1: 検出地域を選択し、地域人数カウント検出を有効にします；

 **注：** 最大4つの検出地域に対応します。

[Basic Settings]

ステップ2: 感度とオブジェクトサイズ制限を設定します。



Basic Settings

Basic

Sensitivity 5

Object Size Limits

Edit

☒ Min. Size 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

☐ Max. Size 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings

Alarm Action

Save

表 60. ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	Level 1~10 があり、デフォルトは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは 320*240 です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。[8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ6：アラームトリガーとアラームアクションを設定します；

Alarm Action

Alarm Trigger

Thresholds

☒ Max.Stay

60

☒ Min.Stay

1

☒ Max.Length of Stay

30

s

Alarm Action

☐ Record

☐ Snapshot

☐ External Output

☐ Play Audio

(Please enable the Audio Speaker.)

☐ Alarm to SIP Phone

(Please open the SIP.)

☐ HTTP Notification

Save

表 61.ボタンの説明

パラメータ	機能
Alarm Trigger	アラームは、Max./Min.Stay/Max.滞在時間のしきい値が値に達すると、アラームがトリガーされます。  注：値は1～60の範囲でなければなりません。

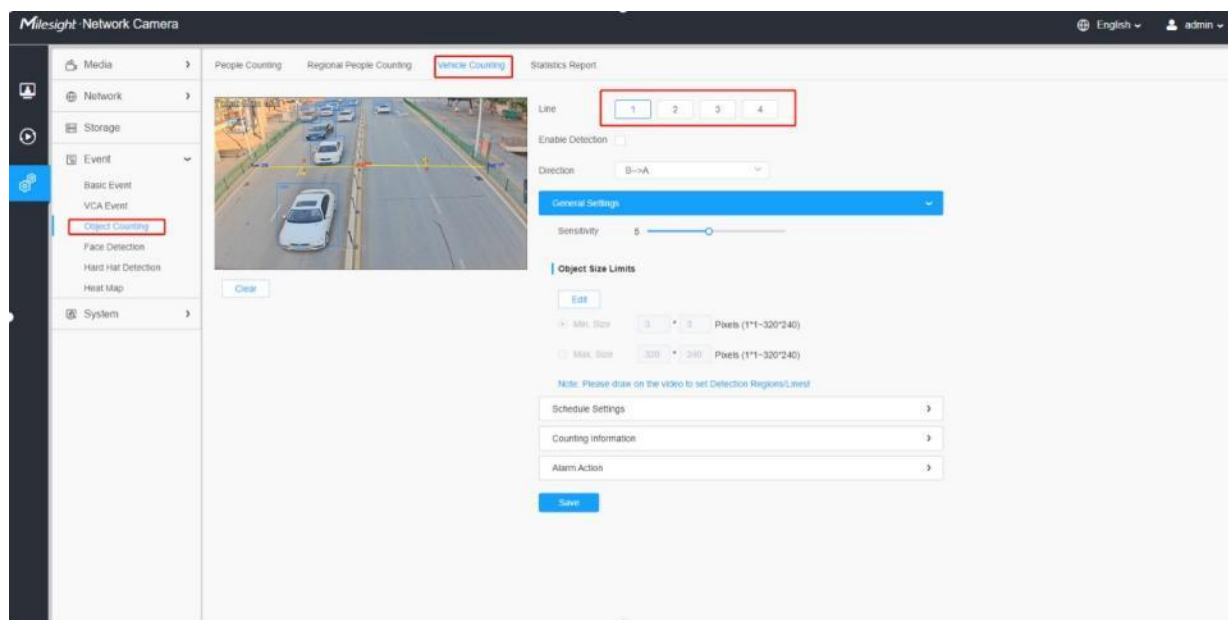
パラメータ	機能
Alarm Action	この部分は通常のアラーム設定と同じです。表 3 (111ページ) を参照してください。  注意 - アラーム動作は 4 つの検出領域に対して同時に有効です。 - 外部出力を有効にし、「外部出力動作時間一定」を選択すると、しきい値が設定した値に達した場合、外部出力動作アラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

8.4.3.3 Vehicle Counting

車両は、設定期間中に出入りする車両数をカウントすることができます。これは、アプリケーションのシナリオを豊かにし、効果的な交通監視を実現します。

 注：

- 車両カウントが有効な場合、PTZシリーズの人物カウント、VCAイベント、顔検出および自動追跡は無効になります。
- カメラのモデルがMS-Cxx63-xxC、MS-Cxx64-xFPC、PTZシリーズ、またはMS-Cxxxx-xxCのProシリーズであることを確認してください。
- カメラのバージョンがxx.8.0.3以上であることを確認してください。



設定手順は以下のとおりです：

ステップ1：車両カウントを有効にします；

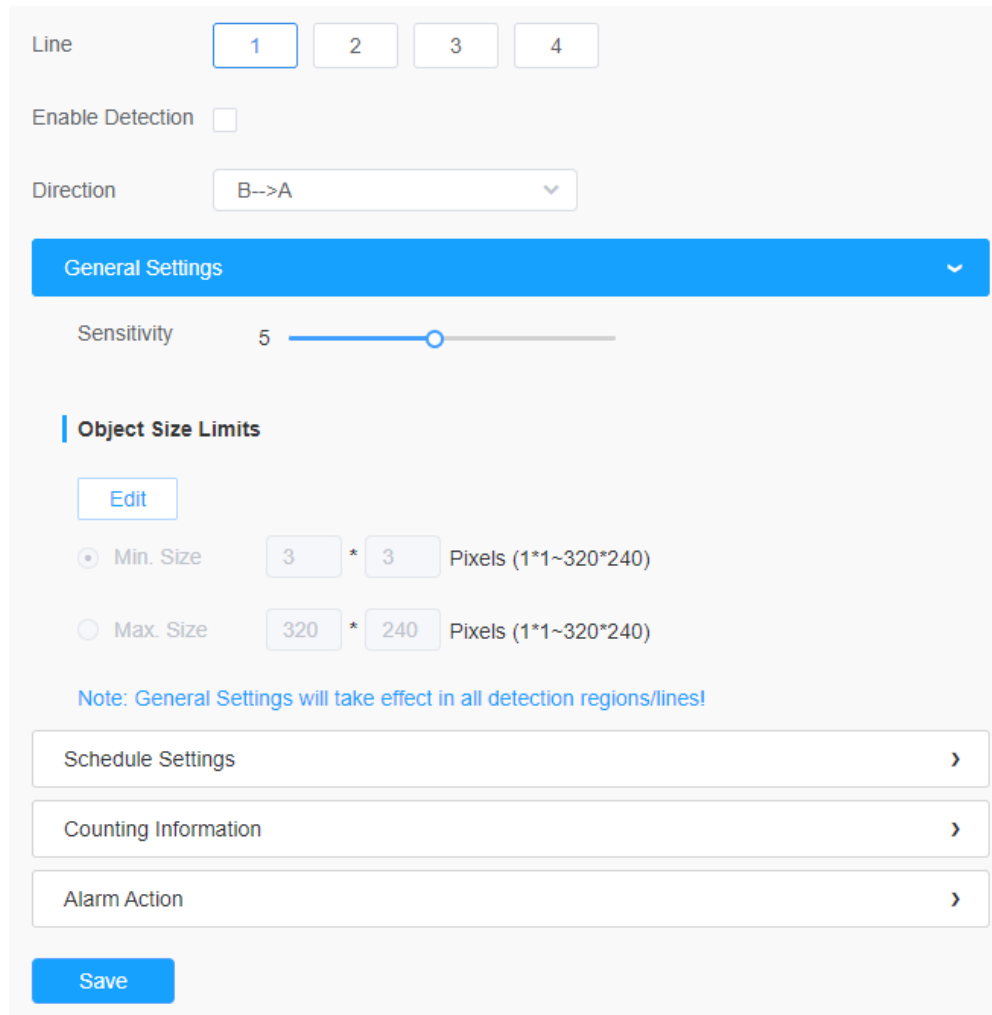
ステップ2：検出ラインと方向を設定します。

注意

- 矢印の方向に沿って交差すると「イン」として記録され、反対は「アウト」です。
- 最大4つの検出ラインに対応。

[General Settings]

ステップ3：感度と物体サイズの制限を設定します。



Line 1 2 3 4

Enable Detection ☐

Direction B->A ▼

General Settings ▼

Sensitivity 5

Object Size Limits

Edit

☒ Min. Size 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

☐ Max. Size 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings >

Counting Information >

Alarm Action >

Save

表 62. ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトのレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出されたオブジェクトの最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。物体がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3*3 です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

 注意:

この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1地域入口\(107ページ\)](#)を参照してください。

[Counting Information]

ステップ5：カウント情報を設定します；

Counting Information

Count Type

☒ All
☒ In
☒ Out
☐ Sum
☐ Capacity

Total Counting ⓘ

Show OSD ☐

Font Size Small

Font Color

Text Position Top-Left

Single Counting

Show Information ☒

Manual Reset Reset

☐ Reset the statistics report together?

Auto Reset ☐

Day Everyday

Time ⌚ 00:00:00

Alarm Action ➤

Save

表 63. ボタンの説明

パラメータ	機能
Count Type	ライブビデオに表示する情報を選択できます。
Total Counting	カウントOSDを設定します。  注：計数 OSD 設定はすべての検出ラインでリンクされます。 Show OSD：クリックして、OSDを表示する/しないを切り替えます。 Font Size：OSD表示のフォントサイズ。 Font Color：OSD表示の文字色。 Text Position：OSD表示のテキスト位置。

パラメーター	機能
Single Counting	シングルカウントを設定します。  注：合計計数OSD設定はすべての検出ラインでリンクされています。 Show Information：クリックして情報を表示します。 Manual Reset：各シングルラインのカウントをリセットします。統計レポートと一緒にリセットすることもできます。 Auto Reset：シングルカウント情報を自動的にクリアします。 Day：自動リセットの日。 Time：オートリセットの時間。

 注意

- 合計カウントの場合、しきい値は4つの検出ラインの合計です。
- シングルカウントの場合、しきい値は選択された検出ラインのものです。

[Alarm Action]

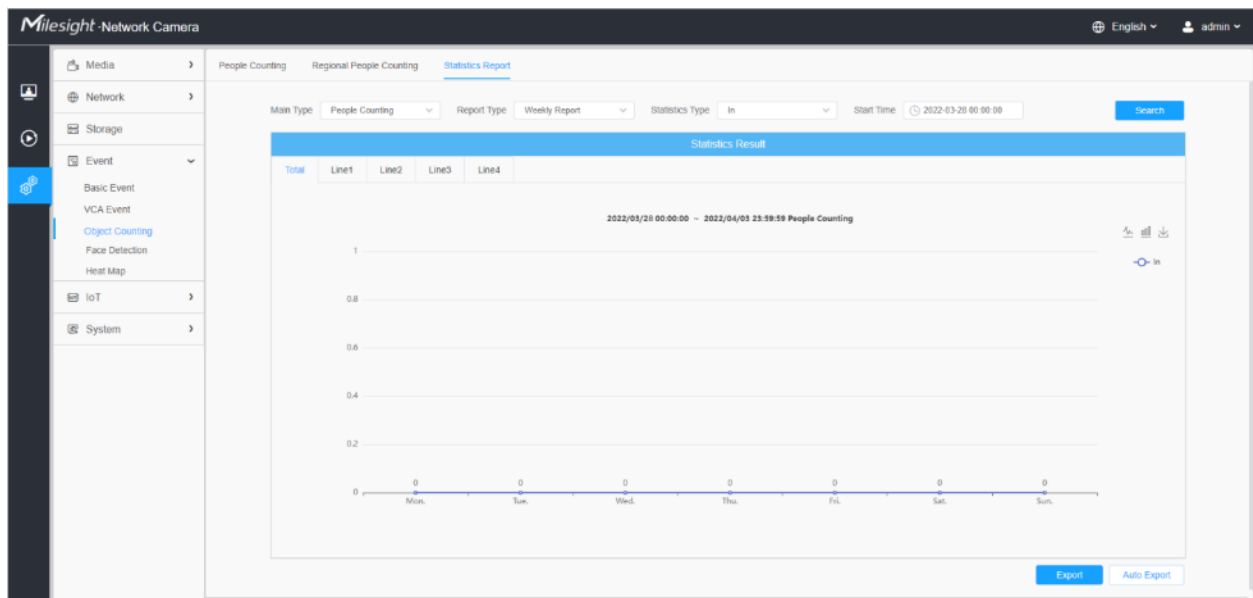
表 64ボタンの説明

パラメータ	機能
Alarm Trigger	アラームは、しきい値が 1 から 9999 の間の特定の値に達するとトリガーされます。トータルカウントとシングルカウントが可能です。In/Out/Capacity/Sumのアラームしきい値を設定できます。

パラメータ	機能
Alarm Action	この部分は通常のアラーム設定と同じです。表 3 (111ページ) を参照してください。  注意 - アラーム動作は 4 本の検出ラインで同時に有効です。 - 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択した場合、しきい値が設定した値に達すると、外部出力動作アラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

8.4.3.4 Statistics Report

有効期間中の結果は「**Statistics Report**」インターフェースに表示されます。



ステップ1: メインタイプを選択します；

ステップ2: 日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートなどのレポートタイプを選択します；

ステップ3:

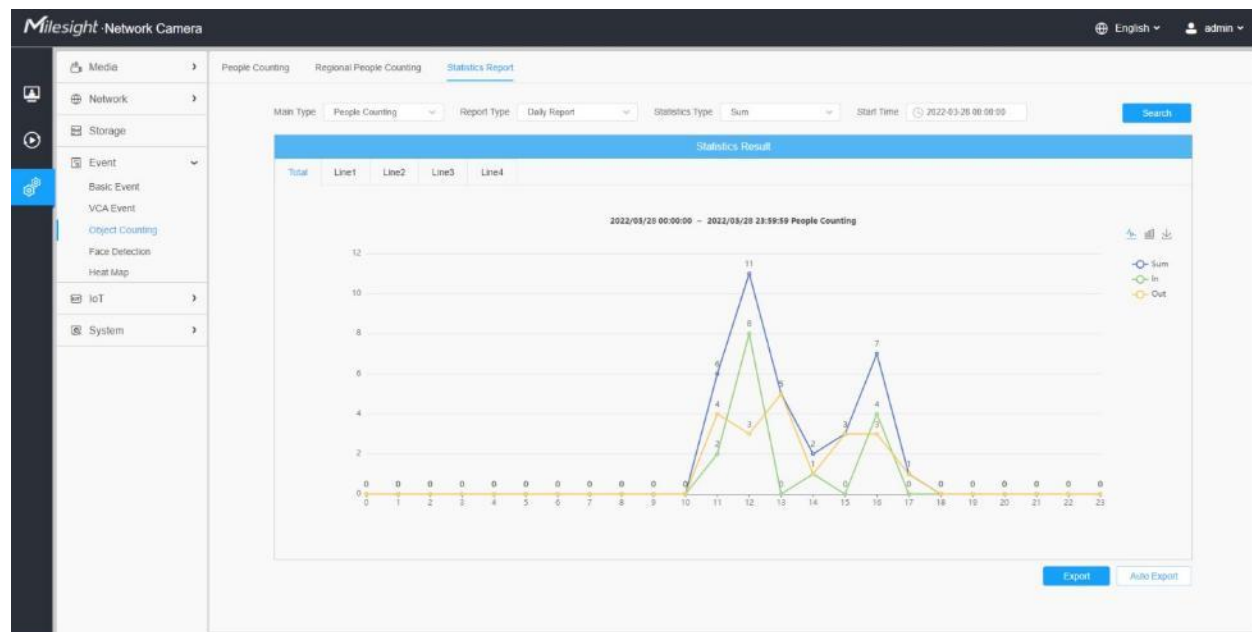
人数をカウントする場合、In、Out、Sumを含む統計タイプを選択します。地域別人数の場合、「滞在時間」を「すべて」、「それ以上」、「それ以下」から選択し、「それ以上/それ以下」の時間を設定します。

 **注:** 地域別人数カウントの場合、必要に応じて地域のレポートを検索するためにチェックボックスをオンにします。

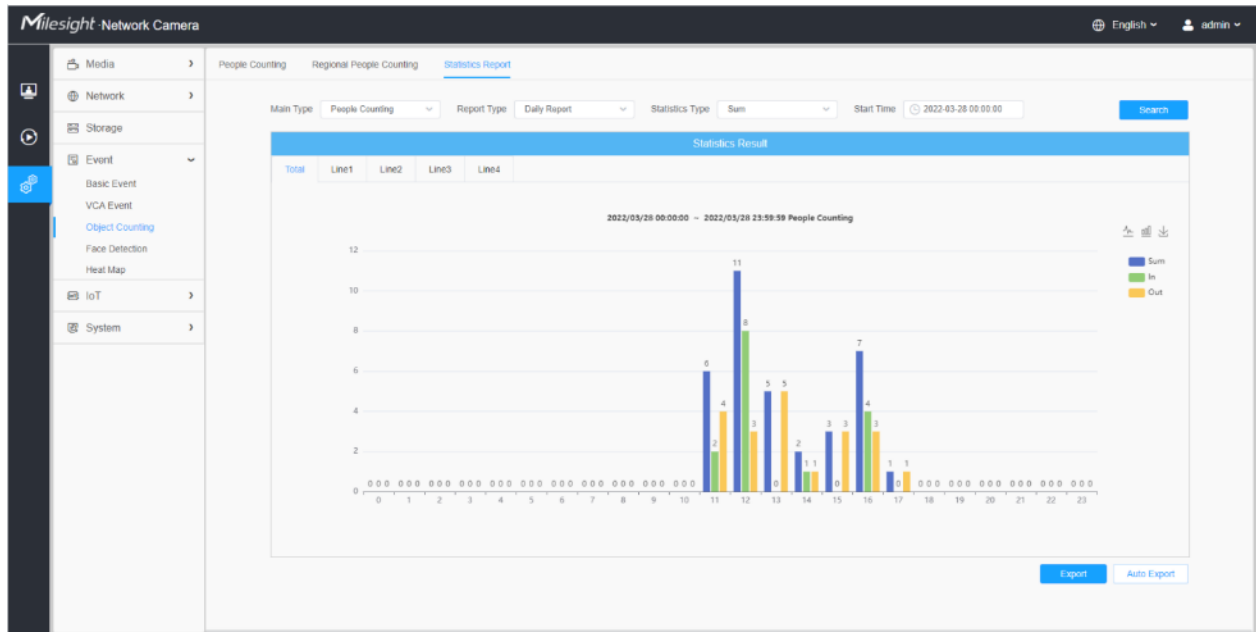
ステップ4: 開始時間を選択し、"検索"ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（ユーザが選択したレポートタイプに基づく）のデータをカウントし、対応するレポートを作成します。

ステップ5: さらに、"折れ線グラフ"または"棒グラフ"をクリックして、統計レポートの表示モードを切り替えることができます。

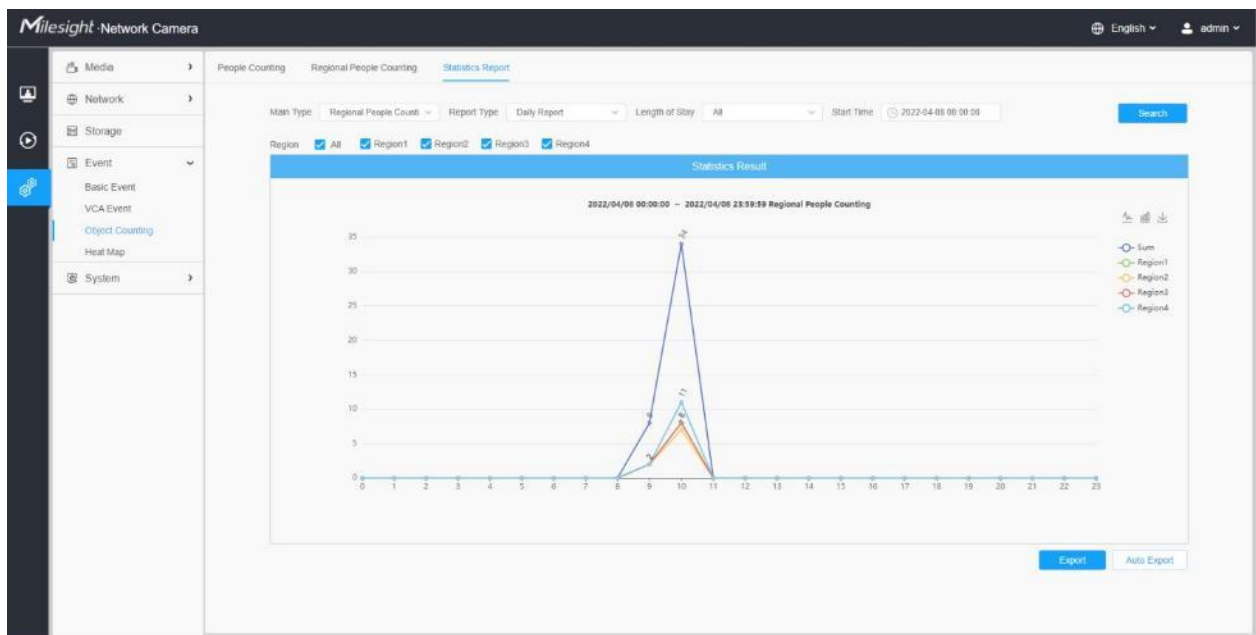
人数カウント統計レポート（折れ線グラフ）



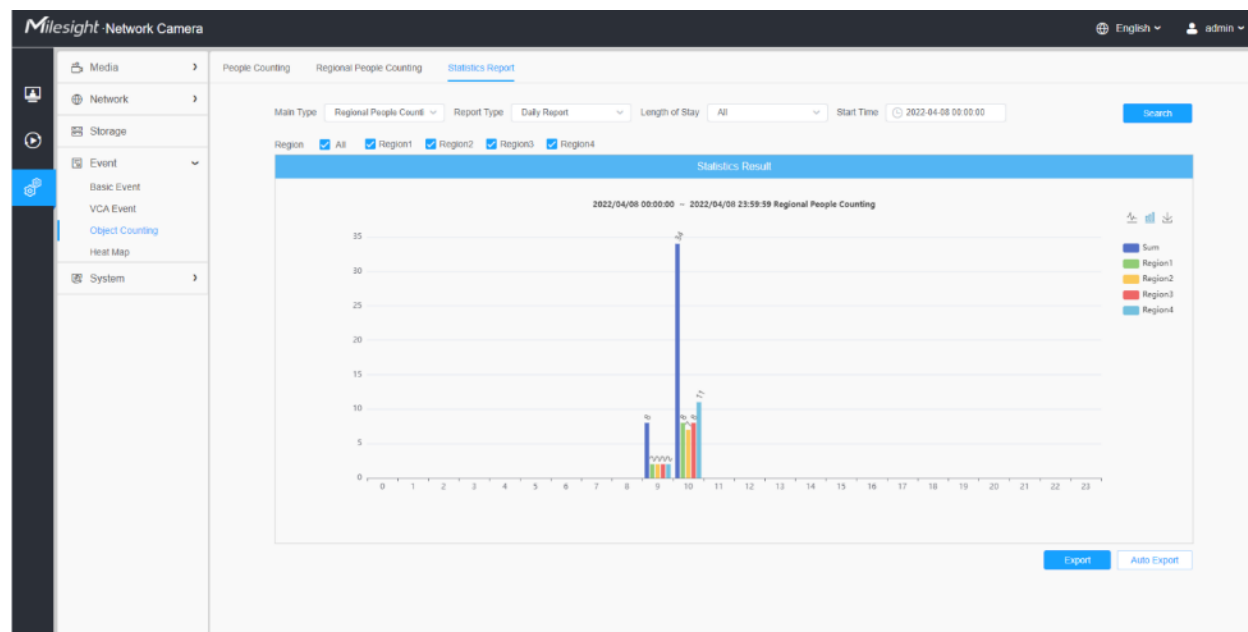
人数統計レポート (棒グラフ)



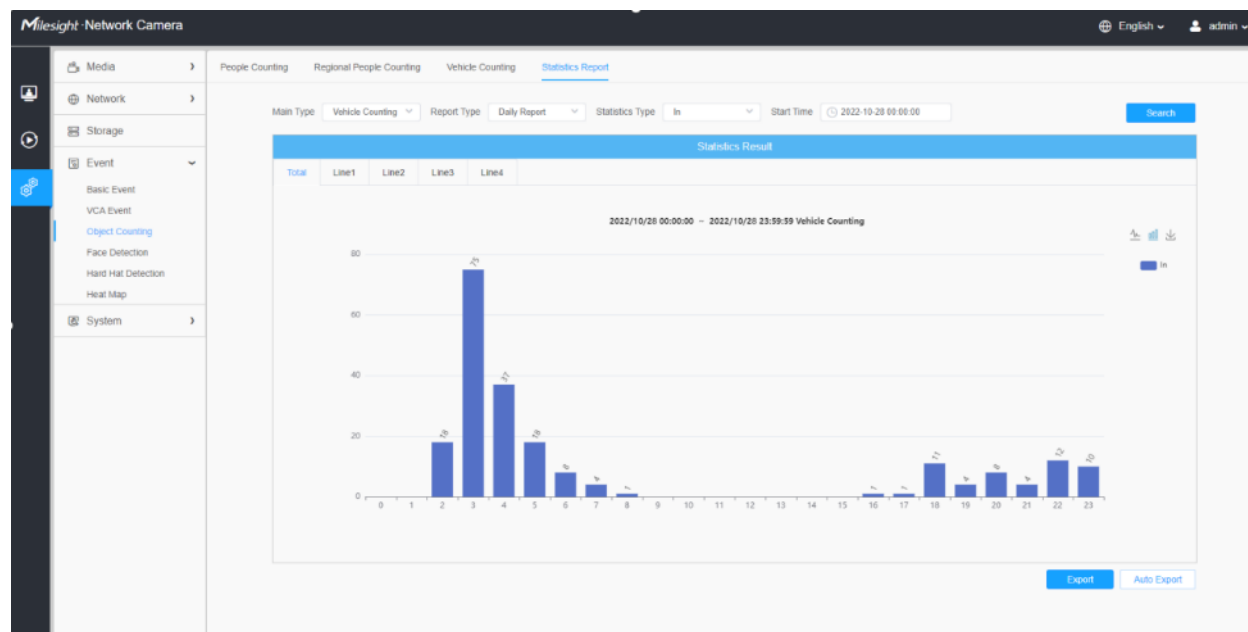
地域別人数統計レポート (折れ線グラフ)



地域別人数統計（棒グラフ）

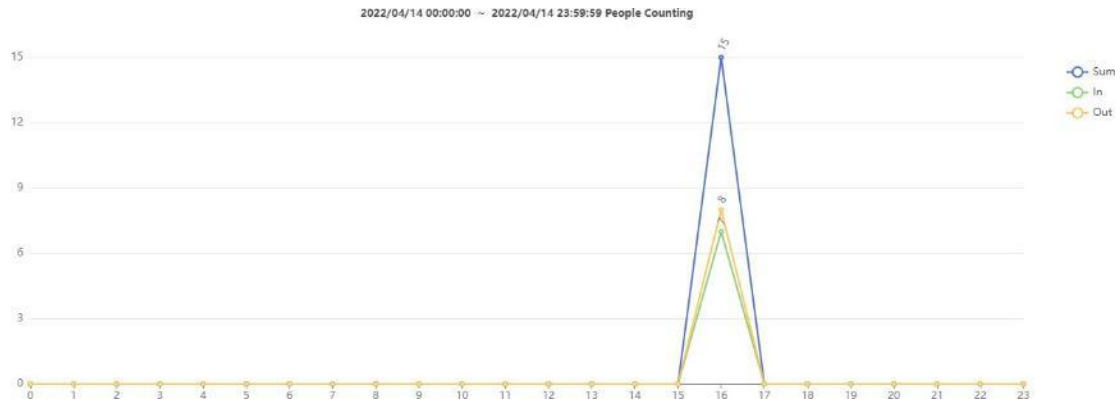


車両台数統計（棒グラフ）



ステップ6:

"Download"ボタンをクリックして、統計レポートチャートのスクリーンショットをダウンロードしてください。

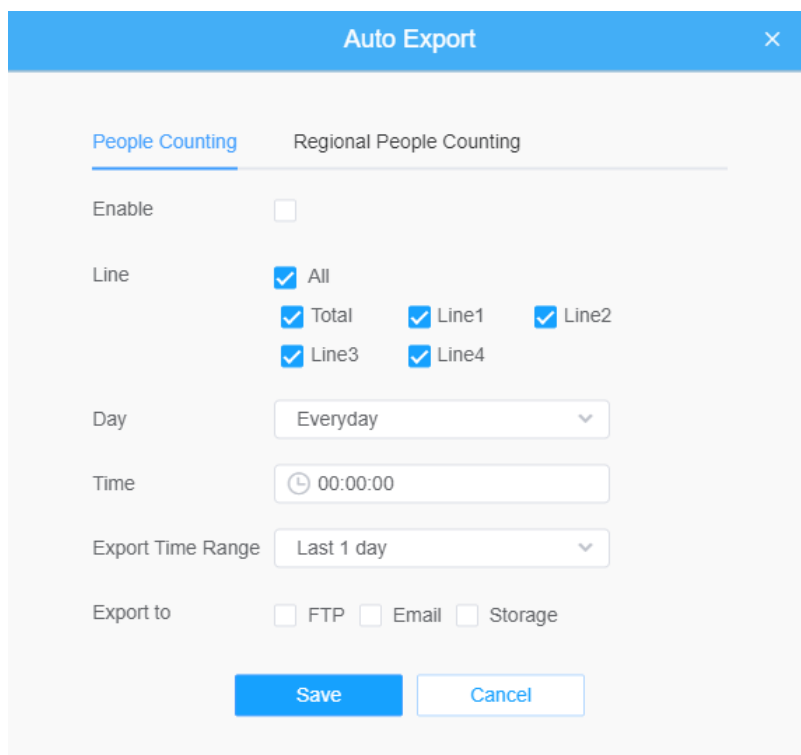


ステップ7: 「Export」 ボタンをクリックすると、下図のようなエクスポートウィンドウが表示され、ファイル形式を選択してレポートをローカルにエクスポートできます。人数の統計レポートでは、チェックボックスをチェックして、必要に応じて異なる行のレポートをエクスポートすることができます。

人数カウント-エクスポート 車両カウント-エクスポート

地域別人数カウント-エクスポート

ステップ8: 「Auto Export」 ボタンをクリックすると、以下のような統計レポート設定がポップアップ表示されます。



Auto Export

People Counting Regional People Counting

Enable ☐

Line ☒ All
☒ Total ☒ Line1 ☒ Line2
☒ Line3 ☒ Line4

Day

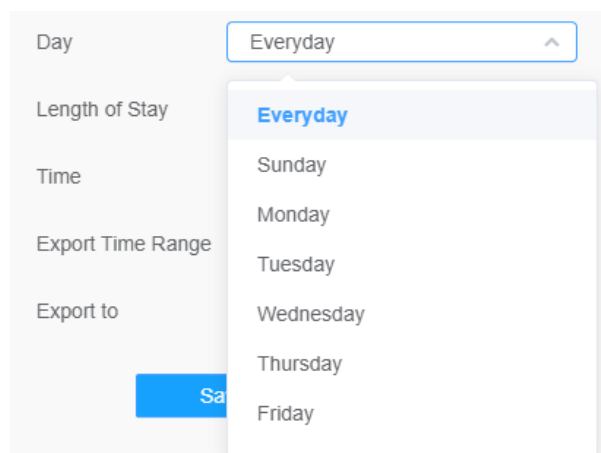
Time

Export Time Range

Export to ☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save Cancel

- 人数の自動エクスポートを有効にするには、チェックボックスをオンにし、必要に応じて行を選択します。
- **Day**を設定します。毎日レポートをエクスポートする場合は毎日を選択し、特定の曜日にレポートをエクスポートする場合は他を選択します；



Day

Length of Stay

Time

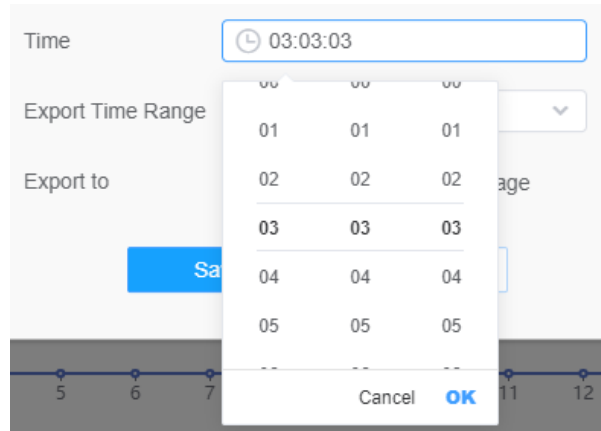
Export Time Range

Export to

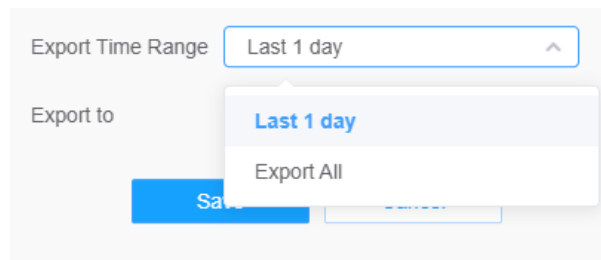
Save

Everyday
Sunday
Monday
Tuesday
Wednesday
Thursday
Friday

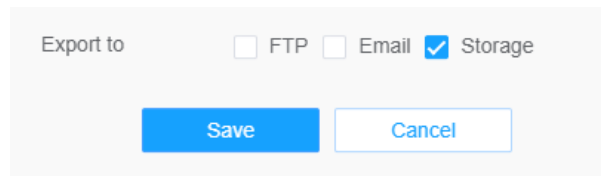
- **Time**の設定。統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択し、カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセクションがポップアップ表示されます；



- Export Time Rangeの設定；



- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式でFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。次に「Save」をクリックします。



 **注：**現在の統計レポートが生成されると、csv形式で保存されます。

Regional People Counting-Auto Export

The 'Auto Export' dialog box has a blue header with the title 'Auto Export' and a close button. Below the header, there are two tabs: 'People Counting' and 'Regional People Counting'. The 'Regional People Counting' tab is selected. The settings are as follows:

- Enable:** A checkbox that is currently unchecked.
- Day:** A dropdown menu set to 'Everyday'.
- Length of Stay:** A dropdown menu set to 'All'.
- Time:** A text input field with a clock icon, showing '00:00:00'.
- Export Time Range:** A dropdown menu set to 'Last 1 day'.
- Export to:** Three checkboxes for 'FTP', 'Email', and 'Storage', all of which are unchecked.

At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'Save' (in blue) and 'Cancel' (in white with a blue border).

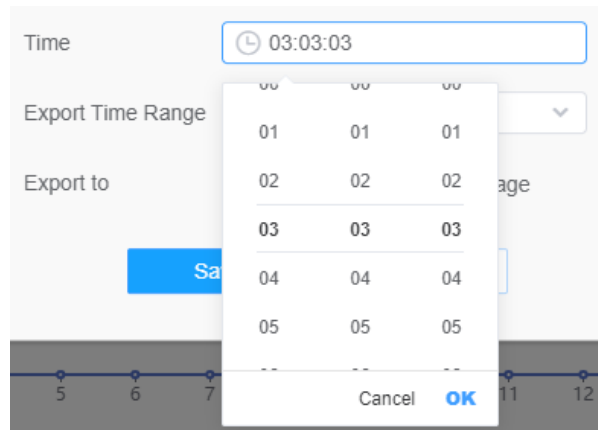
- 地域別人数カウントの自動エクスポートを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
- **Day**を設定します。ユーザーは、毎日を選択して毎日レポートをエクスポートし、その他を選択して特定の曜日にレポートをエクスポートすることができます；

This screenshot shows the 'Day' dropdown menu open. The menu lists the following options: 'Everyday', 'Sunday', 'Monday' (highlighted in blue), 'Tuesday', 'Wednesday', 'Thursday', and 'Friday'. The 'Day' label and other settings like 'Length of Stay', 'Time', 'Export Time Range', and 'Export to' are visible in the background.

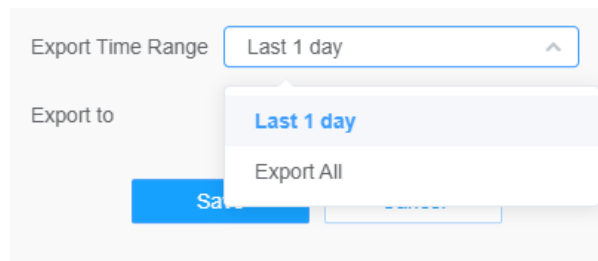
- **Length of Stay**を設定します。

This screenshot shows the 'Length of Stay' dropdown menu open. The menu lists the following options: 'All' (highlighted in blue), 'More Than', and 'Less Than'. The 'Length of Stay' label and other settings like 'Time', 'Export Time Range', and 'Export to' are visible in the background.

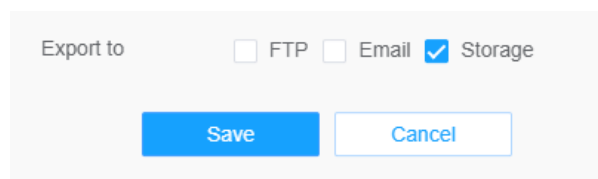
- **Time**の設定。ユーザーは統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセクションがポップアップ表示されます；



- Export Time Rangeを設定します；



- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式でFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。次に「Save」をクリックします。

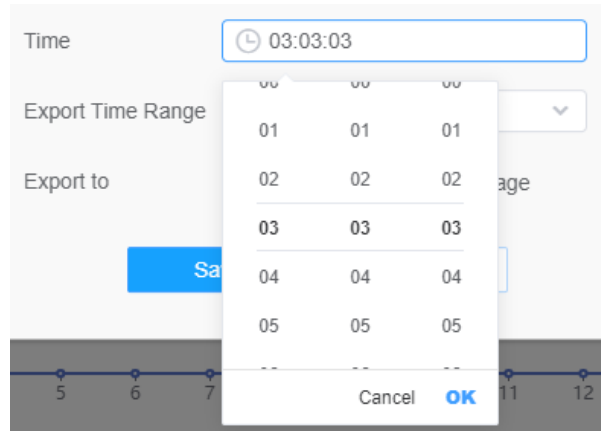


 **注：**現在の統計レポートが生成されると、csv形式で保存されます。

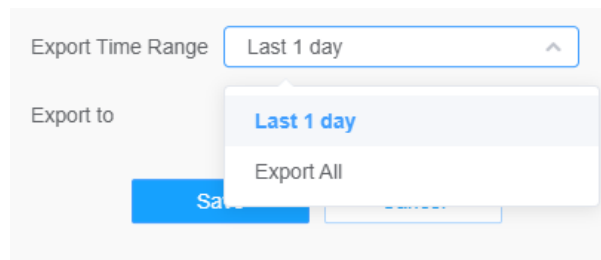
Vehicle Counting-Auto Export

- 人集計の自動エクスポートを有効にするチェックボックスをオンにし、必要に応じて行を選択します。
- **Day**を設定します。毎日レポートをエクスポートする場合は毎日を選択し、特定の曜日にレポートをエクスポートする場合は他を選択することができます；

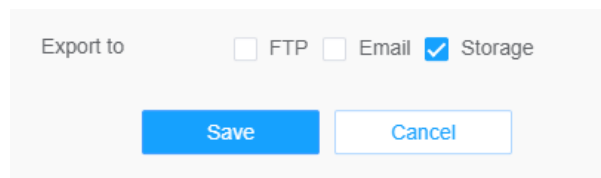
- **Time**の設定。統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択し、カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセクションがポップアップ表示されます；



- Export Time Rangeの設定；



- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式でFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。次に「Save」をクリックします。



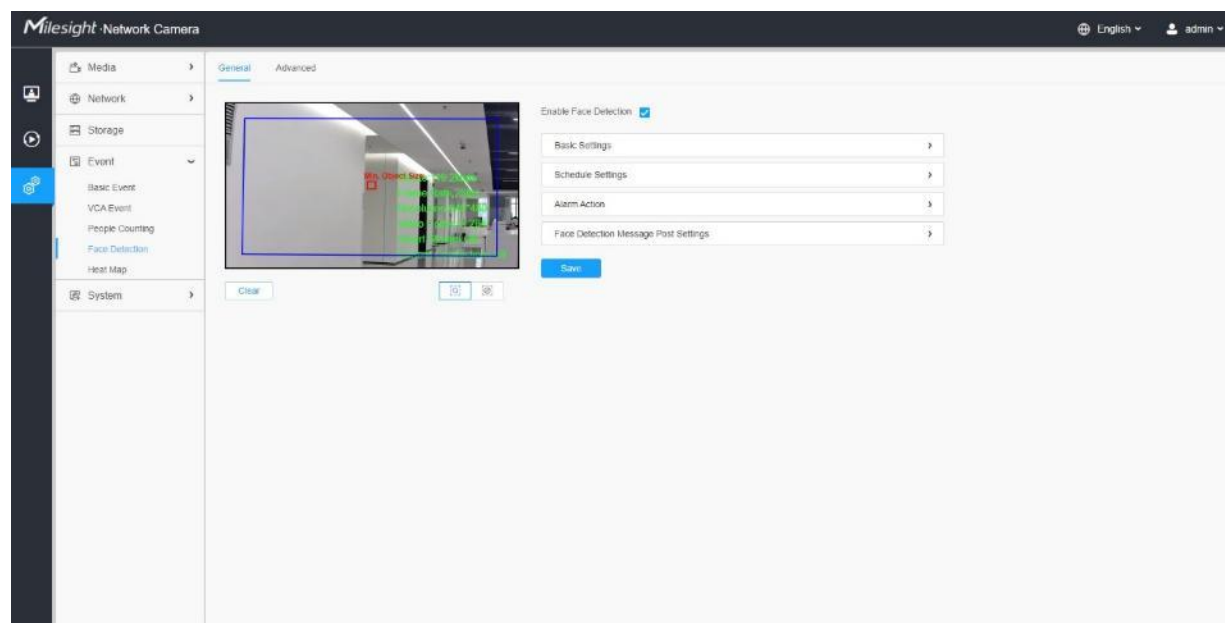
 **注：**現在の統計レポートが生成されると、csv形式で保存されます。

8.4.4 Face Detection

顔検出機能は、描画された領域に現れた顔を検出し、顔のスナップショットをストレージに保存、FTPまたは電子メールでアップロード、ライブビューに表示することに対応します。

 **注：**カメラのモデルがMS-Cxxxx-xPC/PEであることを確認してください。

8.4.4.1 General



設定手順は以下の通りです：

ステップ1：顔検出を有効にします；

[Basic Settings]

ステップ2：[Min. Object Size]を設定します；

ステップ3：検出領域の設定:検出領域をドラッグしてサイズを調整します。この領域内の顔だけが検出されます；

ステップ4：シールド領域を設定すると、検出領域内のある場所の顔が検出されなくなります。シールド領域を設定することで、検出領域の一部の場所で顔を検出しないように設定することができます。まず、プレビューインターフェイスでシールド領域を描き、追加ボタンをクリックします。描画可能なシールド領域は最大4つです；

Enable Face Detection ☐

Basic Settings ▾

Object Size Limits

Min. Size 30

Shield Region

ID	Name	Enable	Operation
No Data			

Delete All

Schedule Settings ▸

Alarm Action ▸

Face Detection Message Post Settings ▸

Save

[Schedule Settings]

ステップ5：検出スケジュールを設定します。

 **注**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。[8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ6：アラーム動作を設定します。

表 65 ボタンの説明

パラメータ	機能
Record	Duration : アラームの継続時間を選択します。5s/10s/15s/20s/25s/30sが利用可能です。 Linkage : アラーム録画ファイルをSDカードまたはNASに保存するか、FTP経由で録画ファイルをアップロードします。
Snapshot	Number : スナップショットの数、1~5 が利用できます。 Interval : スナップショットに1以上を選択しない限り編集できません。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。

[Face Detection Message Post Settings]

ステップ6: 顔検出メッセージポストを有効にします。

Enable Face Detection

Basic Settings

Schedule Settings

Alarm Action

Face Detection Message Post Settings

Enable Face Detection Message Post

Post Type

Port

Save

☐

>

>

>

>

TCP

HTTP

8214

表 66.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable Face Detection Message Post	チェックボックスをオンにすると、顔検出メッセージポストが有効になります。サードパーティのデバイスや互換性のあるソフトウェアに情報をプッシュします。情報はTCPまたはHTTPでプッシュできます。
Port Type	TCPまたはHTTPで情報をプッシュできます。

8.4.4.2 Advanced

Mileight Network Camera

English admin

Media

Network

Storage

Event

Basic Event

VCA Event

People Counting

Face Detection

Heat Map

IoT

System

General

Advanced

Face Capture Settings

Attribute Recognition Settings

Face Privacy Settings

Capture Mode

Capture Quality

Snapshot Type

Enable Attribute Recognition

Attribute

Enable Face Privacy Mode

Save

Quality Priority

20

Face Only

☐

☒ All

☒ Age

☒ Gender

☒ Glasses

☒ Mask

☒ Cap

☐ ①

[Face Capture Settings]

顔キャプチャスナップショットの設定を行います。

表67ボタンの説明

パラメータ	機能
Capture Mode	Auto Mode, Quality Priority, Timeliness Priority, Customize、カスタマイズが利用できます。 Auto Mode : このモードでは、顔が検出されると、スクリーンショットの品質とプッシュ速度に基づいて、顔のスクリーンショットをプッシュします。 Quality Priority : このモードでは、顔が検出された時に、最も画質の良い顔スクリーンショットをプッシュします。 Timeliness Priority : このモードでは、顔検出時に最短時間で顔スクリーンショットをプッシュします。 Customize : このモードでは、スナップショット間隔、斜め顔角度制限、ピッチング顔角度制限、横顔角度制限、ぼかし制限などの検出条件をカスタマイズすることができます。
Snapshot Interval	80ミリ秒、200ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2秒、4秒が選択可能。  注 : カスタマイズモードではオプション。
Oblique Face Angle Limit	Oblique Face Angle Limit to 1~180に設定します。値が大きいくほど、検出できる斜め顔の角度が大きくなります。  注 : カスタマイズモードではオプションです。
Pitching Face Angle Limit	Pitching Face Angle Limit to 1~180に設定します。値が大きいくほど、検出できるピッチング面の角度が大きくなります。  注 : カスタマイズモードではオプションです。
Side Face Angle Limit	Side Face Angle Limit to 1~180に設定します。値が大きいくほど、検出できるサイドフェースの角度が大きくなります。  注 : カスタマイズモードではオプションです。
Blur Limit	Blur Limit to 1~10に設定します。値を大きくするほど、顔をよりぼかして検出することができます。  注 : カスタマイズモードではオプションです。

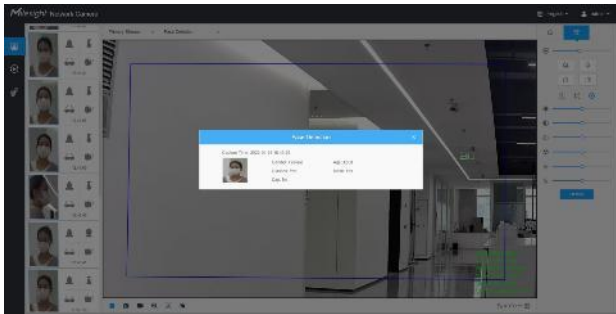
パラメータ	機能
Snapshot Type	Face Only, Upper Body, Whole Bodyがあります。 Face Only : 顔のみのスクリーンショットをキャプチャします。 Upper Body : 上半身のスクリーンショットをキャプチャします。 Whole Body : 全身のスクリーンショットをキャプチャします。 「Background」にチェックを入れると、画像全体のスクリーンショットを撮影します。

設定した地域と条件に従って、ライブビューで顔を検出します。軌跡を表示」にチェックを入れると、ライブビューの左側にID付きの顔スクリーンショットが表示されます。

[Attribute Recognition Settings]

属性認識を有効にし、検出する属性を設定します。

表68 属性認識設定ボタンの説明

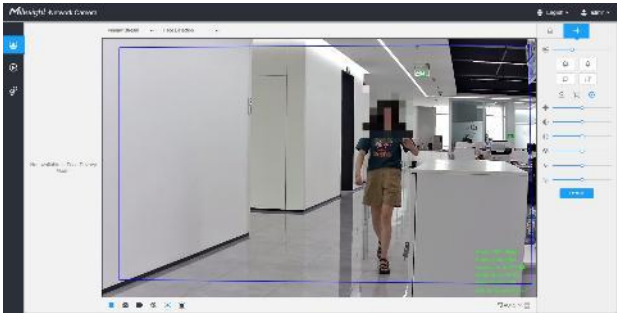
パラメータ	機能
Enable Attribute Recognition	属性認識を有効にすると、検出された顔の属性がライブビューの左側に表示されます。属性には、年齢、性別、メガネ、マスク、帽子が含まれます。属性認識は、特殊なシナリオにおけるユーザーのニーズを満たし、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。  注意 - 顔検出機能が有効になっていることを確認してください。 - キャプチャモードオプションが品質優先に設定されていることを確認してください。 - 属性認識機能は顔プライバシー機能と併用できません。

パラメータ	機能
Attribute	必要に応じて属性を選択できます。 All : ワンクリックですべての属性を選択または選択解除します。 Age : 小人（0歳～17歳）、成人（18歳～59歳）、高齢者（59歳以上）など、顔の年齢を認識します。 Gender : 顔によって性別を認識します。 Glasses : メガネをかけているかどうかを認識します。 Mask : マスクをしているかどうかを認識します。 Cap : 帽子をかぶっているかどうかを認識します。  注）認識できない、または異常認識された属性は"-"で表示されます。

[Face Privacy Settings]

ここでは、顔検出の顔プライバシーモードを有効にすることができます。

表69ボタンの説明

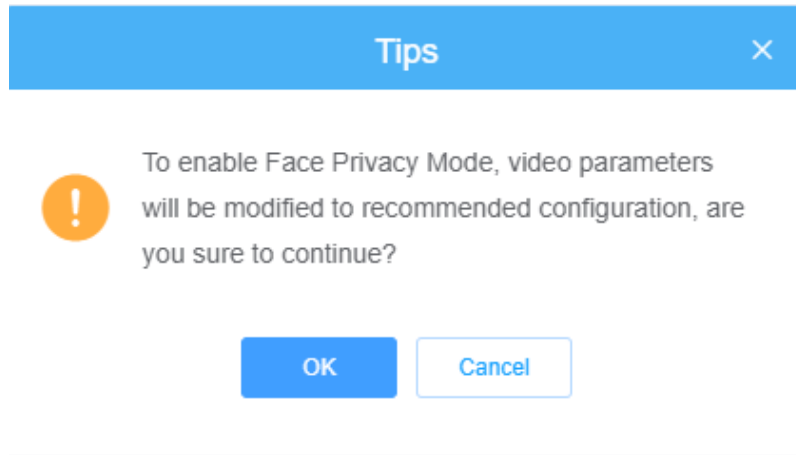
パラメータ	機能
Enable Face Privacy Mode	顔プライバシーモードを有効にすると、顔検出領域で検出された顔は自動的にモザイク処理されます。モザイクの大きさは検出された顔の大きさに関係し、ユーザーは必要に応じて検出された顔の大きさをカスタマイズすることができます。顔プライバシー機能は、特殊なシナリオにおけるユーザーのニーズに応え、肖像権を大幅に保護します。 

 **注** : 「Face Privacy Modeを有効にするには、ビデオパラメータが次のようになっている必要があります :

- H.265ビデオコーデック（全ストリーム）。
- プライマリストリーム : 1080P@25fps。
- 二次ストリーム : 704*576@25fps。
- 3次ストリーム : 無効。

- Face Privacy Modeでは、Face Capture/Face Detection Message Post/Attribute Recognitionは使用できません。

ポップアップウィンドウでビデオパラメータを推奨設定に変更できます：

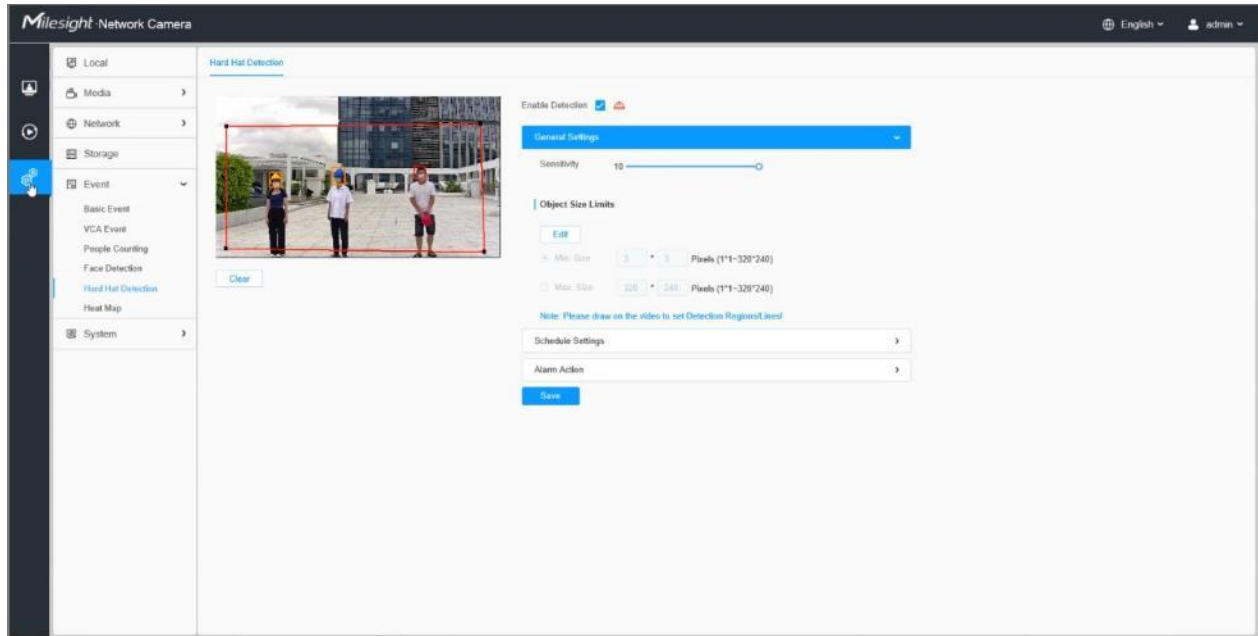


8.4.5 Hard Hat Detection

ハードハット検出は、建設作業員の安全を確保するために使用できます。対応する設定を完了すると、作業員がハードハットを着用していないことが検出された場合、アラームアクションがトリガーされ、警告として機能します。

注意

- ハードハット検出の使用方法的詳細については、<https://www.youtube.com/watch?v=9AYwzheLoCE> を参照してください。
- カメラのモデルが **MS-Cxx66-xxC**、**MS-Cxx61-xxC**、または **MS-Cxx71-xxC** であることを確認します。
- カメラのバージョンがxx.8.0.3以上であることを確認してください。
- Hard Detectionを有効にすると、PTZシリーズのObject Counting、VCA Event、Face DetectionおよびAuto Trackingは無効になります。



設定手順は以下の通りです：

ステップ1：ハードハット検出を有効にします；

ステップ2：ビデオに描画して、検出領域を設定します。

[General Settings]

ステップ3: 感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。



表 70.ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル1~10が利用可能で、デフォルトのレベルは5です。感度が高いほど、ハードハットをかぶっていない人が結果に記録されやすくなります。
Min. Size	検出された物体の最小サイズを設定するには、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。対象物がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
Max. Size	検出されるオブジェクトの最大サイズを設定するために、スクリーンまたは入力ピクセル番号を描画します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[Schedule Settings]

ステップ4: 検出スケジュールを設定します；

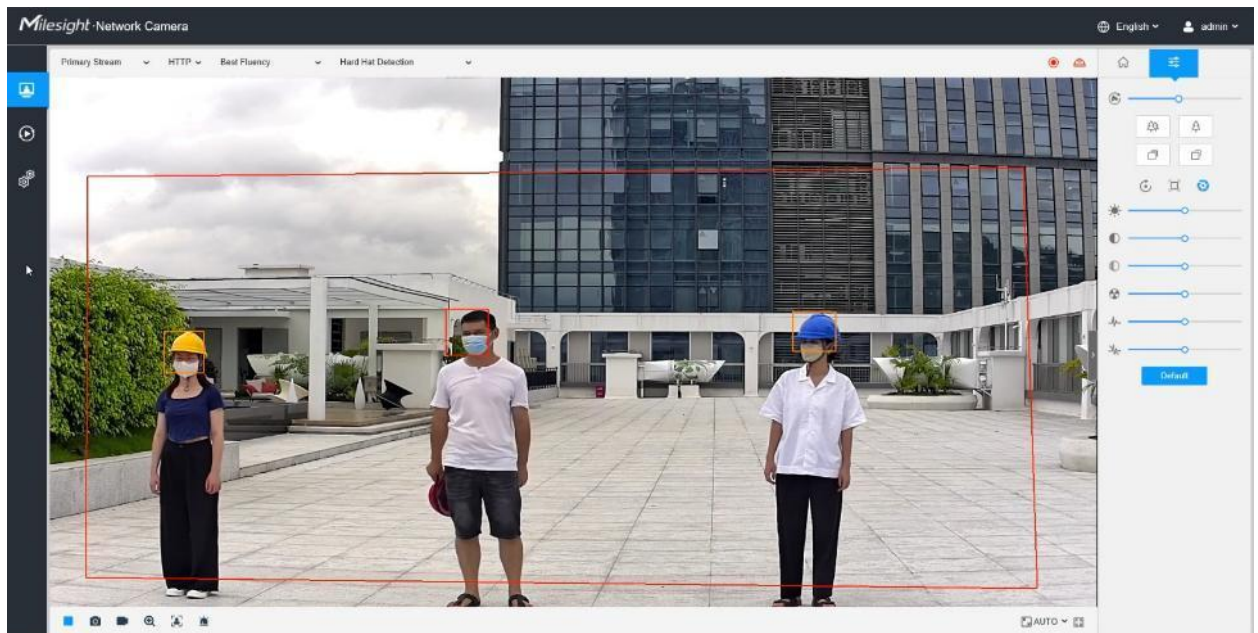
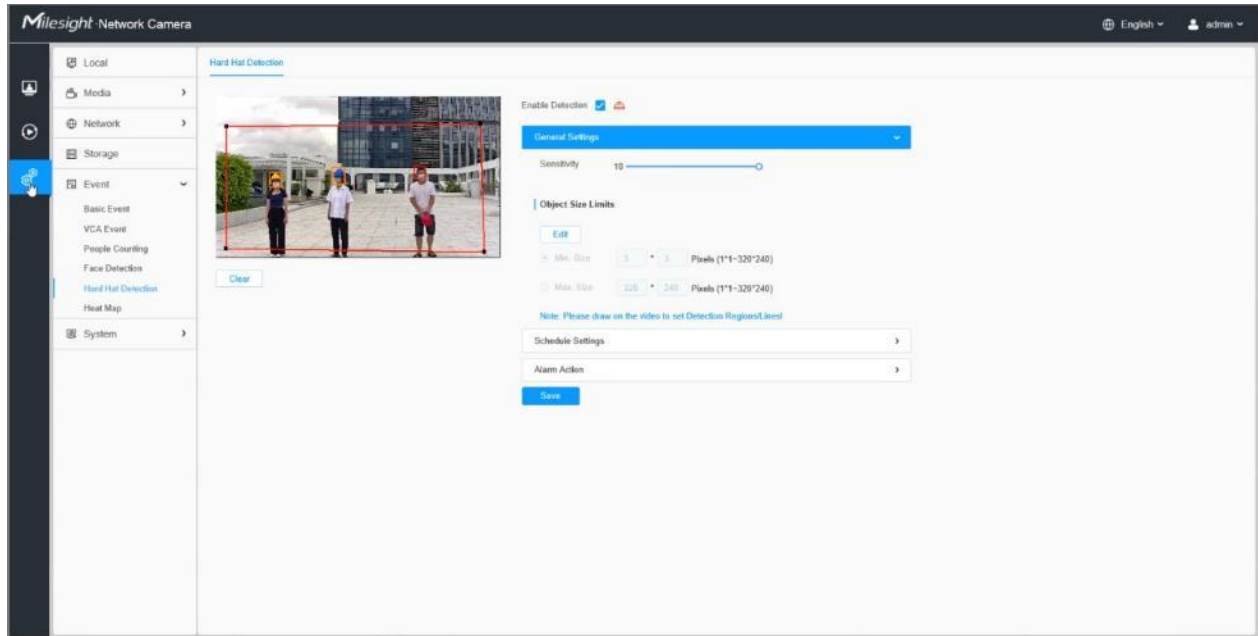
 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1地域入口 \(107ページ\)](#)を参照してください。

[Alarm Action]

ステップ6: アラーム動作を設定します。この部分は通常のアラーム設定と同じです。 [表3 \(111ページ\)](#)を参照してください。



Saveボタンをクリックして設定を終了します。検出エリア内の作業員がハードハットを適切に着用していない場合、アラームが作動し、アラームアイコンが表示され、検出ボックスが赤くなります。



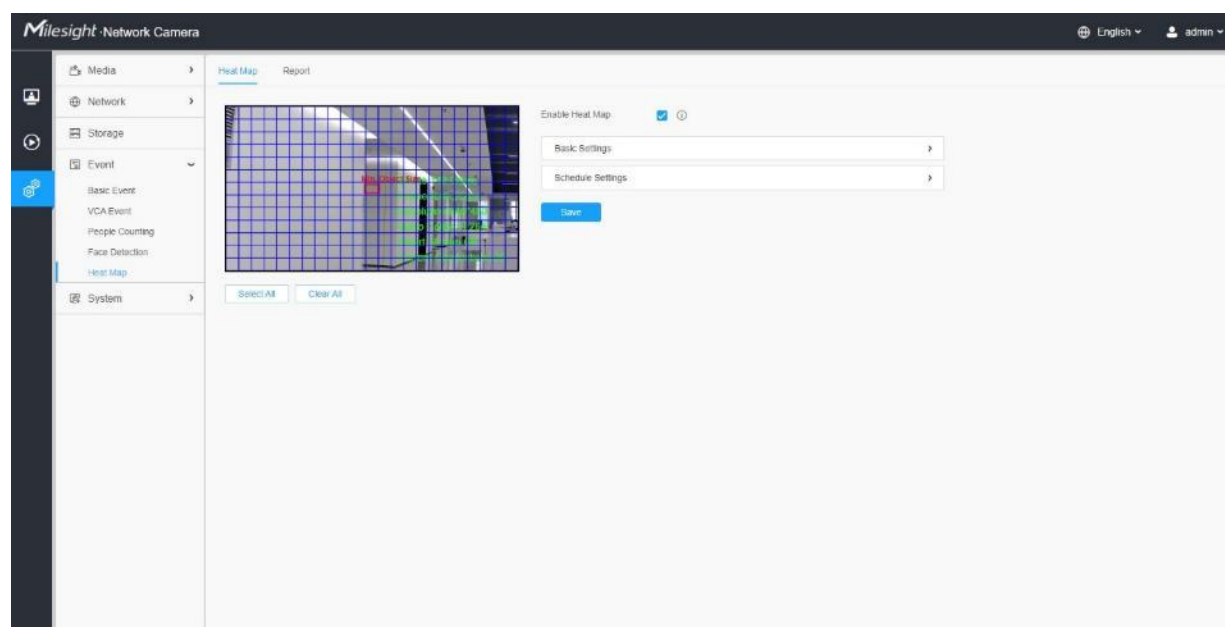
8.4.6 Heat Map

ヒートマップ機能は、顧客の動きを分析し、直感的で正確な統計分析結果で、より良いビジネス管理のための洞察を明らかにすることができます。

8.4.6.1 Heat Map

注意

- カメラのモデルがMS-Cxxxx-xPC/PA/PEであることを確認してください。
- ヒートマップ機能は、PTZおよびLPRシリーズを除くAIモデルで対応しています。
- SDカードまたはNASがない場合、7日以内のレポートのみ表示できます。
- ヒートマップの設定方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000643314> を参照してください。



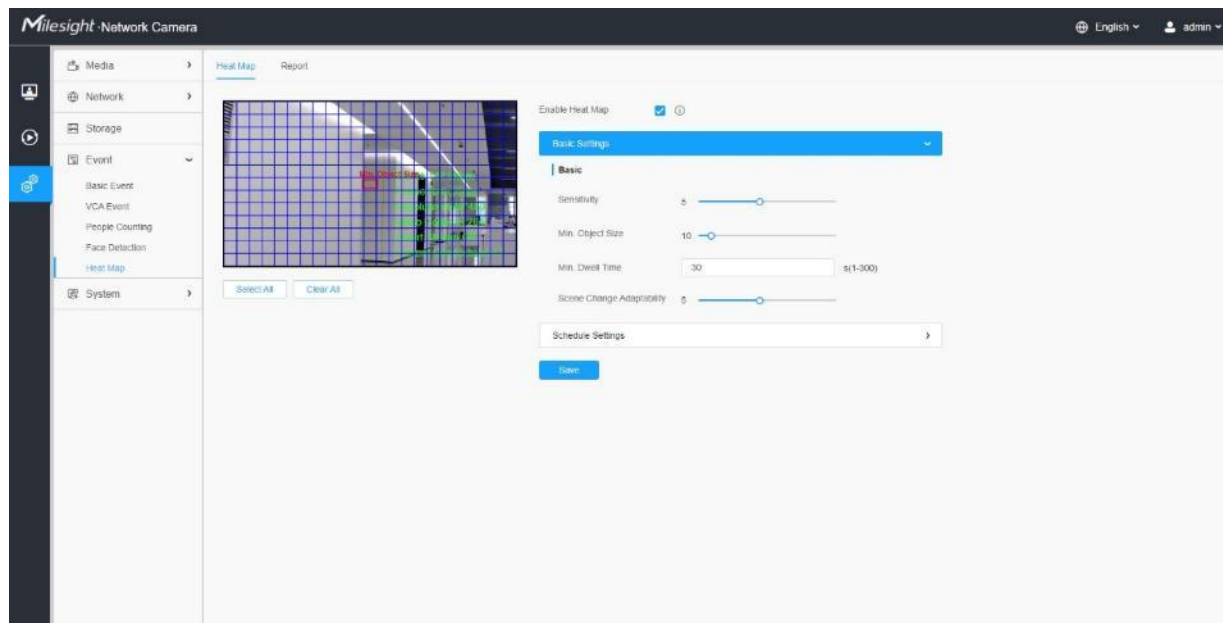
ステップ1：ヒートマップ機能を有効にします。

[Basic Settings]

表 71.ボタンの説明

パラメータ	機能
Sensitivity	レベル 1~10 が利用可能で、デフォルトレベルは 5 です。感度が高いほど、動いている物体が結果に記録されやすくなります。
Min. Object Size	オブジェクトの最小サイズを1から100の間で設定します。この値より小さいオブジェクトは結果に記録されません。
Min. Dwell Time	最小滞留時間を1から300の間で設定します。デフォルト値は30です。設定された「最小滞留時間」よりも長い時間オブジェクトがそのエリアに滞在した場合、そのオブジェクトは結果に記録されません。
Scene Change Adaptability	レベル1~10が使用可能で、デフォルトは5です。シーン変化適応性は、カメラがシーンの変化に適応できることを示し、検出の精度を高めることができます。値が高いほど、カメラはより速く変化するシーンに適応します。

ステップ2：ヒートマップ領域の設定画面を描画して検出領域を設定します。**Select All** ボタンをクリックすると全領域が選択され、**"Clear All"**ボタンをクリックすると現在描画されている領域が削除されます。



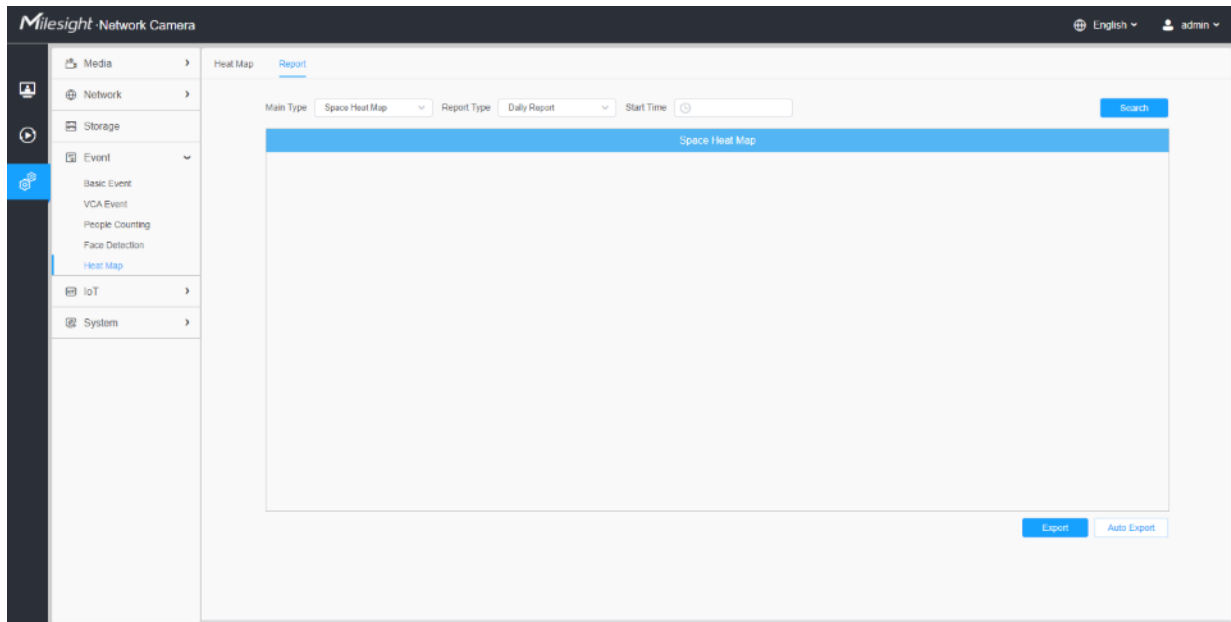
[Schedule Settings]

ステップ3: スケジュール設定。

注：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。 [8.4.2.1地域入口\(107ページ\)](#)を参照してください。

8.4.6.2 Report

ヒートマップ結果は、このインターフェイスに表示されます。



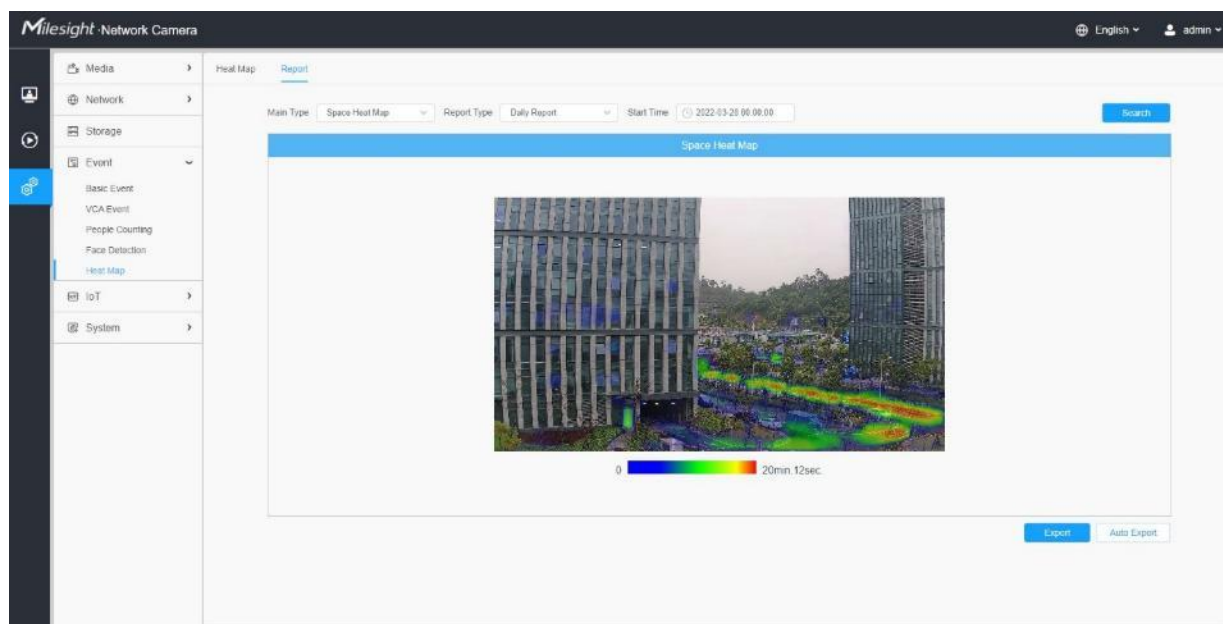
ステップ1：メインヒートマップタイプを選択します。

[Space Heat Map]空間ヒートマップが異なる色の画像で表示されます。異なる色は異なるヒート値を表します。赤は最高値、青は最低値を表します。

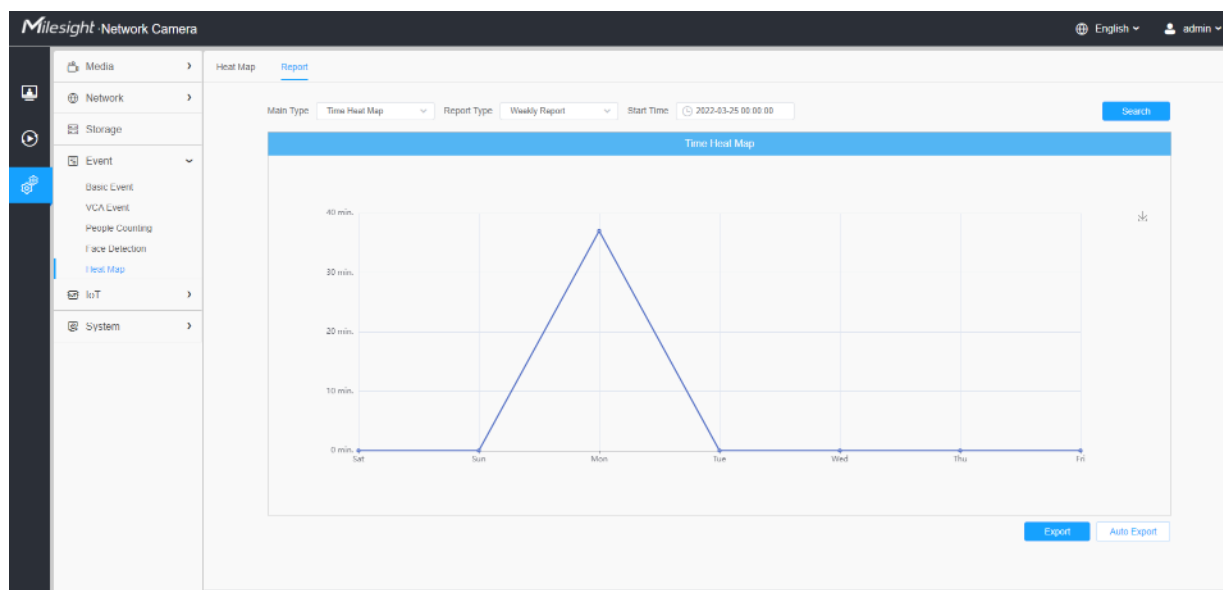
[Time Heat Map]：時間ヒートマップは折れ線グラフで表示されます。

ステップ2：日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートなどのレポートタイプを選択します。

ステップ3：開始時間を選択し、「**Search**」ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（ユーザが選択したレポートタイプに基づく）のデータをカウントし、下図のように対応するレポートを生成します。



Time Heat Map



ステップ4：レポートをローカルにエクスポートするには、「**Report Export**」ボタンをクリックします。

ステップ5：「**Auto Export**」ボタンをクリックすると、以下のようにヒートマップレポート設定がポップアップ表示されます。

The 'Auto Export' dialog box has a blue header with a close button. It contains the following settings:

- Enable:** Two checkboxes, 'Space Heat Map' and 'Time Heat Map', both of which are currently unchecked.
- Day:** A dropdown menu set to 'Everyday'.
- Time:** A text input field with a clock icon on the left, containing '00:00:00'.
- Export Time Range:** A dropdown menu set to 'Last 1 day'.
- Export to:** Three checkboxes, 'FTP', 'Email', and 'Storage', all of which are unchecked.
- Buttons:** A blue 'Save' button and a white 'Cancel' button with a blue border.

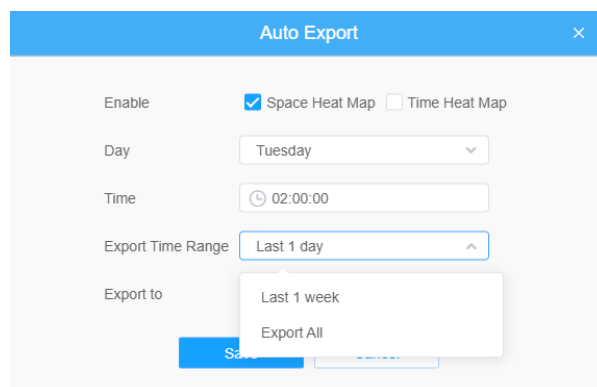
- エクスポートタイプを設定します。ユーザーは空間ヒートマップか時間ヒートマップ、またはその両方をチェックできます。空間ヒートマップまたは時間ヒートマップのいずれかにチェックを入れると、下図のようにグレーの項目が編集可能になります；
- 日の設定。ユーザーは、毎日レポートをエクスポートする場合は毎日を選択し、特定の曜日にレポートをエクスポートする場合は他を選択することができます；

This image shows the 'Auto Export' dialog box with the 'Day' dropdown menu open. The menu lists the following options from top to bottom: Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday, and Everyday (which is highlighted in blue). The background settings remain the same as in the previous image.

- 時間の設定。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセクションがポップアップ表示されます；

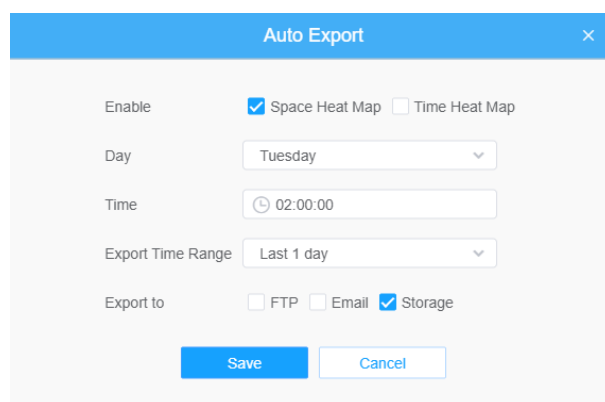
This image shows the 'Auto Export' dialog box with the 'Time' quick selection popup open. The popup is a grid of numbers for selecting hours, minutes, and seconds. The first column shows hours from 00 to 04, the second column shows minutes from 00 to 02, and the third column shows seconds from 00 to 02. At the bottom of the popup are 'Cancel' and 'OK' buttons. The background settings are the same as in the previous images.

- Export Time Rangeの設定。



The screenshot shows the 'Auto Export' dialog box with the following settings: 'Enable' is checked for 'Space Heat Map' and 'Time Heat Map'; 'Day' is set to 'Tuesday'; 'Time' is set to '02:00:00'; 'Export Time Range' is set to 'Last 1 day'. The 'Export to' dropdown menu is open, showing options: 'Last 1 week' and 'Export All'. The 'Save' button is visible at the bottom.

- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートまたは画像としてFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。次に「Save」をクリックします。

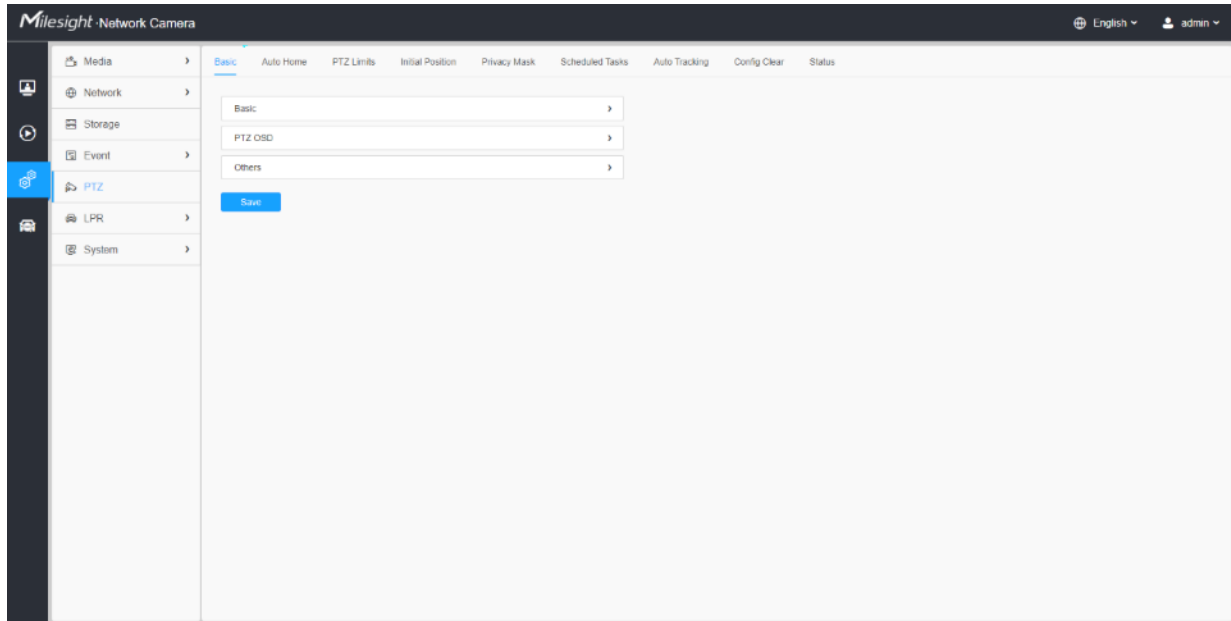


The screenshot shows the 'Auto Export' dialog box with the following settings: 'Enable' is checked for 'Space Heat Map' and 'Time Heat Map'; 'Day' is set to 'Tuesday'; 'Time' is set to '02:00:00'; 'Export Time Range' is set to 'Last 1 day'. The 'Export to' section has three options: 'FTP' (unchecked), 'Email' (unchecked), and 'Storage' (checked). The 'Save' and 'Cancel' buttons are visible at the bottom.

現在のスペースヒートマップが生成された場合、それはpng画像として保存されます。時間ヒートマップが生成された場合は、csv形式で保存されます。

8.5 PTZ

8.5.1 Basic



[Basic]

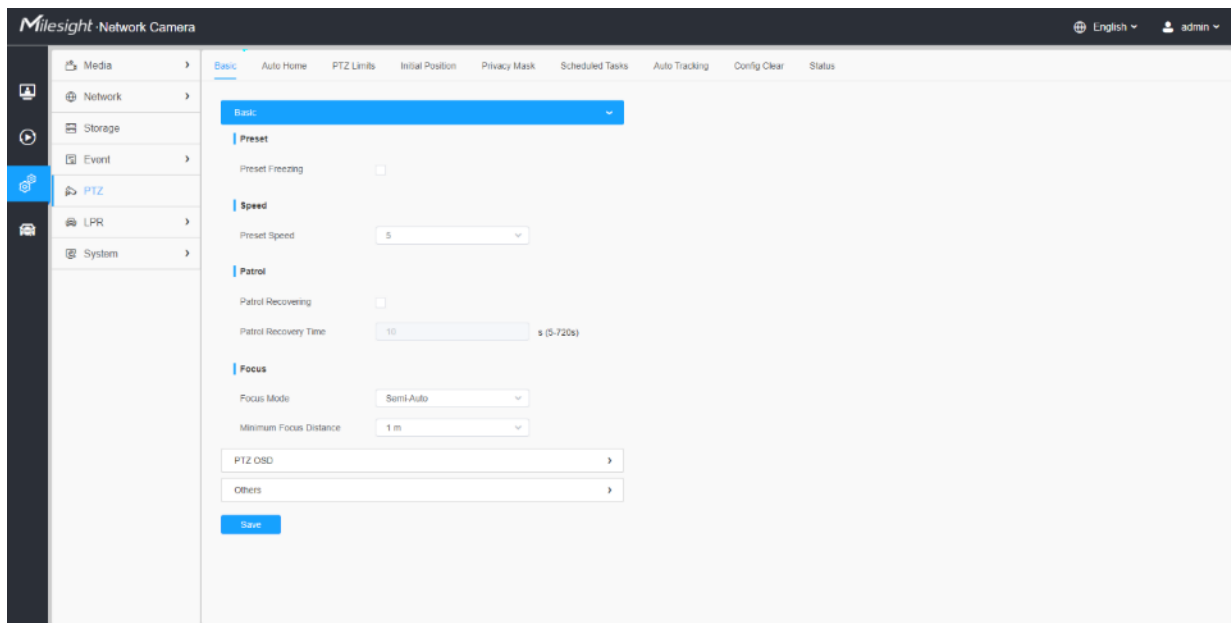


表 72. ボタンの説明

パラメータ	機能
Preset	プリセットフリーズを有効にすると、プリセット位置のライブビューが直接表示されます。また、デジタルネットワークシステムの帯域幅の使用を減らすことができます。
Speed	Preset Speed : プリセットを呼び出す速度を決定します。レベル1~10があります。
	Manual Speed : 手動制御のPTZ速度を決定します。Low/ Medium/ Highがあります。  注 : スピードドームのみ。
	Scan Speed : 自動スキャンの速度を決定します。Level 1~10 があります。  注 : スピードドームのみ
Patrol	Patrol Recovering : パトロール回復を有効にします。
	Patrol Recovery Time : パトロール回復の時間を設定します。
Focus	Focus Mode : 3つのフォーカスモードがあります：オート/セミオート/マニュアル。
	Minimum Focus Distance : 最短撮影距離を設定します：各フォーカスのステップ長を調整するための最短撮影距離を設定します。1m、1.5m、3m、6m、10m、20mがあります。デフォルトの最短焦点距離は1メートルです。

[PTZ OSD]

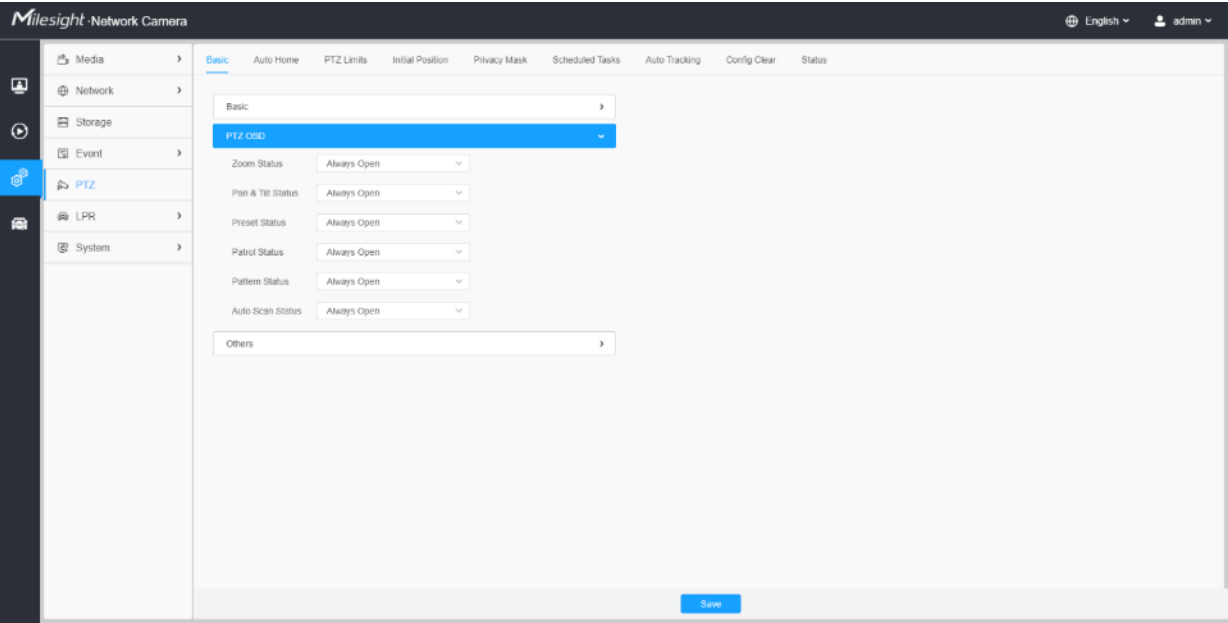


表 73.ボタンの説明

パラメーター	機能
Zoom Status	2s/5s/10s/常時オープン/常時クローズが利用可能です。
Pan & Tilt Status	2s/5s/10s/常時オープン/常時クローズが使用可能です。
Preset Status	2s/5s/10s/常時オープン/常時クローズが選択可能です。
Patrol Status	常時オープン/常時クローズ
Pattern Status	常時オープン/常時クローズ
Auto Scan Status	常時オープン/常時クローズを選択できます。

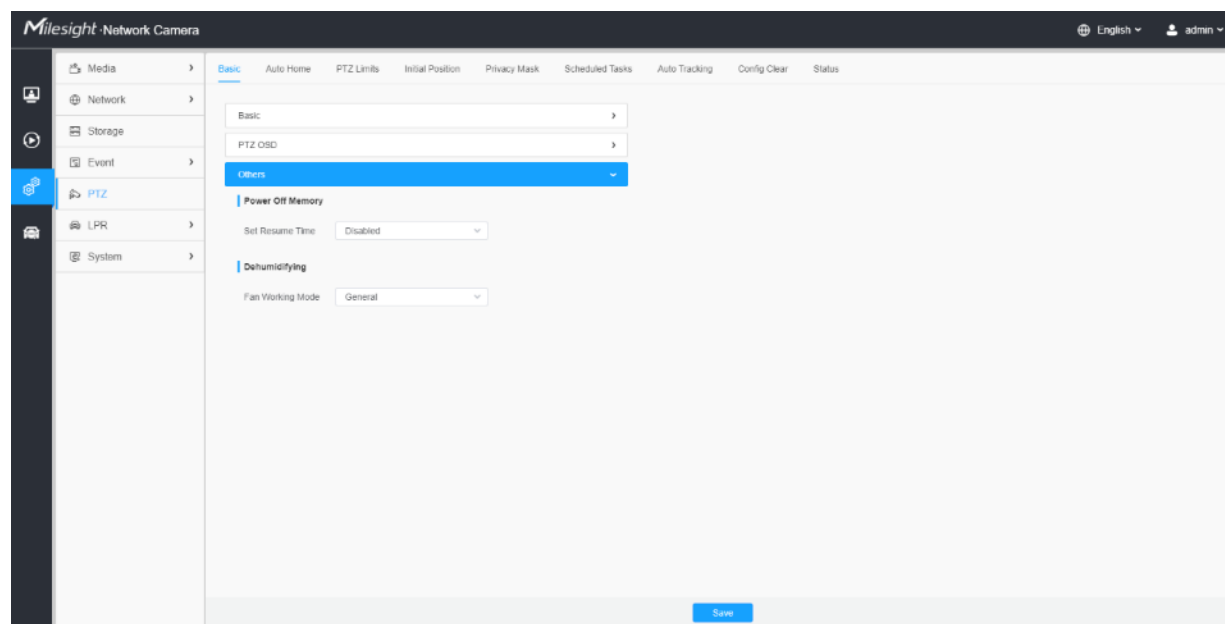
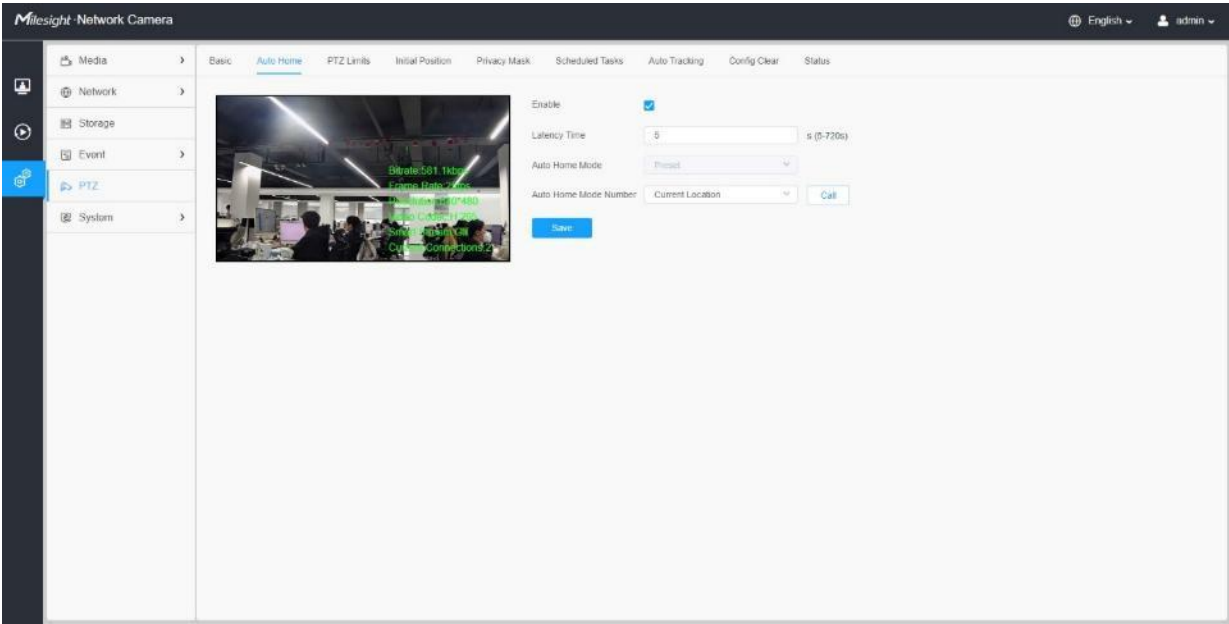


表 74.ボタンの説明

パラメーター	機能
Power Off Memory	カメラの動作があらかじめ設定された時間以上停止した場合、その位置が記録されます。そして、電源オフから通常の作業に戻った後、その位置に復帰します。 再開時間を30秒、60秒、300秒、600秒に設定し、位置を記録することができます。
Dehumidifying	Fan Working Mode : 3つのファン動作モードが利用可能です：一般/強化/一定。 General : ファンは毎日午前4時から午前7時までと午後5時から午後8時までオンになります。 Enhancement : ファンは毎日午後5時から午前7時までオンになります。 Constant : ファンは24時間作動します。

8.5.2 Auto Home



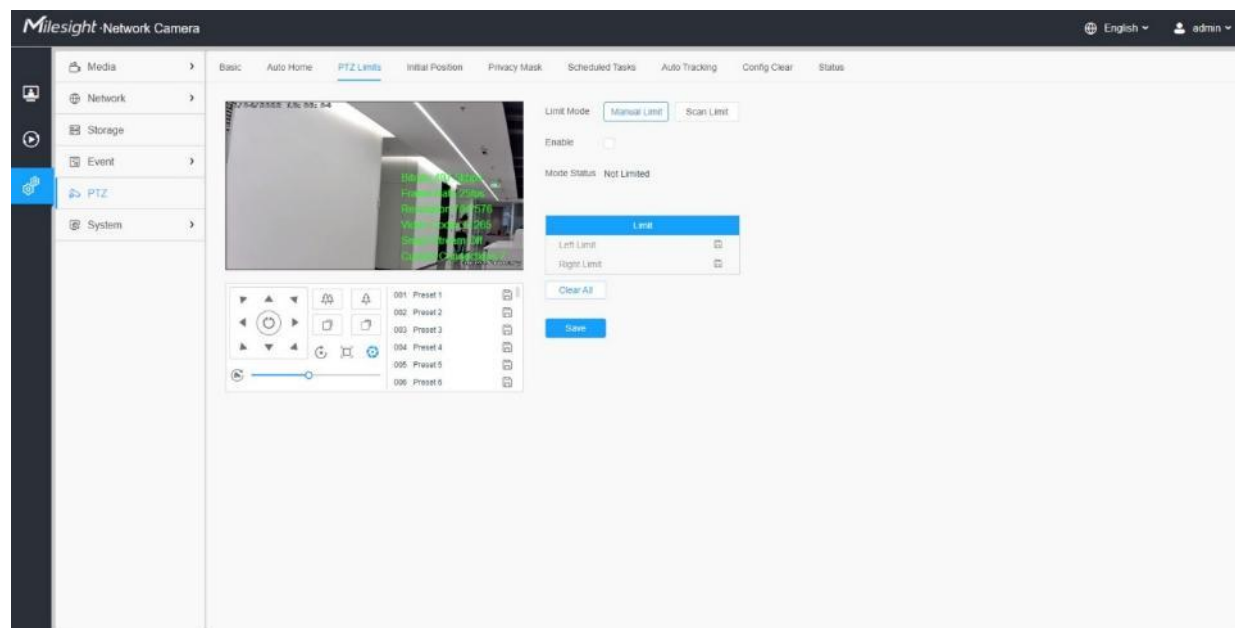
オートホームでは、一定時間の待ち時間の後、PTZカメラが事前に設定したホームポジションに自動的に戻ります。チェックボックスをオンにすると、オートホームモードが有効になります。

表75ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	オートホーム機能の有効／無効を設定します。
Latency Time	オートホームモードを起動するまでの待ち時間を設定します。
Auto Home Mode	プリセット：オートホームのトリガー時にプリセットポイントが有効になります。
Auto Home Mode Number	リストでプリセットを選択し、"Call "を押して位置を確認します。現在地の選択にも対応。

8.5.3 PTZ Limits

PTZカメラは設定可能なPTZ制限（左/右）内で移動するようにプログラムできます。



ステップ1：チェックボックスをチェックしてPTZリミット機能を有効にします。

ステップ2：制限モードを手動制限またはスキャン制限から選択します。

- Manual Limit

手動リミットが設定されている場合、限られた監視エリアでのみPTZコントロールパネルを手動で動作させることができます。

- Scan Limit :

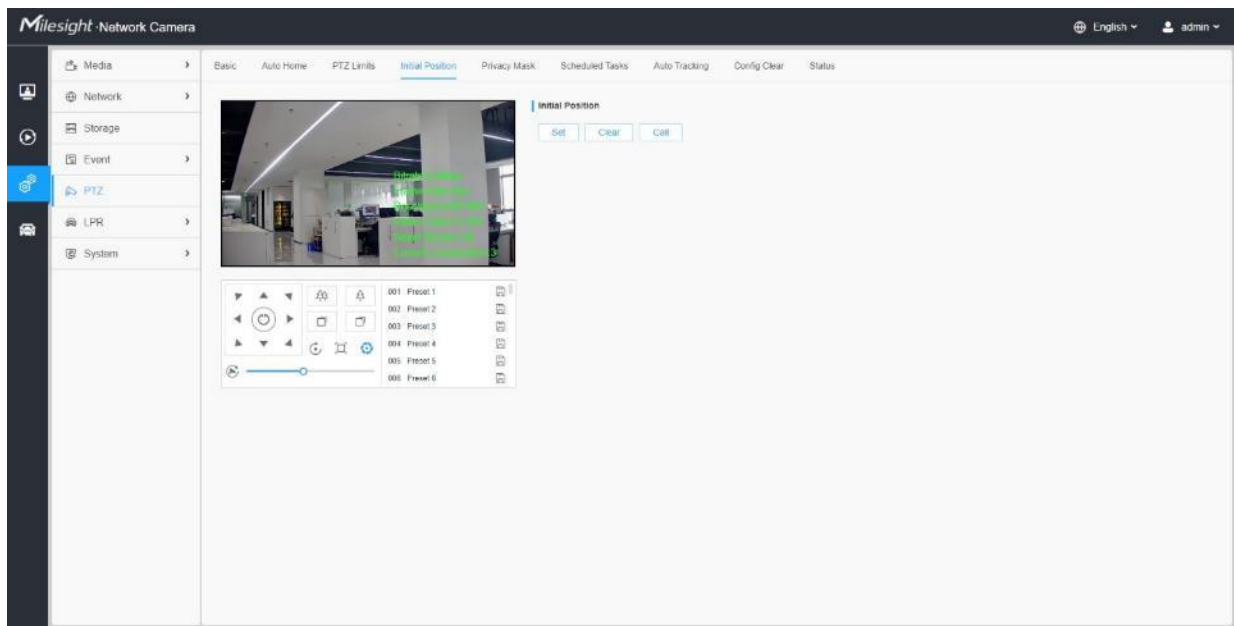
スキャンリミット停止が設定された場合、自動スキャンは限られた監視エリアでのみ実行されます。

ステップ3:

PTZコントローラーボタンをクリックして、左右のリミットストップを設定します。

ステップ4：[Set] をクリックしてリミットを保存するか、[Clear] をクリックしてリミットをクリアします。

8.5.4 Initial Position



PTZカメラの初期位置をゼロ点として設定できます。

ステップ1：PTZ制御ボタンをPTZ弾丸の初期位置としてクリックし、定義されたプリセットを呼び出して初期位置として設定することもできます。

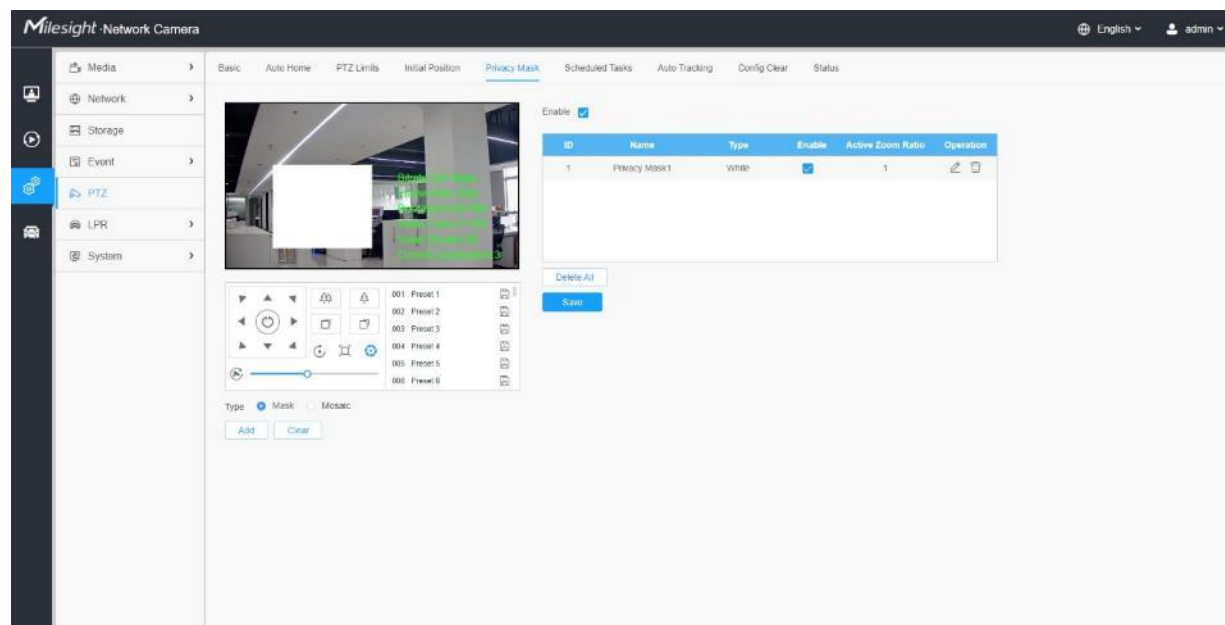
ステップ2：Setをクリックして初期位置として保存します。

表76.ボタンの説明

パラメータ	機能
Set	現在の位置を初期位置として設定します。
Clear	初期位置を初期設定に戻します。
Call	初期位置を呼び出します。

8.5.5 Privacy Mask

プライバシーマスクは、ライブビデオ上の特定のエリアをカバーし、監視エリアの特定のスポットが表示および記録されないようにすることができます。マスク領域は、レンズの動きに伴って移動することはありません。



[Privacy Mask]

ライブ映像の特定の領域をカバーするために使用する色を選択できます。

📌 注意

- MS-Cxxxx-xPC モデルでは、最大 24 のマスク領域と 4 つのモザイク領域に対応します。
- MS-Cxxxx-xPA モデルでは、最大 24 のマスク領域に対応します。

表 77. ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	プライバシーマスク機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Add	現在の描画領域をプライバシーマスクとして追加します。
Clear	現在の描画領域を消去します。
Delete All	現在描画している領域をすべて消去します。
Name	プライバシーマスクの名前のカスタマイズ対応

パラメータ	機能
Type	プライバシーエリアの色を選択します：ホワイト、ブラック、ブルー、イエロー、グリーン、ブラウン、レッド、バイオレット
Active Zoom Ratio	必要に応じてアクティブズーム比の値を設定し、マスクは、ズーム比が事前に定義された値よりも大きい場合にのみ表示されます。

[Mosaic type of Privacy Mask]

ライブ映像の特定の領域をカバーするために使用するカラータイプとモザイクタイプを選択できます。モザイクタイプは画像の連続性を維持し、視覚効果を向上させることができます。24 のマスク領域と 4 つのモザイク領域を含む、最大 28 のマスク領域に対応します。

 カメラのモデルが MS-Cxxxx-xPC であることを確認してください。

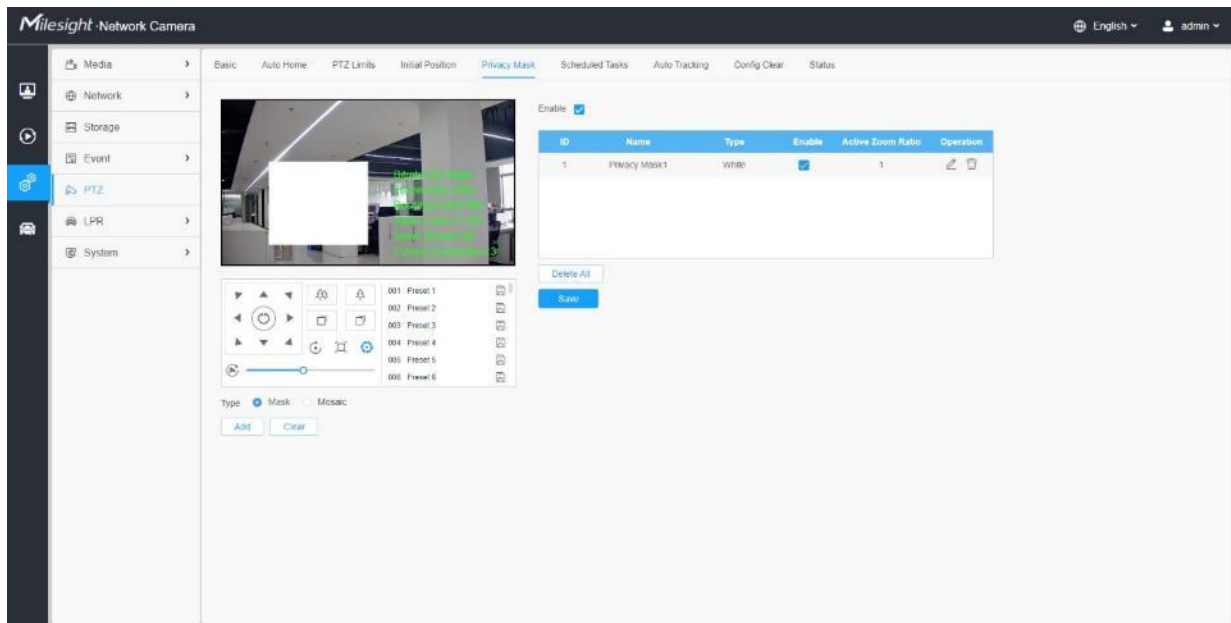
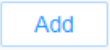


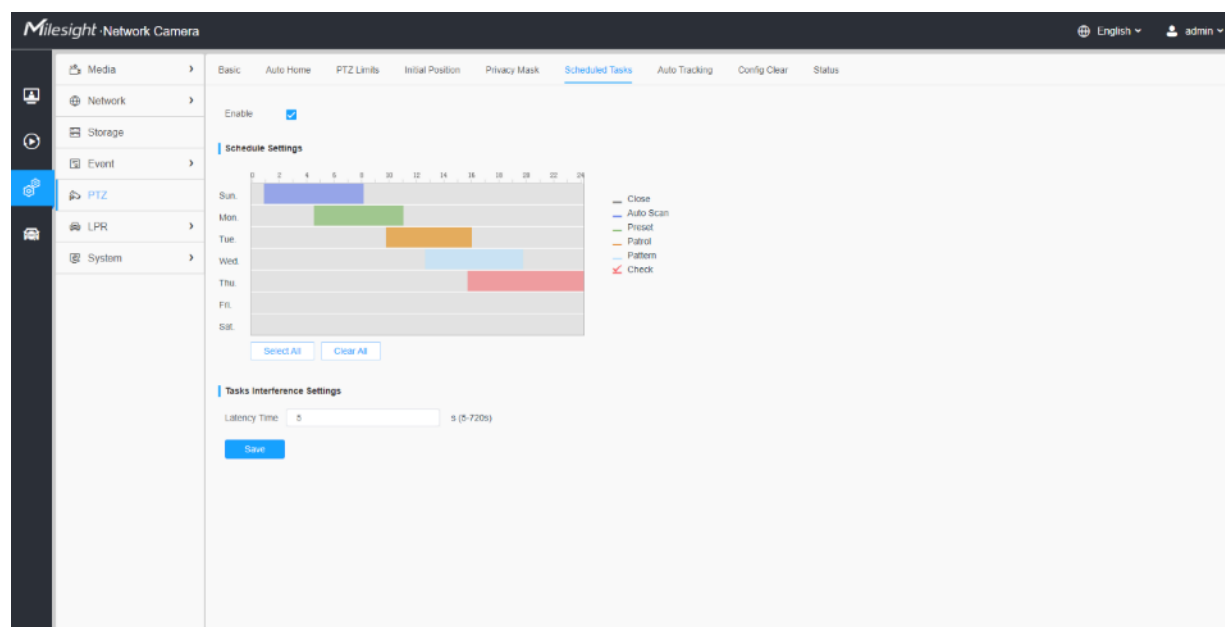
表 78.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	プライバシーマスク機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
Type	プライバシー領域に使用するタイプを選択します：マスク] と [モザイク] の2種類があります。
	必要に応じて、ライブ映像にプライバシーエリアを描画します。

パラメータ	機能	
	ライブ映像上に描いた領域を消去します。	
Operation		選択した ROI 領域を有効/無効にします。
		マスクエリアの色を変更します：ホワイト、ブラック、ブルー、イエロー、グリーン、ブラウン、レッド、バイオレット
		プライバシーマスク領域の削除

8.5.6 Schedule Tasks

PTZカメラがユーザー定義の期間に自動的に特定のアクションを実行するように設定できます。

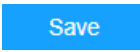


ステップ1：スケジュールタスク設定インターフェースに入ります：

ステップ2：スケジュールタスクを有効にするチェックボックスをオンにします。

ステップ3：スケジュールとタスクの詳細を設定します。

ステップ4:タスク回復時間（5～720秒）を設定します。PTZカメラがスケジュールとタスクの詳細を開始するまでの時間（非アクティブ期間）を設定できます。

ステップ5  ボタンをクリックして、すべての設定を保存します。

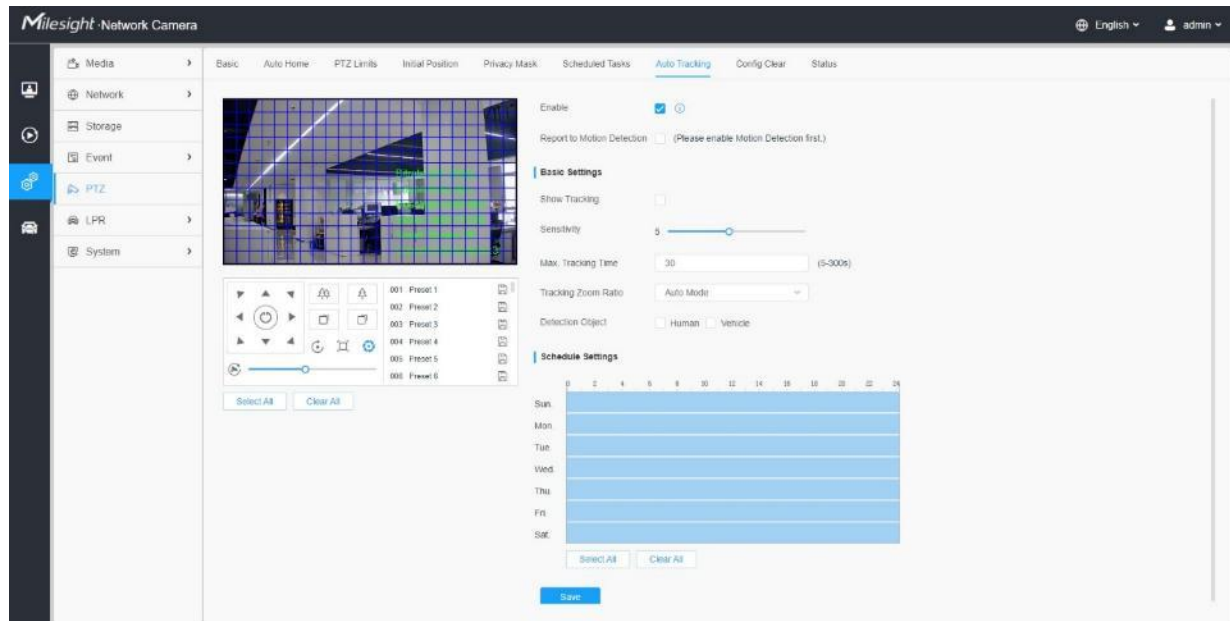
注意

- 各タスクの時間は重複できません。各日に最大10個のタスクを設定できます。
- スケジュールタスク機能はオートホーム機能より優先されます。この2つの機能が同時に設定された場合、スケジュールタスク機能のみが有効になります。
- ボタンをクリックすると、異なる種類のタスクのスケジュールをすべて選択または閉じることができます。

8.5.7 Auto Tracking

PTZシリーズのカメラは、この機能を設定すると、動いている物体を自動的に追跡することに対応します。

 注：非関連状態では、自動追跡の優先順位は、VCA Event > Auto Tracking > Motion Detectionです。



設定手順は次のとおりです：

ステップ1：自動追跡を有効にするには、チェックボックスをオンにします；

ステップ2：チェックボックスをオンにして、動体検知への報告を有効にします。自動追跡中に動体検知アラームがトリガーされます。

 **注：**最初に動体検知を有効にしてください。

[Basic Settings]

ステップ3：自動追跡機能で追跡を表示するには、"追跡を表示"を有効にします。

ステップ4：検知感度を設定します；

ステップ5：最大追跡時間を設定します。Tracking Time
(追跡時間)を設定します。最大トラッキング時間は5~300秒の間で設定して下さい。

ステップ6：オートモードとカスタマイズを含むトラッキングズーム比の設定。オートモードを選択した場合、カメラは自動的にトラッキングズーム比を調整します。カスタマイズが選択された場合、ユーザーはズームボタンを調整することにより、最初にトラッキングズーム比を設定する必要があり、その後、カメラは自動的にカスタマイズされたトラッキングズーム比と現時点での画像内のオブジェクトの割合に従って移動オブジェクトを追跡します。同時に、オブジェクトは追跡プロセス中に常に画像内の同じ割合を維持します。

ステップ7：検出オブジェクトの選択人または車両の属性をチェックし、カメラが人または車両を検出するとアラームが鳴り、関連イベントがトリガーされます；

[Schedule Settings]

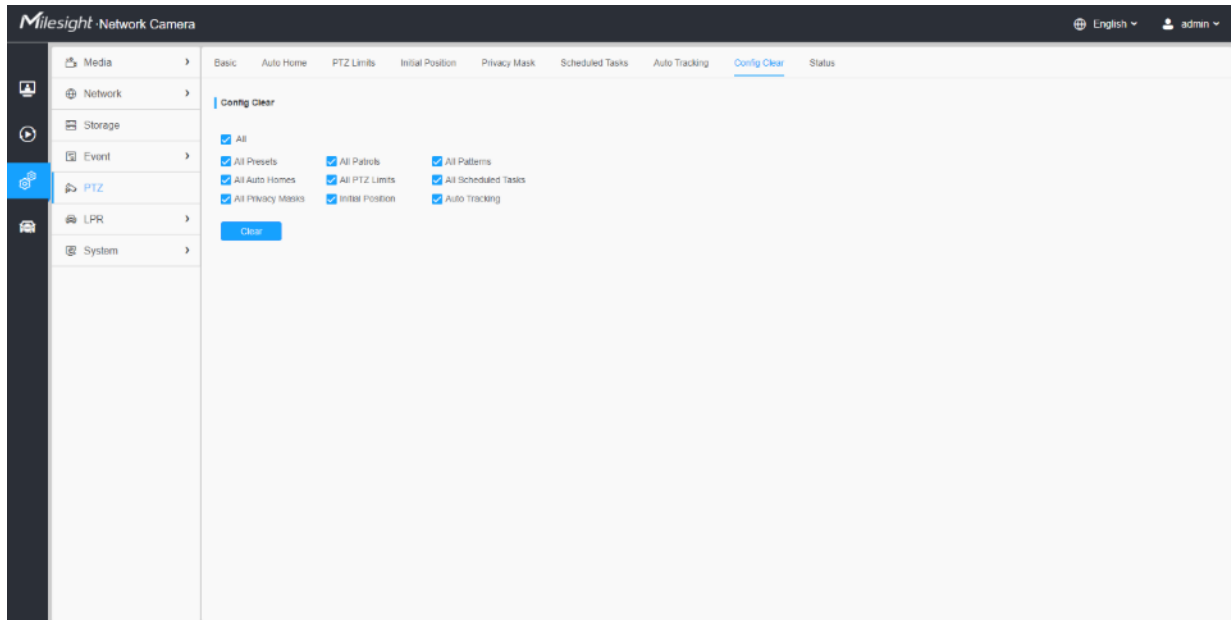
ステップ8：自動追跡スケジュールを設定します。

ステップ9：画面を描画して検出領域を設定します。

ステップ10：  をクリックして設定を保存します。

 **注：**自動追跡を使用する前に、自動ホームをオフにしてください。

8.5.8 Config Clear

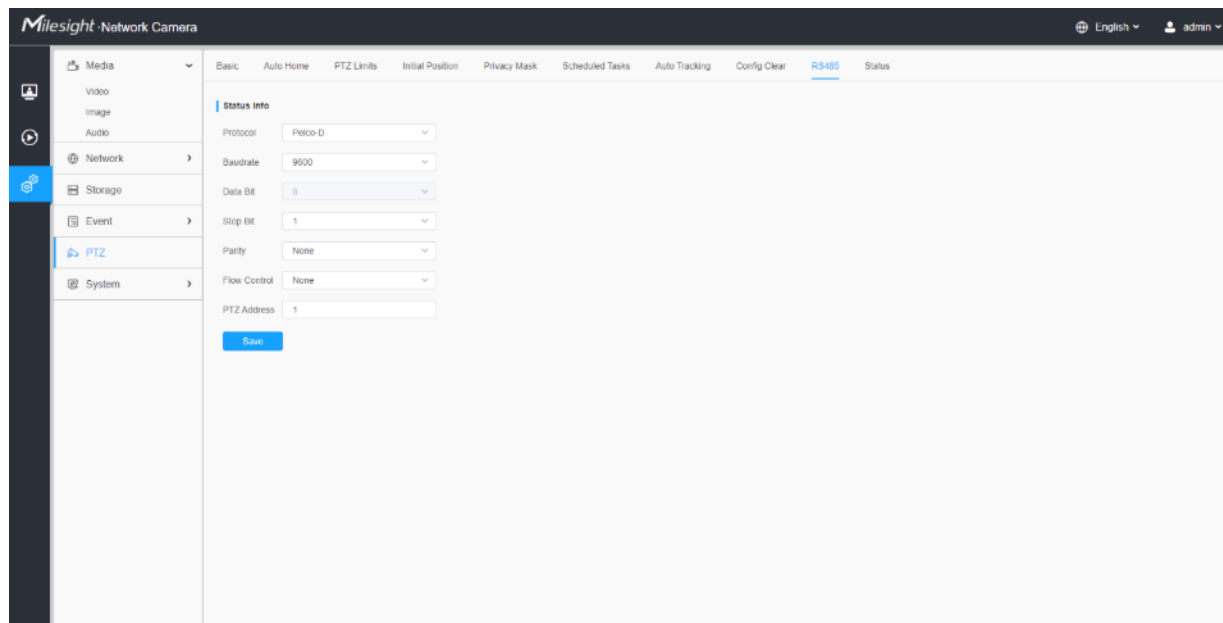


ここでは、すべてのPTZ設定、プリセット、パトロール、パターン、オートホーム、PTZリミット、初期位置（PTZブレット）、プライバシーマスク、スケジュールタスクなどのPTZ設定をクリアできます。

8.5.9 RS485

ここでは、スピードドームのPTZを制御するRS485シリアルポートを設定できます。プロトコル、ボーレート、データビット、ストップビット、パリティ、フロー制御、PTZアドレスは制御デバイスのものと全く同じにする必要があります。

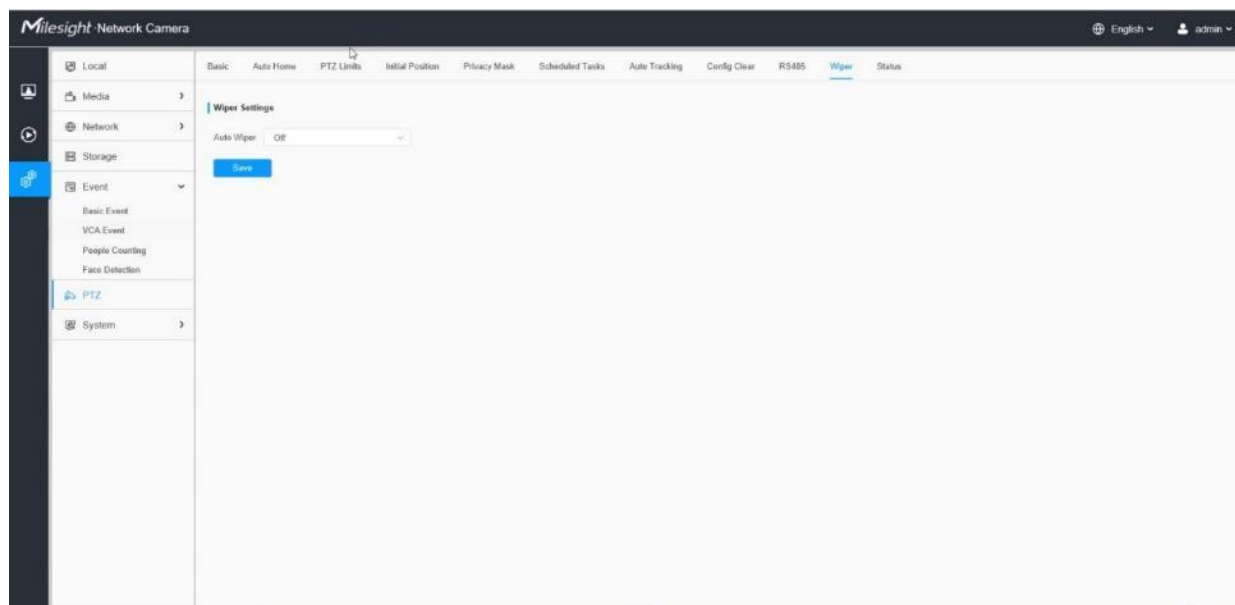
 **注：**この機能はスピードドーム専用です。



8.5.10 Wiper

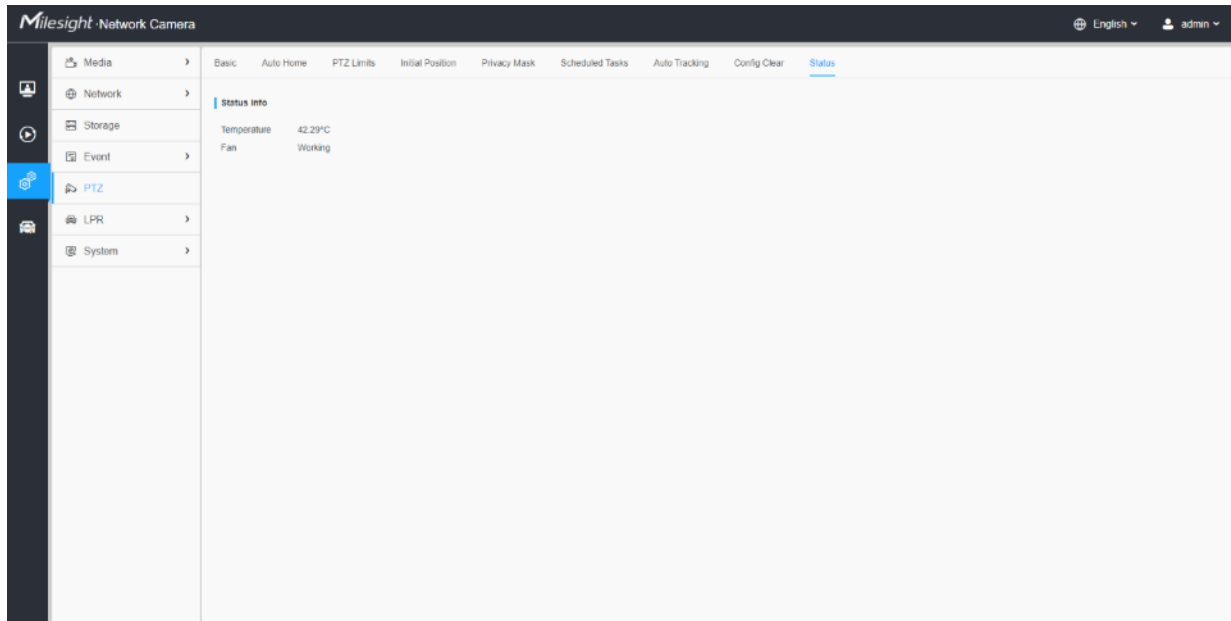
ここでは、スマートワイパー機能をオンにして、スピードドームカメラのワイパーを制御できます。スマートワイパー機能を有効にすると、雨天時にスピードドームカメラのワイパーが自動的に作動し、雨量に応じてワイパーの動作周波数がインテリジェントに調整されます。

 **注：**この機能はスマートワイパー付きAIスピードドーム専用です。



8.5.11 Status

ここでは、PTZカメラのステータス情報（温度、ファンのステータスなど）を確認できます。



8.6 IoT（オプション）

Mileight組み込みIoTモジュールはLPWAN技術に対応し、低消費電力で長距離通信が可能です。

IoTカメラを使用する場合、ここでエンドデバイスの管理やアラーム設定を行うことができます。

注：IoT

機能の設定方法の詳細については、<https://milesight.freshdesk.com/a/solutions/articles/69000797250>を参照してください。

8.7.1 Settings

8.7.1.1 Radios Settings

現在、当社のIoTカメラは**915M**(対応するチャンネルプランは**US915/AU915/KR920/AS923/AS9232**)、**868M**(対応するチャンネルプランは**IN865/EU868/RU864**)、**470M**(対応するチャンネルプランは**CN470**)の3つのIoT周波数帯域に対応しています。カメラを購入する前に、あなたの国で対応している周波数帯域を選択するために、当社の販売に連絡する必要があります。

例えば、ここでは915Mの周波数帯を持つIoTカメラを選択するか、LoRaWAN用の参考文書地域パラメータを選択すると、現在のチャンネルプランがUS915であることがページに表示されます。

注：通常、無線設定を構成することなく、デフォルト設定を直接使用することができます。無線設定をカスタマイズする必要がある場合は、以下のように設定します。

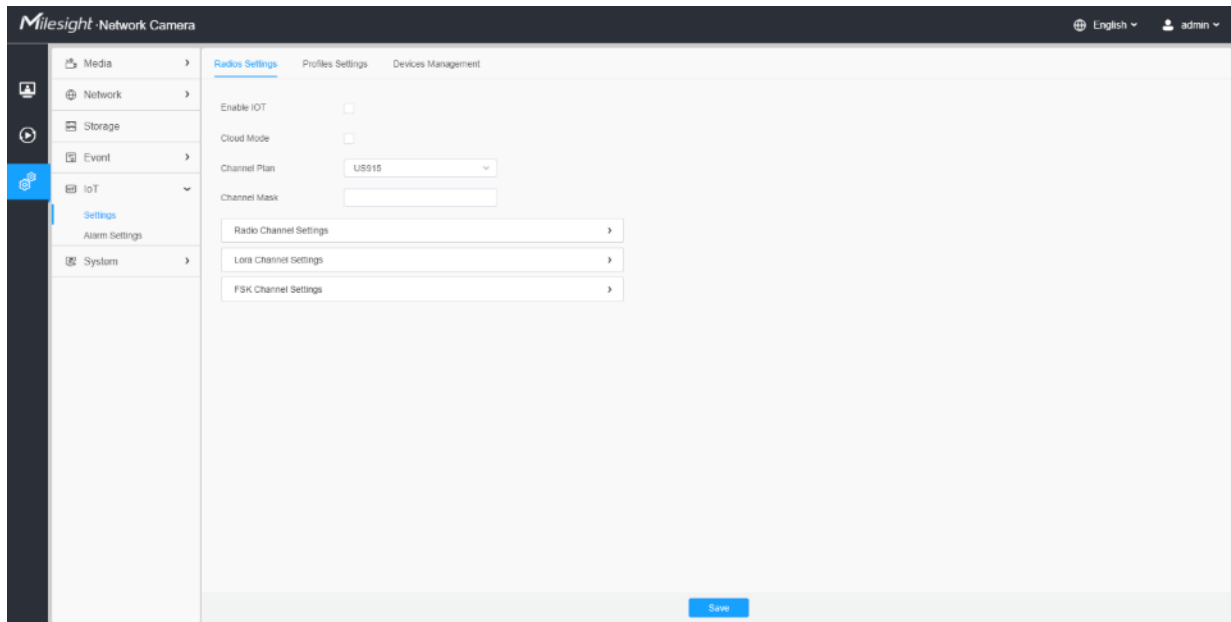


表 79. ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable IoT	IoT 機能を有効/無効にします。
Cloud Mode	Milesight IoTクラウド管理を有効/無効にします。
Channel Plan	IoTカメラの対応するチャンネルプランを表示します。
Channel Mask	有効な周波数はチャンネルマスクを使用して制御されます。空白にすると、LoRaWAN®地域パラメータドキュメントで指定されているデフォルトの標準使用可能チャンネルをすべて使用します。チャンネルマスクフィールドのビットが1に設定されている場合、このチャンネルが現在エンドデバイスで使用されているデータレートを許可していれば、対応するチャンネルをアップリンク伝送に使用できることを意味します。このオプションは、CN470、US915、およびAU915 ではオプションです。

[Radio Channel Settings]

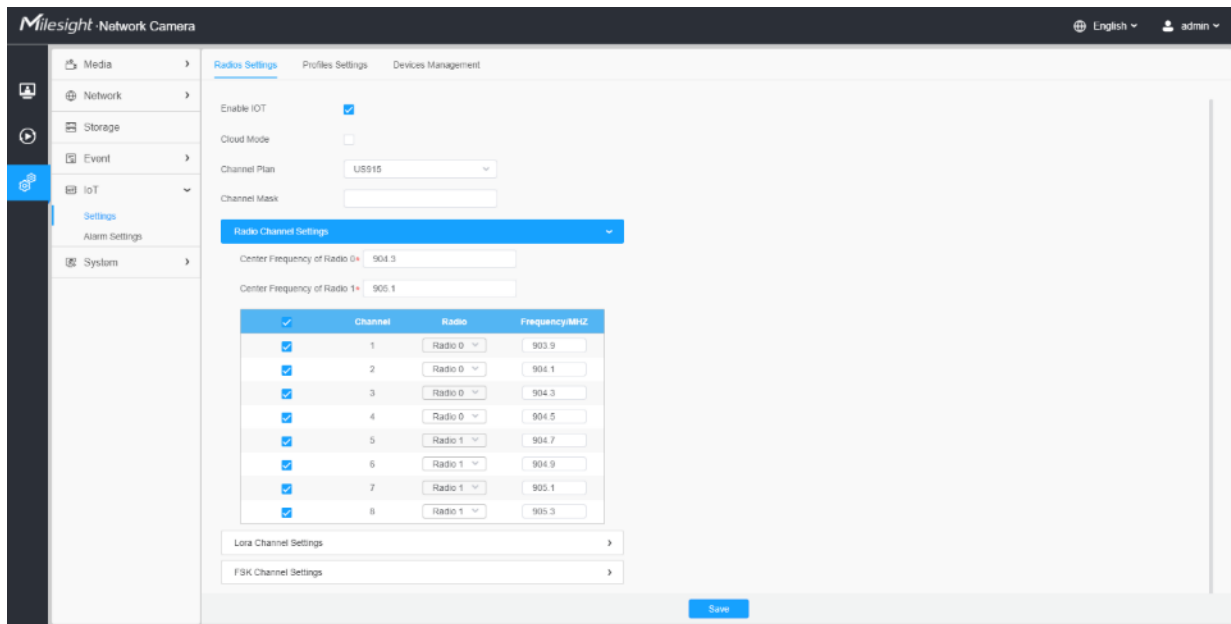


表 80. ボタンの説明

パラメータ	機能																																				
Center Frequency of Radio 0	パケットの送受信に対応します；  注：各地域のデフォルト値と設定範囲についてはMilesight Troubleshooting-5G AIoT Cameraをご参照ください。																																				
Center Frequency of Radio 1	 下からのパケット受信のみに対応します； 各地域のデフォルト値や設定範囲についてはMilesight Troubleshooting-5G AIoT Cameraをご参照ください。																																				
Multi-channel list	全てのチャンネルに対応する無線と周波数がここに表示されます。デフォルトでは全てのチャンネルが有効になっています。対応するチャンネルにチェックを入れて有効にすることもできます。 <table><tr><th></th><th>Channel</th><th>Radio</th><th>Frequency/MHZ</th></tr><tr><td></td><td>1</td><td>Radio 0</td><td>903.9</td></tr><tr><td></td><td>2</td><td>Radio 0</td><td>904.1</td></tr><tr><td></td><td>3</td><td>Radio 0</td><td>904.3</td></tr><tr><td></td><td>4</td><td>Radio 0</td><td>904.5</td></tr><tr><td></td><td>5</td><td>Radio 1</td><td>904.7</td></tr><tr><td></td><td>6</td><td>Radio 1</td><td>904.9</td></tr><tr><td></td><td>7</td><td>Radio 1</td><td>905.1</td></tr><tr><td></td><td>8</td><td>Radio 1</td><td>905.3</td></tr></table>		Channel	Radio	Frequency/MHZ		1	Radio 0	903.9		2	Radio 0	904.1		3	Radio 0	904.3		4	Radio 0	904.5		5	Radio 1	904.7		6	Radio 1	904.9		7	Radio 1	905.1		8	Radio 1	905.3
	Channel	Radio	Frequency/MHZ																																		
	1	Radio 0	903.9																																		
	2	Radio 0	904.1																																		
	3	Radio 0	904.3																																		
	4	Radio 0	904.5																																		
	5	Radio 1	904.7																																		
	6	Radio 1	904.9																																		
	7	Radio 1	905.1																																		
	8	Radio 1	905.3																																		

[Lora Channel Settings]

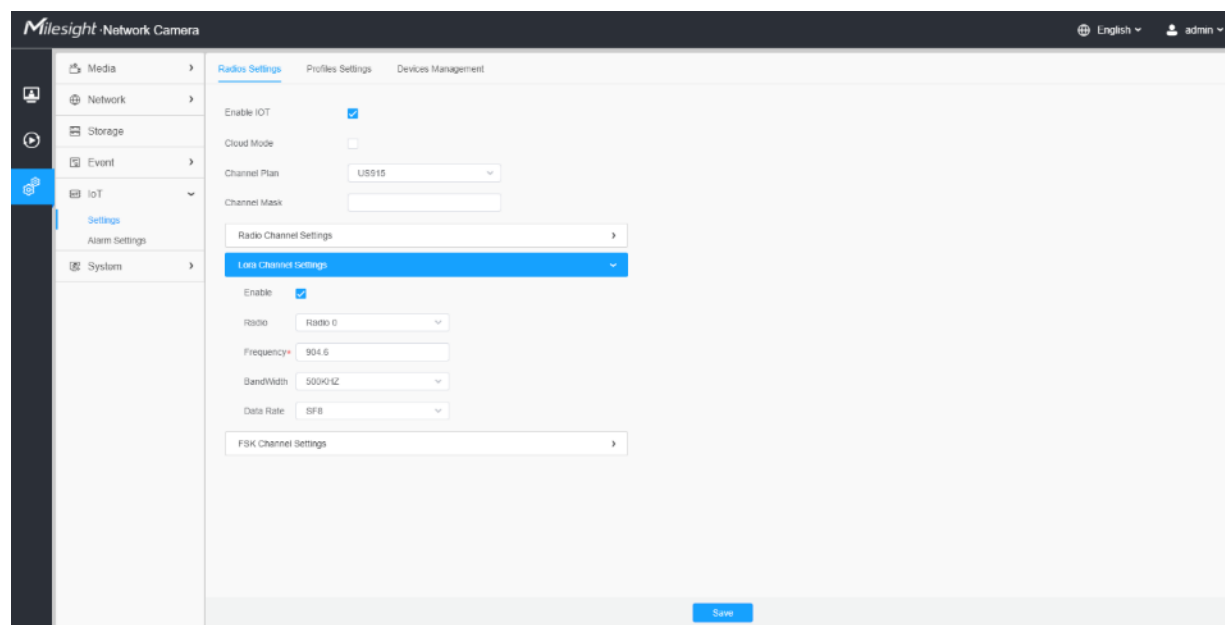


表 81.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	LoRa チャンネルを有効/無効にします。
Radio	中心周波数として Radio 0 または Radio 1 を選択します。
Frequency	このチャンネルの周波数を入力します。 例えば - US915 と AU915 の周波数範囲式：中心周波数± 0.55； - その他の地域（US915、AU915を除く）の周波数範囲式：中心周波数± 0.4625； 例えば、中心周波数を867.5に設定した場合、各チャンネルに対応する周波数範囲：867.5-0.4625~867.5+0.4625。
Band Width	このチャンネルの帯域幅を入力します。125KHz、250KHz、500KHz があります。デフォルトは 250KHz です；  注意：AU915とUS915のデフォルトは500KHzです。

パラメータ	機能
Data Rate	SF7からSF12まで、伝送レートは減少し、伝送距離は増加します。一般的に、 Data Rate の範囲は SF7～SF12 で、デフォルト値は SF7 です。チャンネルプラン AU915 と US915 の初期値のみ SF8 です。

[FSK Channel Settings]

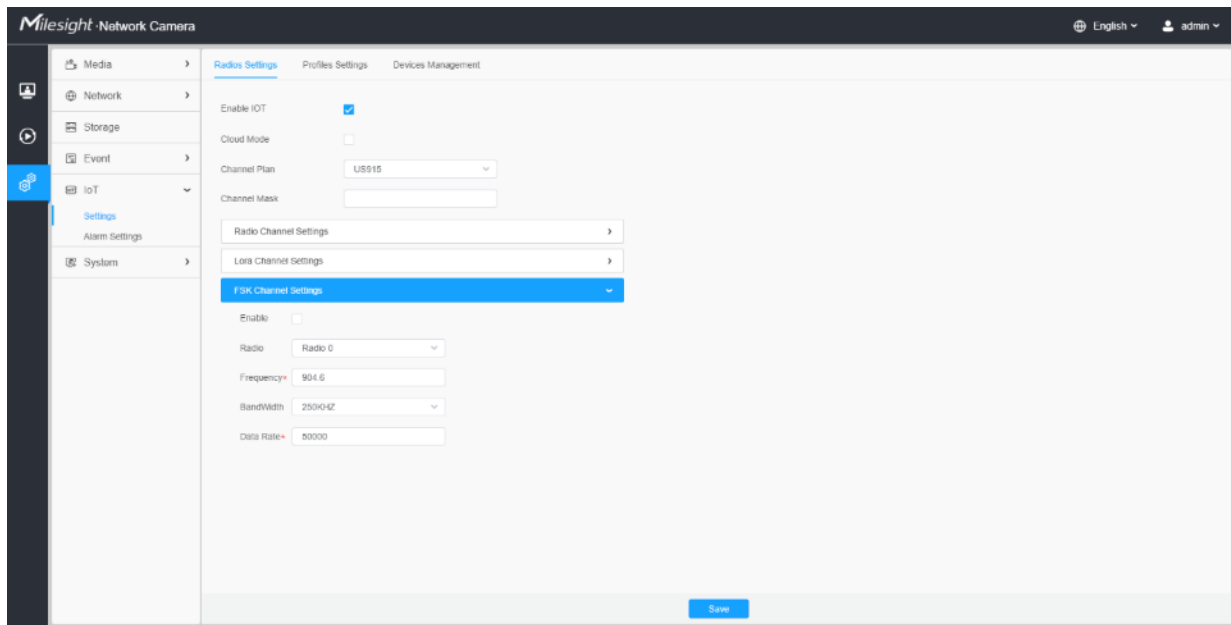


表 82.ボタンの説明

パラメータ	機能
Enable	FSK チャンネルを有効/無効にします。
Radio	中心周波数としてラジオ0またはラジオ1を選択します。
Frequency	このチャンネルの周波数を入力します。
BandWidth	このチャンネルの帯域幅を入力します。125KHz、250KHz、500KHz があります。デフォルトは 125KHz です。  注意 : AU915 と US915 のデフォルトは 250KHz です。
Data Rate	データレートを入力します。 Date Rate は 500~250000 の間でなければなりません。

 **注：**ここでの設定は、End Device の設定と同じにする必要があります。

8.7.1.2 プロファイル設定

通常、プロファイル設定を構成せずにデフォルト設定を使用できます。いくつかのプロファイル設定をカスタマイズする必要がある場合は、[Profiles Settings]ボタンをクリックしてさらに設定を行い、[Apply]ボタンをクリックします。

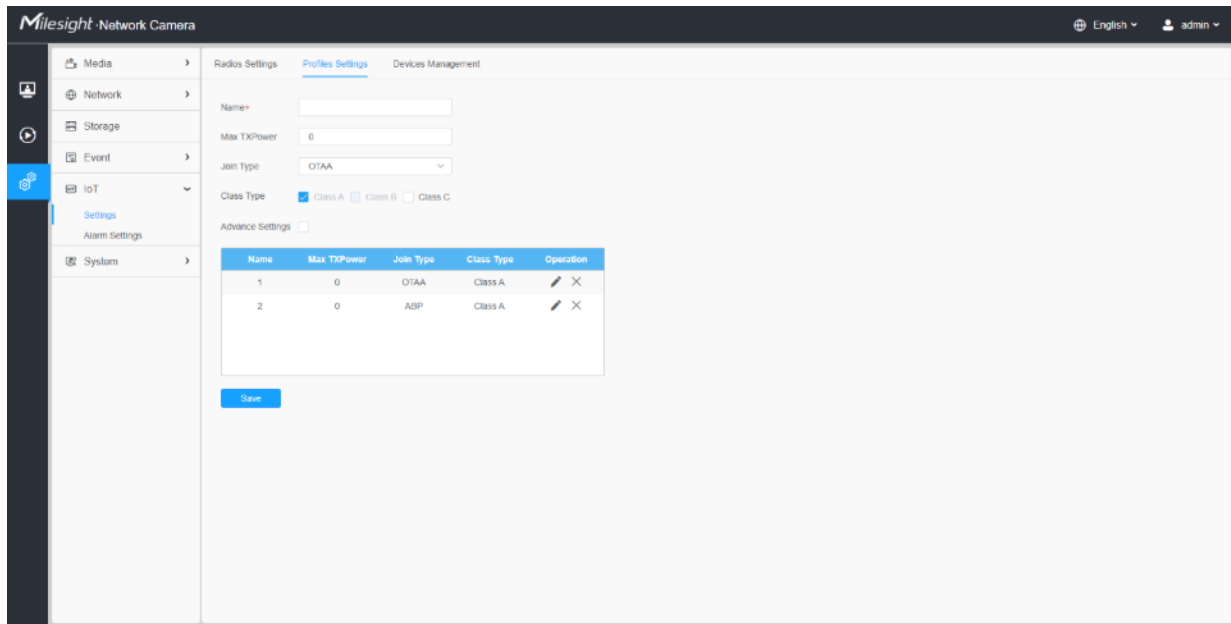


表83ボタンの説明

パラメータ	機能
Name	プロファイル名をカスタマイズします。
Max TXPower	最大送信電力を入力します。TXPowerは、エンドデバイスのMax EIRPレベルに対するパワーレベルを示します。0は最大EIRPを使用することを意味します。EIRPとは等方性等方放射電力（Equivalent Isotropically Radiated Power）のことです。Max TXPowerは0～16の間でなければなりません。

パラメータ	はじめに	
Join Type	OTAA と ABP はオプションで、デフォルトは OTAA です。 • OTAA : Over-the-Air Activation (無線アクティベーション)。 OTAA : Over-the-Air Activation (無線アクティベーション)。無線アクティベーションでは、エンドデバイスはネットワークサーバーとのデータ交換に参加する前にジョイン手順に従わなければなりません。エンドデバイスは はセッション・コンテキスト情報を失っているため、毎回新しい参加手順を実行する必要があります。 • ABP : パーソナライズによるアクティベーション。 特定の状況下では、パーソナライズによってエンドデバイスをアクティブにできます。パーソナライズによるアクティブ化は、参加要求 - 参加受諾手順をパスすることで、エンドデバイスを特定のネットワークに直接結びつけます。	
Class Type	デバイス・タイプはデフォルトでクラス A です。ユーザーは、クラス B またはクラス C のボックスをチェックして、クラス・タイプを追加できます。	
Advance Settings	MAC Version	エンドデバイスが対応するLoRaWAN®のバージョンを選択します。1.0.0/1.0.1/1.0.2/1.1.0はオプションで、デフォルトは1.0.2です。
	Regional Parameters Revision	AおよびBはオプションで、デフォルトはB。
	RX1 Data Rate Offset	RX1 データ・レートの計算に使用されるオフセットは、アップリンク・データ・レートに基づきます。
	RX2 Data Rate	RX2 受信ウィンドウで使用する RX2 データレートを入力します。
	RX2 Channel Frequency	RX2 Frequency 受信ウィンドウで使用する RX2 チャネル周波数を入力します。
Advance Settings	Frequency List	工場出荷時にプリセットされている周波数のリスト。範囲はLoRaWAN®地域パラメータドキュメントで指定されているものに基づきます。

8.7.1.3 Device Management

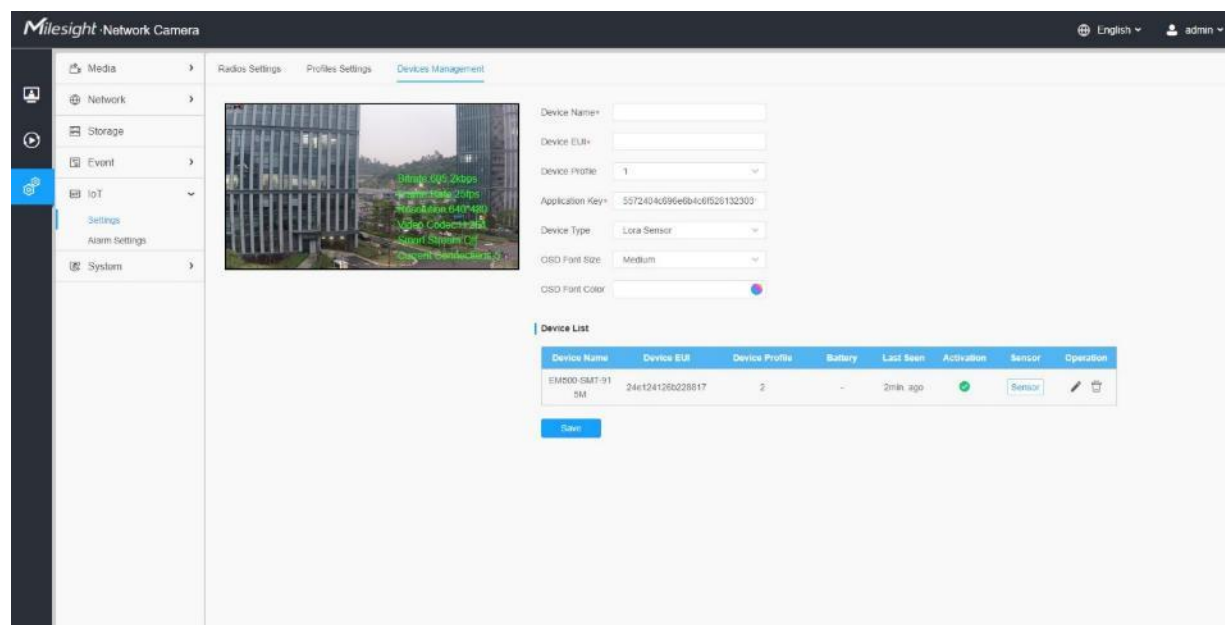


表 84.ボタンの説明

パラメータ	機能
Device Name	デバイス名をカスタマイズします。
Device EUI	デバイスラベルから取得できるデバイスEUIを入力します。Milesight Lora Sensorを使用している場合は、Milesight Tool BoxからデバイスEUIを取得することもできます。
Device Profile	OTAAとABPはオプションで、デフォルトはOTAAです。
Application Key	端末が無線アクティベーションでネットワークに参加するたびに、アプリケーションキーはアプリケーションセッションキーを生成するために使用されます。これは主に、対応するデバイス・アドレス／ネットワーク・セッション・キー／アプリケーション・セッション・キーを生成するために使用されます。 注意 - デフォルト・キーはエンドデバイスから取得できます。 - Milesightセンサーのデフォルト・キーは5572404c696e6b4c6f52613230313823です。

パラメータ	機能
Device Address /Network Session Key /Application Session Key	ネットワークにアクセスするために必要な情報です。ABPネットワークアクセスモードを選択した場合、これらの項目を入力する必要があります。また、これらの情報はデバイスから取得することができます。例えば、Milesight Lora Sensorを使用する場合、Milesight Tool Boxからこれらの情報を取得することができます。 Device Address : デバイスアドレスは現在のネットワーク内でエンドデバイスを識別します。 Network Session Key : ネットワークセッションキーはエンドデバイスの仕様です。エンドデバイスが全てのアップリンクデータメッセージのMICまたはMICの一部（メッセージ整合性コード）を計算し、データの整合性を確保するために使用します。 Milesightセンサーのデフォルトキーは5572404c696e6b4c6f52613230313823です。 Application Session Key : AppSKeyは、エンドデバイス固有のアプリケーションセッションキーです。アプリケーション固有のデータメッセージのペイロードフィールドを暗号化および復号化するために、アプリケーションサーバーとエンドデバイスの両方で使用されます。 Milesightセンサーのデフォルトキーは5572404c696e6b4c6f52613230313823です。
Device Type	実際の状況に応じてデバイスタイプを選択してください。Lora Sensor と Lora Sensor Node はオプションです。ローラセンサは LoraWAN プロトコルに対応したセンサで、ローラセンサノードは RS485, AI, GPIO などのインターフェースからデータを受信するデバイスです。
OSD Font Size	OSD フォントの色を設定します。
OSD Font Color	OSD フォントサイズを設定します。

パラメータ

機能

Device List

ステップ 1:

Sensor

をクリックすると、センサー設定ページに入ることができます。設定が終了したら、Save

をクリックして設定を保存するか、または

Cancel

をクリックして設定をキャンセルすることができます。

Device Name	Device EUI	Device Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation
EM500-SMT-91 5M	24e124126b228817	2	-	2min. ago		Sensor	

Sensor Settings

Sensor ID

1

Sensor Type

Temperature Sensor

Sign

☐

Decimal Point Forward

0

Unit

°C

Show OSD

☒

Save

Cancel

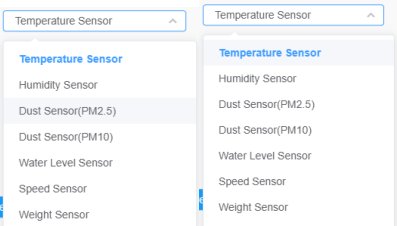
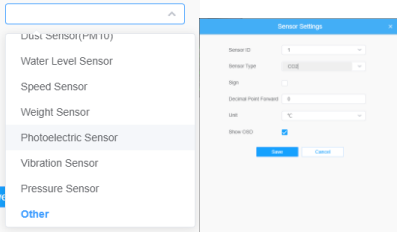
ステップ 2:

をクリックして、以上デバイス管理で設定を変更できます。

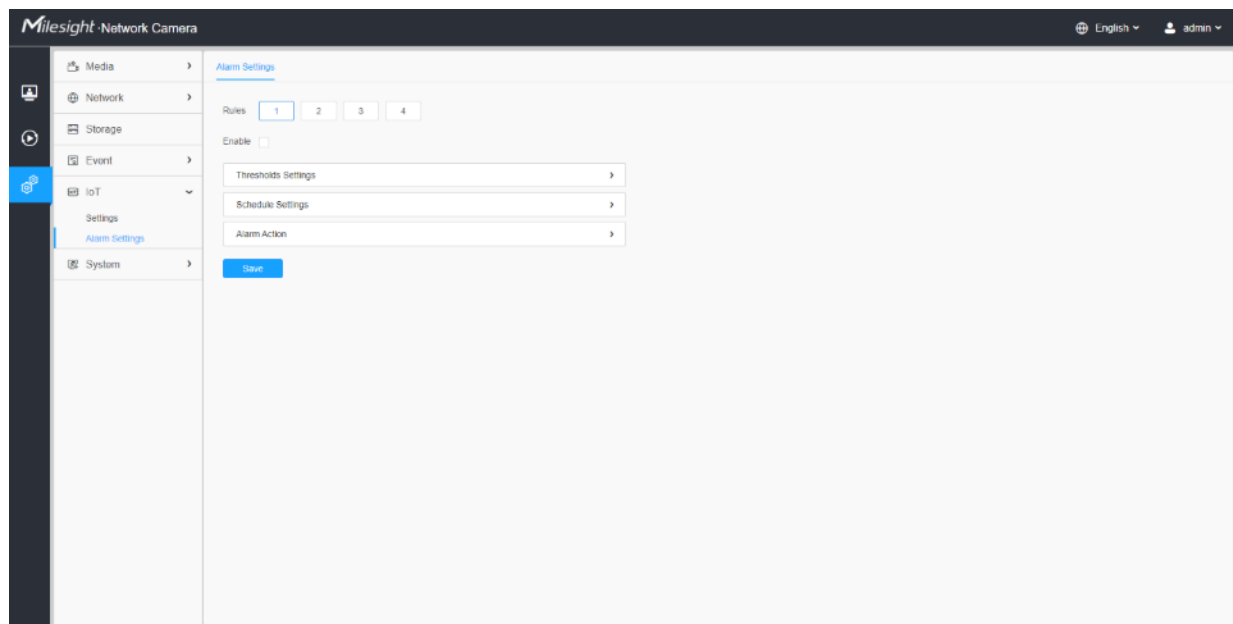
ステップ 3:

をクリックして、追加したデバイスを削除できます。

Device Name	Device EUI	Device Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation
EM500-SMT-91 5M	24e124126b228817	2	-	2min. ago		Sensor	

パラメータ	機能
Sensor Settings	[Sensor ID] 設定したいセンサーIDを選択します。センサIDの数はセンサが持つデータの種類によって異なり、IDとデータは一对一の関係にあります。 [Sensor Type] センサータイプの設定です。一般的に使用されるセンサーの種類は以下の通りです：  また、カスタマイズも可能です：  [Sign] チェックは値にプラスまたはマイナスの符号があることを示します。 [Decimal Place] 小数点以下の桁数を設定します。例えば、「1」を入力すると、小数点が1つ左に移動し、小数になります。 [Unit] データ単位の設定です。一般的な単位がいくつかありますが、ユーザーがカスタマイズすることもできます。 [Show OSD] 下図のように、この機能を有効にすると、検出されたデータが画面に表示されます。   注意 • チャンネル ID と符号は以上デバイスのものと一致している必要があります。 • 小数点以下の桁数はセンサーのプロパティに応じて設定します。例えば、Milesight温度センサーを使用する場合、正しい温度を得るにはこの値を1に設定する必要があります。

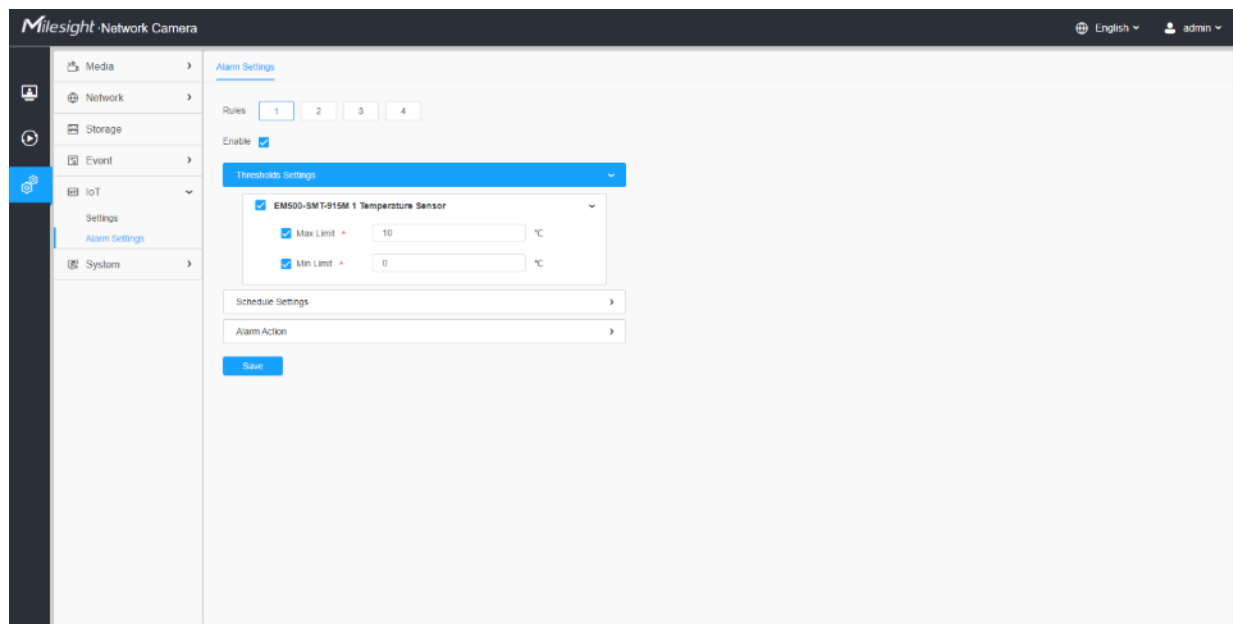
8.7.2 Alarm Settings



ステップ1：設定したいアラームルールを選択し、4種類のルールを設定できます。

ステップ2：アラームルールを有効にするには、チェックボックスをオンにします。

[Thresholds Settings]



ステップ 3: アラームを設定するセンサーをクリックして選択します。

ステップ4: 選択したセンサーのしきい値を設定します。データが臨界値に達すると、アラームがトリガーされます。上限しきい値と下限しきい値の両方を設定できます。上限または下限のみ設定することもできます。

[Schedule Settings]

ステップ 5: IoT のアラームスケジュールを設定します。

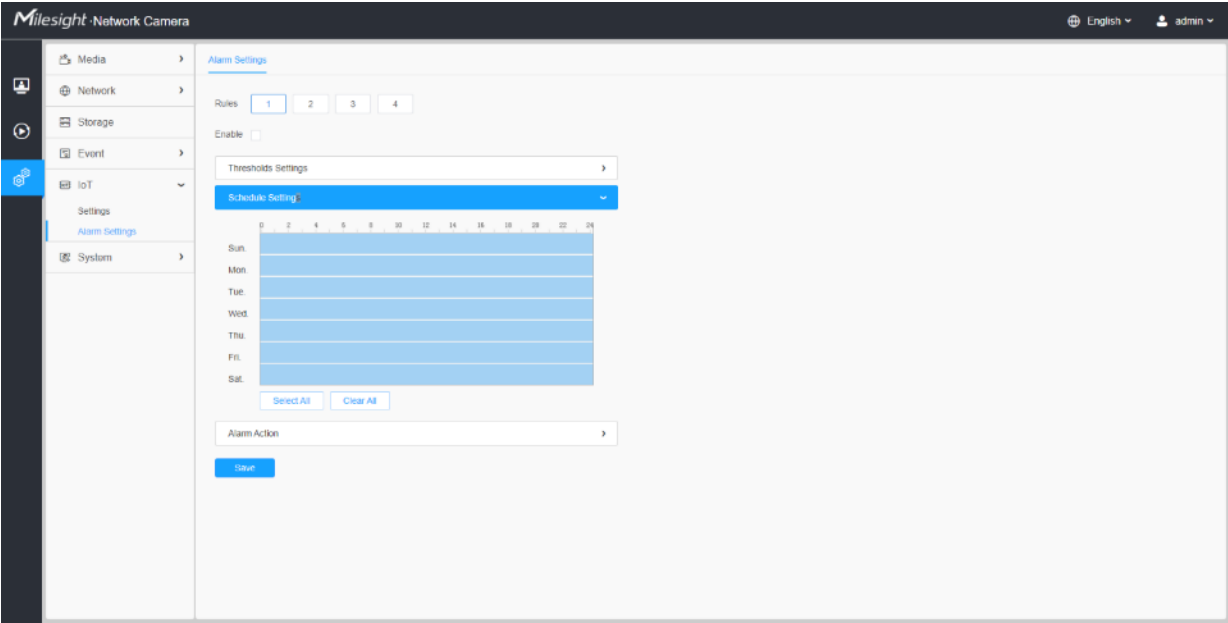


表 85. ボタンの説明

パラメータ	機能
Copy To... Sun. Mon. Tue. Wed. Thu. Fri. Sat. Save	スケジュールエリアを別の日付にコピーします。
Select All	全てのスケジュールを選択します。
Clear All	全てのスケジュールを消去します。

[Alarm Action]

ステップ6：アラーム動作を設定します。

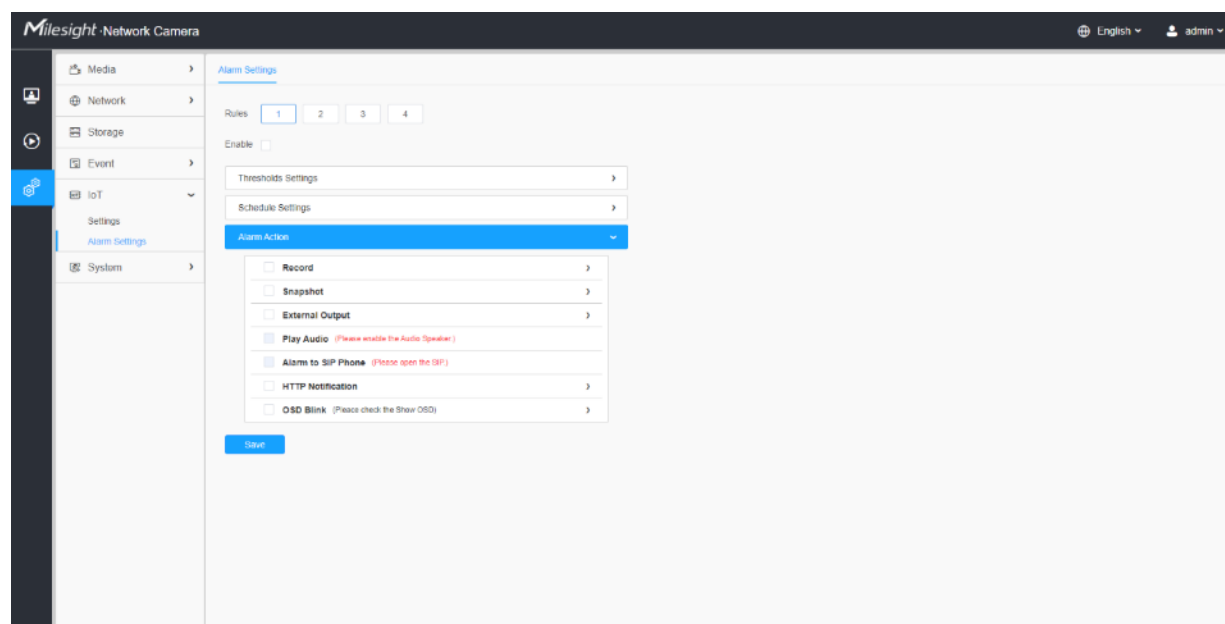
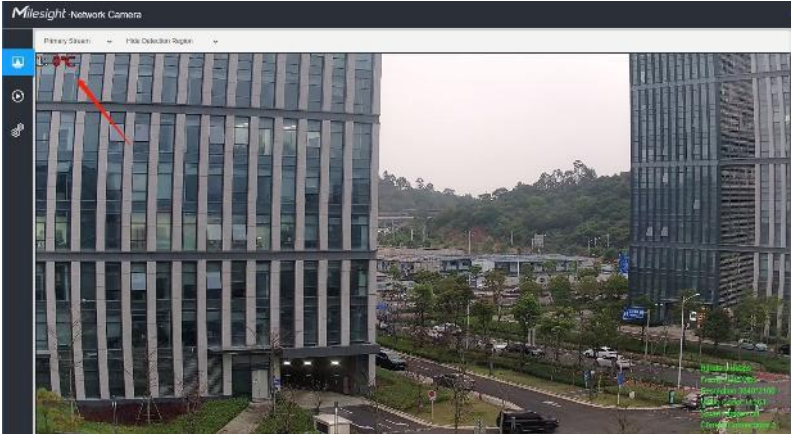


表 86.ボタンの説明

パラメーター	機能
Record	Duration : アラームの継続時間を選択します。5s/10s/15s/20s/25s/30sが利用可能です。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存、またはFTP経由で録画ファイルをアップロードします。
Snapshot	Number : スナップショットの数、1~5 が利用できます。 Interval : スナップショットに1以上を選択しない限り編集できません。 Linkage : SDカードまたはNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。
External Output	カメラが外部出力を装備している場合、トリガ期間を設定した後、アクションを有効にできます。
Play Audio	自動/10秒/30秒/1分/5分/10分を選択できます。  注意 : 音声スピーカーを有効にしてください。
Alarm to SIP Phone	SIP機能を有効にした後、SIP電話を呼び出す対応。  注 : SIPを開いてください。

パラメーター	機能
HTTP Notification	指定したHTTP URLにアラームニュースをポップアップする対応。
OSD Blink	センサー設定のページでOSDを表示するをチェックした場合、アラームがトリガーされるとOSDが点滅します。 OSD Blink Time : OSD の点滅時間を設定する対応、1~10 が利用可能です。 例えば、アラームアクションは 3 秒の間隔で OSD の点滅に設定され、データが臨界値に達すると、アラームがトリガーされ、ライブビューインターフェイスの OSD が点滅します。 

8.7 System

ここでは、システム設定、セキュリティ、ログおよびメンテナンスを設定できます。

8.8.1 System Setting

ここではシステム情報と日時を確認できます。

8.8.1.1 System info

カメラのハードウェアおよびソフトウェアに関するすべての情報はこのページで確認できます。

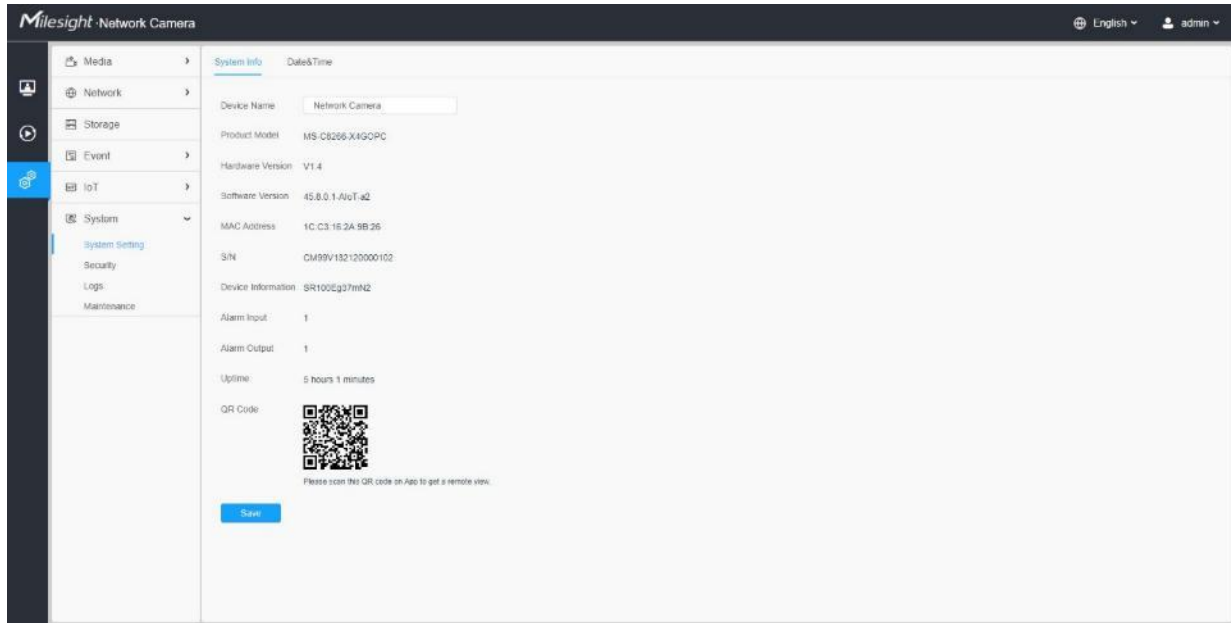


表87ボタンの説明

パラメータ	機能
Device Name	デバイス名はカスタマイズできます。ビデオファイルのファイル名に表示されます。
Product Model	カメラの製品モデルです。
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョン。
Software Version	アップグレード可能なカメラのソフトウェアバージョン。
LPR License (Only for LPR2, LPR3, LPR 4, LPR EU, LPR AP and LPR AM)	カメラの情報により生成されます。  注：LPR シリーズのみ。
License Status (Only for LPR2, LPR3, LPR 4, LPR EU, LPR AP and LPR AM)	Valid 、 Invalid を含む現在のライセンスステータスを表示します。  ます。
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス。
S/N	在庫番号。
Device Information	アラームI/Oやクリップパーチップに関する情報を含むデバイス情報。

パラメータ	機能
Alarm Input	アラーム入力インターフェースの数。  アラーム入力にはカメラにアラーム入出力インターフェースがある場合のみ表示されます。
Alarm Output	アラーム出力インターフェースの番号。  アラーム出力にはカメラにアラーム入出力インターフェースがある場合のみ表示されます。
Uptime	装置の最終再起動からの経過時間。
Save	設定を保存します。

8.8.1.2 Date&Time

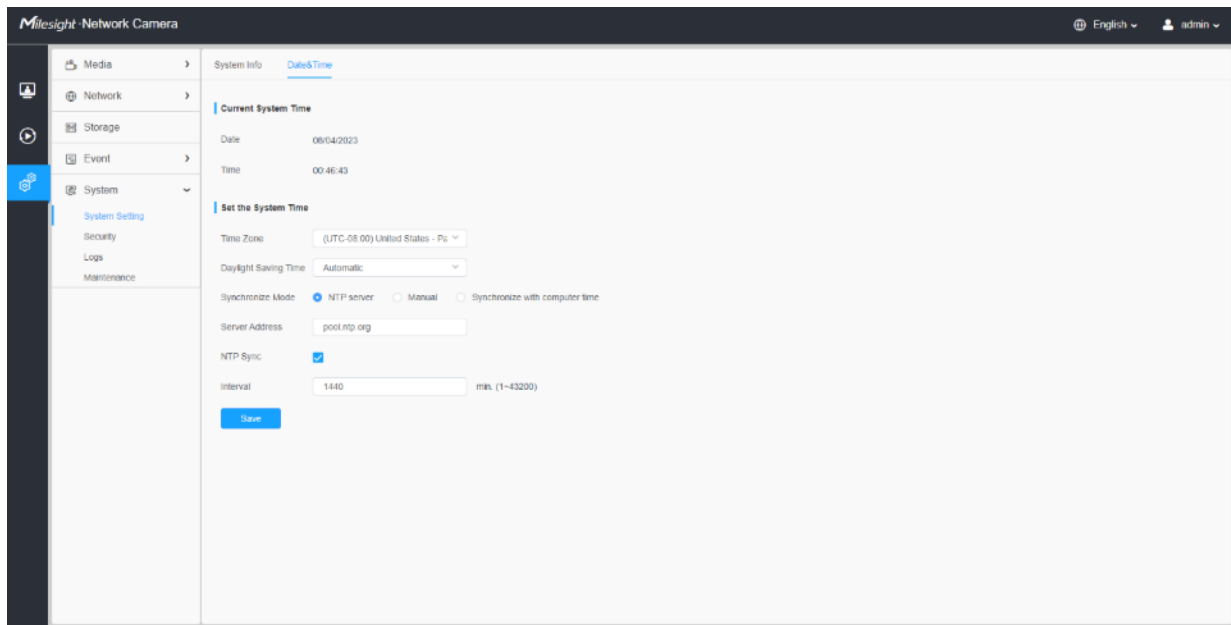


表88ボタンの説明

パラメータ	機能
Current System Time	システムの現在の日付と時刻。
Set the System Time	Time Zone : お住まいの地域のタイムゾーンを選択してください。
	Daylight Saving time : 夏時間を有効にします。

パラメーター	機能
	Synchronize Mode : NTPサーバー、手動、コンピュータ時刻との同期はオプションです。 NTP server : NTPサーバーのアドレスを入力します。 NTP Sync : インターバル時間に従って定期的に時刻を更新します。 Manual : システム時刻を手動で設定します。 Synchronize with computer time : コンピュータと時刻を同期します。
Save	設定を保存します。

8.8.2 Security

ここでは、ユーザー、アクセスリスト、セキュリティサービス、ウォーターマークなどを設定できます。

8.8.2.1 User

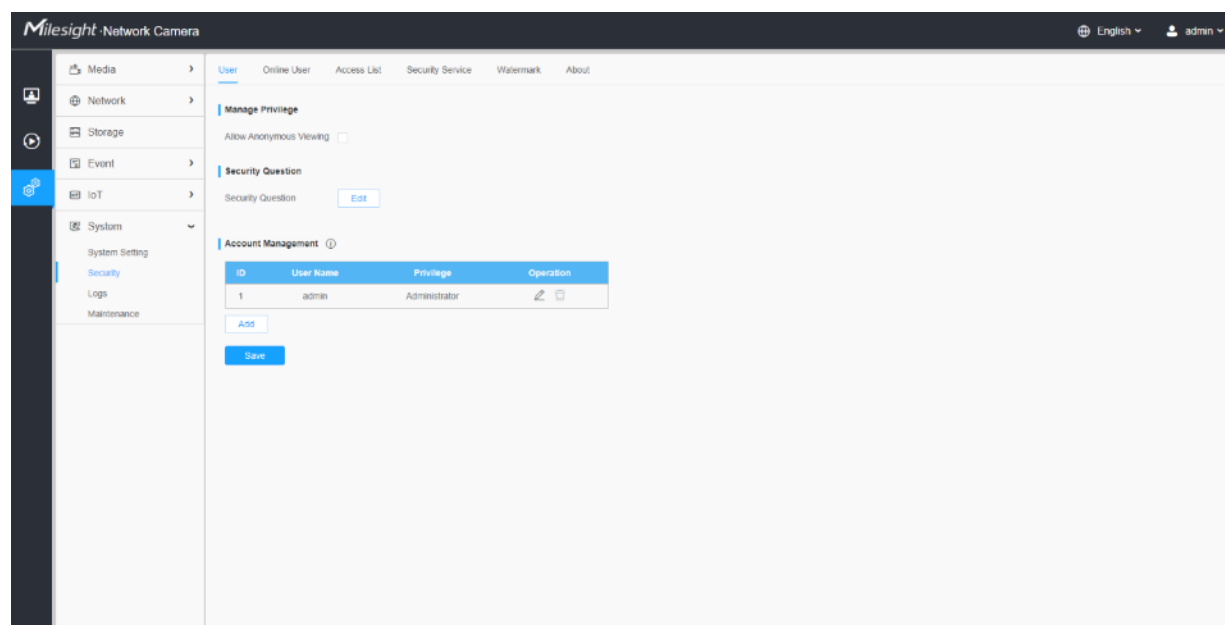
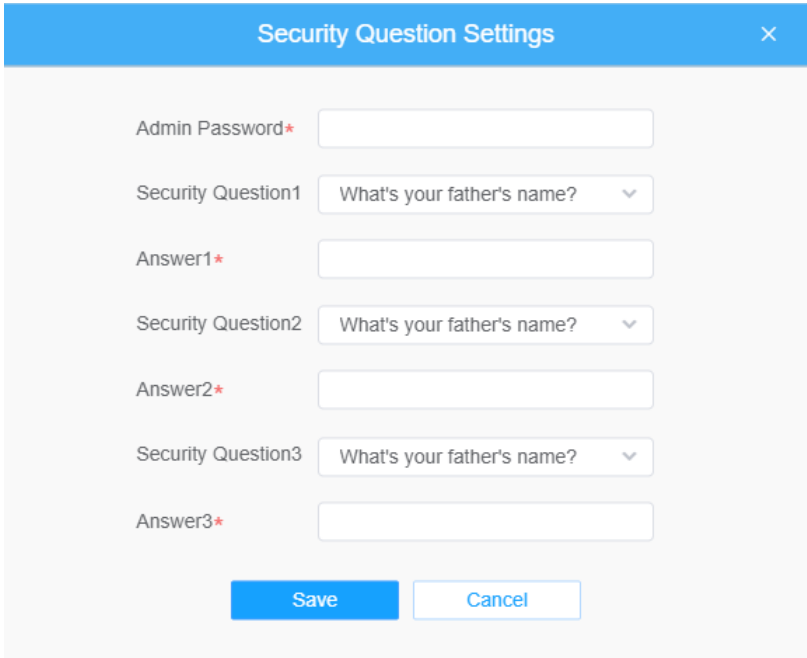
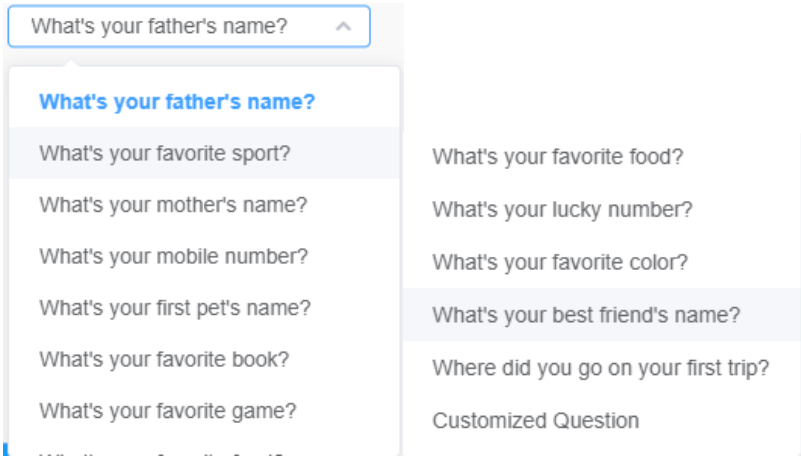


表 89.ボタンの説明

パラメータ	機能
Manage Privilege	Allow anonymous viewing : チェックボックスにチェックを入れると、端末のアカウントを持っていない人の閲覧を許可します。

パラメータ	機能
Security Question	編集 "ボタンをクリックすると、カメラに3つのセキュリティ質問を設定できます。パスワードを忘れた場合、ログイン画面で "Forget Password "ボタンをクリックし、3つのセキュリティ質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます。  デフォルトの質問は以下の12種類ですが、カスタマイズすることもできます。 

パラメータ	機能
Account Management	Add : ボタンをクリックすると、アカウント管理画面が表示されます。管理者パスワード、ユーザレベル、ユーザ名、新しいパスワード、確認を入力し、 をクリックしてユーザ権限を編集することにより、カメラにアカウントを追加できます。追加されたアカウントはアカウントリストに表示されます。 Admin Password : 正しい管理者パスワードを入力した後にのみ、アカウントを追加できます。 User Level : アカウントの権限を設定します。 User Name : アカウントを作成するためのユーザー名を入力します。 New Password : アカウントのパスワードを入力します。 Confirm : パスワードを確認します。 アカウントの編集・削除は、管理者アカウントの下にあるアカウント一覧で行います。デフォルトの管理者アカウントでは、パスワードの変更のみ可能で、削除はできません。  注意 - デフォルトユーザーとカスタムで追加した 19 ユーザーを含め、最大 20 ユーザーまで対応。 - デフォルトでは操作者権限にすべてチェックが入っています。

8.8.2.2 Online User

カメラにログインしているユーザのリアルタイムステータスが表示されます。

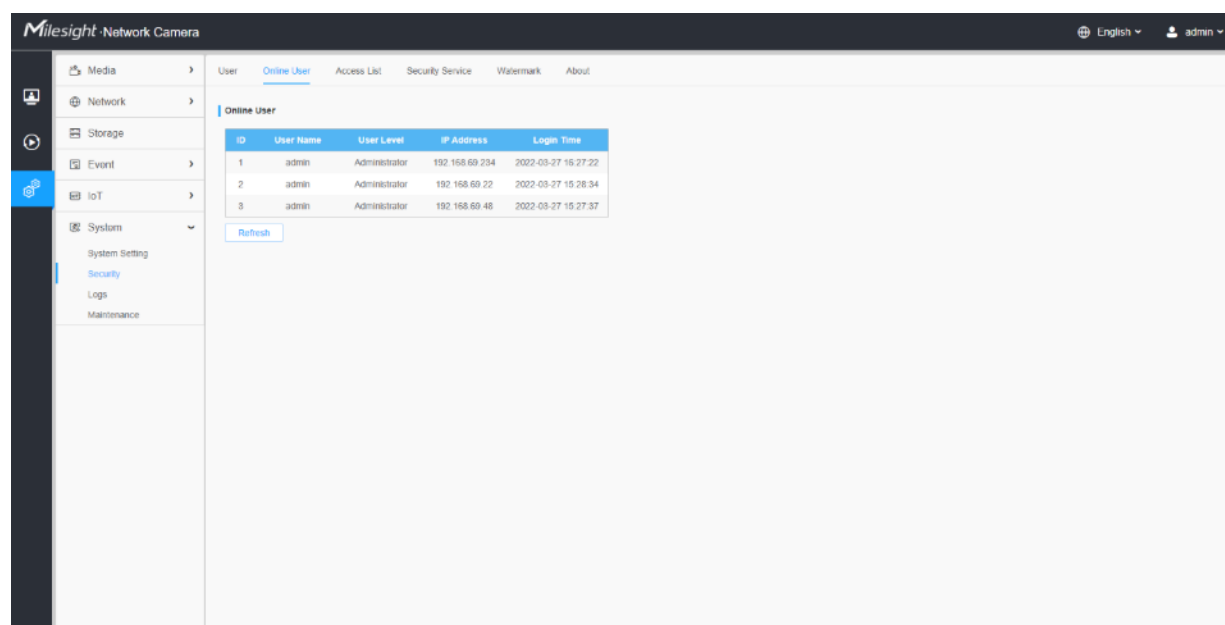


表90ボタンの説明

パラメータ	機能
Refresh	カメラにアクセスしているユーザの最新のステータスを取得します。
ID	カメラにログインしているユーザのシリアル番号を記録します。 注意 - リストに表示されるレコードは最大30件です。 - 同じユーザが同じIPアドレスでカメラにログインした場合、記録は1つだけです。
User Name	カメラにログインしているユーザの名前。
User Level	カメラにログインしているユーザのレベル。
IP Address	カメラにログインしているユーザがいるデバイスのIPアドレス。
Login Time	カメラにログインしたユーザのカメラシステム時刻。

8.8.2.3 Access List

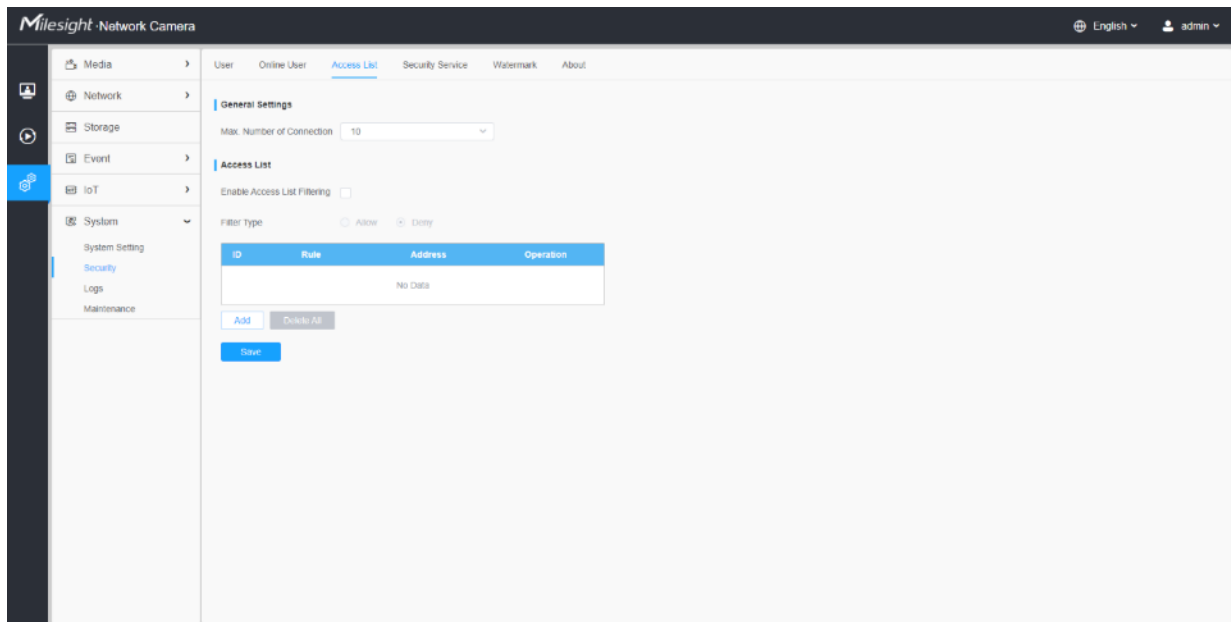
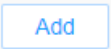
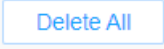


表 91.ボタンの説明

パラメータ	機能
General Settings	Max. Number of Connection : 同時ストリーミングの最大数を選択します。オプションには、制限なし、1～10があります。

パラメータ	機能	
Access List	Enable Access List Filtering : 一部のIPアドレスのアクセスを許可または制限します。	
Access List	Filter type : アクセスを許可または拒否します。	
		Rule: Single, Network and Range があります。 IP address : デバイスにアクセスするためのアドレスを入力します。
		全てのアクセスリストを削除します。
		アクセスリストで選択した IP を編集します。
		選択した IP を削除します。
	設定を保存します。	

8.8.2.4 Security Service

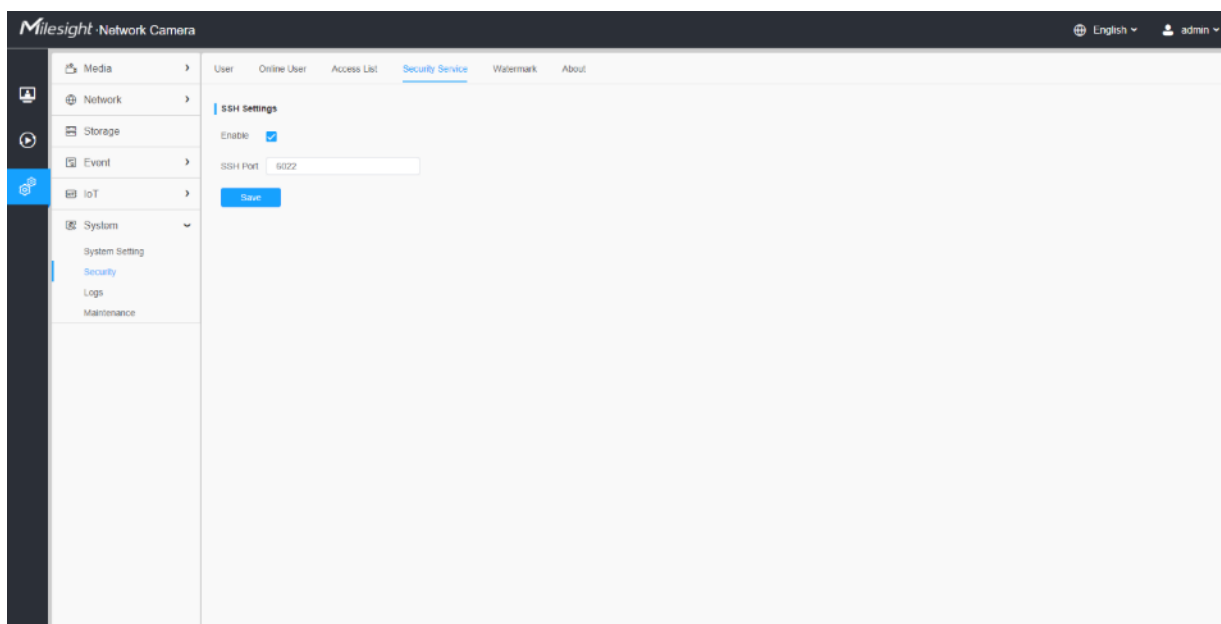
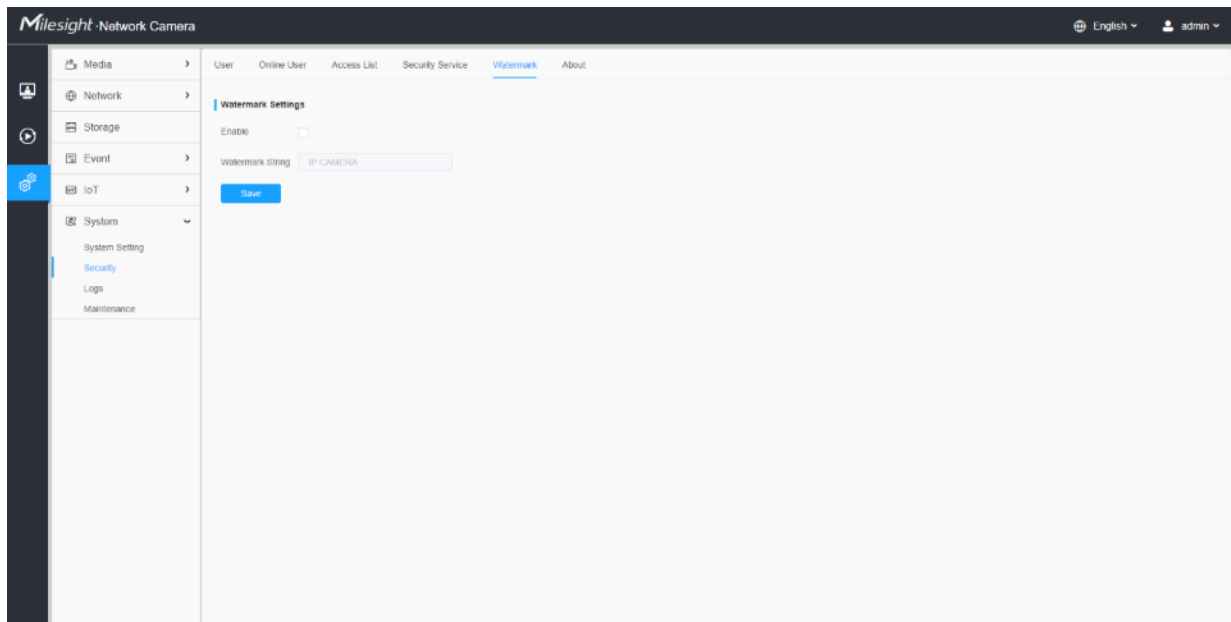


表 92. ボタンの説明

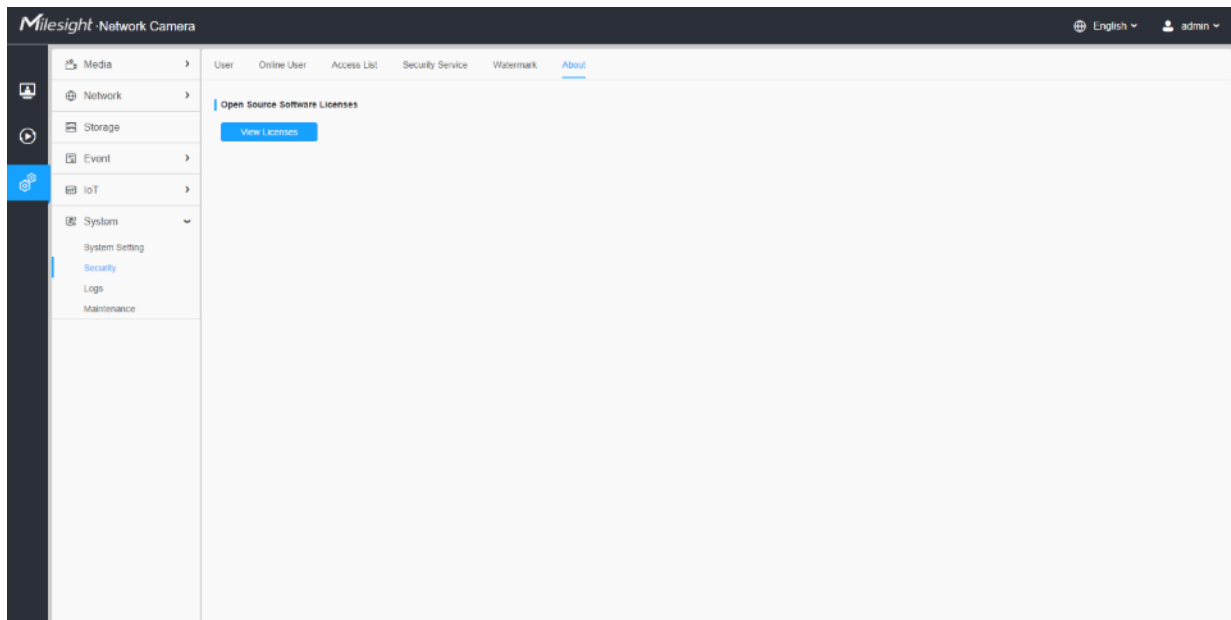
パラメータ	機能
SSH Settings	Secure Shell (SSH) には多くの機能があります。Telnet を置き換えることができ、FTP、POP、PPP にも安全なチャネルを提供します。

8.8.2.5 Watermark



電子透かしは、偽造防止や著作権保護を実現し、情報セキュリティを保護する効果的な方法です。Milesightは電子透かし機能に対応し、情報セキュリティを確保します。

8.8.2.6 About



ライセンス表示ボタンをクリックすると、カメラに関するオープンソースソフトウェアのライセンスが表示されます。

8.8.3 Logs

ログにはウェブ経由でカメラにアクセスした時間とIPに関する情報が含まれます。

Time	Main Type	Sub Type	Param	User	IP	Detail
2022-03-27 16:27:22	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.234	RTSP
2022-03-27 16:27:22	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.234	RTSP
2022-03-27 16:27:22	Operation	Video Param Set Remotely	-	-	192.168.69.234	Main(bit rate change.)
2022-03-27 16:27:22	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-03-27 16:27:22	Operation	Config Remotely	Date&Time	admin	192.168.69.234	-
2022-03-27 15:29:09	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-03-27 15:29:34	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-03-27 15:29:34	Operation	Login Remotely	-	admin	192.168.69.22	-
2022-03-27 15:29:00	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-03-27 15:27:37	Operation	Login Remotely	-	admin	192.168.69.40	-
2022-03-27 15:27:34	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.40	RTSP
2022-03-27 15:27:33	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.40	RTSP
2022-03-27 15:27:23	Operation	Config Remotely	Date&Time	admin	192.168.69.234	-
2022-03-27 15:25:40	Operation	Reset Remotely	-	admin	192.168.69.22	-
2022-03-27 15:25:39	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.69.40	RTSP
2022-03-27 15:25:39	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.40	RTSP
2022-03-27 15:25:38	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.40	RTSP
2022-03-27 15:25:31	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.69.40	RTSP

表93 ボタンの説明

パラメータ	機能
Main Type	5つのメイン・ログ・タイプがあります： All Type, Event, Operation, Information, Exception、Smart。
Sub Type	メインタイプが選択されていることを前提に、ログの範囲を絞り込むためにサブタイプを選択します。
Start Time	ログの開始時刻です。
End Time	ログの終了時刻です。
Search	ログを検索します。

パラメータ	機能
Export	ログをエクスポートします。
Go to	ログ件数の入力」ページへ

8.8.4 Maintenance

システムメンテナンスと自動再起動を設定します。

8.8.4.1 System Maintenance

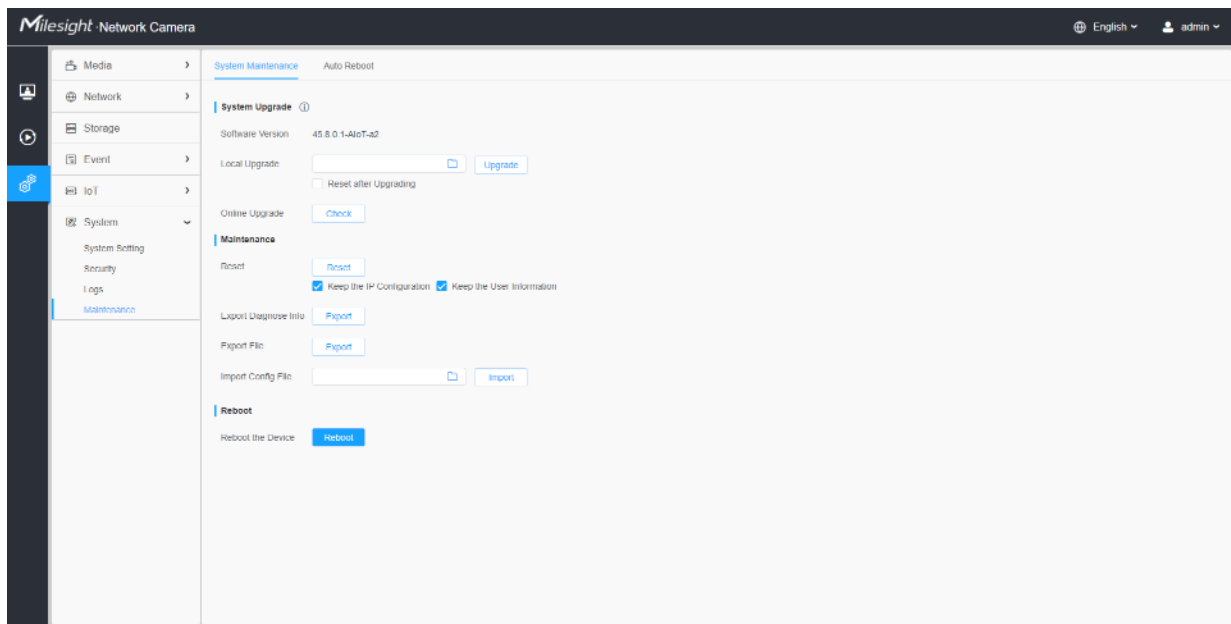
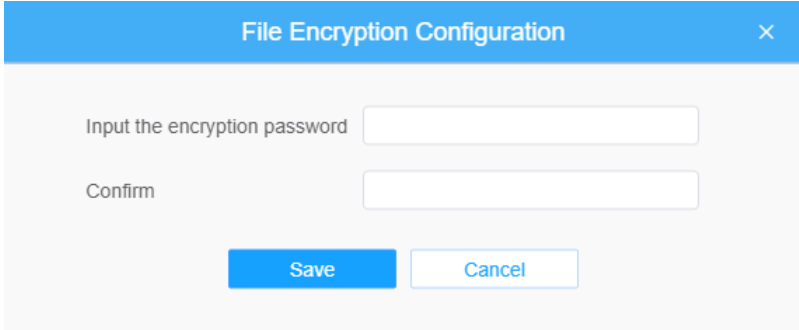
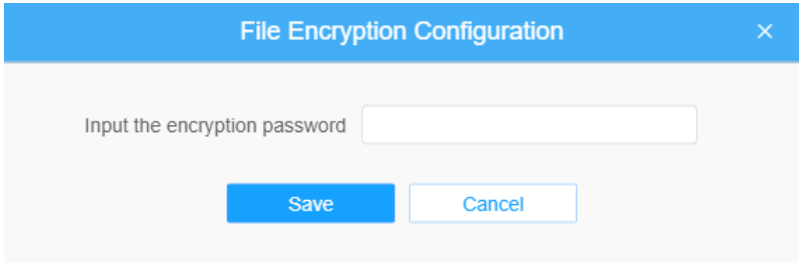
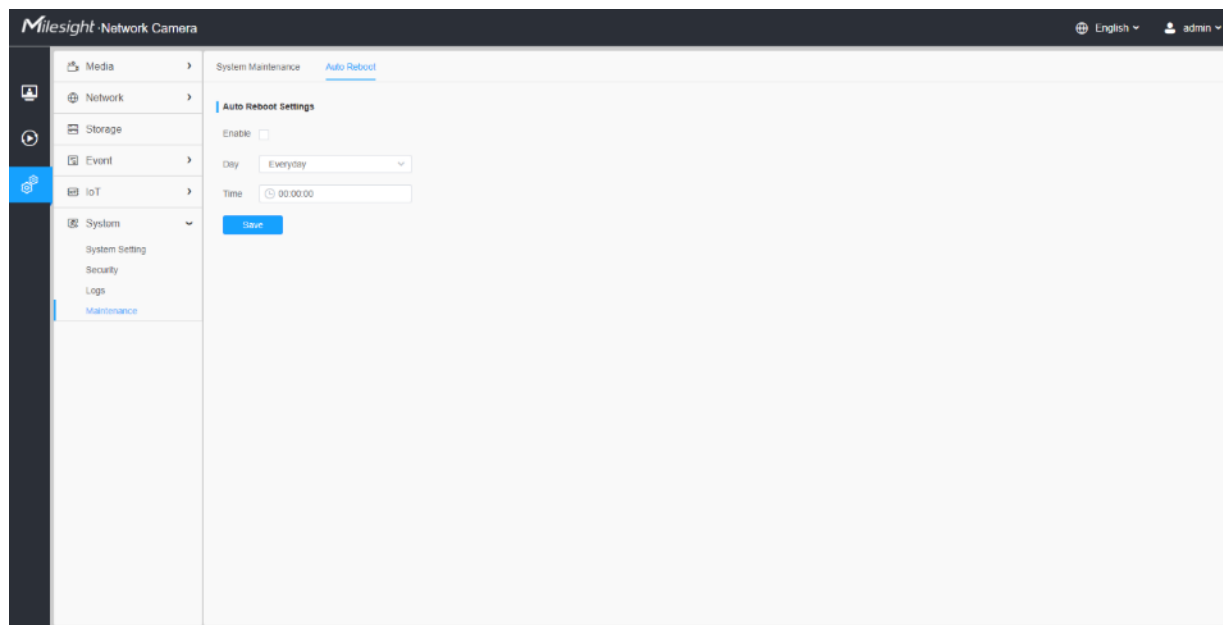


表94 システムメンテナンスボタンの説明

パラメータ	機能
System Upgrade	Software Version : カメラのソフトウェアバージョン。 Local Upgrade : Browse "ボタンをクリックしてアップグレードファイルを選択し、"Upgrade "ボタンをクリックしてアップグレードします。システムが正常に再起動したら、アップデートは完了です。 アップグレード後にカメラをリセットするには、" Reset after Upgrading "をチェックします。 Online Upgrade : Check "ボタンをクリックすると、現在の最新ファームウェアバージョンを確認し、"OK "ボタンをクリックすると、このバージョンにアップグレードします。 カメラがすでに最新バージョンである場合は、"現在のバージョンは最新バージョンです "と表示されます。 Tips ×  The current version is the latest version. OK 注意: アップデート中はデバイスの電源を切らないでください。アップグレードを完了するためにデバイスが再起動されます。

パラメータ	機能
Maintenance	Reset : Resetボタンをクリックすると、カメラは工場出荷時の設定にリセットされます。 Keep the IP Configuration : このオプションをチェックすると、カメラのリセット時にIP設定が保持されます。 Keep the User information : カメラのリセット時にユーザ情報を保持するには、このオプションをオンにします。 Export Diagnose Info : 動作状態のログとシステム情報をエクスポートするには、このボタンをクリックします。 ファイル形式は".txt"です。 Export Config File : このボタンをクリックすると、以下のウィンドウが表示されます：  パスワードを再度入力し、確認した後、保存ボタンをクリックして設定ファイルをエクスポートします。 Import Config File : このボタンをクリックすると、ウィンドウがポップアップ表示されます。 設定ファイルのパスワードを入力してください」というウィンドウが表示されますので、パスワードを入力して保存ボタンをクリックすると、設定ファイルがインポートされます。  注意 同じ設定ファイルをエクスポートとインポートしてください。パスワードは同じでなければなりません。

8.8.4.2 Auto Reboot



自動再起動機能を有効にするには、日付と時刻を設定します。カメラが長時間動作して過負荷になった場合、カメラはカスタマイズされた時刻に従って自動的に再起動します。

第9章 サービスサービス

Milesightはお客様にタイムリーで包括的なテクニカルサポートサービスを提供します。エンドユーザーの皆様は、お近くの販売店にテクニカル対応をご依頼ください。販売店および再販業者の皆様は、Milesightに直接テクニカルサポートをご依頼ください。

テクニカルサポートメールボックス:

support@milesight.com Web:

<http://www.milesight.com>

オンライン問題提出システム : <http://www.milesight.com/service/feedback.asp>

MILESIGHT USA

電話 : +1-800-561-0485

住所 : 220 NE 51st ST, Oakland Park, Florida 33334, USA

MILESIGHT韓国

電話 : +82-2-839-3335

住所 : 韓国安養市東安区LS路116ベオンキル安養SK V1センター925号

MILESIGHT中国

電話 : +86-592-5922772

住所 : 361024 中国福建省アモイ市ソフトウェアパーク第三期C09棟